TOKYO JAM 蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

BORN

黒く、そして深く…
真冬を焦がす悪辣なるブラックムーブメント

NEW MINI ALBUM
DOGMA [dɔ́ːgmə]

2011.02.02 (WED) Release

【初回盤】限定：3,000 枚　PSIS-30032 / ¥2,835 (tax-in)

01. ドグマニズム
02. SIX DAMIAN
03. RED DESIRE
04. 棘柘榴
05. 愚弄

【通常盤】PSIS-50032 / ¥2,835 (tax-in)

01. ドグマニズム
02. SIX DAMIAN
03. Dammit!!!!!!
04. RED DESIRE
05. 棘柘榴
06. 愚弄
07. Dazzling Mob

発売元：PS COMPANY Co.,Ltd. / 販売元：ONG DISTRIBUTION

【特典対象】「DOGMA」の初回盤・通常盤を各１枚ずつ同時にお申込みの方に
コメント CD「ブラック セオリー レディオスター - 番外編 -」を１枚差し上げます。
※こちらの特典は数に限りがございますので先着順となります。無くなり次第終了となりますのでご了承下さい。
【申込方法】インターネット通信販売サイト「Indie PSC. ONLINE SHOP」http://shop2.pscompany.co.jp よりお申込み下さい。
「Indie PSC. ONLINE SHOP」は PC・携帯電話にてご利用いただけます。

PS COMPANY PRESENTS BORN ONEMAN LIVE
Agitate to the DOGMANISM
2011.03.13 (SUN) 新宿 LOFT

OPEN 17:30 / START 18:00　前売¥3,500/ 当日¥4,000(税込) / Drink 代別¥500
01.22(土)より一般発売開始
チケットぴあ 0570-02-9999 [P:123-967] / ローソンチケット 0570-084-003 [L:78971]
イープラス　http://eplus.jp（PC/ 携帯共通）/ GET TICKET [PC] http://www.getticket.jp/ [携帯] http://k.getticket.jp/
Info.DISK GARAGE　03-5436-9600

[チケット先行受付方法]
[申込方法]　郵便局に備付の青い振込用紙にてお申込みください。(電信・現金書留・為替・速達不可)
■口座番号：00140-0-465378　■加入者名：Indie PSC.
■ご依頼人：郵便番号・住所（省略せず記入）・氏名（フリガナ）
■金　　額：チケット代金(1枚¥3,500)×希望枚数＋送料¥700
■通 信 欄（必ず①～⑤まで記入）：①BORN ②03.13 新宿 LOFT ③希望枚数 ④自宅電話番号及び、PHS・携帯電話番号 ⑤SHOXX 先行と記入
■受付期間：この先行案内をご覧いただいた日～ 2011.01.05（水）当日消印有効

[注意事項]　●お手続きに間違いがありますと返金させて頂く場合もあります。　●万が一、先行予約のチケットが予定枚数をオーバーした場合は抽選となり、落選された方には、一般発売日(01.22)の2日前までに通知し、ご返金させて頂きます。その際、発送手数料を差し引かせていただきます。●チケットは佐川急便にて公演の約2週間前発送を予定しております。公演5日前になってもチケットが届かない場合はお問合せ下さい。連絡がないまま公演日を過ぎましても払い戻しは致しません。　●振込受領書 は、チケットが届くまで保管して下さい。
●整理番号は振込用紙の到着順に関係なく抽選となります。

-LIVE SCHEDULE-

01.07 (FRI) 名古屋 E.L.L	02.08 (TUE) Shibuya O-EAST	03.26 (SAT) 金沢 AZ
01.08 (SAT) ESAKA MUSE	02.20 (SUN) 高田馬場 AREA	03.27 (SUN) 新潟 RED STAGE
01.09 (SUN) 恵比寿 LIQUIDROOM	02.23 (WED) 名古屋 E.L.L	04.02 (SAT) HEAVEN'S ROCK 宇都宮 VJ-2
01.15 (SAT) 高田馬場 AREA	02.27 (SUN) 高田馬場 AREA	04.03 (SUN) 高崎 CLUB FLEEZ
01.16 (SUN) 高田馬場 AREA	03.05 (SAT) 仙台 HooK	04.09 (SAT) 高田馬場 AREA
01.22 (SAT) 渋谷 BOXX	03.06 (SUN) 新潟 BLACK STAGE	04.16 (SAT) 大阪 BIG CAT
01.23 (SUN) 高田馬場 AREA	03.20 (SUN) さいたま新都心VJ-3	04.17 (SUN) 名古屋 E.L.L.
	03.21 (MON) 柏 PALOOZA	

-INSTORE EVENT SCHEDULE-

02.26 (SAT) BRAND X	START18:30	Info.03-3980-6780
03.19 (SAT) 新宿 ZEAL LINK	START15:00	Info.03-5379-7155
03.19 (SAT) 自主盤倶楽部	START18:30	Info.03-3371-3851

インターネットラジオ LIVECAST
「ブラック セオリー レディオスター」第1・第3火曜 20:30～21:00 ON AIR　http://livecast.jp/

[TOTAL INFORMATION]
PS COMPANY Co.,Ltd. / Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福 3-41-9-2F
TEL: 03-5355-3822（平日 12:00 ～ 18:00）
※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。
また、その他お問合せはお電話でお願いします。

PS COMPANY OFFICIAL MOBILE SITE
PSmobile
着うた・待ち受け画像配信中！
会員限定コンテンツ、
BORNメルマガ配信登録希望の方はコチラ

蝴蝶网
TOKYO JAM
hudie.com

TOKYO JAM

蝴蝶网
hudie.com

年ぶりの海外ツアー開催決定!!

メッシュ WORLD TOUR 2011 "Here we go!!"

5 Tochka / Moscow, Russia
6 GlavClub / St.Petersburg, Russia
8 Nosturi / Helsinki, Finland
1 Columbia Club / Berlin, Germany
2011.3.12 Diesel / Budapest, Hungary
2011.3.13 Backstage / Munich, Germany
2011.3.15 La Laiterie / Strassbourg, France
2011.3.16 Le Trabendo / Paris, France
2011.3.18 O2 Acedemy Islington / London, UK
2011.3.19 Zeche / Bochum, Germany
And more

bsite] http://www.girugamesh.jp
http://www.facebook.com/pages/girugamesh/121523861195422
[Official MySpace] http://www.myspace.com/girugamesh
[Official Mobilesite (GMFC)] http://www.a-deli.com/girugamesh/

TOKYO JAM

girugämesh

NEW ALBUM 2011.01.26 ON SAL

"GO"

【激アツ盤 2CD+DVD】
XNDC-10054~5/B ¥5,555(tax in)
[DISC-1] 9曲収録
[DISC-2] FALL TOUR 2010 TOUR FINAL at Yokohama Bay Hall
[特典DVD](120分収録予定)
FALL TOUR 2010ドキュメント、G-TRAVEL 2010 in SUMMER
2010裏ギルガメッシュ総集編、COLOR/イノチノキVIDEO CLIP

【通常盤 CD only】
XNDC-10056 ¥3,150(tax in)
11曲収録

【激アツ盤】

【通常盤】

史上初のホールライヴ決定!!

2011年2月5日(土) 市川市文化会館 大ホー

ギルガメッシュ 凱旋公演 "CHIBA

OPEN 16:00 / START 17:00 [チケット料金]¥4,200(全席指定・税込) (問)ディスクガレージ:03-5436-9600(平日12:00~19:00) [チケット一般発売]201

蝴蝶网
hudie.com

TOKYO JAM

Blu-BiLLioN

2nd SINGLE

colours

2011.1.26 RELEASE

【初回盤】(CD＋DVD) RSCD-027/028 ￥1,890 (tax in)
【通常盤】(CD) RSCD-029 ￥1,260 (tax in)

日(月) 高田馬場 AREA
TOON-FACTORY / Virgil / ReivieЯ / レクレンズ
17:30 ADV ￥3,000 / DAY ￥3.500 (D 代別)
3-3361-1069

2011年1月22日(土) 高田馬場 AREA
出演：Blu-BiLLioN / ニンジャマンジャパン / Ap(r)il / Virgil / ダウナー / MoNoLith
OPEN 17:00 / START 17:30 ADV ￥3,000 / DAY ￥3,500 (D 代別)
チケット：発売中
(問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069

2011年1月28日(金) 高田馬場 AREA
出演：Blu-BiLLioN / 我羯道 / Luzmelt / Arc / Vallquar- ワルキューレ - / the LEM? / ALSDEAD / アルティスタ (O.A)
OPEN 16:00 / START 16:30 ADV ￥3,000 / DAY ￥3,500 (D 代別)
チケット：発売中
(問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069

ンプサーキット』

ブランドエックス
03-3980-6780

2011年1月26日(水) Like an Edison.com ラフォーレ原宿
[時間] 17:30 START
(問) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 03-37

2011年 月 日(水) 自主盤倶楽部
[時間] 18:30 START
(問) 自主盤倶楽部 03-3371-3851

『colours』購入者対象インストアイベント

2011年1月29日(土) ブランドエックス
[時間] 18:30 START
(問) ブランドエックス 03-3980-6780

2011年1月30日(日) 自主盤倶楽部
[時間] 15:00 START
(問) 自主盤倶楽部 03-3371-3851

2011年1月30日(日) Like an Edison.com ラフォーレ原宿
[時間] 18:00 START
(問) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 03-3746-6002

hudie.com

OFFICIAL SITE：http://blu-billion.jp/

TOKYO JAM

大佑1978-201

圧倒的存在感でシーンを駆け抜けたカリスマ。
その短すぎる生涯に幕を下ろした大佑の歩みをこの1冊に――

蝴蝶网
hudie.com

2万点を超える写真の中から厳選された写真(未
含む)や、蜉蝣～the studs～大佑と黒の隠者達ま
活動の軌跡を綴ったヒストリー、大佑と活動を共
バーインタビュー、交友関係の広さを物語る関係
ト、大佑が残したインタビューや写真が掲載された
400ページの圧倒的ボリュームのメモリアルブック。

大佑 1978-2010
通信販売限定
A4変形判 全400ページ
価格:¥10,500(税込)
※この商品は一般書店では発売致しません。

購入特典:
B5ポートレート6枚+B5オリジナルクリアファイ
大佑が実際に着用した衣装の一部を封入
※衣装封入は申し込み先着順になります。
予定枚数になり次第、代替特典となりますので予めご了承ください。

通信販売限定商品・WEB申込受

申込締め切り:2011年7月14日(木) 23

※商品は12月25日頃から順次発

この商品に対するお問い合わせは大佑 メモリアルブック事務局ホームページ内メールフォームより

■お申込み方法
パソコンまたは携帯電話(一部対応していない機種もあります)から、
大佑 メモリアルブック事務局ホームページにアクセスしてお申し込みください。

【PC】
https://www.e-fanclub.com/daisuke/webshop/
【携帯】
http://www.e-fanclub.com/daisuke/webshop/i/ishop/index.asp

■携帯からのお申込み

■お支払方法
《コンビニ振込》
ご注文をお受け次第、大手のコンビニエンスストアからご入金いただける専用振込用紙を、郵送致しますので、内容をよくご確認のうえ、ご入金ください。

《郵便振替》
ご注文をお受け次第、全国の郵便局からご入金いただける専用振込用紙を郵送いたしますので、内容をよくご確認のうえ、ご入金ください。
郵便局からのご入金確認後、商品を発送致します。

■商品のお届け
商品は宅配便(佐川急便)に
商品は12月25日頃から順
※2010年12月15日(水)
日(木)の間にお申込、ご入
送予定が上記期間を予定
は、年末年始休業により20
以降に順次発送をおこなう
で、何卒ご了承下さい。

3タイトル連続リリース!!
第三弾!!
「Juggernaut」
2010.12.15 in store
初回限定盤:LACM-34769 CD(2曲+Inst.)+DVD(MUSIC CLIP) ¥1,800(tax in) 通常盤:LACM-4769 CD(2曲+Inst.) ¥1, 200(tax in)
発売元:株式会社ランティス 販売元:バンダイビジュアル株式会社
2010年11月27日公開劇場版「マジンカイザーSKL」エンディング主題歌
マジンカイザーSKL公式HP http://www.mazinkaizer.com/
第一弾!! 09.29「クライモア」/ 第二弾!! 11.03「棘-toge-」
テレビ朝日「セレクションX」エンディング曲
Sadie
30カ所32公演ツアー!!
シングル3タイトル発売記念 tour2010
「Deep impact」
10月01日(金) 京都MUSE / 10月02日(土) 神戸VARIT. Open 18:00 / Start 18:30 / 10月08日(金) HEAVEN'S ROCK 熊谷VJ-1 Open 18:30 / Start 19:00
10月09日(土) 横浜BAYSIS Open 18:00 / Start 18:30 / 10月11日(月) HEAVEN'S ROCK さいたま新都心VJ-3 Open 17:30 / Start 18:00 / 10月16日(土) 滋賀U★STONE Open 17:30 / Start 18:00
KRAPS HALL / 10月24日(日) 札幌KRAPS HALL / 10月27日(水) 青森QUARTER Open 18:30 / Start 19:00 / 10月28日(木) 盛岡club Change WAVE Open 18:30 / Start 19:00
10月29日(金) 山形ミュージック昭和セッション Open 18:30 / Start 19:00 / 10月31日(日) 仙台CLUB JUNK BOX Open 17:30 / Start 18:00 / 11月03日(水) 柏PALOOZA Open 17:30 / Start 18:00
サンフォニックスホール Open 18:30 / Start 19:00 / 11月06日(土) 浜松FORCE Open 18:00 / Start 18:30 / 11月07日(日) 岐阜club-G Open 17:30 / Start 18:00 / 11月10日(水) 広島ナミキジャンクション Open 18:30 / Start 19:00
山IMAGE Open 18:30 / Start 19:00 / 11月13日(土) 米子AZTiC laughs 旧 米子ベリエ Open 18:00 / Start 18:30 / 11月20日(土) 長野CLUB JUNK BOX Open 18:00 / Start 18:30 / 11月21日(日) 金沢AZ Open 17:30 / Start 18:00
新潟CLUB JUNK BOX Open 17:30 / Start 18:00 / 11月27日(土) 沖縄 桜坂セントラル / 12月03日(金) 高知X-pt. Open 18:30 / Start 19:00 / 12月04日(土) 松山サロンキティ Open 18:00 / Start 18:30
12月08日(水) 鹿児島SR HALL Open 18:30 / Start 19:00 / 12月09日(木) 熊本DRUM Be-9 V2 Open 18:30 / Start 19:00 / 12月11日(土) 福岡DRUM SON Open 18:00 / Start 18:30
12月12日(日) 福岡DRUM SON / 12月22日(水) 大阪BIG CAT / 12月25日(土) 名古屋E.L.L
前売 ¥3,800 (D別)
Tour Final
STUDIO COAST
Open 16:00 / Start 17:00 前売 ¥4,300 (D別)
それ以外の公演は2マン公演になります。)
Lantis Lord Camelot. BLANCHE ARIA FERNANDES FACE MUSIC
FACE MUSIC Co.,Ltd 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27-506 http://www.facemusic.jp
蝴蝶网 hudie.com

SEVEN SEAS NEXUS KING RECORDS http://www.onmyo-za.net

TOKYO JAM

蝴蝶网
hudie.com

人間の心の機微を音楽へと昇華する陰陽座の全作品を余すところなく収録。これはまさに、"陰陽"の"大全"である。

10年間で紡ぎ上げた123の楽曲に、シングル曲のビデオクリップまですべて収録した、陰陽座の歴史の総決算たる究極の"匣詰(ボックス・セット)"。
常に前を向いて歩み続ける陰陽座を次なる一歩へ推し進めるべく堂々と放たれる、謹製の逸品!!

【おんみょうたいぜん】

『陰陽大全』

KIZC-101~113 26,250円(税込)
CD12枚+DVD1枚、総計123曲収録

＜完全限定生産＞

●豪華特製収納匣仕様●全音源・全楽曲デジタル・リマスタリング
●ピクチャー・レーベル仕様●特製別冊歌詞全集
●全オリジナル・スタジオ・アルバム(CD10枚)
●アルバム未収録楽曲全集(CD2枚)●ビデオクリップ全集(DVD1枚)

＜封入特典＞

★瞬火デザインによるオリジナルT字型シャツ(Mサイズ)
★歴代バックステージ・パスの復刻レプリカ 5種セット

12.22 IN STORES

■<CD>【オリジナル・スタジオ・アルバム】

Disc-1:「鬼哭転生」1.降臨 2.眩暈坂 3.鬼 4.逢魔刻 5.文車に燃ゆ恋文 6.氷の楔 7.鬼斬忍法帖 8.百の鬼が夜を行く 9.陰陽師 10.亥の子唄

Disc-2:「百鬼繚乱」1.式を駆る者 2.桜花ノ理 3.塗り壁 4.瘋狂院狂人廓 5.八咫烏 6.歪む月 7.帝国魔魅譚 8.化外忍法帖 9.奇子 10.がいながてや

Disc-3:「煌神羅刹」1.羅刹 2.朧車 3.煌 4.牛鬼祀り 5.烏天狗 6.陽炎忍法帖 7.月に叢雲花に風 8.組曲「黒塚」～安達ヶ原 9.組曲「黒塚」～鬼哭啾々 10.おらびなはい

Disc-4:「封印廻濫」1.火車の轍 2.百々目鬼 3.窮奇 4.空蝉忍法帖 5.土蜘蛛忌譚 6.蟒蛇万歳 7.浸食輪廻 8.月姫

Disc-5:「鳳凰麒麟」1.焔之鳥 2.鳳翼天翔 3.麒麟 4.妖花忍法帖 5.鵺 6.姦原火 7.飛頭蛮 8.面影 9.星の宿り 10.舞いあがる

Disc-6:「夢幻泡影」1.夢幻 2.邪魅の抱擁 3.睡 4.鼓動 5.舞頚 6.輪入道 7.煙々羅 8.涅槃忍法帖 9.夢虫 10.河童をどり

Disc-7:「臥龍點睛」1.蜃 2.龍の雲を得る如し 3.彷徨える 4.甲賀忍法帖 5.不知火 6.鬼ころし 7.月花 8.蛟龍の巫女 9.組曲「義経」～悪忌判官 10.組曲「義経」～夢魔炎上 11.組曲「義経」～来世邂逅 12.我が屍を越えてゆけ

Disc-8:「魔王戴天」1.序曲 2.魔王 3.黒衣の天女 4.不倶戴天 5.覇道忍法帖 6.ひょうすべ 7.大獄 8.骸 9.接吻 10.生きることとみつけたり

Disc-9:「魑魅魍魎」1.酒呑童子 2.蘭 3.がしゃ髑髏 4.野衾忍法帖 5.紅葉 6.青坊主 7.鮎 8.しょうけら 9.鬼一口 10.道成寺蛇ノ獄 11.鎮魂の歌 12.にょろにょろ

Disc-10:「金剛九尾」1.襮 2.蒼き独眼 3.十六夜の雨 4.小袖の手 5.孔雀忍法帖 6.挽歌 7.相剋 8.慟哭 9.組曲「九尾」～玉藻前 10.組曲「九尾」～照魔鏡 11.組曲「九尾」～殺生石 12.喰らいあう

■【アルバム未収録楽曲全集】

Disc-11:「稀少逢結【動】」1.醒 2.鐵囃子 3.飛影 4.荊棘忍法帖 5.泥田坊 6.傀儡忍法帖 7.跫音 8.木葉天狗 9.鬼門 10.わいら 11.卍 12.悪路王

Disc-12:「稀少逢結【静】」1.紅き群闇 2.微睡忍法帖 3.目々連 4.静ヶ沼 5.槐龍の木 6.梧桐の丘 7.螢

■<DVD>【ビデオ・クリップ全集】

Disc-13:「活動履歴」1.月に叢雲花に風 2.妖花忍法帖 3.鳳翼天翔 4.醒 5.睡 6.組曲「義経」～悪忌判官 7.組曲「義経」～来世邂逅 8.甲賀忍法帖 9.黒衣の天女 10.紅葉 11.蒼き独眼

「陰陽座×キングレコード コラボレーション・パーカー」キングレコードe-shopにて独占販売中!詳しくは→http://www.kingrecords-eshop.jp/onmyoza

TOKYO JAM

CONTENTS

146 Waive
ウェイブ

148 NoGoD
ノーゴッド

150 東京ミカエル。
トウキョウミカエル

152 ダウト

086 BORN
ボーン

088 愛狂います。×R 指定
アイクル × アールシテイ

098 ν
ニュー

100 DOG inThe パラレルワールドオーケストラ
ドッグ・インザパラレルワールドオーケスト

104 Brother
ブラザー

108『NEO VOLTAGE』対談

112 SHOXXオムニバスCD『Explosion showcase』対談

116 SHOCK WAVE アポロ

118 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!

宇宙戦隊 NOIZ
ウチュウセンタイノイズ

PIECElang
ピースラング

SEX-ANDROID
セックス・アンドロイド

Book in Book

050 ★スペシャル綴じ込み付録
SuG サグ
「Crazy Bunny Coaster」に迫る!!

124 ぽっくんの早耳情報
129 エクスペクトラッシュ
FEST VAINQUEUR
フェストヴァンクール
スカーレット
A
エース
連載
134 アーティスト BOX
140 プレコン WORLD
142 ぽっくんの主張
143 大島暁美のロックンロール日記
144 ミッション イン ぽっくん
029 応募者全員プレゼント

>> マークの説明 <<

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか?」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか?」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか?」

Editorial in chief/Kuniaki"B"Suzuki
Editors/Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director/Youki Maenohama
Design Stuff/Yoichirou Fujii,
Maki Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi(Bakery37.1),
Nakane(amulet label),
Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu,
Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics,
Asaka Yamamoto(glitter glow)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.217は2011年1月21日(金)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所/株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3Daiwa銀座アネックス5F
TEL/03-3574-0201(代表)
発行人/荒井敏行
編集人/鈴木邦昭
製版・印刷/株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日/2011年2月1日
特別定価/1,200円本体1,142円

蝴蝶网 hudie.com

TOKYO JAM

SHOXX

2011
2月号
Feb Vol.216
Cover Model : ViViD
Photo : Hiroe Yamauchi(PROGRESS)
Design : Youki Maenohama

012 **ViViD** ヴィヴィット
Part 1 : メジャー・デビュー・Sg「「夢」~ムゲンノカナタ~」に込めた5人の決意
Part 2 : 今、それぞれの想い~パーソナル・インタビュー~

蝴蝶网
hudie.com

031 **YOMI**（ナイトメア） ヨミ
2010年は"吸"の年。そして、2011年は"鋭"の年へ…

038 **沙我**（Alice Nine） サガ・アリスナイン
高みを目指す真の意

044 **Plastic Tree** プラスティック トゥリー
月世界旅行、無事帰還。

047 **LM.C** エル・エム・シー
11月17日・渋谷AXでのスペシャル・ナイト★

052 **D** ディー
アルバム『VAMPIRE SAG
世界とは？

058 **ギルガメッシュ**
アルバム『GO』を探る!!

060 **D'espairsRa** ディスパーズレイ

062 **陰陽座** オンミョウザ

064 **摩天楼オペラ** マテンロウオペラ

068 **AYABIE** アヤビエ

070 **Mix Speaker's,I** ミックス・スピーカーズ・インク

072 **ゾロ**

074 **DaizyStripper** ディジーストリッパー

076 **HERO** ヒーロー

080 **アンド**

084 **TOON-FACTO** トゥーン・ファクトリー

2011年1月19日にリリースされたNEW SINGLE「「夢」～ムゲンノカナタ～」にて、メジャー・デビューを果たすViViD。日本音楽史上最速記録でライヴ動員を増加させ、その人気・実力を持って、結成からわずか2年でメジャー・シーンへ駆け上がる事となった彼ら。今回は、そんな彼らに、メジャー・デビュー・シングル「「夢」～ムゲンノカナタ～」に込めた想いと、メジャーと言うシーンを目の前にした現在の心境を、パーソナル・インタビューと言う形で、一人一人にじっくりと話を聞いた。

Photography:HIROE YAMAUCHI（PROGRESS-M）
Art Direction:YOUKI MAENOHAMA
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:SAYAKA
Back:BACKGROUNDS FACTORY

蝴蝶网 hudie.com

TOKYO JAM
hudie.com

TOKYO JAM 蝴蝶网
hudie.com

TOKYO JAM
蝴蝶网
hudie.com

Vo. シン

ていますか。

「これから、またツアーも始まるし（11月初旬時点）、C.C.Lemonホールもソールドアウトしたので、すごくテンションは上を向いているんですよ。ただ、メジャー・デビューをしようがしまいが、今まで自分たちがやってきたことをこれからもただ続けていくだけのことだし、デビューのその先を見据えていますからね。あくまで、ひとつのチェックポイントなんじゃないかな、とは思っていて。もちろん、プロとしての自覚を持ってやっていかなきゃいけないし、多くの人にViViDを知ってもらう良い機会なので、第2のスタートにはなりますけどね」

――ヴォーカリストはフロントマンでもありますから、きっと求められるものは多いと思うんですが…こらからプロとしてより成長していくために、必要なのはどんなことだと思っていますか？

てすぐに崩れちゃうだろうし。中でも、フロントマンである俺が一番ブレちゃいけないと思うんですよ。だから、フロントマンとしての自覚を持って、ViViDだけじゃなくて、事務所や周りの関係者を背負って立てるような男に、早くなれたらいいなと」

――現時点で、どれくらい〝背負って立てる男〟になれていると思いますか？

「いや、全然ですよ。もちろん、始めたときより成長はしていますけど、まだまだこれからです」

――その始めた当初と今とを比べて、自分的に一番の変化というと、どんなことなんでしょう。

「自分の生活の中におけるViViDの割合が、どんどん大きくなっているんですよ。今は、人生すべてがViV

ろいろ思うことがあって考えられるんですよ。そうやって刺激を受けるのも、自分が成長する上では大事なことだなと思いますね」

――確かに、表現活動をする上で〝触発される〟というのは重要なポイントかもしれません。他に、シンさんが刺激を受けることとか、ものってありますか？

「歌以外に、自分にもうひとつ、刺激を与えてくれるものを何か見つけようと思っていて。最近は、映画を観るようにしているんですよね。今回のシングル「「夢」～ムゲンノカナタ～」の歌詞も、映画『メン・イン・ブラック』からヒントを得ていますからね、実は。といっても、最後の1シーンだけなんですけど。それまでストーリーが展開されていた世界を、カメラが引きながら映していくと…ひとつのビー玉なわけですよ。それを観たとき、〝俺らの世界って超ちっぽけじゃん〟って思ったんですよね」

――そういうことでしたか！ それにしても、そのシンさんの目の付けどころが面白いです。

「意外なところに、ヒントって転がっているんですよね。でもたぶん、自分は、人と観点が違っているんだろうなとは思います」

――そして、それこそがシンさんの強みでもありますし。

「そうなんですよね。詞を書く人間としては、良いことかなとは思うし。そういう自分ならではのセンスは、これからも磨いていきたいと思いますけどね」

――シンさんの歌詞を読んで、力をもらえたり、勇気をもらえたり、希望を持てたり…救われている人も多いでしょうしね。

「ホント、そういう声はこれまでもたくさんいただけているんです

あるんですね。

「そう、そうやって1人の人間の命を救えたことは、純粋にすごく嬉しくて。たとえば野球でもプロレスでも、ひとつの道を突き詰めてプロフェッショナルとして活躍する人って、〝世の中を変えたい〟って言うけど、ホントに俺が人1人の命を救えたなら、音楽で世の中を変える第一歩を踏み出せたのかなって思うし。そういう意味で、メジャーで活動するっていうことは、より大きな影響力を持つということでもあるので、ちゃんとメッセージを発信していきたいんですよね。それこそ、世の中に貢献できるようなアーティストになりたいので」

――〝ヴィジュアル系〟って、破壊的だったり、退廃的だったりするバンドも多いし、外野から妙な偏見を持たれている節もありますが…ViViDは社会貢献できるバンドだと。

「俺たちは、人に優しいヴィジュアル系を目指してますから（笑）。曲調はロックだしとことん激しいものもありますけど、俺なりに1曲1曲にメッセージを込めているので。それを感じ取ってもらえたら、嬉しいなって思いますよ」

――兎にも角にも、表現者として非常にポジティヴな状態ではあるようですね。

「とりあえず、気持ちはオフェンス（攻撃的）なんですよ。基本的に負けず嫌いなので、人前では出さないけど、結構負けん気が強いし。特に最近は、家で沸々と〝なにくそ～〟っていう闘志を燃やす時間が、多い気がしますね。メンバーやファン、関係者以外は、周りが全員敵に見えるし」

――アグレッシヴな姿を見せるステージは別として、普段のシンさんは至って穏やかな印象なので…それは意外ですね。

「そう、意外と穏やかじゃないんだなって。自分たちの家族や仲間、応援してくれているファンのみんなっていうかけがえのない存在以外に向けては、精神的に結構トガっているっていうことに、自分でも最近気付き始めたんですよね」

――その攻めな姿勢が自分たちの活動にプラスに働けば、より骨太いバンド

んですか？

「ひたすら散歩しますね。散歩すると、発散できるんですよ。俺は歩くことが苦じゃない人なので、家の周りとか、日によってはちょっと違う道を行ってみたりして。それで近道が発見できたら〝ラッキー！〟って思うし。あとは、趣味に没頭することで、鎮められるかもしれないです」

――シンさんはどんな趣味をお持ちなんですか？

「えーと…ゲームとか（笑）。ホントに何もやらなくていい日は、3時間ぐらいやると、いいんですよ。ま、前は1日中やっている日もありましたけど、今は寝ちゃうんで」

――相当多忙でしょうから、そりゃ疲れていますよね。

「たぶん、そうだと思いますね。しかも俺、人一倍疲れやすいと思うんですよ」

――だとしたら…ライヴって心身ともに相当負荷がかかりますよね。

「これまでやってきたすべてのワンマンの次の日は、だいたいソファーから一歩も動いていないですからね。ワンマンツアーはまだ経験したことがないのでわからないですけど、ちょっと危険な気はします（苦笑）」

――考え得る克服法は、何でしょうかね？

「しっかりと湯船に浸かるとか、そういう系ですかねぇ。もちろん、1本1本で全力を出し切るので…完全に体力を回復してから次のステージに臨む、それしかないです」

――というシンさんが描く、5年後の理想像は？

「ViViDを続けていられたら、すごく幸せですよね。その上で、大きい会場でライヴができるようなバンドになれていたら…これ以上の幸せはないなと。最高のメンバーだと思うし、最高の事務所に巡り合えたし。この勢いを失うことなく、いつか国民的なバンドになれたらいいなとは、思っていますよ」

――やるからには、やはりそこを目指していきたいですよね。その自信のほどは？

「いや、十分にありますよ。この5人なら、怖いものはないです！」

TOKYO JAM
hudie.com

Gt. 零乃

――インディーズ・ラスト・ライヴ、メジャー・デビューを前に、最近はこと忙しいかと思いますが…心身共に、どう過ごしていますか？

「仕事的には順調なぶん、プライベートでいかにオン・オフをはっきりさせるかっていうのが大事で、俺の場合。オンにすることはすぐできるんですけど、家に帰ってもなかなか力が抜けないというか、オフにすることがなかなか難しいなぁとは思いますね」

――そういうときの零乃さんなりの特効薬、あるわけですか。

「お酒を呑むとかしてリラックスすることですかねぇ。あと、お風呂に入ったりとか、テレビを観たりとか。普通のことをすると、外で張っていた気を緩めることができますね。でも、あんまり疲れていると、お風呂にも入らずに寝ちゃって、起きてから後悔したりするんですけど（苦笑）」

――人間ですから、どうしても弱い自分に勝てないときはあります。

「でもホント、1人の人間だし、1人の男でもありますからね。家に帰ったら零乃じゃない素の自分でいたいし、それがちゃんとできることで、次の日にはまたスパっと仕事モードに切り替われると思うので」

――そしてひとたびオンになれば、この先に向け沸々と内に燃やしている想いもあるのではないですか？

「それはもちろん、あります。個人的にもバンド的にも、まだまだできること、やりたいことはあるし。ただ、1年半でここまできたことで、自分たちが思っているよりも、周りの方々が自分たちに対して騒いでくれていたりしますけど、逆に自分たちは至って冷静で。自分たち自身が盛り上がってしまったら、絶対に足元は見えないし、それが一番怖いと思うんですよ」

――今の時点でそれが自覚できているとは、なんて賢明なんでしょう。

「これまで、大きな問題はないものの、それなりの浮き沈みはありましたからね。特に沈んだ場合は、ライヴの空気だったり、バンド内の雰囲気だったりで、すぐわかったりするし」

――それがわからないのも怖いですけ

近ダメだな〟とか、リアルにわかっちゃいますからね。そういうときは、喝を入れたりしますけど。俺、A型だからか、そういう空気には敏感だし、神経質だと思いますね。バンドのリーダーというポジションからすると、それは良いことなんでしょうけど…考えすぎる部分は玉に傷というか（苦笑）。実際、そこまで問題になるようなことではないのに、俺だけ考えすぎていたっていうことはよくありますからね。でも、何も考えないで気付かないよりは、些細なことに気が付いて、〝あれは自分の妄想だったんだな〟っていうことで終わればいいと思うし」

――ただ、そうやって何でも考えすぎてしまうと…自分が疲れますよね。

「ホント、疲れますよ（苦笑）。そうやってストレスが溜まって、気付けば部屋の中はグチャグチャ…みたいな。大体、部屋が片付いているかどうかで、俺の精神状態がわかりますからね」

――そこがバロメーターなんですか。

「かなりわかりやすいですよ。部屋の中がキレイなときは、仕事もプライベートもちゃんと安定しているんですけど、部屋が汚いと、精神的にかなり切羽詰まっているっていう証拠なんで」

――もし切羽詰まっていたり閉塞感に支配されてしまったら、どうやって打破しているんですか？

「部屋の中を片付ける、これは結構デカいんですよね。部屋をキレイにすると、スッキリして気分が良くなるし。仕事で、もしイヤなことがあっても、部屋を片付けることで、心も掃除できるというか。だから、掃除しだしたら止まらないんですよね。とことんやりますよ」

――ちなみに、今のお部屋の状態は？

「今は……ちょっと汚いですね（苦笑）。今朝起きて思ったんですよね。〝あれ、足の踏み場が少なくなってるかも〟って」

――そろそろ…ですかね。

「ですねぇ。自分の部屋って、誰もがリラックスできる場所ですからね。そこをいかにストレスなくするか、これは大事なことだと思うので。それこそ、

――頑張ってください。ところで、零乃さんにとって、メジャー！シーンで活動していく上で、失くしちゃいけないと思っているものって何ですか？

「ギターを始めて、バンドを始めて、いつかプロになりたいと思っていた頃のことを思い起こすと、ついに夢が叶うわけですからね。不思議なもので、いざデビューが決まってみれば、ここだけにとどまっていられないって、さらにその先を見ていますけど…やっぱり、〝ついにここまで来られたんだ〟って思うことも大事だなとは思っていて。進むスピードが速いと、昔思っていた気持ちを忘れがちになると思うけど、そこはいつまでも忘れちゃいけないんじゃないかなって」

――そう心がけていれば、きっと大丈夫ですね。

「うん、自分の信念がブレなければ、何が起こっても大丈夫だとは思っているので。ただ、このスピード感に、自分たちが振り落とされそうなときはあるんですよ、正直。バンドの名前が先行して、自分たちの精神面が追い付いていないというか。年齢的には、まだみんなガキだったりもするし、ドシっと構えるには早かったりするから…いかにそこに追い付くかっていうところで、カラ回りしたり、背伸びし過ぎたりして」

――でも、実際みなさんにお話を聞いていて、幼さは感じないですからね。どうしてそんなにしっかりしているん

――みんな一様にストイックだし…投げ出したくなったり、怠けたくなることはないんですか？

「いや、思ったりはしますよ。でも、たとえば練習でも曲作りでも、バンドに関することはやらなきゃいけないじゃないですか。そこは、ある意味絶対なんですよ」

――鋼の意志ですね。羨ましいです。

「でも、昔は結構、面倒くさいこと、やりたくないことからは逃げていたし、現実逃避もしていたんですよ、実は」

――零乃さんがですか？ 想像できないですけど…そういう自分を、自ら変えたんですか？

「そうなんですよ。そういう男らしくない、弱い自分が嫌いだったし、変えたくて。だから、自分にどんどんプレッシャーをかけていったんですよ。で、一度乗り越えられたら、怖くなくなっていって。たとえば、職員室に呼び出されたら、絶対怒られるわけだから行きたくないじゃないですか」

――まぁ…逃げたいですよね。まず、職員室のドアを開けるのが怖すぎます。

「そうそう。でも、勇気を振り絞って

何かが変わるし、それができれば、どんな壁も乗り越えられると思うんで。これから先、もちろん良いことばかりじゃないだろうけど、そうやって逃げずに立ち向かって、それを自分の血や肉にすれば、きっと上まで行けるんじゃないかなって」

――そこまで覚悟できていると。

「一番怖いのは自分自身だったりしますからね。揺るぎないと思っていても、もし弱さが出てしまったら崩れてしまうかもしれないし。俺はリーダーだし、大黒柱でなきゃいけないけど、そのぶん良い意味でのプレッシャーは感じていますよ」

――その上で、5年後、こうなっていたいという理想像というと？

「東京ドームには立っていたいですね。っていうか、立っていないと…間に合わない」

――…何に!?

「いや、ドームに立つときの年齢が、他のどのアーティストよりも若くないといけないし。やっぱり、目指すは一番なんで。日本を代表するロックバンドになりたいんですよ

Tokyo Jam 蝴蝶网
hudie.com

TOKYO JAM
蝴蝶网
hudie.com

TOKYO☆JAM

Gt. 怜我

——大きな転機を前にすると、期待感もあれば少しの不安感も生まれたりもしますが…。インディーズ・ラスト・ライヴ、そしてメジャーデビューに向け、怜我さんとしてはどんな状態にあるんでしょう。

「そうですねぇ…ま、やるだけなんじゃないかとは思っているんですよ。確かに、俺らがこれから挑むことって、なかなかないことじゃないですか。誰もが立てる場所じゃないし、誰もが進めるシーンじゃないし。でも俺たち自身は、やることも目指すところも、ずっと前からひとつだけなので。周りからは称えていただいたりするんですけど、何を言われても動じていないし。メンバーもきっと、そうだと思います。もちろん、音楽をする環境はすごく良くなったし、仲間と呼べる方たちが増えたことは、すごく嬉しいですけどね。そのことで、表現もしやすくなったし」

——変化はすべて、プラスの方向に作用していると。

「そうなんです。メジャーに行ったら変わってしまうっていう心配をしているファンの子もいるけど、気持ちが変わらないんだから、気にする必要はないと思うし。今まで通りに、いや、今まで以上に、音楽に対してアツくなれているので、むしろ楽しみにしててくださいよ、っていう感じですからね」

——頼もしい発言、安心しました。

「今、特に曲作りの期間ではないんですけど、進んで曲を作っていたりして。今までは〝これはできなさそうだね〟って断念することもあったんですけど、表現できる幅が広がったことで、それがなくなったので」

——何をどうして、表現の幅を広げることができたんでしょう。

「デジタル関係専門のスタッフが増えたことによって、今まで入れることができなかったシンセの音を曲中で表現できるようになったことが大きいですかね」

——そうなれば、確かにより創作意欲も湧いてきますよね。とはいえ、時間的にはすごく忙しいでしょうし、思わず心が折れそうになることはないんですか？

「曲を作る度に、心は折れそうになりますよ（苦笑）」

——それでも、たとえばデビューシングルの「「夢」～ムゲンノカナタ～」にも怜我さん作曲の「Rem」が収録されていたりするし、そういった難局を乗り

開策が、きっとあるわけですよね。

「もうダメだって諦めそうになるけど、諦めないことですかね。周りからの期待とかプレッシャーは増していると思うんですけど、だからこそやらなきゃいけないんだという気持ちに、自分で拍車をかけるというか」

——そこは、自分の心持ちひとつですか。

「そうですね。たとえば、簡単な問題を解くより、難しい問題をクリアしたほうが達成感があるだろうし。たぶん、それと似ているような気はしますね。プラス、周りから意見をもらえると、それが合っていても間違っていても、力に変えようともするし」

——そうやって人の話に耳を傾けられるというのは、大事なことです。まずは話を聞いて、そこから自分にとって必要か必要ではないか、判断すればいいわけですもんね。

「そう、そうなんですよ。それこそ、今までは真っ正面からきた意見をそのまますべて受け止めていたし、そのせいで疲れちゃっていた部分もあるけど、今はいろんな人の話を冷静に受け止めて、自分に必要だろうなと思う部分を選べるようになってきたので。成長したんですかね」

——精神的に未熟だと、それができなかったり、したくなかったり…周りにどう言われてもエゴを貫きたい時期だってあるでしょうし。

「それ、わかります。俺もきっと、そういう時期があっただろうし。でも、自分が目指すとか、あれはイヤだからやらないとか、そういうことじゃないなって、最近は思うんですよ」

——メジャーシーンで活動する上では、なおさらその感覚は求められますよね。

ともありますけど、バランス感覚はちゃんと保っておきたいなって」

——メンバーとの信頼関係も含めて、そこは心配なさそうですけどね。

「前より一緒にいる時間も多いっていうのもあるんだろうけど、メンバーで話す機会っていうのも、すごく多くなりましたからね。メンバーとの信頼関係がブレたら、終わりだと思うし」

——忙しい中でも、お互いの歯車はちゃんと噛み合っているし、噛み合わせようとする努力をしていると。

「V-i-Dはどんどん成長していけると思っていますよ」

——そうやってストイックに音楽に向かう一方、怜我さんにとっての日々の愉しみというと？

「あの…趣味がないんですよね、俺。でも、最近は車を運転するのが好きかな。ちょっと前までは、スタッフさんに甘えて運転してもらっていたんですけど、やっぱり自分で運転しようと思って。その間に、スタッフさんも自分の仕事ができるわけだし」

——そういう気遣い、素敵です。

「いや、そんな言っていただくほどじゃないんですけどね（照笑）。でも、運転し始めたら、これが楽しくて」

——楽しさに目覚めてしまいましたか。

「そうですね、完全に。今までも運転はしていたんですけど、目覚めちゃったみたいです。でもそれ以外は…やっぱ趣味ねぇな！　…いや、ありましたっ。来年、ボードに行こうと思っていて」

——スノーボード、楽しいらしいですよね。ただ…特に腕のケガにはご用心ですっ。

「そうなんですよね。だから、プロテクターとか、恥ずかしくても付けていきますよ。なんか…アクティヴな感じになりたいんですよね」

——一体何が、怜我さんにそう思わせているんでしょう。

「結構、引きこもっている時間が長かったんですけど…それってもったいないねぇなって気付いたんですよね（苦笑）。今になっていろんなものに触れてみると、そのことで気分転換ができたりするって

かったですからね。進んで何かしようとは思うし、オフの日に家にいるのはもったいないって思うようになりましたよ」

——そうやって外に出ると、いろいろな人と出会ったり、刺激を受けたりして、そこで人として得るものもあるでしょうし。そういう意識の変化が、何かしら福音をもたらしてくれると良いですよね。

「それはホント感じますよ。オフの日にムリして外に行って、帰ってきたら当然疲れてはいるけど、〝やっぱり行って良かった〟って思いますからね。ちょっと体はムリしてでも、いろんな方向にアンテナを張って動いたほうが、気持ちの変化もあると思うし。考え方も広がると思いますからね」

——じゃあとりあえず、スノーボードに行ったとき、雪景色なんかを見て新たな曲のイメージが浮かんだら良いなぁなんて、淡い期待をしておきます。

「それ…狙いましょう！（笑）」

——という怜我さんですが、たとえば5年後、こうなっていたいなと思い描く理想像があるとしたら？

「どうなんですかねぇ…何でもいいと思いますよ。V-i-Dさえあれば。ただ、いくつか挑戦したいことはあるんですよね」

——そのヒントは教えていただけますか？

「いや、まだ秘密で。ま、メンバーぞれぞれ、いろいろやりたいことはたくさんあると思うし、それは俺も楽しみにしていて。ただ、そこにV-i-Dがないとイヤだなとは思いますけどね」

——そこ、重要ですね。ちなみに、ギターヒーローへの憧れは？

「ありますよ。俺にとってはL'Arc~en~Cielのkenさんが絶対的なギターヒーローですけど、何ならヒゲ生やしたいですからね（笑）」

——あまり想像はできないですけど…見てみたいかも。

「しかも、めっちゃロン毛で真ん中分けとかにしたりとか（笑）。それはさすがに言い過ぎですけど、理想を追い求めながら、自分もいつか、キッズに憧れられるような存在にはなりたいですよ」

蝴蝶网 hudie.com

TOKYO JAM
hudie.com

Ba. イヴ

——インディーズ・ラスト・ライヴ、メジャー・デビューを目前に控え、イヴさんは今、何を思うのかなというところから、聞かせていただきたいわけです。

「メジャー・デビューっていうのはひとつの夢でもあったから、もちろん嬉しいんですけど…実際にバンドを始めてみたら、インディーズとメジャーってそこまで変わらないなっていうことを思っていて。そういう意味では、C.C.Lemonホールでワンマンライヴができて、それがソールドアウトしたっていうことのほうが、嬉しいかもしれないですね」

——よく、大きな会場でのライヴを前にして、〝昔、その会場の前でビラ配りをしたことがあるんですよ〟ということを明かす人もいますが、それこそイヴさんも、C.C.Lemonホールの前でビラ配りをしたことがあったりして？

「もちろんありますよ。だから余計、感慨深いというか。そこに自分が立つって考えたら、すごく気が引き締まりますよ。絶対良いライヴにしたいし、しなきゃいけないなって思うし、そのために今は調整中です」

——当然、忙しい日々が続いていると思いますが、その中でもこれは欠かさずにやっているということ、何かありますか？

「忙しくても、筋トレとベースに触れるっていうのは、欠かしていないですね」

——今日は疲れたからやめちゃおうとか、思わないですか。

「思わないんですよね。筋トレは好きだし、ベースは仕事なわけだし。やらないとヤバいって思うんですよね。最近、それがちょっと病気気味なんですけど（笑）」

——昔は、そこまでの強迫観念は持っていなかったですか。

「うん、そこまではなかったと思います」

——今それが強くあるというのは、危機感ゆえなんでしょうか。

「確かに、危機感は常に抱えて生きている人間ですけど…うん、ここ最近は特に、危機感は強く持っているかもしれませんね」

——たとえば今だったら、バンドとしては、希望的な要素が揃っていますけど…だからこそ危機感を持っておかねば、ということだったりして？

「そう。バンドの速さについていけるように、自分も頑張っていかないといけないですからね」

——現時点でのバンドと自分の距離感を、自身ではどう感じています？

「いやぁ…ついていけているといいんですけどね。俺が1人でも遅れたらバンドのスピードも落ちるだろうし、そこは常に気を張って、努力を重ねていきたいですけどね」

——その上で、バンドとしても、個人としても、これからますます高いステージを目指しているでしょうが、イヴさん的に今後必要だなと感じているのは、どんなことなんでしょう。

「技術とか安定感、集中力ですかね。そのへんは、これからもっともっと必要になってくるかなと思います」

——集中力に関しては、いろいろな誘惑を絶って保つこと、なかなか難しいですけど…何か秘策はあったりするんですか。

「そうなんですよね。でも、たまに映画は観るけど、テレビももともと観ないし…あと、昔はよくゲームをしていたんですけど、最近はすっかりやらなくなりましたからね。あんまり人とも遊ばないし。前にも増して、人と遊んだりゲームをしている時間がもったいないなって、思うようになっているんですよ」

——多少、人から〝最近付き合い悪いよ〟と言われたとしても、今はそれで構わないと。

「そういう時間を、筋トレとかベースを弾くために使って、自分というものをレベルアップさせることのほうが楽しいですからね」

——そして、筋トレもベースの練習も、日々重ねることで、前はできなかったことが今日はできたとか、

「そうすると、じゃあ次はこれをやってみようとか。そういう欲が尽きないんですよね」

——プラスの連鎖が、やがて大きな達成感へとつながりそうです。そうやってストイックに自分を磨きつつ…今一番楽しいことは？

「楽しいことか…週に1回の少年ジャンプですかね（笑）。俺、全然楽しみのない人なんですよ。でも、バンドやってて楽しいので、楽しいことを仕事にできているんだと思うと、それはありがたいことだなって思います」

——確かに、好きなことを仕事にできるって、すごいことです。

「バンドを始めたときから〝プロになる！〟とは思っていたけど、それこそViViDを始める前までは、きっと心のどこかで、バンドを趣味としてとらえていたんですよ。今思えば、当時はまだ何もわかっていない10代だったし、本気半分、趣味半分みたいな感じで。それが、ViViDを始めてからは気持ちが完全に切り替わりましたからね。もちろん楽しさもあるけど、これは仕事なんだって。だから、最初は半ば無理矢理、筋トレという趣味を見つけた感じです（笑）」

——そのことで、自分の中でのバランスが保たれているんでしょうし。

「そうですね。もともと運動は好きだし、体を動かしているのは楽しいですね。ライヴを基準に運動しているし、体作りをしておけば良いことは多いんじゃないかなって思います」

——実際、ワンマンライヴでも体力的にキツいなと思うことはないですか。

「俺、全く疲れないんですよ。この前の渋谷AXでのワンマンも、全然バテなかったし」

——あのときのイヴさんは、特にグイグイ前にきていた印象ですが…基礎体力が相当備わっているんでしょうね。

「やっぱり、日頃体を動かしているって強みだなと思いましたもん。メンバーの中でも、ズバ抜けて疲れ知らずだと思います（笑）。毎日10キロ走っていますからね」

——まるでアスリートみたいじゃないですか。

「近いかも。いつか、健康マラソンにかにも出ちゃったりして…。とりあえず、今後ViViDもライヴハウスをまわるロングツアーなんかが組まれる可能性もありますからね。疲れ知らずなイヴさんは、頼もしい限りです。

「俺、ライヴハウスだとより疲れ知らずですからね。スペース的にあまり動けないっていうのもあって、他のメンバーが汗だくになっているようなときでも、俺はほとんど汗かかなかったりするし。ま、ライヴハウスでもホールでも、どこでも通用するように、体作りは怠らないようにします！」

——素晴らしい心がけです。ところで、メジャー・デビューに際し、精神面でも物理面でも、何かしらの変化、または変化の予感はありますか？

「前にも増して、プロ意識が高くなるんじゃないかなとは思いますね。どんどん音に対してシビアになっているし。それは、俺だけじゃなくてメンバーみんなもそうだと思うんですけど」

——5人のプロ意識がグッと高まれば、バンドとしても相当底上げされるし、表現欲にますます火も点くでしょうしね。

「そう、それはホント、望んでいることなので。それに、レコード会社もこれまで俺らがやってきた幅広い音楽性を解ってくれていて。この先も、何をしてもViViDなんで、いろいろやりたいなと思っていますね」

——貪欲で柔軟なみなさんのことですから、期待しております。では、たとえば5年後、思い描く理想像を言葉にするなら？

「安定したリズムでバンドを支えるっていうのはもちろんなんですけど、まだまだ向上心を持って、ギラギラしていたいですね。それこそ、東京ドームにだって立ちたいし…もしかしたら立っているかもしれないし。やっぱり目標は、一番になることなんで。ま、一番大事なのは、この5人でバンドをやっていたいな、っていうことですけど。どんなに大きなバンドさんも、解散したり、活動休止してしまうことが多いじゃないですか。そういうのはイヤだなって。どんなことがあっても続けていけば、いつかGLAYさんみたいになれるんじゃないかなと思うので。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Dr.Ko-ki

すか。今、何を思いますか

「いやぁ…ここまで、あっという間だった気がするんですよね。何しろ、結成が去年ですからね」

——確かに怒涛の展開ではありますよね。ただ、いつでも光の当たる道だけを歩んできたわけではないと思うし、意を決して乗り越えた部分もあったのではないかなと。

「俺の人生が変わったのは2009年なんですけど、それまではウマくいかないことが続いていて…。メンバーは集まらないし、バンドは解散しちゃうし、ファンは全然いないし（苦笑）」

——何だか、まったく想像できないですけどね。

「それはもう、厳しかったですよ。将来、自分が進むべき道を考えたときに、バンドをやり続けるのか、他の道に進むのかを悩んだし。でも、そんなときにイヴと出会って、第六感が働いたんですよね。そこから、コイツとだったら上を目指せるって。そこから、妥協せずに楽器陣を集められたことには、ビックリしましたけどね」

——ホント、奇跡的なことですよ。

「ですよね。そこにシンが入って、〝完璧だ！〟と思って。このバンドでいこうって決意してここまでやってきたけど…本当に正解だったと思いますね。イヴと出会ったときの自分の直感は、間違ってなかったなって」

——その確信がブレそうになることは、これまで一度もなかったわけですか。

「それが、ないんですよ」

——バンドの勢いが増すばかりという状況もスゴいですけど、自分自身がブレないこともスゴいなと思います。人間とは、とかく心が揺れたり折れたりしがちな生き物ですから。

「ま、バンドをやっていると不安なことはいっぱいあるけど…とりあえず、このメンバーとだったら大丈夫だろうっていう自信はあるんですよ」

——それは、とにかくメンバーを信頼していたからなんですかね。

「それもあるし…俺、結構現実主義者なんですよ」

——一般論的に、男の子は女の子より

左脳人間ですからね。右脳人間のほうがアーティストっぽくていいなぁとは思ったりもするんですけど（苦笑）」

——とはいえ、理論立てて考えたり分析できる能力に長けているのは、強みでもあります。

「ま、それはそうかなとは思っていて。これからV・i・Dがどうやって進むべきかとか、考える役割を担っていますからね。それは楽しくもあるんで」

——実際、Ko-kiさん的には、これからV・i・Dはどう進むべきだと考えているんでしょう。

「これから重要なのは…今まで通りに頑張ることだと思うんですよ。もっともっとスキルを磨いて、自分たちの信じた道を行くだけだし。俺たちって、やりたい音楽をやっているバンドですからね。正直、運が良いんだと思うし」

——運を呼べるのも、才能のひとつだとは思いますけどね。普通、なかなか呼べないですもん。

「うーん…ですかねぇ。最近、客観視することが多いんですけど、もちろん努力もしたし、自分たちなりに戦略を立てたりはしましたけど、V・i・Dが今、順調に進めていて、恵まれた環境にいるっていうのは、半分ぐらいは運が味方してくれたからだと思うし。だから、ここで調子に乗っちゃうと終わるなって、思うんですよ」

——やっぱり、現実主義者なんですね。しかし、たとえば一度痛い目を見たなら、また失敗しないようにとシビアに、慎重になるでしょうけど…私なら浮かれちゃいますよ、きっと。

「ありがたいことに、いろんな人たちから話を聞けているからだとは思うんですよね。〝あのときにこうしておけば良かった〟とか、人生の先輩に話を聞くことって大事だなと思うし。俺自身、〝あのときこれをやっておけば良かったな〟って気付くことがあるし」

——その若さで!?

「全然ありますね。っていうかスゲェいっぱいあるし、それを自分の後輩に伝えているし」

はどうしてそれが備わっているんでしょう。

「16歳ぐらいからこのジャンルで活動を始めたんですけど、基本的に、その歳でバンドを本格的にやっている人って、なかなかいないですからね。そうすると、20代前半の人とかと一緒にバンドを組んだりして、そういう人たちに話を合わせるし、自然と合ったし。自分の歳を忘れるような感覚はありましたからね」

——同年代といるより気を遣ったり、気を張ったりはしていたんでしょうけど、結果的には、それがKo-kiさんを逞しく成長させたわけですね。

「そう、だからそういう経験ができたことは、自分にとって良かったなとは思いますよ」

——ところで、半年ぐらい前には、〝もっとウマくなりたいし、見た目も華やかでいたい〟という究極の両立を志していましたが…その後、何か心境の変化はありましたか？

「もともとは、超ハデな感じでパフォーマンスで魅せるドラマーだったんですけど、ここ最近は自分の個性を忘れていたかなと思っていて。正直、自分の〝なりたくなかった自分〟に、なっちゃっていたんですよね。もちろん、ドラムって大事な土台ですけど、今のままじゃイカンなと」

——それに気付いたのは、どういうタイミングだったんですか？

「影響を受けたアーティストのライヴDVDを、久々に観たんですよ。俺、X-JAPANを観てバンドを好きになったんですけど、やっ

分はそういうドラマーにはなりたくないなって思ったんですよね。〝サラリーマンじゃないんだからさ〟って。バンドを始めたころって、そういう反骨精神があったと思うんですよ。それこそ、サラリーマンになりたくないからバンドをやるわけだし。でも、大人になるにつれ、どうしても落ち着いてしまうことに、最近気付いてしまったわけですよ」

——ただ、今はキッズのときにはなかった経験値という武器がありますよね。

「そうそう、今まで身に付けたスキルとか、得たものがあるので。そう考えれば、ここ最近は修業期間だったとは思うし」

——そう考えると、回り道も時には必要だなとも思ったりして？

「思いますね。それこそ、昔の破天荒なままいっていたら、バンド自体、ここまで成長できていないかもしれないですからね。その回り道を踏まえて、昔の元気で破天荒な感じと今の落ち着いた感じを混ぜ合わせていけばいいのかなって」

——片刃だけではなく両刃研ぎ澄まされれば、ホント最強だと思います。

「うん、これからは納得のいくスタイルでいけると思っていますよ」

東京ドーム、やってます」

——断言できちゃうわけですよねぇ。

「そりゃね、断言しないとできないですっ」

——今まですべて、そうしてきたわけですか。

「そうですよ。バンドを始めたときから、人生設計図を書いているんですけど、無理かなと思ったことも全部、叶ってきていますからね。口にすることで自己暗示して叶えられたりするし。東京ドームは、バンドを始めて最初に定めた目標の場所ですからね」

——ちなみに、どうして東京ドームなんでしょうね。

「あ、デカさではないんですよ。もしかしたら、それが鹿鳴館だったり、AXだったり、武道館かもしれないけど…俺にとっては、バンドを始めたきっかけのX-JAPANが立った、夢の場所ですからね。だから、どうしても東京ドームに立ちたいんですよ。それには、俺たちを応援したくなるように、ファンのみんなへの感謝の気持ちも忘れずに、もっともっと頑張っていきます！」

蝴蝶网 hudie.com

目指す場所が同じ5人だからこそ

——この度は初めてViViDにSHOXXの表紙を飾っていただくわけでして…それぞれ、まずはお言葉をいただきたいなと。

怜我：何しろ、俺たちの青春のSHOXXなんですよ。尊敬する先輩方が飾られてきたSHOXXの表紙を僕たちが飾らせていただけるなんて嬉しいですし、たくさんの人に見てもらいたいですね。

——本屋さんに行ったら、見えるところすべてにViViD表紙のSHOXXを置いちゃいたいぐらいですね、気持ち的には。

怜我：いろんなコーナーに忍ばせたい気持ちはありますっ。

イヴ：少年ジャンプのところとかね(笑)。

Koki：それやっとこ！

零乃：初めてSHOXXを読んだときは、載ることがまず目標でしたからね。ViViDを結成して初めて載せていただいたときは、それだけで〝夢が叶った！〟っていう感動がありましたもん。表紙になれたのは支えてくれるみなさんのおかげだし、光栄なことだなと思う反面、プレッシャーはありますけどね。個人的にもバンド的にも、とても嬉しいし、本当に〝感謝！〟って感じです。

シン：僕にとっても、SHOXXは青春のバイブルと言っていいほどの雑誌なんで。今の俺たちが、若き人たちのバイブルになれたらなと思いますっ。

イヴ：俺も、自分が読んでいた雑誌ですからね。ヴィジュアル系を知って初めて読んだ雑誌が、SHOXXだったし。事務所の先輩が表紙だったりしたから、変な感じはするんですけど…スゴイことだなと。

Koki：SHOXXの表紙を飾るなんて、1年、2年前ならあり得ないことだし。俺も〝ヴィジュアル系のバンドをやろう！〟と思って読み始めた初めてのヴィジュアル系雑誌がSHOXXなんですけど、最初はどうやったら載れるのかがわからないじゃないですか。考えた結果、広告を出そうと思ったんですけど…SHOXXは当時の自分たちからしたら敷居が高いというか、レベルが追い付いていないから今はや

でライヴ動員を増加させたみなさんですけど、SHOXX初掲載から表紙を飾るまでの期間も、よもや最速ではないかなと。

編集：一番速いです！

Koki：マジっすか!?

全員：ありがとうございますっ！

——一番が大好きなみなさんにとっては、この上ない歓びなんじゃないですか？

零乃：本当、一番が大好きなんですよ、俺ら。

怜我：オンリーワンよりね。

零乃：そうそう。オンリーワンよりナンバーワンが、やっぱり好きなんで。

怜我：貪欲だな！(笑)。

——その姿勢があってこそ、今のViViDがありますからね。そうやってここまで最速記録を打ち立てながら来られた一番の要因は、何だと思います？

Koki：運が良かったですっ。

零乃：確かに、運は良かったよね。

シン：6割は運じゃない？　まず、この5人が集まったのも運だと思うし。

零乃：そうだね。事務所に入れたのも運だし、そのタイミングで5人の力をウマく発揮できたのも運だと思うし、数々の曲たちができていったのも運だし。運とタイミングが、すべてを変えていったと思うんですよ、ViViDって。

——ただ、そういう運があったとしても、5人の呼吸や目線が揃っていなければ道は開けないでしょうからね。そこは、タイミングごとに、5人で話し合いをしたりするわけですか？　それとも、自然と合っていたりするわけですか。

Koki：目指す場所が同じだから、自然と合うんじゃないですかね。波長が合うから一緒にいたと思うし。

怜我：うん、その波長っていうのはすごく大きいと思う。

零乃：そうなんだよね。それぞれ、全然違うジャンルを聴いてきて、きっと好みも違うんだろうけど、〝ViViDになったらこれだよね〟っていう共通の認識があるっていうか。5人で作っていく音楽はひとつ、ミクスチャーロックですからね。そこはブレ

スチャーロックですが…きっと数々候補曲があった中で、もっとも本質が露呈する曲でしたか。

Koki：最後の最後まで、シングル表題曲は悩んでいたんですよ、実は。

怜我：レコーディング1週間前とかね。

Koki：そうそう。で、零乃の持ってきた元曲はすごいロックな感じだったんですけど、それを最初歌モノっぽく、ポップなアレンジにしていて。でも、やっぱりもっとロック感が欲しいなっていうところで、最終的に今の形になって。

——メジャー・デビューのタイミングということを考えれば、きっと、歌モノっぽいポップなアレンジでもアリだったんでしょうけどね。

零乃：そうだと思います。でも、「Take-off」みたいなミクスチャーロックが、一番ViViDとしてのイメージが強いだろうし、そのイメージでもっとクオリティを上げた曲を、メジャーデビューのタイミングで出したかったので。

——ホント、骨っぽさと華やかさを兼ね備えた曲ですからね。では、作曲者的に、演奏陣のアプローチを評価するなら？

零乃：まず、イントロと間奏が結構ロックだと思うんですよ。特に間奏でのKokiの生むノリが、結構好きなんですよね。Kokiはレコーディングを重ねるごとにウマくなっていて。音も良くなっているし、ノリも良くなっているし。聴いていて気持ち良いですよ」

——そこには、相当の努力がありますか。

Koki：努力もあるけど…レコーディング環境のおかげもありますよ。環境が変わったり、音質が変わると、叩いている気持ち良さも全然違うし。そういうこともあって、聴きやすくなっているのかなとは思います。

零乃：イヴは、基本的にメロディを大事にするタイプですけど、表題曲はホント、それに徹してくれていて。カップリングではスラップとかも入れているけど、歌の入っている部分では引いて、オイシイところで動くっていう、そのバランスがさらに良くなったかな

ドに欠かせないものだなと思うし。

零乃：あと、イヴも毎回ウマくなっているしね。

イヴ：零乃のギターソロも、毎回速くなっているんじゃないですかね。

零乃：毎回指が攣りそうですけどね(笑)。怜我は、Aメロで俺がリズムを弾いているところに途中からカッコイイフレーズで入ってきたり、Bメロでは俺との掛け合いがあったりして。

——そういうのは、ツインギターならではの醍醐味ですよね。

零乃：うん、ギターやってて一番面白いと思います。あと、怜我は録りが早くなったんですよ。

怜我：ベーシックも2回ぐらいしか弾いてないからね。

——秘訣は何かあるんですか？

怜我：練習したから、ですかね(照笑)。

零乃：ホント、時間の短縮度は怜我が一番顕著ですからね。

怜我：10時間ぐらい違うよね。

零乃：そうそう。以前は一番時間かかっていたし、それで毎回ヘコんでね。次こそは、次こそはって頑張ってきたおかげで、今回はすごく早かった。その後で録る俺が、ギターソロを録るのに時間使えたし(笑)。

怜我：…なんじゃそりゃ!?(笑)。

——歌詞に関しては、映画『メン・イン・ブラック』がモチーフになっているというお話をソロ・インタヴューでシンさんにお聞きしまして、非常に面白い発想だなと思ったんですが…作曲者としてはどう感じました？

零乃：うん、面白いなって思いましたよ。いつも歌詞の世界観はシンに任せていますけど、〝こういうことを書きたい〟っていうシンの意志が強ければ強いほど、俺は嬉しいし。

シン：自分で〝俺は変なこと考え[illegible]な〟って思いましたけどね。〝そこ(『メン・イン・ブラック』)からか！〟って(笑)。

——どうして〝ガラス玉の中〟なんだろうって、その謎な一文をあれこれ深読みしちゃいましたけど…まさか『メン・イン・ブラック』のラストがヒントだったとは。意表を突かれました。

シン：そんな考えていただいて…すみ

蝴蝶网
hudie.com

シン：ま、そこはこれからも変わらずに、より研ぎ澄ませていきたいですけどね。

――そして、新たな色を纏いつつ、〝これもViViD〟と頷けるのがカップリングの2曲でして。しなやかなメロディと疾走感を湛えた怜我さん作曲の「Rem」も、表題曲にしたいぐらいの作品です。

怜我：これはもう、零乃の力添えのおかげなんですよ。最初は90度ぐらい、今とは違う曲でしたからね。

零乃：ホント、カクっと違うよね。

怜我：ピアノが入っていなかったし…。

零乃：もっとロックだったよね。

怜我：うん、歪んだギターで、チューニングももっと落としていたし。でも、ギターで弾いていたメロディをピアノでいじってみて、そこからギターもピアノも両方聴こえるバランスにしてみたら、新しい感じになって。

Ko-ki：音のバランスっていうのかな。楽器それぞれの音の兼ね合いがキレイだよね。

イヴ：それにかかっている深いリバーブがいいしね。

零乃：なおかつ、全楽器がハッキリ聴こえるんですよ。ピアノも含めていろんな音が入っているけど、ゴチャゴチャ聴こえずに、それぞれが研ぎ澄まされているというか。イヤホンで聴いても、スピーカーで聴いても、全部が聴こえる感じが気持ち良いですからね。ピアノが入っていてバラードっぽく聴こえるけど、バラードはなくあくまでロックというところは、この曲が求めていたと思うし。

――そういう曲だと、歌もますます活きてきますよね。

シン：ピアノは、個人的にすごく好きな楽器なんですよ。斬新なバックの演奏のおかげで、気持ち良く歌えました。

――歌詞は、ラヴソングと見せかけて、ファンに向けてのものだったりして？

シン：あ、近いですね。ラヴソングにも捉えられるんですけど、〝感謝〟をテーマに、お世話になった人すべてに、この歌詞を書きまして。〝Rem〟というのは、見守ってきてくれた人たちの優しさが、レム睡眠の温かさに似ているなというところから付けたタイトルなんです。これまで支えてきてくれたすべての人に、こういうタイミングでどれだけ2階席が泣いてくれるかなっていう感じです（笑）。

――もちろん、ハンカチ持参しますっ。さらに、通常盤のみに収録される「risk」は、ヘヴィネスでバンド感溢れる音像が迫力ありますが…初のバンド名義での作曲ですよね。

零乃：タイトルには、メンバー全員の頭文字が入っているんですよ。怜我と零乃がr、イヴがi、シンがs、Ko-kiがkなんで。で、楽器陣全員でジャムりながら曲を作ったところに、シンがメロディをつけていって。

――バンドの醍醐味でもあるし、その体験は面白かったんじゃないですか？

シン：ホント、面白かったんですよ。それぞれあれやりたい、これやりたいっていう想いが高まりすぎちゃって、途中どうなることかと思ったんですけど（笑）。

Ko-ki：最初、テンポから決めていったもんね。大変ではあったけど、楽しかった。レコーディングに関しても、ノリ一発で録れたし。

イヴ：俺はチューニングを1音下げているんですけど…重いのは良いですね。

零乃：俺もチューニングダウンしているんですよ。どこかのタイミングで、そういう新しいこともやってみたいなと思っていて。リフが重いだけでも、リスナーには変化を感じてもらえると思うし。そういう音を聴いたときの衝撃も、与えたかったんですよね。

怜我：俺は、チューニングを下げることに最後まで反対していたんですよ、実は。ViViDはもともと全弦半音下げの変則チューニングなんですけど、それがViViDなんじゃないかとずっと思っていたし、一度下げたら、どの方向にもいけるけど、そのことで芯の部分がブレちゃいそうで。でも、やってみたらこっちのほうがいいなと思って、自ら下げたんですけどね。新しいことに挑戦できて良かったです。それから、2度目のAメロ、イヴのスラップがマジカッコイイんですよっ。それに衝撃を受けて、レコーディングで自分が入れるハズのフレーズをカットして、違うフレーズを入れました。

――思わず引き立たせたくなるぐらいのスラップだったと。

怜我：そうなんですよ！

零乃：あそこは一気にファンクになる

――というところで、歌詞から言葉をピックアップしてみなさんのキャラも探っておきたいんですが…〝揺らめく〟という言葉から、みなさんの心が揺らぐのはどういうときですか？

Ko-ki：俺は、夜、ラーメンを食べに行くか行かないかで揺らぎますね。

零乃：わかる（笑）。Ko-kiはホント、ラーメン好きだよね。

Ko-ki：2日に1回ぐらいは食べてるからね。

――かなりのハイペースですね！

Ko-ki：そうなんですよ。でもね、あれは夜中に食べちゃいけない（苦笑）。

シン：俺は、やらなきゃいけないことがあるときに限って、面白そうなゲームに惑わされるんですよね。

――その誘惑、断ち切れる人ですか。

シン：まあ…時と場合によります（笑）。

イヴ：俺、コンビニに行くと迷いますね。でも、撮影前とかだと、〝あと1、2時間我慢すればケータリングがあるから我慢しよう〟とか（笑）。

――今日もパンがいっぱいあるんでたくさん食べてくださいっ。

零乃：俺、ビールとの闘いですね。次の日がオフとか夜からの仕事だったりすると、帰り道にコンビニに寄ってビール買いたくなるんですよね。でも、毎日呑むと中毒になりそうな気がして…。

怜我：もうなってるでしょっ（笑）。

零乃：…うん、なってるかも。

――コンビニのない帰り道、ないんですか。

零乃：それが、どう帰ってもあるんですよ！…闘いは続きます（笑）。

怜我：俺は、オフの日に家で何かをしようと決めていても、友達から連絡が来ると出掛けちゃうんですよ。

――誘われたら、あまり断れない人ですか？

怜我：基本的に断らない人間なんですよ。自分の予定と誘いと、いつも狭間で揺れていますね、気持ちが。

――なるほど。もう一つ、〝探す〟という言葉から…物理的にでも、精神論的にでも、今、探しているものを教えてください。

Ko-ki：俺のアクセサリー、どこに行ったんだろうなぁ…失くしすぎて、マジでキツいんですよ。大体が酔っぱ

とか。

Ko-ki：それが、外しておくと…もうないんですよ。

――神隠し!?

Ko-ki：ホント、そうかもしれない。

シン：小さい頃、親に没収されたカード類。お年玉とかお小遣いとか、全部カードにつぎ込んでいたのに、受験期に全部取り上げられたんですよね。後々、〝あれどこやったの？〟って聞いたら〝忘れた〟って言われたんで…早く見つけたいなと。今出てきたら、結構価値があるハズだし。

――捨てられていないことを祈ります（笑）。

イヴ：俺…趣味。筋トレ以外で、探したいなぁ。

怜我：俺、人と話していて、〝こんなこと言うんだ〟って自分で思うことがあるんですよ。でも、間違いなく思っているから言っているわけじゃないですか。だから…どこに自分があるのかなって。

――まさかの自分探し!? 見つかったら教えてください（笑）。

零乃：俺は、ストッパーを探しています。ノリが良くなると、止まらなくなるんで。

Ko-ki：ストッパーなんて要らないよっ。

零乃：そうやって、気付けばKo-kiにストッパーを外されたんですけどね（笑）。でも、ボケたらずっとボケっぱなしとか。お酒を呑み始めたら止まらないとか。何でも、やり過ぎるんですよ。ゲームも、やり始めたら20時間ぐらいやっちゃうし。ちょうどいいぐらいのストッパーがあったら大人だなと思うんで、探しています。

――さて、渋谷C.C.Lemonホールでのインディーズラストライヴも目前ですが…それぞれ何か約束していただけますか。

Ko-ki：面白いものを見せますっ。初披露のものもあるかも（含笑）。

イヴ：節目になるような、最高のライヴにしたいと思います。

シン：関係者含め、なるべくみなさんの顔を見ますよ。

怜我：じゃあ…端から端まで、すべての人の顔を憶えて帰ります。

零乃：会場全員を楽しませて、なおかつ、トリ肌を立たせます！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

(問) PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福 3-41-8-2
http://www.indie-psc.com/vivid/
蝴蝶网
hudie.com

ケータイをお気に入りのアーティストで染める

ヴィジュアルきせかえサイト

蝴蝶网
hudie.com

アーティストのきせかえ専門サイトがついにオープン！
話題のアーティストを中心に毎週新しいきせかえを配信！
着メロや待受が取り放題の会員メニューも有！
要チェックだね！

※NoGoD 待受イメージ

ヴィジュアルきせかえサイトとは？？

アーティストきせかえセット・きせかえパーツを配信♪

待受け画面、メニュー画面、発着信アニメなどをセットにしたアーティストのきせかえ。全部セットになった「きせかえセット」と好きなパーツが自由に選べる「きせかえパーツ」があるからカスタマイズも可能♪

盛りだくさんな月額会員向けサービスもあるよ♪

月額 525 円の会員登録をすると、オリジナルイラストのきせかえセットがダウンロードできる他、アーティストのカレンダー待受、デコメ、フレーム、着メロ、動画がなんと取り放題！

↓ 今すぐサイトにアクセス ↓

http://vkisekae.com/

凛

シンディケイト

Megaromania

SUICIDE ALI

犬神サーカス団

the fool

簡単アクセス !!

ニュー → メニューリスト → きせかえ / 待受画面 → きせかえツール → フォト → ヴィジュアルきせかえ

b → カテゴリ（メニューリスト）→ EZ ケータイアレンジ → アーティスト・タレント → V★ROCK ケータイアレンジ

o! ケータイ → メニューリスト→ 壁紙・きせかえアレンジ → きせかえアレンジ → V★ROCK きせかえ

によっては一部非対応の機種がございます。必ずサイトご利用前にご確認下さい。※ダウンロードコンテンツ等は有料サービスとなります。また、本サービスの通信費はお客様のご負担となります。※コンテンツ変更する場合がございます。※「デコメ®」「デコメール®」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

株式会社アコースティック

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX創刊20周年記念

オリジナル・フォトカード 応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、
応募者全員にサービスしちゃいま
全部で19パターン。
応募券1枚でご希望のフォトカー
1枚あなたのお手元に!!

ViViD

A-1:シン

A-2:零乃

A-3:怜我

A-4:イヴ

A-5:Ko-ki

D

C-1:ASAGI

C-2:Ruiza

C-3:HIDE-ZOU

C-4:Tsunehito

C-5:HIROKI

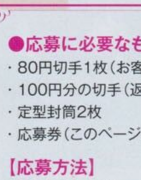
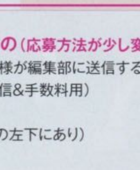
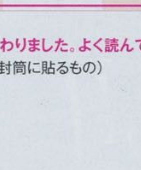
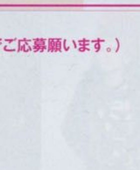
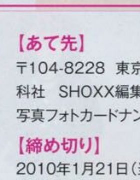
沙我 (AliceNine)

B

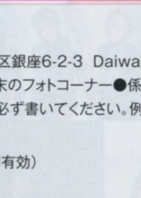
DOG inThe パラレルワール オーケストラ

E

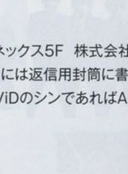
SuG

D-1:武瑠

D-2:masato

D-3:yuji

D-4:Chiyu

D-5:shinpei


Brother

F


NEO VOLTEAC

G


●応募に必要なもの（応募方法が少し変わりました。よく読んでご応募願います。）

・80円切手1枚（お客様が編集部に送信する封筒に貼るもの）
・100円分の切手（返信&手数料用）
・定型封筒2枚
・応募券（このページの左下にあり）

【応募方法】

①フォトカード（9cm×13cm）が入る大きさの定型封筒（定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい）2通と、80円切手を1枚、手数料の100円分の切手を用意します。
②1通の封筒の表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォトカードのナンバー（例えばViViDのシンであればA-1）のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒とも手数料の100円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F 株式会社
科社 SHOXX編集部 年末のフォトコーナー●係（●の中には返信用封筒に書
写真フォトカードナンバーを必ず書いてください。例えばViViDのシンであればA

【締め切り】

2010年1月21日（当日消印有効）

【発送】

2011年3月下旬からになります。4月10日になっても届かない場合はご連絡くだ
（03-3574-0205／月～金 11:00～18:00）。

【お願い】

・希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせていた
・応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
・応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその
応募でお願いします。
・発送は日本国内のみになります。海外への発送は出来ません。

SHOXX VOL.216
年末のフォト
応募券

YOMI（ナイトメア）■メイキング・ムービー

ツアー『Historical ～The highest NIGHTMARE～』を敢行中のナイトメア。11月27日に、さいたま市文化センター大ホールで行われたライヴの直前のYOMIをとらえた撮影メイキング・ムービーを配信！

D ■メイキングムービー ■待ち受け画像

メジャー3rdアルバム『VAMPIRE SAGA』撮影取材の模様をメイキング・ムービーにてお届け！ 待ち受け画像も配信です！

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

ARENA37℃とSHOXXに掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん！ ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!

音楽専科社公認公式携帯サイト http://mobile.ongakusenka.com/

企画、制作：(株) エンドレスコミュニケーションズ

Vの流儀

ヴィジュアル専門音楽番組！テレビ東京にて絶賛オンエア中♪
毎週火曜日深夜 2：30〜3：00

twitter http://twitter.com/v_ryugi

おふぃしゃるつぶやき始めました (^^)v フォローしてね♪

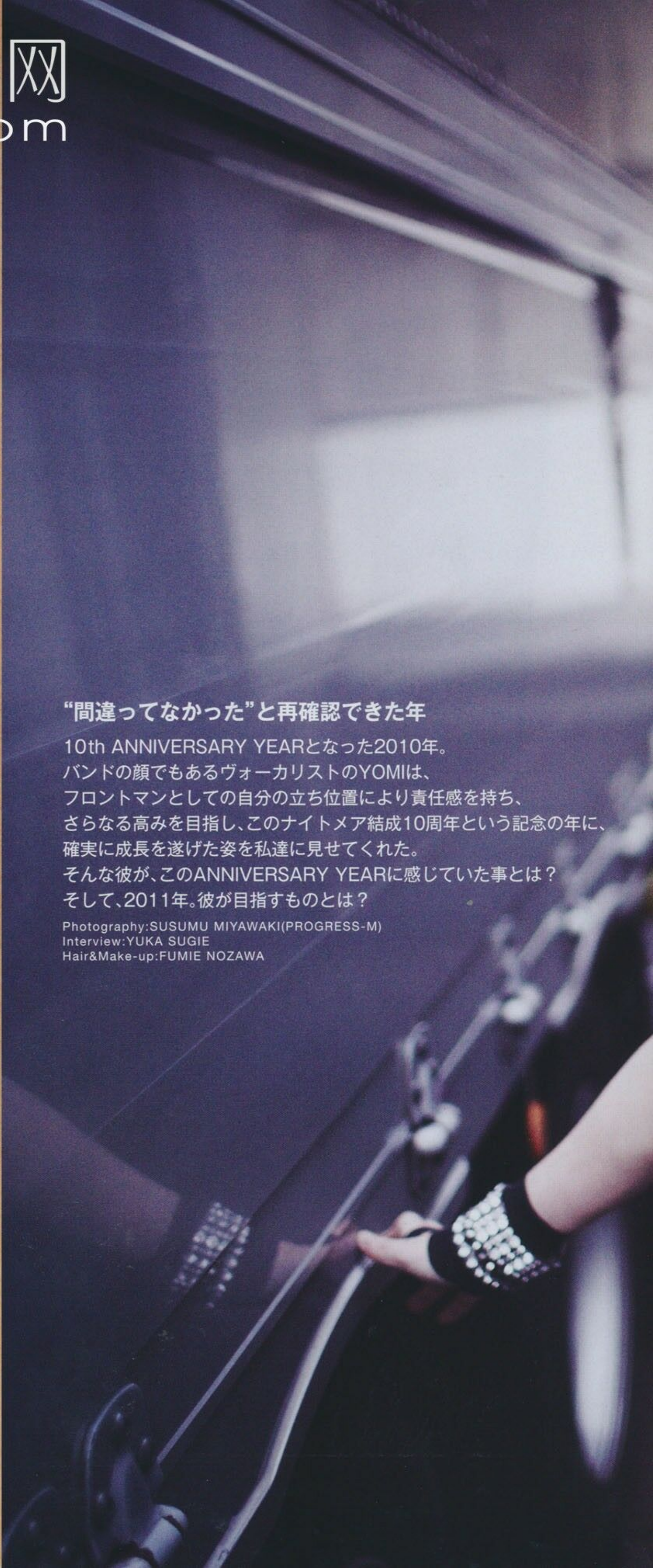
月のプログラムは……
お年玉企画。Vの流儀に出演するアーティストから、
視聴者のみなさまにプレゼント！どんなプレゼントが飛び出すか乞うご期待！！
ント『Over The Edge』を丸ごと大特集♪ ヴィジュアル系界を代表する大イベントの裏も表も、貴重な映像が見れちゃいます。
、オフィシャル WEB SITE でチェック♪：http://www.tv-tokyo.co.jp/v-ryugi/

Lc5、Angelo、LM.C、Versailles、Alice Nine、ViViD、MUCC、Plastic Tree、Mix Speaker's,Inc.、少女-ロリヰタ-23区
アンド、ドレミ團、花少年バディーズ、愛狂います。アヲイ、HERO、heidi.、lynch.、ADAPTER。、摩天楼オペラ、仙台貨物
ンボンバー、ピコ、人格ラヂオ、カッコー、AYABIE、メガマソ、葵、rice、イロクイ、NoGoD、ケミカルピクチャーズ and..more

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



“間違ってなかった”と再確認できた年

10th ANNIVERSARY YEARとなった2010年。
バンドの顔でもあるヴォーカリストのYOMIは、
フロントマンとしての自分の立ち位置により責任感を持ち、
さらなる高みを目指し、このナイトメア結成10周年という記念の年に、
確実に成長を遂げた姿を私達に見せてくれた。
そんな彼が、このANNIVERSARY YEARに感じていた事とは？
そして、2011年。彼が目指すものとは？

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:FUMIE NOZAWA

蝴蝶网
hudie.com

OMI
NIGHTMARE

蝴蝶网
hudie.com

―1年を振り返って、YOMIさんが2010年を漢字一文字で表わすとしたら?

「なるほど…吸収の〝吸〟かな。今年はバンドの先輩方と知り合うきっかけも多かったし、いろいろ良くしていただいたので。そのことですごく刺激を受けたし、自分的には大きな年になったかなって思う」

―10周年というアニバーサリー・イヤーであるだけでなく、人との交流によって得るものも多かったと。

「そう。友達も増えたしね。プライベートの面でも仕事の面でも、良い部分を吸収できた1年だったなっていう手応えはありますよ」

―そのことによって、自分的には何が一番変わりました?

「去年と一番違うのは、ライヴでMCをより大事にするようになった、っていうことかな。先輩方のライヴを観て、MCにも意味があるし、より次の曲の説得力が増したりするんだなと思って。俺のMCって、どっちかっていうとおちゃらけているイメージが強いだろうけど、もう一歩上にいくためにはもっと伝わるものにしなきゃいけないなと。だから、この冬のツアーからは特に、あんまりグダグダならないようには心がけていて。ま、もうちょいな感じですけどね。2011年はもっと理想に近づけますよ」

―というYOMIさんから見て、メンバーそれぞれはどう変化した1年だったと思いますか?

「RUKAさんは…より良い曲を作らなきゃいけないなっていう意志を感じるんだよね。バンドも大きくなったぶんヘタな曲を出せない、みたいな意識を今まで以上に持って、今年は曲作りをしていたんじゃないかなって」

―いつもわざとやる気なさそうに見せてはいますけど、実はストイックに磨きがかかっていると。

「うん。ま、俺が勝手に思っているだけで、実際はどうかわからないけど(笑)。Ni~yaは、前よりも自信を感じるね。ベースプレイにしても、見せ方にしても。たぶん、昔から〝自分はこうだ〟っていう軸を持っていたとは思うけど、より自分のスタイルに自信を持っているようには見えるから。あと、最近は選曲会に毎回曲を作ってきてくれるようになったんだけど、それは俺的に大きくて。すごく良い曲、ありますからね」

―今年垣間見せた作曲者としての才能が、来年はますます開花しそうだと。

「Ni~yaの曲、評判良いしね。そうやって自分の書いた曲が認められることも、自信になっているんだと思う。咲人は、昔から音楽に関してはストイックで上を目指している人だけど、今年はより上に行くためにはどうすべきかっていうことを、考えていたと思う」

―それが言動に如実に表れていたと。

「ああしたほうがいい、こうしたほうがいい、っていう積極的な意見を、前にも増して出していた気がするからね。枢は前から人付き合いが幅広いけど、俺がそうであるように、先輩方から良い影響を受けているんじゃないかな」

―自分というものをしっかり持ちつつ、柔軟さもあるからなんでしょうね。

―そうやって5人が5人、さらに前進できた1年の中で、もっとも鍵を握るのはどのタイミングなんでしょうね。

「年頭のさいたまスーパーアリーナ、それから「a:FANTASIA」を出[illegible]たりかな。さいたまスーパー[illegible]は、ライヴ映像を観るとまだま[illegible]ろはあるんだけど、可能性を自分たちでも感じられたというか。もっ[illegible]ける気がしたのね。ああいう[illegible]場になってくると、どうしても〝コンサート〟になっちゃうと思うけ[illegible]な会場で〝ライヴ〟ができた[illegible]ら。それは、より自信につなが[illegible]と、「a:FANTASIA」を出したぐらいから、歌詞チェックとかライヴの[illegible]あとかではなくて、自分たちの曲[illegible]くようになったのね」

―いちフェイヴァリットとして[illegible]で

蝴蝶网
hudie.com

「そうかもしれない。最近、ライヴに来てくれる男の人が増えたんだけど、その理由がわかるもん。って自分で言うのもおかしいけど（笑）、男にカッコイイと思ってもらえる曲であり、ライヴができているんじゃないかなって」

——それは、とても希望的な兆しに感じられますよね。

「うん。対象が女の子だけじゃなくて、男の子だったり、お父さんお母さん世代にも広がったからね。最近、本当に聴いてくれる年齢層が幅広くなった。そういう意味でも、やっと土台ができた気がする」

——作り手としては、もちろん対象を限っているわけではないだろうし、多くの人に永く愛してもらえたら本望でしょうからね。であれば、以前、〝もう見えているけど、あとはそこにどう行くか〟と言っていた東京ドームに対しての距離感にも、少し変化があるのではないですか？

「正直、動員的にもセールス的にも、自分が納得できる結果を残せているわけではないけど…バンドが歩んでいる道は決して間違っていないと思うから。やっと、そこに向かうためのバンドになれてきたのかなっていう気はするけどね。このまま、より幅広い年齢層に聴かれるカッコイイバンドになっていけば、その延長線上にはきっとあると思うし。変な話、お金を払って押さえればいつでもできるっちゃできるけど、内容も大事だからね。ちゃんと良い結果を残して、東京ドームに相応しいと言われるバンドになりたいと思うし、ならなきゃなって思いますよ」

——そのためにバンドがするべきは、良い曲を生み、カッコイイライヴをすることに尽きるんでしょうけど…YOMIさん自身、これから必要になってくるのはどんなことだと思います？

「何だろうねぇ…体調管理かな。体調管理の中にはノドの管理も含まれるんだけど、そこはもっと強化していかないといけないかなって。どうしても、一度ノドの調子を崩すと実力を発揮できないからね。いかに良い状態でライヴを迎えられ

<伊達漢>
〒162-0831 東京都新宿区横寺町32TR神楽坂Bld.
TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00～18:00）
dateotoko@nightmare-web.com

そのライヴ自体にどういう意味を持たせるかとか、より考えて言葉にしていかないといけないなって。ま、今年は自分に自信を持てたし、バンドとしても間違ってないなって再確認できた年だったんで。あとは進んでいくだけかな」

——今年1年で、本当に意味のあるものを多く得たんですね。今日のYOMIさん、一段と頼もしいです！

「まぁ…他はどうでもいいけど、やっぱね、歌とナイトメアだけは真面目にやるっていうのは俺の中で決まりだから。そこはより真剣に向き合っていかなきゃなって思っているわけですっ」

——何しろ、ナイトメアがますます面白そうだなと期待感が膨らみましたが…せっかく今年を総括するインタビューなので、今年一番笑ったこともお聞きしておこうかなと。

「毎日笑ってるからなぁ…あ、ある！自分がやらかしたんだけど、レコーディングをしているときにさ、〝おっぱいがLカップだったらどう？〟みたいな話をしてたのね。で、〝A、B、C…〟って数えながらスゲーって盛り上がってたんだけど、もう1回数え直そうと思ったら、なぜか〝一、十、百、千、万…〟って言ってて」

——なんでそうなります!?

「いや、わっかんないんだけど（笑）。その場にいた柩とかNi~yaにもめっちゃ笑われたけど、あれは自分で一番笑ったかもしれない」

——天然モノパワー、恐るべしです。

「でしょ？　気を抜いてるとそうなっちゃんだよね」

——でも、そういう楽しい感じも、2011年に是非持ち越していただきたいなとは思います。

「そう、笑いは大事だからね。やっぱり、気取らないバンドっていうのがナイトメアの良いところだからさ」

——プラス、来るべき2011年、どう臨むかを漢字一文字で表わすなら？

「〝鋭〟かな。大台に乗るけど（笑）、丸くならずにトガっていきます！」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

迸る感情

蝴蝶网
hudie.com

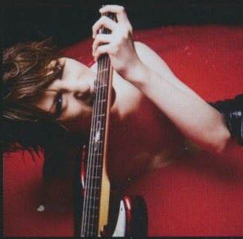
高みを目指す真の意

人は、いくつもの感情を持つ。
好きな人に対して抱く感情も、また人それぞれである。
ある人は、好きな人にはいつまでも変わらないで欲しいと望み、ある人は、
好きな人には常に高みを目指し、進化していってほしいと願う。
どちらの気持ちも分からないではない。
Alice Nineのメインコンポーザーでもあり、
Alice Nineの音楽を中心となって動かしている沙我。
今、彼は、何を想い、この先のAlice Nineを何処に向かって
走らせようとしているのだろうか———?

Photography:SUSUMU MIYAWAKI
InterviewNAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:ASAMI YAMADA(PS COMPANY)
Bass:ESP

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



—7月から10月に行なわれたロングツアーを終えた今、どんなペースで毎日を？

「最近は、ひたすらアルバムのレコーディングですね。実際、7月くらいからやってるんですけど、ツアー終わって、やっとそこに集中してるって感じですね。いつも1年前くらいに年間スケジュールを決めて、実際は、常に半年後のことをやっている感じなんで早いんですよね、1年経つのが。だから今も、もう半年先に居ます（笑）。あっという間に歳取っちゃいましたよ。今日、事務所の人が、7ヶ月の赤ちゃんを連れて遊びに来てたんですけど、この子が俺の歳になる頃に俺は50過ぎのオッサンか…って思ったら、いろいろ考えちゃいましたね。気付いたら後輩の数の方が多いですからね。早いもんだ（しみじみ）。早いもんだ（いやいや、2回目／笑）」

—事務所に入りたてだった頃、武道館というステージは見えていた？

「もう必須だと思ってました。ノルマだと思ってた。やって当たり前だと思ってたんですよ。絶対やれるバンドになってやるっていう気合いと、絶対やれるっていう根拠のない自信がありましたね。やらなくちゃいけない当然の場所っていう感じだった。今思えば、まったく信憑性のない想いなんですけどね、当時はそれが素直な気持ちだった」

—バンドが進んでいくにつれ、自信を失いかけたときがあったりもしたの？

「ありましたね。やっぱり、バンドが進んでいくにつれ、自分たちの弱点に気付いていく訳ですよ。でも、なかなか自分たちのことは客観的に見られないから、自分たちの良さには気付けない。でも、悪いところは分かるんです。欠点とか弱点ってのはすごく分かるから、だんだん現実を知るようになって、それにともなって悩みも増える」

—痛みを経験しなければ、痛み自体を知れないからね。

「そうなんですよ。7ヶ月の赤ちゃんを見たときもそう思ったんですよね。この子はまだなんにも知らないから、毎日が新鮮で、今からいっぱいいろんなこと覚えていくんだなって。その頃

たんだと思う。失敗すると、それが経験になる。でも、その反面恐怖も覚えるから、逆に臆病になったりね。でも、そういう刺激って、ここまでやってきてると、もうあんまりなくなってくるから」

—でも、Alice Nineの音を追求する上での発見は多いんじゃない？

「そうですね。今回のアルバムは、岡野ハジメさんというプロデューサーを付けて、メンバー6人で一緒にやってるっていう感覚なんですけど、そういう環境を知って、自分たちが井の中の蛙だったっていうのを知りました。難しく考え過ぎてたところもあったし、簡単に考えちゃってたところもあったっていう発見があったなって。複雑に考え過ぎてて、わかり辛かったり、つまんなくさせちゃってたなっていう部分も見えて来たし」

—そうだろね。でも、沙我くんは、アーティストとしてはもちろん、コンポーザーとして一気に進化した時期があった。

「ですね。そうなったきっかけってすごく単純なとこだったんですよ。日々音楽を探求する中で、新しく出会った音達に感動して、何度でも気持ちに火が付くっていうか。やっぱ自分から常にアンテナ張ってないと刺激はないし。初めの頃は刺激だらけだけど、だんだん慣れていって、そこに神秘性はなくなり探究心を失う。だから、常にアンテナ張って、変化と進化を繰り返していかなくちゃ俺はバンドを続けられないんです」

—ライヴや音源制作では刺激をもらってるでしょ？　いままでのライヴやツアーを振り返ってみて、自分が何かを得たなって実感したのは？

「『VANDALIZE』のホールツアーかな。終わった後に想うことが多かったツアーだった。バンドの提示したいモノと、見に来てくれるファンのみんなが求めているモノのギャップを思い知った時に、いろんな歪みを感じた。自分たちはどんなバンドになりたいのか？　ひたすら自分たちのやりたいことだけをやり続けるバンドになっていいのか？　かと言って、ファンの求めるところだけを目指すバンドに

アーだったのに、なんだか、オーディエンスと距離を感じてしまったというか。不安と自信喪失でもありましたね。もしかしたら、自分たちがこれから進んで行こうとする場所と、ファンが求めている場所は違うのかもしれないって。『VANDALIZE』は、タイトルどおり、Alice Nineに出来上がったイメージをぶっ壊してやろうっていうつもりで作ったアルバムだったから。正直なことを言ってしまえば、『Alpha』（2007年11月リリースのアルバム）までの自分たちのことを最高だと思えるかって言われたら率直に〝はい〟とは答えられないんです。もちろん、否定しているということではなく。〝自分たちの今はこうなんだ〟〝今、自分たちの頭の中にはこういう音が鳴っているんだよ〟っていう想いがあって、それを素直に吐き出したのが『VANDALIZE』だったんです。〝こういう曲、ファンの子たちは好きだろうな〟っていうとこは、一切考えずに、バンドとして、今やりたいことを形にした1枚だった」

—たしかに、『VANDALIZE』はすごくバンドとして成長の見えた1枚だったからね。でも、もしかしたら、ファン的には『Alpha』の方が、求めているAlice Nineに近いのかもしれないとは思ったりしたことあったけどね。個人的には、『Alpha』もいいアルバムだと思うし、『VANDALIZE』は個人的趣味で言わせてもらうならば、素晴しくいいアルバムだと思うから。

「でも、それ、すごくわかります。俺もそう思うんです。バンドの技量的なものを抜きにして言えば、きっとファンの多くは『Alpha』の方がすんなり感情移入できると思う。『Alpha』までは、〝こういう曲、ファンの子たちは好きだろうな〟ってとこを考えていたところありましたから。自分たちのやってきたことを否定する気持ちはないけど、過去を一度ぶっ壊して新しい一歩を踏み出したくなる時がやってくるんですよね。新しいモノ作ってるのに、いちいち過去の歴史を引き合いに出されてどうにも居心地悪い時があって。〝変わっちゃったね〟って言われるにうんざりすることがある。疲れる

てとこなのかもね。

「それはありますね。俺もありました。一時期、「春夏秋冬」は絶対にやりたくないって思ってたんです。ファンの子は大好きな曲なのにね。作った頃は、もちろん、いい出来だなって思ってたんですよ。でも、いつしか、Alice Nine＝「春夏秋冬」って思われるのがすごく嫌になって、でも、今はそれも受け入れられてる。そこもバンド次第。感性も変化していくモノだと思うんですよ。『VANDALIZE』の後に出したシングル「華」は、そんなことをいろいろと考えた上で出した1枚で、当時は新しいところへ一歩踏み出せたと思ってたんですけど、でも、今振り返ってみたら、「華」も『VANDALIZE』の一部だったなって思うし。ひとつのことをやり[illegible]とって難しいですよね。ずっと同じことをひたすらやり続けて行く[illegible]最高に退屈。だから、いろいろと[illegible]に変わっていくし、進化していくんでも、ファンの子って、きっと変わってほしくないと思ってると思うんですね。そこを無視するつもりはないんです。やっぱり、ファンの子が喜んでくれるのは凄く嬉しいんで。けど、やっぱりバンドである限りは、常にワクワクできるバンドになって行きたい。俺は、自分の好きだったバンドが進化して変わっていくのはすごく楽しかったんです。最初に変わったなって感じても、ワクワク感の方が強かった。SHOXX読者さん向けに例えるなら、LUNA SEAだったら『MOTHER』から『STYLE』の頃が、何か掴んで乗り越えた後のアルバムだったように思うし、L'Arc～en～Cielだったら、『True』から『HEART』だと思う。両方とも、偶然かもしれないけど、4・5枚目のアルバム。俺たちも今作ってるアルバム『GEMINI』がフルアルバムとしては4枚目になるし、そういう時期なのかなって思ってて。実際、今自分たちの頭の中で鳴っている音と、世間がAlice Nineに対してイメージする音が上手く調和したアルバムになっていると思います。ひとつの答えが出せた気がしてる。世間的なポピュラリティーを重んじる姿勢とロックバンドとしての姿勢、その二

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

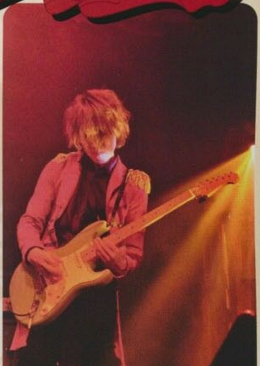
蝴蝶网
hudie.com

Plastic Tree

『月世界旅行』、無事帰還

月世界旅行
20101104/05
@SHINAGAWA
STELLAR BALL

Plastic Tree



知らない人がいる街に、会いにゆこう。

あれから10年以上の時を経て、あの煌々たる月世界は深遠なる表現方法をもって描かれるに至った。Plastic Treeにとって、今年最後の全国ツアーとなった[月世界旅行]において、彼らが見せてくれたたもの。それは、バンドとしての新境地にほかならない。このプロセスを経て向かう、その先には一体何が待ちかまえているのだろうか…？

Photography: SAWAE HARA（@SHINAGAWA） Interview: YUKI SUGIE

——ツアー［月世界旅行］が品川ステラボールでの2デイズ公演をもって無事終わりましたが、あのステージ上で竜太朗くんは〝以前、「月世界」っていう曲を出した頃からこういうツアーをやってみたいとは思っていたんですが、あれから何年か越しで実現しました〟というようなことを発言されていましたね。

有村竜太朗：はい。ただ、当時は別にそれを命題として掲げてどうこう…っていうところまでは思ってなくて、ホントにいつかやれたらいいなくらいの感覚ではあったんですよ。特に、「月世界」っていう曲は『トレモロ』（99年発表のシングル）のカップリングでもあったし、基本

ツアーとして実現したっていうのは面白いし、不思議だなって思います。

——今思うと、今年夏の武道館公演［テント②］も、〝月〟を意識した内容になっていましたから、きっとあの時点から後に続いて行くツアーのことも考慮されていた、ということなのでしょう。

長谷川正：確かに、あの武道館のライヴがひとつのひな形にはなりました。今年は『ムーンライト———。』っていう曲（シングル）も出しましたし、〝月〟をモチーフにひとつの世界を構成していくんであれば、まさにこのタイミングだろうっていう感じは強かったです。

——シアトリカルな要素を含んだライヴという観点からいけば、近年だと［ツアー『ウツセミ』］も秀逸な内容でしたが、今ツアーはそれとはまた違うアプローチからの方法論が詰まった、ファンタジックかつ斬新なツアーでしたよね。

ナカヤマアキラ：例えば、イベントなんかで普通に数曲ガーン！とやってバカ騒ぎしつつ帰ってく、っていうライヴとは当然違うからね。あれは、カタチのない台本を追ってくような感じって言えばいいのかな？ その日によって微妙に違いもあるし、絶対的に決まった筋書きがあるわけでもないんだけど、何か毎回ひとつの方向に向けて全員で呼吸を合わせながら物語を描いていくような、そんな感覚はあったかもしれない。

——いわゆるコンセプチュアルなツアーというのは、ケンケンくんにとって初めての体験だったのではないかと思うのですが、今回やってみてはいかがでしたか。

佐藤ケンケン：いやー、なんか楽しかったです。今回はライヴの中盤くらいで、特にその世界に特化した曲が並んでるパートがあったんですけど、そのへんはやってて僕も入り込んで叩けました。何だか、新しい世界が自分の中で拓けたツアーだった気がします。

——選曲や構成に関してはもちろん、今回のツアーはステージセットやライティングの面でも、いつも以上に凝った演出がなされていたツアーでしたしね。あれらについてのアイディアも、やはりバン

ろう?ってあれこれ考えていくつか意見を出しました。スタッフサイドからも良い提案が出て来てたんで、結果的にはそれを混ぜ合わせていった感じですね。

――それと、今回のツアーについては特筆すべき件がもう1点ありました。衣装のデザインが、全員〝お揃い〟でしたよね。個々にカスタマイズされていたところはあったにせよ、あれだけ統一感のある出で立ちのPlastic Treeを見ることが出来たというのは、ちょっと貴重だったのではないでしょうか?

アキラ：そうだね。言われてみると、ああいうのは今までなかったわ。俺なんて、赤い衣装とかも着たことなかったし（笑）。

正：お揃いっていうの自体は、前にも実はあったんだけどね。ほら、前のツナギのヤツとか。

竜太朗：あ、そっか。でも、今回のってたまたまって言えばたまたまだよね。

正：何となく、月の世界っていうところからちょっと非現実的な雰囲気のほうが良いんじゃない?ってなって、そこからオモチャの兵隊とか、鼓笛隊とか、そっち方向に行ったのかなぁ?

アキラ：まぁでも、とにかく今回の衣装は着こなすのが大変でしたよ。ああいうフォルムのカッチリした服って、たぶんそこまで動くっていうことを想定してはデザインされてないじゃない。だから、ライヴで着てると思ってる以上に着崩れて来ちゃいそうになるんだよね。改めて思ったもん、〝ライヴって、すげー動いてるんだな〟って（笑）。おまけにこれが、生地もけっこう繊細なので出来てたからさー。〝こういう服は傷めちゃったら台無しだ〟と思って、何かと気を遣ってたなぁ。

竜太朗：あの生地、本物のウールだったしね。そういう意味では、今回はライヴやってるとかなり暑かった（笑）。

ケンケン：僕はそのへんも含めて、動きやすさも考えつつ、最初っから袖のない衣装にしてもらってました（笑）。

竜太朗：でもさ、これは今回だけに限った話ではないんだけど、ワンツアー廻った衣装って、なんか愛着わくよね（笑）。

正：あー、分かる。ちょっとした戦友みたいな（笑）。

ーにはサウンド面でも変化があったように感じたのですか。

アキラ：俺は個人的にいうと、ゴッソリ変えた。いや、実際にはボタン1つの問題だったとも言えるんだけど（笑）、ツアー前にちょっとシステムを見直してみた時に、ふとゲインを少し下げてみたわけですよ。それが良かったみたい。

――印象としては、音がスッキリと明瞭になったような感じがしました。

アキラ：単純に言うと、前はそれだけヘタだってことでしょ（苦笑）。ゲイン上げてドーン！ゴシャー！ってやっちゃえば、そのへんってだいたい分かりにくくなったりするじゃない。逆に、ある程度弾けてるんだったら、ゲインなんか下げても別に音としては全然成立するわけでね。今回のツアーでは、そこにちゃんと気付けて良かったなって思う。ま、この期に及んでなのか?っていう疑問は、我ながらないわけじゃないけど（笑）。

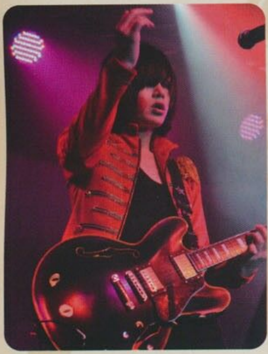
――いえいえ。進歩するのに、この期も何もありませんよ。これからだって、まだどんどん良い方向に変化していっていただきたいものです。

アキラ：うん、そうなるべくこれからも精進していきますよ。実は正直なこと言うと、夏の武道館はバンドとしては非常に良いライヴだったと思う反面、個人としては音的に〝ないな〟って思う点も多々あるライヴだったんで、今回のツアーではそこがクリア出来てメチャメチャ嬉しかったんだよね。いやホント、そこは良かったなって思う。

――リーダーは、今回のツアーで音的に心掛けていたことは何でしたか。

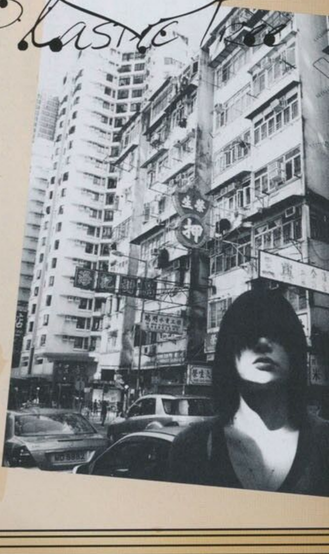
正：目標としてたのは、安定感かな。それもただソツなくやるっていうことではなく、熱もこもった中でバンドの音をドライヴさせる安定感、っていうものを出して行けるように意識してました。自分では、ある程度は達成できたかなって感じてますね。

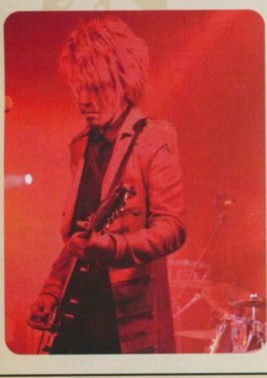
――ある程度どころか、十二分に醸し出されていましたよ。コンセプト性の強いライヴともなると、場合によっては世界観を重視するあまりダイナミズムが削がれてしまう可能性もありますが、今回の



月世界旅行
〜アジア編〜
20101112
@Hong Kong

Plastic Tree





蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

月世界旅行
〜アジア編〜
20101114
@Taiwan

Plastic Tree

『月世界旅行』、無事帰還

ライヴには臨場感と安定感が絶妙なバランスで混在していたと思います。

正：そうですね。用意されたロケーションがああいうわりと演劇的でカッチリしたものだっただけに、自分のプレイやパフォーマンスではライヴ感を出したかったし、そういうギャップの中から面白い空間を生み出せるのも、このバンドの持ってるひとつの特徴なんですよね。

——なるほど、同感です。

ケンケン：今回のツアーは、始まったばっかりの頃とファイナルに近付く頃ではいろいろと違って来てて、やってて気付くことが多かったっていうのも僕にとっては良い経験でした。やればやるほど、曲に対する解釈が変わっていったところがあって。新しい曲も、激しい曲も、全てこの［月世界旅行］っていうツアーでやったから〝ああなっていった〟んであって、もしかしたら次のツアーでそれぞれの曲をやったら、また多少違ったものになってるのかもしれないなって思うんですよ。そんな風に感じたのは初めてのことだったし、それだけこのツアーは自分にとっ

が出来ました。ありがとう〟とおっしゃっていましたよね。

竜太朗：結局、プラにとってはこの［月世界旅行］が今年最後の国内ツアーになったし、今回は5月のツアーより本数が多かったっていうのもあるんですけど、自分の中ではここ数年考えていたことに、ひとつの良い区切りがついたツアーになった気がするんですよ。と同時に、今回のツアーはずっと考えてたことが出来ましたっていう達成感っていうよりも、純粋にやって良かったな、いろんなところに行けて面白かったな、ライヴが楽しかったな、っていう気持ちになれたツアーだったと思います。

——ちなみに、いろんなところと言えば。今回は国内ツアーの後、［月世界旅行〜アジア編〜］にも出向かれていたそうで。

正：香港と台湾に行って参りました。台湾はもう5回くらい行ってますし、香港は初めてだったんですけど、どちらも凄くお客さんたちからの熱を感じるようなライヴになって、こちらもなかなか良いツアーになりましたよ。

——同じ中華圏ということで、香港と台湾だとリアクションや雰囲気は似たような感じなんですか？

正：あー、似てますよ。だけど、ちょっと違うところもありました。やっぱり、香港は〝初めてなんだな〟感があったというか（笑）。僕らのことは知ってくれてるんだけど、初めて観るっていう面でのちょっとした緊張感みたいなものが最初は漂ってて、でもそれがだんだんと打ち解けてったんですよね。最終的には、みんなホントに楽しんでくれてるんだなっていうことが伝わってきました。

——竜太朗くん、バンドとして初上陸した香港はいかがでしたか。

竜太朗：香港って、自分にとっては初めて意識した海外だった気がするんですよ。例えば、小学生の時に観た香港映画とかね。あとは、当時の刑事ドラマなんかも、1年に1回くらいは香港編みたいなのやってたじゃないですか。

正：あぁ、Gメンとかあったねぇ（笑）。

竜太朗：どうも僕の中ではそういうイ

物スレスレに飛んでて、九龍城とかあって渾沌としてて、筋肉ムキムキで七三分けの人とMr.ブーがそのへんでケンカしてる、みたいな（笑）。そういう雰囲気には昔から憧れてたんですけど、行ってみたら今の香港にはあんまりそういうものはなかったです（苦笑）。

——空港は移転して、九龍城もずいぶん前になくなってしまいましたから（笑）。

竜太朗：でも、ライヴは楽しかったですよ。あの香港でやってるんだと思ったら、やってることはもちろんいつもとおんなじなんですけど、ついテンション上がっちゃいました。

ケンケン：お客さんの声も、香港はやたらデカかったですよね？

アキラ：すげーデカかった。「ムーンライト———。」の時なんて、モニターからの音、全然聴こえなかったくらいだったもん（苦笑）。

正：みんな歌ってたしね。いやはや、凄い歓待ぶりでした（笑）。

——さて。この後、年末には2デイズライヴ［年末公演〜ゆくプラ　くるプラ〜］もありますが、程なくして今年は終わりを迎えます。2011年のPlastic Treeについても、今回はここで少しお話を伺えればと思うのですが。

正：2010年は、Plastic Treeとしてやれることがさらに増えた年だったと思うんですよ。ライヴの面でも、音の面でも、よりそういう可能性を拡げて行ければなと思ってます。

アキラ：忘れがちだけど、このバンド自体は（現編成で）始まってわずか3年目でしょ。まだまだやれること、やんなきゃいけないことはいっぱいありますよ。

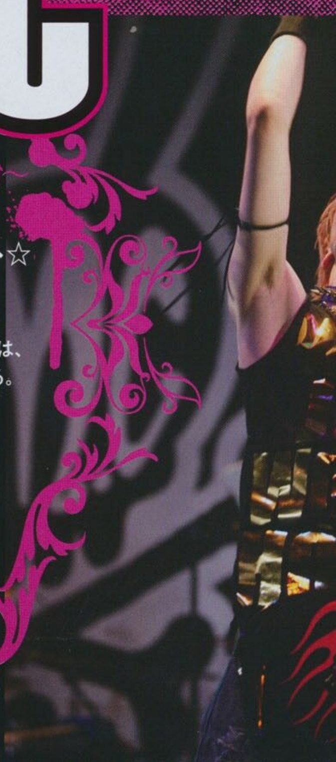
ケンケン：おいは、そのためにもここからもっとストイックになって行きたいです。そして、出来れば来年はもっとライヴの数を多くやりたいですね。

竜太朗：何かね、ケンケンが入ったことによってバンドが良い意味で変わった部分ってたくさんあるんですよ。それは今やってる次に向けてのレコーディングをしてても強く感じてることで、この4人で出す音っていうものを、ここからはさ

蝴蝶网
hudie.com

LM.C

~Go to the 5th Anniversary~
LM.C LIVE 2010

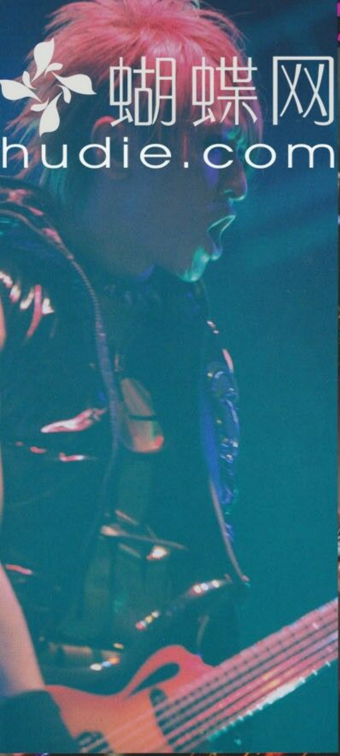


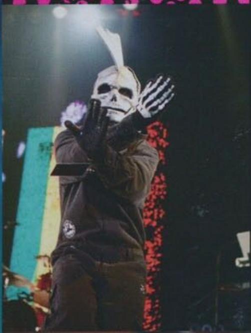
"まさか"の連続、スペシャル・ナイト☆

全力で楽しむことにかけて、LM.Cほど
天才的素質を持っているバンドもないだろう。
今回のような素敵な"まさか"たちに彩られた一夜は、
まさに彼らだからこそ生み出せたものだと言える。
なお、彼らは2月から全国ツアーを開始し、
3月にはニュー・シングルを発表。
そして、4月2日には2度目の日比谷野音公演
[YAON de FEVER FEVER!!]にも
挑むことが決定している。

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Report:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com





ヒヤッとするような〝まさか〟は困りものだが、ワクワクしてしまうような〝まさか〟ならば、いくらでも大歓迎だ。

今回、11月17日に渋谷AXにて行なわれたLM.Cの［～Go to the 5th Anniversary～ LM.C LIVE 2010］は、まさにそんな〝まさか〟がテンコ盛り状態にて供されたライヴだった、と言っていいだろう。

おなじみにして、LM.Cのライヴには必須でもある「☆Rock the LM.C☆」から始まったこの夜のパーティは、最新シングル曲「LET ME CRAZY!!」も交えつつ、いきなり前半戦から激烈スパーク・モードの様相を呈することに。

都内における年内最後のワンマン・ライヴという背景も影響していたのか、オーディエンスたちの発する熱気や嬌声からも、ここで楽しまずに一体どこで楽しむのか⁉という、気合いのようなものがそこはかとなく漂って来る。

その結果、中盤でのお祭りチューン「EDO FUNK」では、いわゆる踊る阿呆が会場中に大量発生するという事態も勃発。これには文字通り音頭役をとったmayaも、大変満足げだった。そのうえ、これに続くかたちで「EDO～」とはイワクツキの関係性にある「YASHA姫」がライヴにて初披露される場面もあり、これも当夜の中ではひとつの大きな聴きどころとなっていたはず。

『さぁ。そんなこんなで、今日は何月何日でしたっけ？ 11月17日。ってことは⁈ そう、先輩の誕生日です。さぁ、今日の主役のAiji先輩どうぞ！』

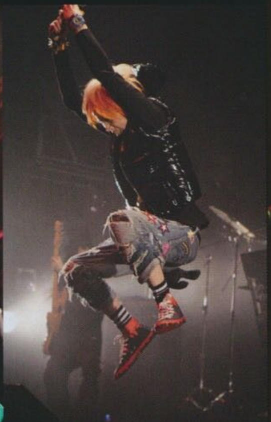
いたずらっ子のように嬉々としたmayaが進行役となり、ここで突如始まったのは〝Aiji生誕祭セレモニー〟という名の、血祭りタイム（笑）。

『…ちょっ！ マジで⁈ こういうの俺、超～苦手なんっすけど。いや、最近気付いたんですよ。俺ね、喜びを表現するのが凄いヘタなんだって。こういうの、ほんっっっと恥ずかしくって（苦笑）』

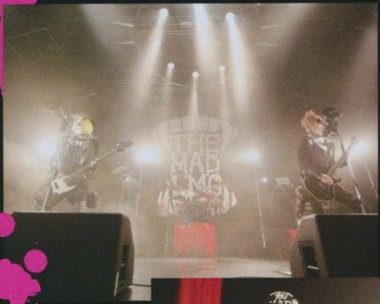
もちろん、mayaはそんな先輩の戸惑いなどお構いなし。まずは、mayaの自作自演によるお祝いコメント映像が流された後、Aijiの顔写真をプリン

蝴蝶网
hudie.com

Set list
SE-No.?
1.☆Rock the LM.C☆
2.Space Wannabiez
3.LET ME' CRAZY!!
4.JOKER-my name is-
5.The Midnight Museum 4
6.mR.century
7.CRAZY A GO GO
8.OH MY JULIET.
9.METALLY
10.Z-MAN
11.GHOST † HEART
12.EDO FUNK
13.YASHA姫
14.Yellow Beauty
15.88
16.meteorion
17.pOlyLife
18.little Fát Màn boy
19.JOHN
20.LIAR LIAR
21.It's a Wonderful Wonder World
22.PUNKY♥HEART
<THE MAD LM.C>
No Fun,No Future.



JACK!! THE MAD LM.C!!!



『言っときますけど、今日曲では銀テープとか一切使わないんで（笑）。ここにおカネかけました～！』（maya）「いやー、すいません。みなさん、ありがとうございます。これからはですね、まぁ俺もカッコ良いオヤジになってこうかなと…」（Aiji）

いやはや、可哀相に。つい口を滑らせてしまったAijiが、ここからしばらくmayaにオヤジ扱いされたり、ファンから盛大な〝年男コール〟が掛かったことは、言うまでもない。何だかんだ、結果としては祝われたというよりも、テイよくイジられてしまった感もだいぶ強いが、そこも含めてAijiはこれだけmayaとファンに愛されている、ということの証だと考えよう。

さて。こんな場面を挟みつつも、この夜のライヴはこの後も場内が大合唱で溢れた「88」ほか、2010年にLMCが行なってきたライヴの数々の良いところ取りをしたような内容に終始した。LMCの意志と心意気を集約させた「PUNKY♥HEART」で締めくくられるという構成も、文句なしの素晴らしさ。

終演後に流され始めた、今後に向けての告知映像を眺めつつ、名実ともに〝Go to the 5th Anniversary〟という言葉に相応しいライヴになったなぁ、などと感慨にふけっていると…何ともうひとつの〝まさか〟が我々を襲った。そう、何とあの〝THE MAD LM.C〟が終演後の舞台上に、乱入して来てしまったのである。『もうすぐ5周年だか何だか知らねーけど、1発やらせてもらうぜ！』

ベーシスト・MAD MAYAがそう言い放つと、MAD AIJIがギターを掻き鳴らし始め、「No Fun,No Future.」をプレイ。半ばヤリ逃げ状態で、THE MAD LM.Cは嵐のように引っ掻き回すだけ引っ掻き回して、その場を去って行ったのだった。

通常のワンマンに加えて、誕生日パーティやら、異色のクロージングアクトによるライヴまで。こんなに楽しい〝まさか〟なら、いくらあっても構わない。

蝴蝶网
hudie.com

曲だと思うんですが…みなさん、作曲者であるyujiさんに賛辞を贈るなら?

yuji:あ、そのパターンだ。

shinpei:まず、イントロがすごくいいなと思って。ド頭から憶えやすいし、サビもキャッチーだし。バンドで形にしたらハデでいいだろうなって。

Chiyu:確かに、一番曲が活きるサビメロだって俺も思った。

masato:ギター的に「小悪魔Sparkling」と近いところを弾いていたりするんですけど、この曲もやっぱり、ポップさが際立っていて。自分たちらしさがきっと出るなって思いましたよ。

—そういう賑やかしい曲をさらに盛り上げるのが、歌詞ですよね。

yuji:うん。曲自体、冬っていうよりは夏のイメージだったけど、結果的にすごく合っている歌詞になったと思いますよ。

—まさにジェットコースターのように、まったく油断できない緩急がありますしね。

武瑠:Aメロのゴチャゴチャ具合とサビメロのわかりやすさは、一番考えていましたからね。サビがわかりやすいぶん、Aメロは難しく書いて大丈夫だろうな、とか。

—確かに、〝譲渡〟なんていう言葉、あまり歌詞では見かけないです。

武瑠:〝命の危険もall譲渡?〟のとこね。バンジージャンプの前に、〝死んでも文句言いません〟っていう誓約書にサインさせられるっていう話を聞いて。ジェットコースターも速すぎて死ぬかもしれないけど、死んでも文句言わないでねって。AメロBメロは、〝Crazy Bunny Coasterに乗りなよ〟っていう客引きのセリフなんですよ。

—そういうことでしたか!

武瑠:そうそう。そこらへんの韻の踏み方、あとであらためて読み返してみたら、書いたときの自分がスゲェ頭良かったんだなって思ったりしたし。

—実際、冴え渡っていますよ。

武瑠:〝号外!豪快かつ壮大なScaleでSo dive〟〝So high!どうだい?このattraction気になってんだったら

きないかもしれないって思ったもん。

—まさに韻踏み放題、神フレーズとして殿堂入りさせたい気分です。

武瑠:そこの2行は、確かに神だと思う!

—ちなみに、メンバーのうち誰か1人と遊園地の乗り物に乗るとしたら、誰と何に乗りますか?

武瑠:俺、まーたん(masato)とジェットコースター。まーたん、ジェットコースター嫌いなんで。

—ドSですね!(笑)。

masato:そういうことですよねぇ。

武瑠:俺、ジェットコースター以外に乗る意味が解らないんですよ、基本的に。メリーゴーラウンドとかに乗ったら、死にたくなりそう。

yuji:恥ずかしいとは思うけど、死にたくはならないでしょ!?(笑)。

武瑠:いや、生き恥さらしてる感じ。

masato:でも、もしジェットコースターに乗ったら…普通に体調崩すと思うけどね(笑)。僕は、shinpeiとスターツアーズ(ディズニーランドのフライトシミュレータ型アトラクション)みたいなのに行きたいかな。

shinpei:あれ、結構酔わない!? でも、俺結構イタズラ好きなんで、ワサビ薄めた水とかを用意して、隣の人に仕掛けたいですね。ふふふ。俺は、Chiyuくんとだったら何でもフラットに楽しめそうかなって。

Chiyu:確かに、普通に楽しめそうやな。俺は…敢えて誰か選ぶならペーさん(shinpei)かな。ゴーカートみたいな、レースしたい。

yuji:僕は、絶叫マシンとかに乗れる人がいいですね。誰が絶叫マシンいけるか把握してないんだけど。

武瑠:たぶん、まーたん以外は大丈夫じゃない?

shinpei:俺も、進んでは乗らないけど、周りが乗るなら乗るからね。

—というみなさんの遊園地での生態、いつか見てみたいですっ。それから、カップリングの「NO OUT NO LIFE」なんですが…以前、バスケ少年だったと言っていた武瑠さんが、なぜ野球をテーマに選んだのかなと。

SuG Crazy Bunny Coaster

まさにジェットコースター!! SuG流ポップロ

SuG、2011年一発目のリリースとなる「Crazy
Coaster」(2011年1月12日リリース)は、【駆け抜け
叫系人生!】と謳われているように、今回も一筋縄では
い、彼らのポップで破天荒な魅力が満載の一枚に仕上
いる。今回は、そんな「Crazy Bunny Coaster」につい
ンバー5人にたっぷりと語って貰いました! また、
録のSuG·Book in Bookもあわせてご覧下さい♪

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROG
Art Direction:YOUKI MAE
Interview: YUK
Hair&Make-up:MICHIKO
YU MAW

好きだったんですけど…曲に合わせたんですよ。

shinpei:〝かっとばせ〜〟みたいなノリはあったからね。

yuji:だから、ひたすら野球に関係する言葉を書き出していたよね。

武瑠:そうそう。何が使えるか考えて。で、典型的なダメな男の子だけど、頑張ろうっていう感じにして。

yuji:ただ、もっとバンドっぽい曲になるイメージで作っていたんですけど、ディレクターさんが張り切っちゃって。

shinpei:バンド感より野球感が増したよね(笑)。

yuji:逆にアイドルの曲っぽくて、それはそれでアリだなとは思うけど。

武瑠:キャラ立ちしているからね。

—そして、通常盤のみに収録されるのが、shinpeiさん作曲の「ID fudge factor」なんですが…デジタリックでヘヴィでありつつ、サビのメロディが際立っていたりして。処女作「16bit HERO 3」とのギャップが、ズルいぐらいです。

shinpei:ギャップ萌えってあるなと思っての、「16bit HERO 3」ですからね。

yuji:狙ったの!?(笑)。

shinpei:ま、今回は真面目な曲を発表したいなと。自分はリズム楽器担当なぶん、メロディの面ではyujiくんに助けてもらったりしましたけどね。

—という曲、メンバーとしてはどう評価しているんでしょう。

武瑠:純粋にサビがすごい好き。歌詞のストーリーもパッと思いついたし。

masato:僕は、頭のスネアの感じとか、ドラマーならではだなと思って。新しいし、面白い曲になったなって。

Chiyu:ドラムのフレーズが、ホントにカッコよくて。今まで聴いたことのないようなリズムもあるし、ベースとドラムの絡みも楽しめた曲ですね。そこにまたギターが絡んでくるし、そっち方向に振りきれていますよ。

yuji:アレンジするときにデータでデモのファイルをもらうんですけど…そのトラック数が多くて、頑張った

うに、僕も誠意で返しましたっ。

shinpei:でも、確かにギターフレーズのおかげで曲がさらに良くなったんで。

—で、歌詞がなかなかダークでトガっているのは、なぜなのかなと。

武瑠:アルバム「TOKYO MUZICAL HOTEL」には入れられなかったけど、この街ではこういうことが起こっているっていう、別の話を考えていた中のひとつで。タイトルの〝ID fudge factor〟はスラム街の人たちのことで、歌詞に出てくる〝Hesteric Socialデザイナー〟は政治家とか官僚なんですよ。それに〝一辺倒なバスドラ〟とか音楽のことをウマく絡めて、〝ホワイトカラーは規則的なルールの上で踊ってろよ、ブルーカラーは汚いところで泥臭い革命を起こすから〟っていうことを書きたくて。

—その上で、〝僕は僕をやめはしない〟という一節は、すごく印象的で[illegible]

武瑠:まさにキーフレーズになるだろうなと思って、そこを活かそうと思っていましたからね。適当なウソがない中でも、自分が理想としている自分をやめたくはないので。

—では最後に…2010年こうだったから2011年はこうしますという、それぞれの所信表明をしていただこうかなと。

Chiyu:今年はできなかったんで来年はSHOXXでパーソナルインタビューとれるように頑張ります!

shinpei:今年はデビューできたという意味では良い年だったんですけど、そのぶん、見えてくることもあったので。来年は、そういう課題をクリアして、より大きくなりたいですね。

masato:今年はあらためて知ることも多かったので、来年はその知識を進化させて、強化させていきます。

yuji:今年はあんまりギターを練習しなかったんで…来年は練習しようと思いますっ。

武瑠:今年はめちゃめちゃオトナになった1年だったんですよ。でも、考えすぎたらできないことも、考えなければできたりするんで。来年はもう少しコドモに戻ります!

(問)PS COMPANY
〒168-0064 東京都杉並区永福4-19-17-1F TEL:03-5305-3813(平日[illegible]:00〜18:00)
http://www.pscompany.co.jp/sug/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

までいちばん苛酷でしたね。とは言いながら、最後に自ら1曲追加したりもして、それが「Underground road」なんですが、アルバムの完成度を上げるためにはどうしても必要だったんですね。

——なるほど。さて、今回の大きな注目点は、タイトルからも分かるように、Dの重要なコンセプトの一つでもある〈ヴァンパイア・ストーリー〉に基づくコンセプト・アルバムということ。まずは概略を簡単に説明していただけますか。

ASAGI：極めて簡単に話すと、ヴァンパイア・ストーリーというものを通して、“人間そのもの”を表現したいと思ってるんですよね。人間の持つ愛だったり、その裏に潜む悪だったり。ヴァンパイアはそのためのモチーフなんですね。完璧な人間はいないと思いますし、誰しも影の部分がありますよね。実際にそこと闘う人は少ないはずなんですが、その不完全さと向き合う本来あるべき姿を、愛に目覚めたヴァンパイアが自分の中に巡る悪しき血と闘う姿と照らし合わせてるんです。そこに美学があるんじゃないかなと思ってて。だから、ただホラー的にとか、何か古めかしいものを描きたいわけではないんですね。設定としても時代としては未来ですし、現実的に描いている物語なので……。

——先に発表された「In the name of justice」もヴァンパイア・ストーリーを掲げたコンセプト・シングルでしたね。

ASAGI：「In the name of justice」を作ってみて、普通のシングルと比べて伝える力や世界観がすごく強まるなぁと改めて感じたんですね。そこで今のこの勢い、流れを大事にしていけば、ヴァンパイア・ストーリーのアルバムが出来るんじゃないかなと思い始めたんですよ。

——今回のコンセプトがバンド内で話に出た時はどんな印象でした？

HIROKI：ASAGIくんの思い描くヴァンパイア・ストーリーは自分たちにとっても楽しみの一つですし、結成当初から「Vampire Missa」という代表曲があり、そこからいろんな楽曲を経て、そんな中でのコンセプト・アルバムということで、すごく楽しみでしたし、ぜひやりましょうという感じでしたね。

HIDE-ZOU：他にもDにはいろんな物語のある楽曲が揃ってますけど、特にヴァンパイア・ストーリーは、曲同士のつながりが見えてきたり、ワクワクする展開も多いんですね。例えば僕らが持っていった原曲から新たなストーリーが生まれることもある。コンセプト・アルバムを作ることは、すごく大変そうなのは分かってたんですけど、絶対に完成させたい気持ちでいっぱいでしたね。

Ruiza：やはり最初にASAGIくんから「Vampire Missa」を聴かせてもらった時からDは始まっているので、すごく大事なものですよね。ASAGIくんは（ヴァンパイア・ストーリーの）小説も書いてるんですけど、イメージもしやすかったし、（登場人物が）動いている部分がすぐに頭の中に入ってきたり。もちろん、楽曲ともリンクしてる。こういったものをアルバムとして表現するということで、すごくワクワクしましたね。

——Tsunehitoくんは最後に加入したメンバーですし、他の4人とは違った見え方もあるかもしれませんね。

Tsunehito：最初に聴いた音源は『夢なりし空中庭園』ですけど、いろんなところでDを目にしてたんですね。『繭月の棺』の写真だったら棺に入ってたり、PVを観た時に“牙が生えてる……”って思ったり（笑）。だから、ヴァンパイア・ストーリーというものがDの中にあって、もちろんそれだけじゃないんだけど、そこから広がっていくいろんな曲があるんだなというイメージはありましたね。

——それは面白そうだなという感覚？

Tsunehito：何というか……変な言い方ですけど、ヴィジュアル系やゴシック系のバンドの中では、ヴァンパイアって曲のモチーフにされることも多い気が何となくするんですけど、何となくパロディに聞こえたりするものもありますよね。でも、やっぱりDの場合はただ

Be human——

不完全さと向き合う、本来あるべき“人間”の姿

バンド結成以来描き続けて来たヴァンパイアのストーリーを軸にしたコンセプト・アルバム『VAMPIRE SAGA』を1月12日にリリース。先行シングル曲であった「In the name of justice」から一気に拡がりを見せたヴァンパイア・ストーリーは、ここでどこに向かおうとして……アルバムについて紐解くことで、Dの真髄を探っていく。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA
Hair & Make-up:TAMAYO KOTAKE(be-gree),KUMI KIMURA
Interview:KYOSUKE TSUCHIYA

採り上げたものではなく、真正面からこのテーマに取り組んで作っているのは分かると思うんですよね。

ASAGI：そうですね。人を殺めるようなヴァンパイアのストーリーではないですし。知れば知るほど、興味深くなっていくんじゃないかなと思うんですね。

——今回のアルバムでは、大きな転機をもたらした「In the name of justice」の前に「無垢なる薔薇の祈り」なるイントロダクション的な楽曲が配されて始まりますが、これはどんな狙いが？

ASAGI：これはもう、思い浮かんだ時点で1曲目になるべきだなと思って。「In the name of justice」で王の息子にジャスティスと名付けた時……やっぱり自分の描いている物語の主人公は、頭の中で成長していたんですけど、僕は限りなく子供を産む時の母の気持ちに近づこうと考えてたんですね。この「無垢なる薔薇の祈り」は、そんな時に生まれたんですよ。母親はジャスティスを産み、最後に名前を付けて亡くなってしまう。その時に抱いていた想いみたいなものが表れてますね。僕もホントに入り込んでて……全曲そうなんですけど、とにかく入り込まないと出てこない言葉ってあるんですよ、この曲が出来たら死ぬんじゃないかなって思うぐらい。だから歌詞の最後の言葉が埋まる時は怖かったですね。でも、だからこそ、こういう曲が出来たんだと思いますね。

HIDE-ZOU：今回だけじゃないけど、ASAGIさんから楽曲に込められたストーリーなどの話を聴いているだけで、常人じゃないというか、性別も超えているし、ホントに表現者として凄いなって思うんですよ。メンバーとして尊敬できる。だから、僕らはそれをいかに演奏して表現するか。同じように本気で考えようって気持ちにもなりますしね。

——産みの苦しみとはよく言いますが、傍らで見ていてもよく分かるものなんでしょうね。それぞれ今回の制作の過程で特に印象に残っていることなどは？

Ruiza：ほんの一瞬の出来事なんですけど、今回はコンセプト・アルバムというのもあったと思いますし、入り込む度合いも今までより強かったのかなって。何と言っていいのか分からないけど、「In the name of justice」のレコーディングの辺りからは、ずっと集中してたし、バンドとしてもより一丸となってた気がするんですよね。その最後に録ったのは「Black Swan」のサビのアコギだったんですけど、それもデカいですね。モロに出るじゃないですか、自分の感情やニュアンスが。それもあって、いろいろ思い出してとにかく感動しました。

Tsunehito：俺は……自分の作った曲だったり、いろいろあるんですけど、このアルバムの表題曲になる13曲目の「Der König der Dunkelheit」ですね。最後に入っている語りの詩まですべて完成して、1曲通して聴いた時に、ホントにこのアルバムを象徴する、キーになる曲だなと思ったし、自分もファンとして、この後はどうなるんだろうといった期待感も出て来たんですよね。

——もちろん、曲が生まれてくる過程においても、アルバムの最後に配置されることは想定されていたんでしょうね。

ASAGI：はい。ただ、今回に限っては、いつもとはちょっと違った作り方だったんですよ。「In the name of justice」で王の息子ジャスティスと四騎士という世界観を作ってみて思い浮かんだのが、今度は時代は数百年遡っての王と四騎士を描いてみたいってことだったんですよ。だから今まで以上に課題は多かったですしね。トータル・ア[illegible]て、すべての必要な要素をリ[illegible]させて入れ込まなければいけなかったので……。

——まず曲の部分だけがあり、そこに見合った歌詞をのせるという作業[illegible]般的ですよね。もちろん、そういった作[illegible]方をしたものはあるにせよ、明確なストーリーがある中で曲そのものも生み出さなければならない。だからこそより細かな整合性も求められることになる。

ASAGI：そうなんですよね。さらに曲を作る中で世界観もどんどん広[illegible]って

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

いきましたし。バンドとしても「In the name of justice」で、それぞれの個性が際立ってきたかなと感じてましたけど、わりと早い段階で決めてましたね、「Der König der Dunkelheit」をリード曲としたPVを撮るというのも。なぜ王がヴァンパイアとなってしまったのか。映像を観ていただければ分かると思うんですけど、王家に代々伝わる秘薬があって、これは国が滅亡の危機に陥った時のみ封印を解くことが許されるものなんですね。それは王位継承者のみに伝わるものだったんですが、その時代の王が暗殺されて、たくさんの国に攻められそうになる。そこでその秘薬を飲み、ヴァンパイアになってしまう。13曲目にした理由もそこにあって。ドライツェン(Dreizehn)は13番目の王として出てくるんですけど、その名前自体にも〝13〟という意味があるんですよ。だから最後に1曲追加したって話しましたけど、完成度を高めていくためにやった結果として、こういう形になってるんですね。その意味では必然だったというか、説得力が増したなぁと思いましたね。

——偶然にもそういった着地点に到達したのが面白いですよね。ところで、作曲のクレジットを見ると、今回は〝HIROKI〟という表記がありますよね。

HIROKI：どこかで聴いたことのある名前が…って思うかもしれないですけど（笑）。今回、曲を作るっていうことに携われたんですね。今までの音楽生活の中で作曲というのをしたことがなかったんですけど、今回はドラム・ソロになってる「太古の牙」とASAGIくんとの共作の「Desert Warrior」と。それが自分にとっては大きなことでしたね。

ASAGI：ジャスティスと四騎士は遡れば「闇の声」から派生した世界観で、「赤き羊による晩餐会」から「In the name of justice」とやってきましたけど、コンセプト・アルバムを作ろうとなった時に、四騎士がそれぞれ主人公になってる楽曲が欲しいなと思ったんですね。王の曲はもちろん自分で作りますけど、メン

蝴蝶网
hudie.com

ここからつながる「Desert Warrior」は、この「太古の牙」に何か通じるものが出来ればいいなと思ってて、最終的に上手く組み合せることが出来て。この曲はHIROKIくんのリズム・パターンを元に作ったんですけど、そういうのは初めてだったんですよ。だからHIROKIくんのドラムありきの曲なんですね。

HIROKI：ドラムにはコードがないけど、打楽器なりにフィールによって伝えられる感情もある。そういったところで上手く叩けないかなと思ってたんですね。でも、そういったフレーズをASAGIくんが感じ取ってくれて、歌詞も含めて力強い楽曲になって返ってきた時には、もう感無量でしたね。音楽制作ってこんなに素敵なことなんだって。これからは意欲的に作曲活動も出来ればという自信にもつながった曲ですね。

HIDE-ZOU：今まで僕はDとして2曲作ってますけど、今回の「翠緑の翼」では、これまでとは違った感動がありましたね。ここでは風を司るヴァンパイアの主人公の謎が解き明かされるんですけど、自分の曲から新たなストーリーが生まれていくという……。それぞれが司る楽曲に入り込むことで、Dに対する想いもより深くなりましたし、メンバー同士の絆もさらに強まった印象もありますね。完成に至るまではホントに大変でしたけど、やっぱり凄いものを作ったなぁって自信も沸いてくるんですよね。

——中盤には作曲者の異なる楽曲が並んでいますが、作り手によって表れる個性の違いもよく分かりますよね。しかも、それを殺さずに活かし、コンセプト・アルバムとして成り立たせている。

ASAGI：そこは絶対に犠牲にしたくなかったんですよ。このメンバーだからこそ出来ることを追究する……それがDのやるべきことだと思うんですね。だからそれぞれがこういった曲を作らなければ、今回のストーリーは生まれなかったと思うし、そういった意味でも、すごくバンドっぽい作品になったと思うし、Dがやってきたことは間違いじゃないと、改めて確信したところです。

——アルバム『GO』の制作にあたっては、何かコンセプトを決めて取り組んでいるんですか。
Яyo：今回は、そういうのを取っ払って作ってみようと話をしてました。だから『MUSIC』（前々作。2008年11月発売）の時みたいに、今回はデジタルで…とか、そういうのはないですね。純粋にやりたいと思うものを寄せ集めた感じです。
——個々がやりたいものを持ち寄った感じ？
Яyo：だから、デモの曲数も結構多くて、そこから選んでいったんです。コンセプトに合ったものを選ぶとかではなくて、耳に残るものをどんどん選んでいくやり方は初めてでしたね。
——お二人は、個人的にはどんなことをやりたいと思ってました？
Яyo：ちゃんと歌えるものって言うんですかね、メロディが心に残るものをやりたいと思ってました。何か表現が悪いですけど、カラオケで歌える曲ですね。
愁：核はЯyoが作ると思ったんで、自分が作る曲は冒険心むき出しでやっていこうと思ってました。他のメンバーには書けない曲が俺には書けるんだろうって思うから。僕は細かくは作れないんで、自分がその時書ける曲をЯyoと煮詰めて、いけそうな曲があったら合体させたりして。気分的にはЯyoと一緒で、純粋にカッコいい曲がいいなというぐらいで、特に細かいことはなかったです。
——コンセプトを決めなかったのは、何か理由があったんですか。
Яyo：今までずっとコンセプトを考えてたんで、コンセプトがないのも一回いいんじゃね？と思って（笑）。コンセプトを決めると、幅が広がらないんですよ。もっと広げたいなと思ったんですよね。
——コンセプトがないということで、制作過程は違ってきます？
Яyo：コンセプトがあったほうがやりやすいですね。だから、結構悩みました。自分の好きな曲だけを書いてたら、同じものしか出来ないから。バランスを見な

——各々が好きな曲を持ち寄るとなると、選曲の段階で意見をまとめるのも大変なようにも思いますが。
Яyo：意見が分かれたりとかはなかったですね。すんなりまとまりました。他のバンドだとモメんのかな、殴り合いになるのかな？（笑）
愁：何となくこんな感じじゃない？って曲を並べて、ああそうだねって。何の問題もなく1時間以内に終わりましたね。
——コンセプトがなくても、全員が[illegible]いるところは一緒だったんですね。
Яyo：だと思いますね。『COLOR』『イノチノキ』とシングルを出して、ツアーも廻って、今、見えてくるところは同じなんですよ。
——やっぱり『COLOR』『イノチノキ』の流れを汲んでるところはあるんですか。
Яyo：そうですね。その2枚は歌モノじゃないですか。その次がいきなりデスメタルとかだったら、何の説得力もないし。シングル2枚の延長線上にはしたかったですね。かつ、ギルガメッシュらしさもちゃんと残して、幅も広げられたらなっていう気持ちでした。
——確かに聴かせていただいたものは、バラエティに富んでいる印象はありましたね。
愁：ヘヴィなこともある程度やってきたし、ライヴ1本の流れで考えると、もう十分な部分もあったりするし。逆に将来のライヴ1本を見据えて、こんな曲も欲しいねっていうのを集めた感じなのかな。だから、『GO』というアルバムと言うより、ギルガメッシュの70何曲目とか80何曲目が出来ました、みたいな感覚かな。
——なるほど。ということは、1枚のアルバムとしての作品性や全体像はそこまで考えてない？
愁：悪い表現になっちゃうとイヤなんですけど、そこまではないかもしれないですね。〝5枚目のアルバム〟じゃなくて、この1年分のギルガメッシュのまとめ編、みたいな感じなので。
Яyo：でも、一言で表すなら、〝汗臭い光〟みたいなアルバムにしたいという

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

GO AHEAD!!!

ただ叫んでいるだけではダメなんだ

[redacted] 2011年1月26日、ギルガメッシュは5枚目となるアルバム『GO』をリリースする。今回は制作中の愁とЯyoに話を訊いたが、自信がにじみ出ているような、未来を見据えた前向きな発言に、アルバムへの期待がどんどん膨らんだ。2月5日には、彼らの地元である市川市文化会館大ホールで、初のホールライヴを敢行。2010年で逞しい成長を遂げた彼らだが、さらに輪をかけるような進化を見せてくれることは間違いない。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

の光で。それがあったからこそ今がありますって、すごく自信を持って言えるんです。今は光を放ちたい時だったんですね。GO！な気分だったんです（笑）。

――それでタイトルは『GO』と。

愁：5枚目っていうのもあって（笑）。

――ああ、なるほど（笑）。

愁：歌詞も曲調も、前向きな曲っていうのもあるし。

――〝今〟という意味の『NOW』から、〝進む〟という〝前〟を感じさせる意味の『GO』になったのは象徴的な気もしますが、前作と決定的に違うのはどういうところでしょう？

Яyo：メジャーな曲調の曲が多くなったとか。コード進行もメジャーなものが多いんで、そこの違いですかね。

愁：僕は、『NOW』よりも、いい意味で力が抜けてるかなと思います。力みはないかなと。ラフ感とか脱皮した感があるし。土に這いつくばってるんじゃなくて、羽ばたいた感じ。蝶です。バタフライになりました。

Яyo：いも虫だったのが（笑）。

――それで洗練された印象を受けたのかもしれないですね。

愁：今までどおりにしたくないっていうのはあったと思います。レコーディングの仕方にしてもそうだし。コード進行にしても持っていき方にしても、楽器陣は頭を多少使ったかもしれないですね。

Яyo：転調とか、1セクションで8コード使うとか、そういう部分で頭を使いましたね。だからすっきり収まってるのかもしれないです。

――直球勝負だけじゃなく、違うことも出来るぞと。

Яyo：でも、気持ちとしては直球なんですけどね。

――そういう熱さは昔と変わらないですね。

Яyo：今までも、ライヴが見えないとイヤだみたいに言ってたじゃないですか。でも、今回の曲たちもライヴが見えるんですよ。

――その思い浮かべる〝ライヴ〟とはこれまでと違っていたりするんですか。

――どんな作品に仕上がるか、完成が楽しみです。さて、ここで2010年を振り返っていただきたいんですが、確実に前に進めた1年だったんじゃないですか。

Яyo：今年は新境地へポイッて足を踏み入れて、『GO』でどっぷり浸かる、みたいな感じですね。

愁：結成から考えて、いちばんハードだった気がします。正月から走りっぱなしでしたね。今年だけで広島に3回行ってるし、とにかく細かく行きたかったんですね。そういうツアーを夏と秋にして、過去5年間のギルガメッシュの楽曲が演奏できたんで、お客さんも楽しめたんじゃないかな。僕らも刺激的だったし、それで見えたことを全てアルバムに詰められたと思います。

――2011年にはホールライヴが決まったということもあって、さらに前を向けている面もあるんですか。

愁：自分たちに限界は作りたくないですよね。やっぱりライヴハウスには限界もあるし。そうじゃなくて、1万人、5万人、30万人…と、やれるところはいくらでもあるんで。どんどん上を目指していきたいですよね。

――1年前に、新木場スタジオコーストでのワンマンに向けた話をしていた時と、すごく違いを感じる発言ですね（笑）。

愁：確かに。みんな、新木場新木場って言って、ビビッてましたね（苦笑）。

Яyo：ああ、そうですね。何でだろうな。

愁：夏の『JACK IN THE BOX』とかでも、幕張で何万人とか見てますからね。

Яyo：そういうのを見ちゃうと、〝ああ、これをモノにしてえな〟と。hydeさんが出てきただけで、〝なんだ、あの歓声は！〟って思うし、その歓声が欲しいなって思うんです。目標がもっとデカくなっちゃいましたね。そのためには、やっぱり叫んでるだけではダメだと。だから『GO』は、より伝わりやすいギルガメッシュなのかなと思います。

――そんな将来への一歩が、市川から始まるんですね。

愁：そうですね（笑）。楽しみにしてて下さい！

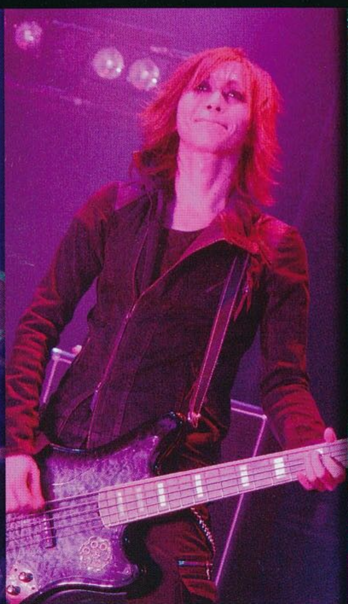
D'ESPAIRSRAY

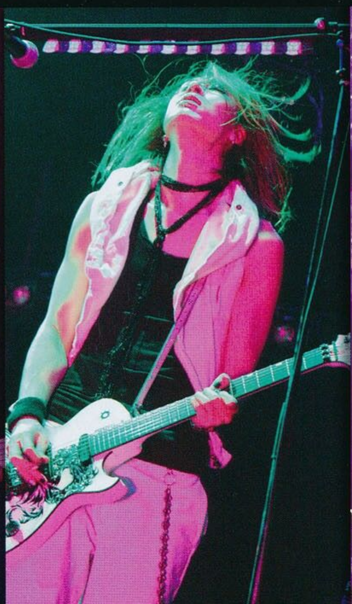
Human-clad Monsters

Live at 東京国際フォーラム　ホールC 2010.11.22

物の怪じみた、圧倒的パフォーマンス。
それを怪宴と呼んでもいいのなら、11月22日に東京国際フォーラム・ホールCで
D' espairsRayが行ったワンマンは、まさにそれに値した。
12月30日に横浜BLITZでの[Human-clad monsters FINAL]が終わると、
彼らは無期限の活動休止期間へと突入するが、それを前にしての彼らの晴れやかなる勇姿。
ここではそれを伝えてみたい。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）/OFFICIAL（★）　Report:YUKI SUGIE





蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1. Human-clad Monster 2.REDEEMER 3.Garnet
4.アベルとカイン 5.「浮遊した理想」 6.DEATH POINT
7.dope 8.13-Thirteen 9.GOING ON ! 10.FALLING
11.Angeldust 12.MIRROR 13.PARADOX 14.abyss
15.Lost in re:birth 16.DEVILS' PARADE 17.Hollow
18.LOVE IS DEAD EN1.凍える夜に咲いた花
EN2.ARK IN THE STORM EN3.Reddish
EN4."Forbidden" EN5.HORIZON EN6.Bullet

［Human-clad monsters］でも、半ば怪物じみた驚異的パフォーマンスを各地で繰り広げてきていた。そんな彼らが、このたび11月22日には東京国際フォーラム・ホールCにも降臨。

年も押し迫った12月30日に、横浜BLITZでの［Human-clad monsters FINAL］が控えているとはいえ、こちらの横浜公演は意味合い的に言うと追加公演としての要素も強い。その点、今回の国際フォーラム公演は、事実上国内におけるツアーファイナルとも言えるようなライヴで、年内をもっての活動休止期間突入を前に、何時にも増して沢山の人々がD'espairsRayの勇姿を確認すべく、この場に集っていたのではないかと思われる。

もちろん、場内は上から下まで見事にベタ埋まりで、客電が落とされた瞬間から、その空間は歓声と叫び声の交錯する強熱の坩堝へと変貌したのだった。そして、ここで1曲目に選ばれていたのは他ならぬ「Human-clad monster」。TSUKASAの刻むラウドかつタイトなリズムと、ワイルドに歪む弦楽器隊のサウンドにのせ、HIZUMIが力強く歌い出して行く様は躍動感たっぷりだ。しかも、気付けばKaryuとZEROは曲の途中それぞれに楽器を手にしたまま、くるくるとフィギュア選手並の高速スピンまでかましているではないか。どうやら彼らの方も相当なモチベーションでこのライヴに臨んでいるらしい。

ちなみに、［Human-clad monsters］という冠がついていたとはいえ、今回のライヴではアルバム『MONSTERS』のみにこだわった選曲がなされていたわけでもなかった。特に、この本編前半戦では「Garnet」をはじめとして、「アベルとカイン」など、古くからマニアたちに愛されてきた楽曲たちも彼らは惜しみなく披露してくれたのだった。

と同時に、今回のライヴではツアーを通してあらたに育ってきた楽曲たちの成長ぶりも顕著で、ドライヴ感満載で繰り広げられた「DEATH POINT」や、小

アップされていた印象が強い。

〝あのさ。ホールっていうのは、普通だと俗に言うコンサートっていうのをやるんだよな（笑）。でも、俺たちがやりたいのは【ライヴ】だから。席があるから暴れられないとか、そんな理屈は通用しないからな！〟

この夜、HIZUMIは途中でこんな風にマニアたちを煽ってもみせたのだが、それでいてホールならではの空間の使い方がなされる場面があったのも、この日のライヴの特徴だったと言える。静かな祈りの念が込められた「PARADOX」と、深遠な響きをたたえた「abyss」では、ステージ前に紗幕が垂らされ、敢えて我々の視線を遮った中での演奏が行われたのだ。

静と動。この落差を表現するバンド自体はいくらもいるが、D'espairsRayほどそれを鬼気迫るかたちで体現出来るバンドはそう多くない。故に、ここから本編後半からアンコールにかけての蒸かしっぷりも相当なもので、ホール中がヘッドバンギングの嵐となった「Lost in re:birth」から、ホール中がダンスエリアとなった「LOVE IS DEAD」にかけての4連打には、非常に凄絶なものがあった。

〝いやー、今日はなんか皆テンション高いね！ ZEROくんなんか、くるくる回転すんのが速過ぎてカメラマンが撮れないんじゃないかっていう（笑）。さっき、「LOVE IS DEAD」やってた時も、3階席にいる人とか落ちそうだったし（笑）〟

アンコールにて、無邪気な笑顔をみせていたHIZUMIの姿。それを目にして、今回ある種の安堵を感じた人も多かったに違いない。諸事情を鑑みれば、彼がこのツアーを続行出来ていること自体が、そもそもはバケモノじみたことなのだから。このライヴを怪宴と呼ばずして、何と言おう。

考えてみれば、D'espairsRayは、元来闇の世界こそを好むバンドでもある。大丈夫。彼らは、やがて地獄の底からでも華麗に生還するはずだ。

（問）http://www.despairsray.jp/

蝴蝶网
hudie.com

陰陽座

究極の魂の集大成、『陰陽大全』発売!!

成10年を超えた陰陽座が、その活動の歴史を凝縮したスペシャル・アイテムをリリースする。12月22日発売のボックス・セット
全』だ。これまでリリースしてきた全てのオリジナル・スタジオ音源10枚と、アルバム未収録の楽曲を抽出したディスク2枚、
さらには歴代PV11曲を収めたDVDなどなど、彼らの10年を余すところなく知れるアイテムとなっている。
映像制作における思い出などを中心に、"陰陽座たる軸"を改めて訊いた、久々のフル・メンバー・インタビューをお届けする。

Interview:REIKO ARAKAWA

蝴蝶网
hudie.com

瞬火：単純に作品のことで言えば、音が良くなってますよね。音の良い悪いは好みの問題もあるので、一概には言えないんですけど、とにかく前のものよりも良い音をという気持ちで積み重ねた結果の、その値打ちのある良好なプロダクションが、昔はなかったけど現在はあると思いますし。より良い楽曲をという気持ちはバンド結成した時よりも今のほうが強いぐらいですし、演奏もまだまだ伸びていかないといけない段階だと自覚してますけど、少なくとも10年前よりはほんのちょっと上手くなってると思います。それは変わったと言うよりは伸びたっていうところなので、変わったなぁと思うところはないですね。たぶん、つまらない答えだとは思いますけど（笑）。

一同：（笑）

――映像を観てもそんなに変わってないなぁと思うんですよ。変わったのは瞬火さんのメイクが薄くなったぐらいですかね？

瞬火：薄いというか、口紅の色が（笑）。昔は黒いのを塗ってましたが、今は何も塗っていないっていうくらいですか。

――衣装がちょっと軽くなっている感じですか？

瞬火：最近、衣装の狩衣っていうやつをあんまり着てないです。

――ライヴ仕様で軽くなってるのかな？と。

瞬火：そうですね。別にもう狩衣を着ないっていうわけじゃないんですけど。そこは自然に変わったというか、整理されてきたとこかもしれないですね。でも衣装で言っても10年間で狩衣着てる／着てない程度の変化しかない。

――あとヒゲですよ。

瞬火：あぁ～。ヒゲはね、生えますからね。剃らないって選択をすれば、生えてるってだけで。

――結構インパクトありましたよね？

瞬火：『魔王戴天』っていう作品の時に、魔王というキーワード……織田信長に代表される武将のイメージがあって、ヒゲをたくわえてみようと思ったんです。まぁ賛否両論で。

――ビデオクリップ全集『活動履歴』は見応えがありますが、どの曲が印象に残っていますか？

招鬼：思い入れという点ではそれぞれありますが、「睡」からヴィジュアルトラップの近藤廣行監督に撮ってもらってるんですけど、近藤監督の撮る画っていうのが毎回カッコいいなって思うんです。

――狩姦さんとしては？

狩姦：「睡」の時に黒猫さんがワイヤーで吊られて、飛んでるんですよね。あれはインパクトとして未だに残ってます、浮いてる～！って（笑）。

――吊られてる身としてはどうでした？

黒猫：凄く楽しかったです。

――ホントに？

黒猫：〝黒猫さんに浮いてもらいます〟って話を聞いて、どうやって浮くのかと技術的なことも分からなかったんですけど、人力で浮かすんですよね。吊り上げる方がいて。それでフワフワ飛んでるんですけど、初めての経験で面白かったです。私は本当に嬉しいなぁ～って感じだったんですけど、瞬火さんは〝ちょっと大丈夫？〟って。

瞬火：僕が高いところが苦手なので。

黒猫：心配して、逆に瞬火さんのほうがドキドキしてたみたいな感じでした（笑）。

――瞬火さんは？

瞬火：「組曲「義経」～悪忌判官」。この曲で能楽師の山井綱雄さんに舞を付けていただいて、山井さんだけが舞ってる画もあれば、バンドと演奏と絡んでるシーンもあるんですけど、あの本物の能の舞が画の中にあるビデオは、とてもイイと思います。能っぽいダンスを踊っているのではなく、本物の能楽師の方がこの曲を聴いて、歌詞のストーリーを理解して舞を付けてくださったので……本物の芸能の凄みを感じて鳥肌が立ちましたね。

――そもそも、陰陽座の映像はどうやって作られていくものなんですか？

瞬火：当然楽曲によってストーリーがあったりコンセプトがあったりするんですけど、一応歌詞とか楽曲に込められた意図を監督にお伝えして……ただ、こう

より良い楽曲を――ブレない10年の活動の

れると思うので。

――黒猫さんの印象に残ってる作品は？

黒猫：本当に全部気に入ってるんですけど、瞬火さんが殺陣というか……

瞬火：う～ん……

黒猫：言わないほうがいい？（笑）ホント好きなんですよ、瞬火さんが殺陣をやった「蒼き独眼」。刀で人を斬るシーンがあったり、矢で射抜かれたりっていうシーンもあったんですけど、もちろん殺陣なんか普段からやってるわけではないので、その時に殺陣師の人が来て、共演していただいたんですね。そこでちょっと教わって、その動きをぶっつけ本番ぐらいな感じでやってたんですけど、私もメンバーもスタッフも監督も〝カッコいい！〟って。本人は自分だから照れちゃって。

――瞬火さん、眉間にシワ寄ってますが。

一同：（笑）

黒猫：本人は、もっと練習したいっていう気持ちだったと思うんですけど、実は観てるほうは〝凄いね、カッコいいね〟って言ってたんですよね。

狩姦：うん、カッコ良かった。

瞬火：その時の殺陣師の方がとにかく本格的だったんですよ。僕も当日、具足を〝ハイ、付けて！〟って言われて付けて、〝じゃ型を教えます〟って言われて、その場で教えてもらって、すぐに〝ハイ、カメラ回します〟って言われるぐらいの感じの撮影だったんですね。〝殺陣をやってる風〟の振り付けじゃなくて、〝これが本当に〝真剣〟だったとしたら、こういう動きをしなければ斬れない〟っていう本物の指導をされたんです。画的に派手に見える、いわゆるチャンバラごっこ的な動きだったら、もしかしたら僕もそんなに考え込まずにやれたかもしれないんですけど、それだと〝チャンバラごっこ〟な画になっちゃったと思うんですよ。なので、結果的には本物の指導をされたことで本物の雰囲気で撮れたと思うんですけど、ホントに専門的というか、本格的で……。首に刀を当てて振り抜くシーンがあるんですけど、〝その角度では骨で止まります！〟って言われたり。

瞬火：それが良い意味で無骨な殺陣になってるんですよ。刀をただ振り回してるだけではなく。だから凄く良かったなとは思うんですけど、あまりに本格的な指導を数10分でされたために、情報量が多すぎて、後で自分で観ると、あそこは角度が曲がってるとか、あれでは骨で止まってるとか、そういうことが気になって自分では観れない（笑）。

黒猫：観ててリアルな感じで、瞬火さんも撮影してる時に思わずうなり声が出たりしてたんですよ。なんかそういう気になるんだろうなって思って、凄く迫真で私は凄く気に入ってます。

――初めて演技してる！と思いました。

瞬火：演技とか、そんな場合じゃなかったですね。

招鬼：唯一、矢で射抜かれる時だけ余裕を見せていた。

一同：（笑）

瞬火：最後、矢が刺さったテイでリアクションしてって言われて、どうせ声は入らないので〝アイター！〟って言ってみました。

狩姦：大爆笑でした。

――バンド的には、どのPVも演奏シーンは必須なんでしょうか？

瞬火：場合によってはなくても良いものにはなると思うんですけど、ロックバンドとしては演奏シーンがあったほうがシズルがあっていいと思います。速い速度で撮って、実際の速度で再生した時に、ブワッとした雰囲気にする撮影方法があるんですよ。凄い速さで再生した曲に合わせて撮るんですけど、みんな指が合ってる！って近藤監督が驚いていて。それってあんまりないことらしいです。その撮影をする時は、演奏シーンの中に効果的に入れるものなので、実際の撮影ではそんなにちゃんと演奏しないものなんですが、倍の速さでもほぼ手が合っている、そこが結構売りです（笑）。そんなとこ誰も気づかないんですけど、そこを真面目に合わせようとするメンバーのバカな意気込みが演奏シーンには込められています。

狩姦：逆に、絶対に合わせて弾いてや

黒猫：等倍にした時に〝凄いな～！〟って感心されてたのが印象に残ってますね。

――じゃあ宣伝部員になったつもりでみなさんからの『陰陽大全』宣伝の言葉でシメたいと思います。

招鬼：アルバムは全部持ってると言う方もいると思うんですけど、カップリング曲とかまで網羅してる方はなかなか少ないかもしれないので、アルバムのようなボリュームでカップリング曲を聴いてもらえる「稀少連結」はオススメですね。

狩姦：陰陽座の10年分の魂をあなたの部屋へお届けします。

黒猫：陰陽座がやってきた10年、今までの道のりがどんなものだったのか？っていうものがこの中に詰まっているので分かってもらえると思います。ベテランからビギナーの方まで、いろんな楽しみ方をしていただけるものになってるんじゃないかって思います。

瞬火：とにかくオリジナル・スタジオ・アルバム、ミニ・アルバム含め、10枚が全部入っていて、それ以外のアルバム未収録曲がCD2枚に全部入ってて、ビデオクリップがDVD1枚に全部入っていて、それがCD2～3枚のスペースにスッと収納できる。

――ホントに？

瞬火：ホントです。ただ箱自体はBOXセットなので、手に取った瞬間、箱！っていう箱感はビシビシにあるんですけど（笑）、その箱を開けて、その箱のまま扱う不便さからみなさんを解放しようと。で、中身の13枚のディスクはCD2～3枚分の厚みでCD棚にしまっていただけるようになっており、全曲分の歌詞冊子が付き、なんとオリジナルのT字型シャツが付き、さらに過去のバックステージパスのレプリカが5枚封入されて、26250円！

一同：（笑）

瞬火：今ならいらなくなった陰陽座のCDを下取り……しません（笑）。36回まで金利手数料をジャ○ネットが負担……しません（笑）。

一同：（笑）

瞬火：とにかくボリューム満点です。

摩天楼オペラ

蝴蝶网
hudie.com

苑 Vo

Anzi Gt

デビュー・アルバム『Abyss』、いよいよリリース！

メジャー・デビュー作にして、摩天楼オペラ史上最高傑作に仕上がっているミニ・アルバム『Abyss』が、12月22日にいよいよリリースされる。"オペラっぽさを進化させて、ストレートに分かりやすく"していったというリード曲「もう一人の花嫁」を始め、摩天楼オペラたる世界観を存分に伝える内容になっている。充実の最新作につて、5人にたっぷり語ってもらった。

Interview:KYOSUKE TSUCHIYA

――今月は『Abyss』の楽曲について伺っていきます。「INDEPENDENT」はインディーズ・ラスト・ライヴの際などにも先行披露されていましたが、これがオープニング曲になった理由は？

苑：確か夏頃に何か新曲をライヴでやりたいねって話をしていて、その時はこれより激しい曲がアルバムの中に入る予定がなかったんで、とりあえずこれをって感じだったんですけど、曲が出揃ってから、歌詞も始まりっぽい感じだったんで、これは1曲目にちょうどいいねと。

悠：「もう一人の花嫁」にしようかってアイディアもあったんですけど、再生を押した時に、まずこの曲が始まったほうが面白いんじゃないかって。メジャーに行っても、攻めの姿勢は忘れないって感じが伝わるかなって、僕は思いました。

苑：元々はライヴで激しい曲をってことで、のりやすくて、メタルなものを作ろうと思ってたんですね。Aメロの掛け合いのシャウトとかもそうですけど、歌詞もライヴの時のお客さんの光景を思い浮かべながら書いてるんですよ。

――〈憎しみを糧にして報復を〉といった強烈な言い回しも出てきますよね。

苑：噛み砕くと、いつもの生活のイヤなことを忘れて、やりたいようにやっちゃおうぜというのを、ストーリー化させてるだけなんですね。やっぱりライヴは発散できたほうがいいと思うんですよね。

――歪んだサウンドのギター・リフで激しくスタートするのも印象的ですよね。

Anzi：苑くんからは"これをメタルにしてよ"って曲を渡されたんですけど、元からコード感やメロディ感が狂気じみた、勢いのある音だったんですよ。でも、仕上がってみて、最高にバカだと思いましたね（笑）。もちろん、いい意味ですけど、ロックのよさというか、細かいことを気にしないで、自分の中から出てきたものを好き勝手にやったという。

――演奏陣全員が主張してくる間奏のアレンジにもそれは言えるでしょうね。

Anzi：そう、ヘヴィ・メタルにはよくありますけど、ソロの音だけ際立って

彩雨 Key

燿 Ba

攻めの姿勢は忘れていないという感じが伝われば

いう概念がない人から意見をもらったりはしたんですけど、CDを聴けば、納得してくれるかなと思うんですけどね。メジャーの一発目だし、やりすぎてるぐらいのほうがインパクトがあるのかなと。

——最後の最後まで、駄目押しのような展開が出てきますからね（笑）。「もう一人の花嫁」は、当初はシングルを想定して書いた曲だったんですよね。

苑：そうですね。ちょうど東野圭吾さんの『彼女が私を殺した』を読んでたんですけど、脇役の子がすごく印象に残っていて、その子になったつもりで物語を作ったんですよ。その小説を読んでも〝苑くんが言ってたのはこの人かなぁ〟ぐらいしか分からないと思うんですけどね。

彩雨：入口がピアノとヴォーカルじゃないですか。サビをゆっくり弾いてから、イントロに入る。すごくストレートなアレンジですけど、意外と摩天楼オペラではやってなかったんですよね。

燿：一瞬、バラードかなと思ったりもすると思うんですけど、サビでは疾走するまではいかないけど、テンポがアップになって。すごく摩天楼オペラっぽい構成だと思うんですよね。今回のミ[illegible]バムでいちばん起伏が激しいし、[illegible]ダークな感じも含めて、聴かせる[illegible]は聴かせて、のらせるところは[illegible]。そういう曲がちゃんと出来るバン[illegible]だなと、改めて思いました。

悠：この曲はザ・摩天楼オペラって感じですね。今までだと「[illegible]」や「瑠璃色で描く蝶[illegible]showcase」や「瑠璃色で描く蝶[illegible]うな路線だと思うんですけど、それ[illegible]もうちょっと進化させて、さらにストレートにして。実はリード曲としては別の候補もあったんですけど、こっちを収録することで、『Abyss』という一つの作品が締まったのかなとは思います。

——「frill」はシャッフル・ビートで聴かせるリズミックな曲ですが、これを彩雨くんが作ったのもまた面白いですね。

彩雨：僕、今までやってきたバンドではいつもシャッフルをやってたので、摩天楼オペラに入ってからも、このメンバーがシャッフルをやったらカッコいいんじゃないかなと思ってたんですね。だから今回は、みんながいい感じに固めてくれて、もうニンマリみたいな（笑）。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Anzi：この曲の骨となるもの自体は『ANOMIE』を制作してる頃に彩雨くんが持ってきたんですよ。その時には上手くまとまらなかったんですけど、僕はシャッフル大好物な人間だったんで、絶対に形にしたいと思ってたんですね。シャッフルというと僕はMR.BIGのイメージが強くて、「Colorado Bulldog」をシンフォニックにしたら面白いんじゃないかと、アレンジを進めていったんですよ。キーボード以外の楽器隊は、オーソドックスなハード・ロックなんだけど、そこに彩雨くんがクワイアを入れてくれたことで、新しいロックの形が出せたんじゃないかなと思います。

──細かいギター・フレーズも随所に。

Anzi：完全にあれはポール・ギルバートを意識してますね（笑）。

燿：僕はMR.BIGの「Daddy, Brother, Lover, Little Boy」と「Colorado Bulldog」を足して2で割ったようなイメージで（笑）。だけど、Aメロのアレンジがなかなか決まらなくて、最終的には開き直って、ビリー・シーンを意識して弾きましたね（笑）。でも、エンディングだけはロジャー・グローヴァーです（笑）。

──ドラムは最も重要ですよね。

悠：大変でしたね。初めてやったシャッフルの曲なのに、BPMが210っていう速さで（笑）。当初はジャズの要素も入ってたから、ウチのバンドに合うのかなと思ったんですけど、結果、他のヴィジュアル系のシーンのバンドはやらないだろうなって出来になりましたね。

──この曲はなぜ「frill」というタイトルになったんですか？

苑：ゴスロリとかの女の子が着る服によくついてるフリルのイメージだったんですね。だから最初はそういう女の子をイメージしつつ歌詞を書いてたんですけど、だんだん変わってきて、ちょっと強気な女の子になっちゃいましたね（笑）。

──ヘヴィな「coal tar」は荘厳な雰囲気を押し出した曲ですね。

Anzi：「Plastic Cell」「Faust」に続くヘヴィ・バラード三部作の完結編み

──大仰なクワイアから入ってくる序盤も最初からの構想だったんですか？

Anzi：それは彩雨くんが。彩雨くんと僕の意思の疎通は気持ち悪いぐらいに合ってて、結局こういうことがやりたいんでしょってものが、必ず彼から返ってくるんですよ。これだけカッコよくなったのはキーボードのおかげですね。

彩雨：あのフレーズが出てきた時には二人で大爆笑しましたね（笑）。レコーディングでもスタジオでも、そういう時はいいものになってるんですよね。

悠：サビの雰囲気が今までにないぐらい民族音楽チックで……出来上がってみると、そうはあまり聴こえなくてシンプルになったんですけど、オン／オフの切り替えが大変な曲なんですよ。馴れちゃえばいいんですけど、聴いてる人は最初は目まぐるしい印象かもしれないですね。

──もちろん、歌詞にも関わりますが、タイトルもまた興味深いですね。

苑：最初に聴いた時に、重い感じで始まって、沈んでいくイメージがあるなぁと思ったんですよね。この歌詞の主人公は、自分の中に閉じこもり気味な女の子なんですけど、心の中の暗い様子……ベタつくような、身体にまとわりついてきて離れないような。そんなところから〝coal tar〟かなと思ったんです。

──5曲目の「Double Clutch」は歌とピアノでゆっくり始まりますね。

彩雨：徐々にエンジンがかかっていって、サビでは一気に駆け抜ける感じで。Aメロからゆっくり入っていくような曲をやりたかったんですね。この曲はバンドで合わせた時に、Anziくんが崖の車が疾走しているような……。

Anzi：崖の車って（笑）。断崖絶壁をRV車が走ってる景色が見えたって言ったんですよ（笑）。

燿：曲はシンプルな構成なんですけど、摩天楼オペラにしては明るい曲かなと思いますね（笑）。アレンジも悩んだんですけど、彩雨くんに聴いたら、疾走感が欲しいってひと言だけ言われて（笑）。間奏もギターとキーボードが掛け合いを

なんですけど（笑）、家を出て、いつもの道を出勤しているところを表しているのがAメロなんですけど、これでいいのかな、もっとやりたいことがあるんじゃないかといった流れになっていくんです。

──「フタリ」はアコースティック・ギターの響きが印象的ですね。

苑：当初は歪みのギターも入るかなと思ってたぐらいなんですけど、Anziくんが〝アコギ一本でやったほうが面白い感じになるんじゃないかな〟ってことで、ちょっと挑戦してみたんですよね。

Anzi：今回はいろんなアコギを使い分けて、すごくいい音で録れたんですよね。アレンジに関しては、例えばサビでドカーンといきたいイメージはみんな持ってたんですけど、以前、「天上への架け橋を」でやったような感じではなく、アコギのストロークにして、その分、オーケストレーションで盛り上げたらどうかなと思ったんですよね。

彩雨：「天上への架け橋を」はピアノとヴォーカルの掛け合いだったんですけど、ちょうどその真逆な感じですかね。すごくいいアコギのフレーズがキレイに映えている曲になったなと思います。

──この曲はアンプラグド・ヴァージョンで、苑くん一人で弾き語りで聴かせることも出来そうですね。最後はインストゥルメンタルの「Finale...」。

Anzi：タイトルそのままなんですけど、先に進むための終わりみたいな意味合いなんですね。「フタリ」がその一つ前に入るのは決まってて、そこからキレイにつながるようにしたくて、なおかつ、また1曲目から再生したくなるような曲にしたいなと思ってましたね。

──こういった楽曲が出来るのも、摩天楼オペラの強みでしょうね。さて、本作を引っ提げた、待望の全国ツアーも間もなく始まりますが、バンドとしても意気込みは相当なものがあるでしょうね。

苑：摩天楼オペラにとって2回目のワンマン・ツアーなんですよね。前回の反省点も改良して、なおかつ『Abyss』の7曲を持って行って……前以上に面白い

FEST VAINQUEUR

FEST VAINQUEUR FIRST MINI ALBUM

「FEST VAINQUEUR」
NOW ON SALE
1111 枚限定発売！

¥2500（税込）全５曲入り

LIVE INFORMATION ►►►►►

FEST VAINQUEUR ONE-MAN LIVE「革命～FEST VAINQUEUR～」@OSAKA MUSE

2010/12/5（日）【OPEN】17：00【START】 SOLD OUT 発売】11/6（土）【チケット】¥3,200（ドリンク代別）
【チケットぴあ】0570-02-9999（P コード：119-8 … 0570-084-005（L コード：54684）
【CN プレイガイド】0570-08-9999【イープラス】 … .jp
【お問い合わせ】キョードーインフォメーション 06-7…-8888 http://www.kyodo-osaka.co.jp

FEST VAINQUEUR ONE-MAN LIVE「革命～FEST VAINQUEUR～」@SHIBUYA BOXX

2011/1/10（月・祝）【OPEN】17：00【START】17：30 【一般発売】11/27（土）【チケット】¥3,200（ドリンク代別）
【SOGO TOKYO オンラインチケット】http://sogotokyo.com/ 【チケットぴあ】0570-02-9999（P コード：122-274）
【ローソンチケット】0570-084-003（L コード：79988）【イープラス】http://eplus.jp
【お問い合わせ】SOGO TOKYO 03-3405-9999 http://www.sogopr.co.jp/

「stylish wave COUNTDOWN '10-'11」出演決定!!

2010/12/31（金）@ラフォーレミュージアム六本木 【OPEN】14：30【START】15：30 【一般発売】10/30（土）【チケット】¥5,250
【チケットぴあ】0570-02-9999（P コード：119-099）http://pia.jp/t 【ローソンチケット】0570-084-003（L コード：74966）http://l-tike.com
【CN プレイガイド】0570-08-9999 【イープラス】http://eplus.jp 【ZEAL LINK】03-5784-9666
ライカエジソン店頭 ※発売初日のみ電話受付（03-3369-3708）
イベントの詳細は「club Zy.」http://www.club-zy.com/ にてご確認下さい。（問）サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
※本公演は深夜におよぶ公演の為、18 歳未満の方は保護者の同伴もしくは保護者の同意書が必要です。

2011 年「stylish wave CIRCUIT'11 春の嵐」出演決定!! 詳細は http://www.club-zy.com/

■ FEST VAINQUEUR きせかえ第１弾登場!!

ダウンロードで毎日メンバーに会える☆
あなたのケータイを FEST VAINQUEUR 一色に☆

V 系☆Official きせかえ ►►►

PLUG RECORDS RELEASE INFORMATION

LAYZis 【http://layzis.com/】
2010/11/24 MINI ALBUM「REMIND」

defspiral 【http://www.defspiral.com/index.php】
2010/12/1 2nd Single「トワイライト」（再発）
3rd Single「REVOLVER」

A 【http://www.a-rock.jp/】
2010/12/22 FIRST SINGLE「夜明けのアンセム /NUDE」

DaizyStripper 【http://www.daizystripper.com/】
2011/1/5 4枚組 LIVE ALBUM「BIRTH or LIVE?」

http://www.festvainqueur.com/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hud

It looks back on 2010 year.

激動の一年を乗り越えて

2010年。夢人・タケヒト・インテツ・KENZOは、
AYABIEとして4人でスタートを切ることとなった。
夢人をヴォーカリストとした新体制のAYABIEは、
まだまだスタートしたばかり。大きな転機となった1年の中で、
彼らはいったいどんな成長を遂げたのだろう？
音を止めることなく、AYABIEとして生き続けていくことを決意した
2010年を振り返ってもらおうと思う。

AYABIE

Interview:NAOKO TAKEICHI

いるバンドでもあると思うんですけど、たしかに、あのツアーは新鮮だった。

KENZO：あそこまでセットリスト変えたのも珍しかったからね。

タケヒト：今、あのツアーのDVDを見返しても、やっぱり新鮮ですからね。

——6月には「ドラマティック」がリリースされてるよね？

夢人：そう。そのとき、SHOXXで表紙やらせてもらったよね。犬か狐の剥製が居た気がする。

KENZO：あ、スタジオにあった小物に足かけたら、ミシッっていって、ヤベッと思った時だ、それ！

夢人：今言うな（笑）。でも、この頃になると、本当にちゃんとバンドを続けていきたいっていう想いが強くなってたから、より置かれてる環境に対して、具体的になんとかした方がいいって思って動き始めた頃だった。一番辛かった時期かも。純粋にバンドを続けたかったから。

タケヒト：「ドラマティック」のキャンペーンを廻っているときは、正直、ウチらの中では、これが5人最後の音源になるかも…っていう気持ちがあったから、名古屋のキャンペーンは、俺とKENZOは行かない予定だったんだけど、急遽

インテツ：いろんなことがあった2010年だったので、語り尽くせないと思うんですけど、頑張ってまとめてみます！

——大変動が起こった1年だからね。

タケヒト：本当に。でも、何度も大変動が起こっても、こうしてバンドが続けていられることが嬉しいですね、今は。

インテツ：いろんなことがあったおかげで、収穫も多かった1年だったんじゃないかなと思いますね。

——今日はツアー前日ですが。

KENZO：まさに明日からツアーってことで、今はツアーのことしか頭にないな。いろいろあって、みんなに心配かけたし、早く会いに行きたかったからね。

夢人：そうだね。このSHOXXが出る頃にはツアーも半分くらい終わってるけど、きっと今よりも、何かを貰ってると思うしね。

——そうだね。じゃぁ、2010年を振り返ってみようか。1月、まず2010年は何からのスタートだった？

2枚出したってことだね！頑張ったね。

インテツ：結構意欲のあるバンドだね。

タケヒト：（笑）。1月はアルバムのキャンペーンをしつつ、裏では、少しずつ、自分たちの置かれている環境に疑問を抱いていたことが深まっていた時期だったこともあって、いろいろと自分たちのことを見つめ直した時期でもありましたね。2月も同じくそんな時期だったかな。3月はツアーがあったから、そっちに集中してたって感じかな。

KENZO：そうだったね、3月ツアーやってたっけね。そのツアーが、メンバー5人の〝彩冷える〟として廻った最後のツアーになっちゃったんだよね。

インテツ：5月に【感謝祭】と銘打ったライヴを渋谷のO-EASTやったのが、結果5人でやった最後のライヴになっちゃった感じだったね。

タケヒト：ちゃんと最後にみんなに会えなかったことは、本当に今も悔やまれるけど、3月にやったツアーは、新しいアルバムをリリースしてすぐにまわったツ

二人で自腹でキャンペーンに参加したよね。

KENZO：そうだったね。言えないことが多かった時期だったけど、どうしても、5人揃った顔を見せたくて。

夢人：辛かったね。でも、さらに、そこからが辛かった。6月・7月は本当にバンドの動きが止まっちゃってたからね。

——言えない辛さはあっただろうね。夢人をヴォーカリストとしていこうと決めたのも、すごく大きな決断だったと思うけど、それはいつ頃の決心だったの？

タケヒト：ちゃんと、契約の問題がクリアになって、メンバー間でそれぞれ進みたい道の確認をしあって、ひとつの答えを出して、俺たちは4人でAYABIEとして活動していくって決めた後くらいだったね。最初は夢人がこんなに歌えるとも思っていなかったんで、新しくヴォーカルを入れようという話もあって。

KENZO：実際にライヴハウスに、いろんなバンドのライヴを見に行ってたよね。

インテツ：行ったね。

夢人：でも、なかなか踏み込めなかった。ファンの[illegible]を裏切っちゃう気がして。4人で歩いていくって決めたけど、ヴォーカリストをどうするかっていうところでは本当に悩んだ。どうしても傷つけちゃうことになっちゃうと思ったから……。

インテツ

——続けることは決まったけど、まだいろんな迷いや葛藤はあったんだね。

タケヒト：いろいろと考えると、なかなか動けずで。そんなときに、インディーズ時代からお世話になってて、今もお世話になっている社長が、逆に、新しい風を入れないで4人でやるのがいいんじゃないかって一言をくれて。そこで、

KENZO

Oと一緒にKYっていうユニットやってたんでしょ？ その経緯は？

夢人：5人で動けない時期に、いろんなところからイベントの誘いとかも受けていたので、それに何も応えられないのは嫌だなと思って始めたことだったんです。なんか、バンドとして誰かメンバーが欠けた状態で彩冷えるとしてステージには絶対に立ちたくなかったから。

——そこも誠意としてね。

夢人：うん、そう。だから、なんとかそういう誘いも断らずに、楽しんでもらえる精一杯のことが出来たら……と思ってやってたんです。タケヒトとインテツは、ステージに上がることなく、裏方に徹して、僕とKENZOを支えてくれたし。ここでも本当にメンバー間の結束が固まった気がしたし。KYでは歌ってたんですけど、そのときは自分がAYABIEのヴォーカルをやることになるなんて考えてもみなかったんで。でも、やっぱり、いろいろと考えて新しい風を入れずに4人でやろうって決めて、実際に10月22日の渋谷O-EASTでの初ステージに立ってからは、賛否両論で……。正

く以上、待ってくれる人達のためにも頑張って前向きに進んでいくしかないし。大丈夫ですよ、僕は。頑張れてます。こういう話も、2010年で最後にしたいなって思ってるし。2011年からは、また新しい気持ちで頑張っていけたらいいなって。

——そうだよね。でも、新しいアルバムを作ったのは正解だったよね。このツアーで、待っててくれるファンのみんなの顔を直接見たら、絶対に今以上に頑張ろうって思えるだろうし、元気をもらえるし。

タケヒト：そうですね。まずは音源作ろうってことだったんですけど、ツアーも組んでもらったんです。とにかく早くみんなに会いに行きたかったから。本当は時間的にアルバムを作ってる余裕はなかったんだけど、ツアーをやるならアルバム作るしかない！ってことで、とにかく4人で必死になって作ったんです。34曲くらいは出来て。幸いすごく良いなって誇れるアルバムも出来たし。ツアーも無事に迎えられたし、本当にいろいろとあったけど、これでやっと前に進めそうです。出来て良かった。今、本当にそう思います。

夢人：最初は出来ると思わなかったからね。本当に今は動けることが楽しい。音源を出す前から付いて来てくれたファンのみんなには本当に感謝してる。リリース前に試聴が始まってからも一気に数字が伸びて。本当に嬉しかった。

KENZO：それは純粋に嬉しかったね。

夢人：うん。いろいろな感情は抜きにして、曲で判断してもれてるんだって思ったらすごく嬉しかった。

——それって本物だもんね。

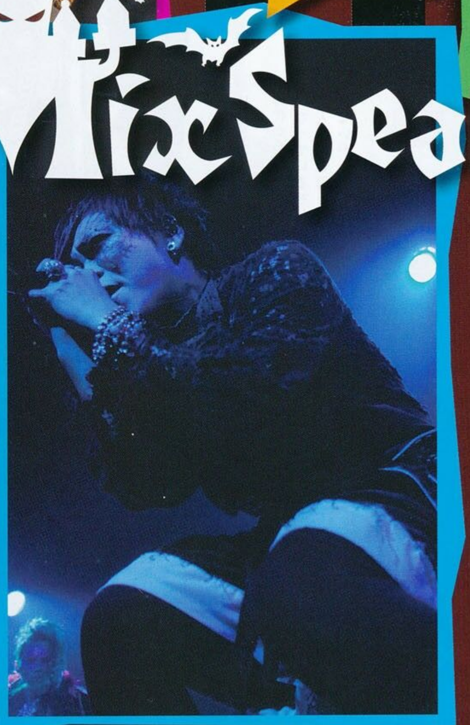
インテツ：音源を試聴してからのファンの人達からの言葉も本当に嬉しかった。曲で判断してくれて、気に入ってくれて、ライヴを楽しみにしてますって言ってくれる言葉が何よりも嬉しくて。〝変わってなくて安心しました〟っていうメッセージも嬉しかったですね。

——1月6日は赤坂BLITZでのファイナルもあるしね。

KENZO：頑張らないとね！ 賛否両論はあると思うけど、その両方が合った方がいい。嫌いが好きに変わったときって強いからね。頑張るから。

Midnight Pumpkin

Mix Speakers.Inc.



Live at 東京キネマ倶楽部 2010.11.20

2010年11月20·21日。
Mix Speaker's,Inc.は鶯谷に魔法をかけた。
彼らが『Mix Speaker's,Inc. 2010 Autumn Tour[Midnight Pumpkin]』のツアーファイナルに選んだキネマ倶楽部は、まるで彼らが訪れるのを、今か今かと待ち続けていたように、この日は特別怪しげな雰囲気で私たちを迎えてくれたのだった。
ここに、魔法のかかった館の一夜を書き残しておこう。

Photography:MIWA OHYA
Report:NAOKO TAKEICHI

2度目の東京キネマ倶楽部。11月20日、そこは、ちょっぴり季節外れのお化け屋敷だった。

今宵。彼らが、私たちをカボチャの魔法にかかった屋敷に招待するために用意してくれた、薄暗い青い光に包まれた箱に乗り、6階へと向かった。

レトロな空間。屋敷にお使えする執事たちによって、私たちはステージを見下ろす位置に用意された指定席へと案内された。ステージには無数のかぼちゃ・髑髏。アンプにはうっすらと蜘蛛の巣まで張っていた。随分前にハロウィンは終わったはずだが、どうやら此処は、まだまだゾンビたちが遊び足らない様で、魔界へ帰れないでいるらしい。

そうこうしているうちに、オーディエンスが、下のフロアでざわつき始めた。と、次の瞬間。オープニングSEに導かれ、ぞくぞくとかぼちゃの魔法にかけられたゾンビたち（Mix Speaker's,Inc.）が、まるで墓場を彷徨うかのようにステージへと現れた。全員ハロウィン仕様である。フロアのオーディエンスは大声を上げ彼らを迎えた。

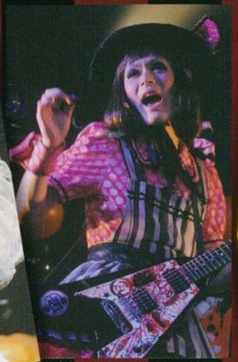
ド頭から「Midnight Queen」間髪入れずにぶちかます6人。「Pandora」「Woody Nightmare」と「Pandora」では、いきなり、"頭ふれ！""声あげろ！"と全身の魂を込めて煽り出す[illegible]。今宵は後先考えず、死ぬ気で燃え尽きる覚悟らしい。（あ。ゾンビだからもう死んでるのか……！）

「Space Hunter」のイントロでまるで全員が同じ魔法をかけられたかのように、揃いのロボットダンスを届けた。広すぎないステージと、天井の低いこの箱も味方となっていたのだろう。その見え方は、いつも以上に素晴しかった。

"ただいまぁ〜！"（YUKI）

YUKIが叫んだ。ツアーファイナルということで、久々の東京を頭から楽しめているという笑顔が溢れていた。その笑顔は、絶好調を意味し、それを証拠に、3曲目に届けた「Woody Nightmare」では、自慢のハイトーン・ヴォーカルを惜しみなく披露していたのだが、このMCを境とした中盤線からは、突然声の伸びが悪くなるというアクシデントも起

蝴蝶网
hudie.com



【セットリスト】
1Midnight Queen　2.Pandora　3.Woody Nightmare　4.Space Hunter　5.Innocent World
6.Lie Lie Lie　7.little star　～お芝居～　8.MASK DE NIGHT　9.Digital Romance　10.凸凹珍道中
11.「SOS」Toy's Factory12.ロミオのメロディー　13.CRAZY TRAIN A GO GO　14.JUNK STORY
15.Thirteen　16.Crash Clover　17.HAPPyyy!!Land
EN1.シンデレラ　EN2.CIRCUS（新曲）　EN3.神生Game　EN4.MONSTIME　EN5.YOU♪愛♪メッセージ

芝居を挟み込み、ライヴはメン[illegible]ずつの"ユニットコーナー"へと[illegible]ていった。このユニットが見られるのは[illegible]ワンマンならではと言ってもいいだろう。イベントライヴでは、なかなか見[illegible]い、彼らの歓迎の印とも言えるの[illegible]

そこから続けられた後半戦は、「SOS」Toy's Factory」からスタート[illegible]た。そして。「CRAZY TRAIN A GO GO」では、恒例となった"盛り[illegible]対決"。客席をぱっかりと左右に分けて戦うという、ライヴのお楽しみブロックである。イントロから飛ばしてヘドバンで勢いづけ、曲の中盤では、上手のMIKIチームはヘドバン、下手のYUKIチームはタオル回しで対決。上階から見た、見事に客席がパッカリと2つに別れていた景色は最高。Mix Speaker's,Inc.のライヴは、6人とオーディエンスによって作られるモノなのだということを実感。そんな対決煽りで拍車がかかったこともあり、その後に続いた「JUNK STORY」では、フロアでオーディエンスが左右に大移動する、これまた恒例の景色を見せてくれたのだった。

そして。いよいよ本編のラストが近づいた大詰め「Creash Clover」では、MIKIとseekが客席へダイブ！　いやはや。今宵はゾンビとあって、6人とも攻撃的だったような……。

アンコールでは、"ここまでハロウィン押しは、ディズニーランドかウチらかですが、11月も20日ですよ、ディズニーランドはとっくにクリスマスに変わってるってるのに、ウチらはまだハロウィンです"（seek）

と、ハロウィンツアーだったため、ハロウィン期間が延長しているのだという説明をMCに代え、その流れで、2011年の予定を発表したのだった。

3月9日にリリースされるというシングルと、3月14日からスタートする東名阪クアトロツアー。ここからは、ナント、衣裳も変わり、新たなストーリーが展開されるという。

2011年も、Mix Speaker's,Inc.から目が離せなくなりそうだ。

（問）http://www.mixspeakersinc.com/

蝴蝶网
hudie.com

ZORO

蝴蝶 たつひ

hudie.com

アルバム『KIGA』に見る、ふたりの不思議な関係性…!?

IGA』がリリースされ、彼ら初のホールワンマン・ライヴである渋谷C.C.Lemonホール公演も、12月29日と目前に迫っているゾロ。今月はタイをクローズアップ。バンドのサウンドにおける意外性や普遍性を生み出す二人でありながら、普段はいたってマイペースな関係だという彼二人の不思議な関係性を探りながら、ゾロの今後の行方を占う!!

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA
Interview:YUKA SUGIE

SS PRINCESSを聴いていたし。そういうのが染みついているんでしょうね。

タイゾ：俺は、例えば1曲ずっとシャウトしているような曲も好きなんですけど、ずっとそういうのを聴いていると、メロディが欲しくなるんですよね。やっぱり、サビのメロディがキャッチーだったりすると、落ち着きますからね。

──そういう意味では、ゾロの楽曲はたとえエキセントリックなイントロで仰天させられても、サビは必ずキャッチーに突き抜けてくれますもんね。

タイゾ：ゾロを結成する前、初めて龍寺とたつひとしゃべった時に、〝歌を大事にする曲をやっていきたい〟っていうことがみんなの共通点でもありましたからね。自然と、そういうアレンジにもなるんだと思います。

──ちなみに、先程たつひさんのルーツがちらっと見えましたが、辿ってみれば二人が交わる部分もあるんですか？

たつひ：X JAPANの話では、盛り上がるよね。

タイゾ：そうだね。〝ここのフレーズいいよね〟っていうこと以上に、ドラムセットをブッ壊したり、ドラムに突っ込んだりするパフォーマンスが、やっぱりスゴいよね、とか。俺が初めてライヴ映像を観たのは中学生だったんですけど、衝撃以外の何ものでもなかったですからね。

──例えばプレイスタイルの面でも、パフォーマンスの面でも、過去影響されたものが、今の自分の一部を形作っていたりもします？

タイゾ：昔はバンドスコアを買ってコピーして、CDと合わせて弾いたりしていたので…確かに、そうやって弾いたフレーズが自分の手グセになっていたりはしますね。そう考えると、自分のプレイスタイルが形成されていったのは、中学、高校ぐらいの時期だったんだと思います。

たつひ：僕もまったく一緒なんですよ。ずっとバンドスコアを見ながらコピーしていましたけど、その時のフレーズが手グセになっていますからね。あと、僕が

──アルバム『KIGA』で、それぞれに興味深い曲を書かれているお二人ですが、お互いに改めてすごいなと思わされた部分もあったのではないですか？

たつひ：やっぱり、タイゾは1本の軸があるし、それがブレないなって思いましたね。

──ブレない軸があるという意味では、お二人は共通しているんでしょうけど…自身とのいちばんの違いは？

たつひ：僕の場合は幅があまりないですけど、タイゾはすごく幅が広いんですよ。しかも、どんな曲を作っても、タイゾは

タイゾ：俺も、軸がブレないのはお互い一緒だなと思うんですけど、例えば『KIGA』に収録されている2曲、「kuga-宗派右編-」「vega-教派左編-」は、マニアックな雰囲気はあるんですけど、歌のメロディはどこかしらキャッチーで口ずさみやすいというか。歌メロからキャッチーさがなくなったことは一度もないですからね。そこは、ゾロが始まってから変わっていないなって思うし、たつひのスゴいところだと思いますよ。

**──それはメンバー全員に言えそうですが、歌メロはポップでキャッチーとい

――慣れって怖いですね。
たつひ：ホント、怖いって思いました。もう上げられないですっ。
――かわいく見えて実にロックですっ。ところで、お互いをずっと見てきて、プレイヤーとしてでも、作曲者としてでも、相手の変化を感じていたりもしますか？
タイゾ：あぁ…曲的に、ありますね。シングル「HOUSE・OF・MADPEAK」の時がデジタル系のピークだったと、たつひ自身も言っていたんですけど、『KIGA』の選曲会には、ギターのリフが立っているような曲も持ってきていて。好みがちょっとロックな方向に傾いてきているのかなというのは、見えますね。

「HOUSE・OF・MADPEAK」みたいにイキきったものとは、また違う曲を作りたいなと思って。元々のロック好きな血が、蘇ってきたのかもしれないです。ゾロの最初の頃は、ロックな曲しか作っていなかった気がしますからね。
――そして今また、変化の波が押し寄せていると。
たつひ：そうなんですよ。だから、これからたつひに大注目です！（笑）　タイゾは…変わらずに成長していっている気がします。ギタープレイにしろ作曲にしろ、自分の持っているものを変えずに、レベルアップしているなって。
タイゾ：たぶん、そうだと思います。新

で、だから、自分自身のプレイや曲があまり変わらないんだと思います。
――だからこその強みもあるでしょうし。
たつひ：そうなんですよね。そこは、スゴいなと思いますよ。
――では、そういう二人の関係性は変わってきていますか？　例えば、昔はこういうバカをしたけど、今はしなくなった、とか。
たつひ：いやぁ…まったく変わらないですね。
タイゾ：そうだね。たつひはそんなに普段、ああだこうだ言ってこないんですけど、ここぞというところではちゃんと

メンバーなのに!?
タイゾ：そうなんですよ。まず、どうやって生きているのかが謎ですからね。生活スタイルが見えないというか。
――それこそツアーに出れば、半は生活を共にするようなところもありますけど…それでも見えないんですか。
タイゾ：見えないですね。ホント、分からないんですよ。
たつひ：僕は、それでいいんです。
――逆に、たつひさんからはタイゾさんの生態は見えているんですか？
たつひ：どうだろう…でも、僕も意外と、分からないかもしれないですね。僕自身、自分のことを人に話さないので、人のこ

会話がなくても落ち着くし、波長が合

一体何を話すんだ…みたいな
タイゾ：あぁ…二人でいても、あんまり話さないですね（笑）。
――ということは、二人の場合、沈黙が気まずくない仲なんでしょうね。むしろ、それが心地よいというか。
たつひ：そうかもしれないです。会話がなくても、落ち着くし。すごく波長が合う二人だとは思いますよ。
――そういう関係、この先も大事にしたいですね。さて、12月29日・渋谷CCLemonホールでのワンマン目前ですが…お互いに、相手のどういう姿を見てみたいですか？
たつひ：やっぱり、客席を走り回るタイゾが見てみたいですよね。1階の通路を走り抜けて、2階まで行っちゃう、みたいな（笑）。
――どうやら言ったもの勝ちみたいです。
たつひ：先に言わないと！と思って、頑張りましたもん。
タイゾ：じゃあ…たつひには、ホールですけどダイヴしてほしいですよね。
――それはそれで、かなりリスクが高そうです。
たつひ：イスに当たったら、絶対痛いよ!?
タイゾ：ま、ダイヴまでいかなくても…ゾロを始めた頃のライヴでは、マイクスタンドを蹴ったりしていましたからね。しかもライヴハウスのものを。個人的にはそういうのが好きなんで、そっちでもいいかな。『KIGA』はロックなアルバムなので、とにかくロック感を体現してほしいですね。
たつひ：最近、すっかり忘れていましたけど…昔に戻ります！
――お二人がそうであれば、かなりのロックショウになりそう[illegible]ですね。では最後はそれぞれの決意で[illegible]しょうか。
たつひ：純粋に楽しんで、[illegible]大に笑顔と想いを届けたいと思[illegible]ます！
タイゾ：ゾロの集大成的な[illegible]リスになりますからね。ひとつの[illegible]ヴを通して、ゾロが今までやってきたことがお客さんに伝わるライヴにし[illegible]すよ。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

自分達を支えてくれる人がいるんだと思ったとき、強くならなきゃと思った。

『BIRTH or LIVE?』

前代未聞！ なんと4枚組みライヴCDリリース!!

「LIVE BAND TOUR」に参加し、改めて自分たちはライヴバンドだということを実感したという、DaizyStripper。そんな彼らが2011年の最初に選んだ作品は『BIRTH or LIVE?』と題されたライヴアルバム。こちら、9月30日の日本青年館と、10月1日のSHIBUYA-AXで行なわれたワンマン公演の楽曲が丸ごと詰め込まれている。ファンならずとも必聴の作品だ。

Interview:ERI MIZUTANI

――先日「4D-BOX～Perfect Visual Archive～」が発売されたけど。

夕霧：これ、相当すごいですよ。過去に行ったイベントライヴの映像や未発表の音源。さらには写真集など、色々と入っていますから。

――視覚的にデイジーを味わえると。そして、来年早々には、聴覚的に楽しませてくれるライヴアルバム『BIRTH or LIVE?』が発売。デイジーにとっては初のライヴアルバムとなるわけだけど、ここまでたくさんの楽曲をDVDではなく、CDで出そうと思った最大の理由って？

夕霧：以前から、ライヴアルバムを出したいという気持ちはあったんですよね。それで、『BIRTH』と『LOVE』という2枚のアルバムを出した後、9月30日に日本青年館と、10月1日にSHIBUYA-AXで「BIRTH or LOVE?」というワンマン公演をやって。あの2日間は僕たちにとっても大切なものになったので、今までとは違った感じで形に残したいなと思ったんです。だったら、ライヴバンドらしく、ライヴテイクを収録したアルバムを出そうかってことになり。

――そういったいきさつが。ところで、リリースにあたり、こだわったことは？

夕霧：もちろん、演奏した曲は全部入れるってことですね。で、全39曲に。

まゆ：丸々入れてしまったので、すごいボリュームになってしまいました（笑）。

――その割に、価格が良心的。

夕霧：3千円を切ってますからね（笑）。

まゆ：あと、曲数をこれだけ多くしたのはもう1つ意味があるんです。ライヴって、セットリストの流れがあってこそだと思っていて。どれか1曲が欠けても成り立つものではない。なので、どれかを切り取るのではなく、全て入れようって。そうすることで、当日の雰囲気がそのまま出るんじゃないかとも思ったんです。それにより、あの日会場に来てくれた人も、来られなかった人も、お互いが楽しめる作品になるんじゃないかなって。

――そうだね。本誌では、日本青年館のライヴを密着レポートという形で追いかけさせてもらったけれど、この作品を聴いていると、当日の様子を思い出すよ。

夕霧：ホールでのライヴは2回目だったんですけど、すごく楽しんでやることができました。僕に関して言えば、音を外しているところもあるんですけど、それもライヴだと思っているので、この作品では、敢えてそのままパッケージすることにしたんです。そこで、その場の空気感を味わってもらえたらなと。

――確かに、会場の雰囲気が丸ごと詰め込まれているよね。夕霧さんとしては、どの場面が印象に残っている？

夕霧：僕が印象に残っているのは、ピアノソロですね。かざみんがピアノを奏でた瞬間、すごく感動したし、このシーンでこれだけピアノがうまいのは彼しかいないって改めて思いました。って、こんなこと言うの、今日が初めてですけど。

風弥：（笑）。ピアノソロって、自分で聴いても緊張感が伝わってくるんですよ。

――あら、意外！

風弥：でも、そうしたところも聴き漏らさないでほしいですね。あと、個人的には「BLACK DROPPer」も印象的でした。盛り上がれる曲というだけあって演奏も荒っぽくなっているんですけど、音源では出せない雰囲気がここにはあるかな。

まゆ：こうしたところもデイジーのライヴの魅力だよね。

――そういえば、この曲のとき、座席がかなり揺れていたなぁ。

風弥：そういう景色が見たいがために、暴れ曲をホールに持ってきたっていうのはありますね（笑）。

――そういった意図があったとは（笑）。また、バラードでは、ホールならではの特性を活かしていて。

Rei：僕としては特別な気持ちで挑んでいたので。実は、ライヴの数日前、飼っていたハムスターのいちごちゃんが亡くなってしまったんです。それで、届けたいっていう想いを込めて「茜空に咲く」を演奏したんですよね。

――そうだったんだ……。

Rei：そこで感じたのが、1人じゃないんだっていうこと。メンバーがいて、ファンの子がいる。これだけ自分のことを支えてくれる人がいるんだっていうのがわかったとき、すごく幸せで。そのとき、強くならないとなって思ったんですよね。何だか、色々と考えさせられた初日でした。

なお：僕は、「七色の花束を」って曲が印象に残っていますね。これ、結婚式の歌なので、他と違って独特な雰囲気を持っている1曲だと思うんです。

夕霧：MCでも言ったんですけど、実際に、デイジーがきっかけで結婚するっていうカップルがいて。ライヴ当日、その2人も会場に来ていたんです。そして、演奏が始まった瞬間、感動で泣いてくれて。それを見て、この曲やって良かったなって思いました。

なお：だからこそ、将来、メンバーが結婚するときは絶対に演奏したい！

――きっと、泣いて演奏どころじゃなくなると思う（笑）。

まゆ：ですよね（笑）。でも、みんなで祝福するような温かさって、デイジーのライヴの醍醐味かなって。激しい曲で1つになるのとはまた違った一体感っていうんですかね。緊張感とかもそうだけど、そこは3年活動してきたからこそ出せた部分なんじゃないかなって。それだけに、バンドとしての成長がこのアルバムには詰まっていると思います。

――こっちが成長だとしたら、もう片方のアルバムは進化だよね。

まゆ：アルバム『LOVE』の幕開けでもあった「トレゾア」を1曲目に持ってきたんですけど、ここには並々ならぬ想いが込められていますからね。

風弥：ライヴの始まりに持ってきたいという想いを込めて作ってきた曲ですから。それだけに、イントロでのリズム隊の入りは何とも言えない感じでしたよ。あの1発にかける想いたるや。

――見ている方も、良い緊張感があったんじゃないかな。それに、こうした曲をホールではなく、ライヴハウスでやってしまうという、みんなの度胸もすごいと思います。

風弥：あうんの呼吸がないとできないですからね。

夕霧：うん、そう思う。それにしても、AXは挑戦の連続でした。

――新曲だらけだったからね。

Rei：みんなが楽しんでくれれば良いって思って演奏していたので、自分が作った「Seaside Avenue」も、他の曲と変わらない気持ちで弾くことができましたよ。

夕霧：何か、1曲演奏する度に、みんなの表情がすごく輝いているんですよ。「深海」では、グランドピアノとバイオリンとチェロを交えて演奏したんですけど、それも真剣に聴いてくれて。ライヴハウスでもここまでの世界観が作り上げられるんだなと感じましたね。

――普通なら、準備とかも考えて、ストリングスの音って同期で済ませてしまうじゃない。でも、デイジーの場合、それを生で演奏してしまうからすごいよね。きっと、お客さんのことを第一に考えているからこそ、不可能を可能にできるのかなって。

まゆ：バンドのスタンスなんですよね、妥協しないっていうのは。

風弥：けど、本番当日になって無理なことを言ったりするんで、制作スタッフからは「かざみんワガママだよ～」って言われるんですけどね。

なお：そうそう（笑）。僕は、最後にやった「STAY GOLD」の光景が焼き付いていますね。ここに来て初めて、やりきったっていう達成感があったんですよね。あの瞬間、先が見えたし、ギタリストとしても、もっとオンリーワンな存在になってやろうって思ったんです。

Rei：自分の中には、感情を音として伝えたいっていうコンセプトがあって。だからこそ、喜怒哀楽を場面に合わせて出していったんです。2日間通して新たな挑戦もできたし、今後どういう感じで曲が成長していくか楽しみですね。

まゆ：本当に、次に繋がるライヴになったと思います。

――全39曲に込めた想い、多くの人に伝わると良いよね。そして、このライヴアルバムが発売された後には、カバーアルバムが出るとか。

夕霧：V-ROCKカバーコンピレーションアルバムなんですけど、デイジーはラクリマさんの「With-you」で参加します。

まゆ：個人的にラクリマさんは大好きなバンドなので、カバーすることが決まったときは単純に嬉しかったですね。

夕霧：自分たちらしいアレンジができたので、是非とも聴いてもらいたいです。リリースから始まる2011年ですが、ライヴはもちろん、レコーディングに力を入れていこうかなと。ライヴを通して見えた届けたいこと、それを形にしていこうと思います。

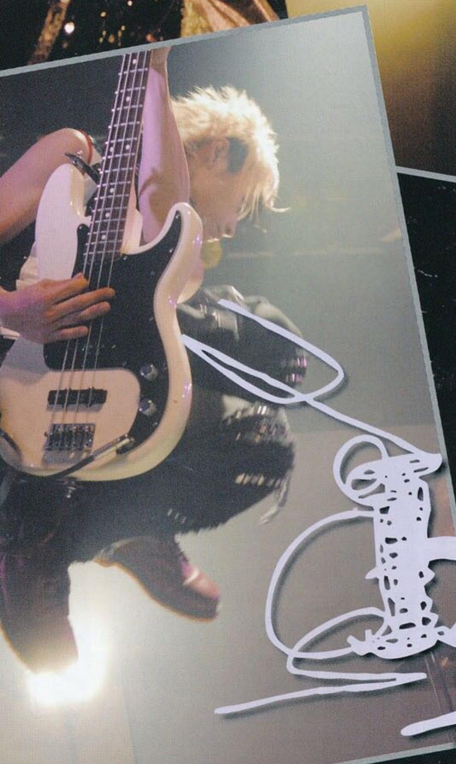
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Live at shibuya DUO 2010.11.22

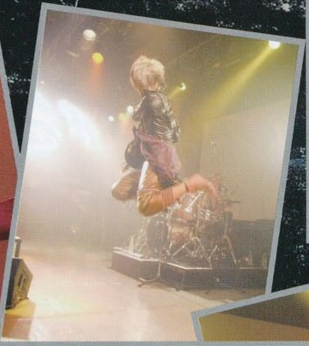
『Burst Attack』と題され、11月22日にSHIBUYA DUO Music Exchangeにて行われたHEROのワンマン・ライヴ。チケットが見事にソールド・アウトした会場は、集まった沢山のヒロイン（彼らのファンの呼び名）の熱気で蒸せかえっていた。今回は、2011年の怒濤のスケジュールも発表され、来年の活動への期待がますます高まった、この日の模様をレポートします!

Photography:MIWA OHYA
Report:YUKA SUGIE



HERO
Burst Attack

蝴蝶网
hudie.com



【セットリスト】1. Oh My Darlin!!／2.Days.／3.Paradox／4.プレゼント／5.めっちゃ好き／6.Dear／7.SO／8.ロン／9.カッコ悪い歌／10.Best Smile／11.伝えたかった音／12.「ピリオド」／13.This is Lve!!!／14.「Not Found」／15.Oh My God!!／EN1.カゾエウタ。／EN2.テーマソング／EN3.人間定義／EN4.超過激愛歌～Super Ultra Lovesong～

なのか、来年のHEROは一体どんな展開をするのか…そういった心地よい飢餓感さえ、胸に残してくれた。それは、HEROにとって2010年という年が、これまでになく追い風に乗れた1年だったということの証ではないだろうか。

まず、1月8日の渋谷O-WESTワンマンからして、幸先は良かった。上を目指す者の第一関門とも言えるハコをソールドアウトさせ、集客的にも、内容的にも成功を収めることができたわけで、このことはメンバーの大きな自信につながったことだろう。

初のセルフプロデュースとなったシングル「Not Found」では、自分たち主導で突き詰めていく中で一気にバンド力を高め、得意の変化球ではなく直球で堂々勝負。それが吉と出たわけだ。続く「ピリオド」でも、ツボを突くメロディ、それを引き立たせるアレンジで、自分たちの力をいかんなく発揮。となれば、ますます勢いづくしかない。そして、最強のメロディを軸に、ロックとポップを自在に操るアルバム『Life』のリリースを控えての、この日。オーディエンスの期待感とメンバーの気概が噛み合うとこんなにスゴイことになるのかと、つくづく感心させられたりもした。

※

〝暴れられるか？　気合い入れていこうぜ！〟

しょっぱな、尽の鋭い一言がいきなり焚き付けた「Oh My Darlin!!」から、フロアは右に左に激しくモッシュ。〝はいモッシュ！〟〝折り畳み！〟と、その都度、尽がノリ方を導いてくれるおかげで、いきなり驚くほどの一体感が生まれているではないか。そんな中、Yusukeが笑顔で歌いながらドラムを叩けば、SARSHIとyu-taは向かい合って弾いたり。その空間を、空気を、メンバー自らが目一杯楽しめるライヴは、やはり良いものだ。

アドリブだったのだろうか、「プレゼント」で聴こえた〝誰にも負けを組んでの横モッシュが壮観だった「ロン」、さらには肩を組んでの折り畳みに唖然とさせられた「Best Smile」…時に見られる演奏陣の遊び心、そしてオーディエンスを次々ノセていく尽のパワープレイも、もはや気持ち良い。かと思えば、ドラマティックなミドルナンバー「伝えたかった音」をしっかり聴かせたりもして、その自由度と表現幅の広さは、やっぱりあなどれないのだ。

〝ラストスパート、キメていこうぜ！〟と尽が扇動し、イントロでSARSHI、yu-taがドラム台に集って呼吸を合わせた「This is Live!!!」。そこからは、尽が〝渋谷、いいじゃん！〟と思わずホメるほど、モッシュ、ヘドバン、ジャンプ、逆ダイと、フロアの昂ぶりは止まることを知らなかった。

ちなみに、MCともなれば、メンバーも巻き込み、生中継中のカメラもイジり倒しつつ、観客に対してちょいちょい毒を吐く尽。だが、たまにすごく良いことを言っちゃう彼の話術には、どうしても才能を感じずにはいられない。曲中のノリ方指南も含め、一時も飽きさせないライヴ運びのウマさといったら、業界屈指ではないだろうか。

事実、アンコール1曲目、ただでさえ胸に染みる「カゾエウタ。」の後のこと。〝音楽をやっていなかったら、僕はここにいない。みんな、出会ってくれてありがとう〟という言葉には、思わずグッときてしまった。さらに嬉しいのは、『Life』に収録される新曲「テーマソング」も聴けたこと。ベースが牽引するパンチ力のあるナンバーは、とてもライヴ映えした。今後、きっとライヴで欠かせないキラーチューンになりそうな予感だ。

2011年2月、次なるワンマンツアー〝KNOCK OUT〟を行ない、4月29日には、ツアーファイナルを赤坂ブリッツで行なう彼ら。HEROがヒロイン＝ファンを見晴らしの良い場所に連れていくための弾みは、十分についた。

（問）http://hero-izm.com/

蝴蝶网
hudie.com

部屋がリズムを刻みだす!!

ライブの余韻を部屋に持ち込め!!
「HERO」カーテン&クッションデビュー

▲上記はカーテンにした場合のイメージ画像です。

リジナルカーテン
(2枚1組)
¥17,100~

オリジナルクッション
税込 ¥4,550~

ンテサイトにはさくさんの画像が登録されています。
子みの画像を選んでカーテンやクッションを作ること
できます。詳しくはホームページをご覧ください。

ttp://chante.biz/m/

CHANTE
カーテンの未来を創る、シャンテ

問い合わせはTEL.03-5295-7802(シャンテサイト担当 松田まで)

HERO
NEW FULL ALBUM
2011.1.12「Life
ONEMAN TOUR「KNOCK OUT」
2.11 大阪MUSE
(問)大阪ウドー音楽事務所/TEL:06-6341-4506
2.12 名古屋ell.FITS ALL
2.14 渋谷O-WEST
2.19 仙台HO
ONEMAN TOUR FINAL「K.O」
2011.4.29 赤坂BLITZ
(問)ディスクガレージ/TEL:03-5436-9600
◆Information 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目7番9号 株式会社 PCI MUSIC内 HERO係
STAR FIELD
Knowledge Alliance
PCI MUSIC INC.
http://hero-izm.com/

最新シングル『BLINDNESS』リリース!!
響く声に 塞ぎ壊れ 深い闇へ 沈み堕とす

蝴蝶网 hudie.com

感情を投石するという意味ではこの曲はすごくロックだ。

ドラマーにKAJIを迎え、新体制となったアンド。そんな彼らが、11月21日、Shibuya O-EASTで、六大都市単独公演巡業任務「炎上 地獄轟」のツアーファイナルを敢行した。新しい表現方法で挑んだワンマンライヴの様子をお伝えするとともに、今年最後のリリースとなる「BLINDNESS」（12月29日発売）について、メンバー全員に訊いた。

Report & Interview:ERI MIZUTANI

──7大任務、無事に終了。まずは1人ずつ、ファイナル公演となったEASTワンマンを振り返ってもらおうかな。

郁磨：嬉しさの極みでしたね、あの日は。“楽しい”とか、“ありがとう”っていう気持ちはもちろんのこと、EASTという舞台にこの5人で立てたのが何よりも嬉しくて。さすがに、前ドラマーが脱退したときは、7大任務続行不可か!?とさえ思ったし。

──でも、その後すぐにKAJIさんが加入。しかし、3ヶ月という短い期間で、よく調整が付けられたね。

KAJI：自分で言うのも何ですけど、加入した当初はどうなることかと思ったんですよ。だから、EASTワンマンのときは俺も泣きそうになっちゃって。

郁磨：自分も、最後は感極まりましたね。何か、アンドを結成してから今までのことを思い出していたら、つい。

──ほんと、頑張った甲斐があったね。

キリ：7大任務は、自分たちができることを最大限に出そうと思って挑んだだけに、持っている力を充分に発揮できたと思います。それと、今年の8月で活動3周年を迎えて、自分の中でもバンドに対する意識が変わってきたんですよね。だから、今までとは違う趣向でEASTワンマンをやってみたっていうのもあって。

──本編では、SEを挟みながらライヴを展開。あれすごく良いなと思ったよ。観ている方も、ダレることなく曲に集中できたし。

キリ：そうしたのが正解かどうかはまだわからないけれど、新たな挑戦としてはやって良かったかなって思います。

──中盤のドラムソロも良かった。

KAJI：ドラムソロでは、今までのことを活かせたと思います。

──また、そこに絡むベースも良い味を出していて。

けん：不思議なことに、この2人って、打ち合わせをしすぎると失敗する傾向にあるんで（笑）、EASTでは特に決めずに演奏したんですね。結果、それがうまくいったかなと。だいぶ、お互いの息が合ってき

六大都市単独公演巡業任務
「炎上 地獄轟」TOUR FINAL
Live at SHIBUYA O-EAST 11月21日

任務遂行目前！
狂熱のライヴをレポート！

蝴蝶网
hudie.com

[SET LIST]
M1. NERVE…
M2. ブラッ…
M3. …
M4. 恋スル…
M5. 一不…
M6. 疑心…
M7. 犠
M8. 冥逝…
M9. アネモ…
M10. bere…
M11. 恋ス…
M12. 蜥蜴…
M13. 上等…
——Dr.sol…
M14. bluff…
M15. COD…
M16. 兇
M17. D.D.…
——encore
EN-1. Not …
——Ba.sol…
EN-2. GUT…
EN-3. ギャン…
EN-4. Sobu…
——encore
WEN-1. あ…
WEN-2. MA…
WEN-3. 宣…

聴いていくと、確実に成長していることが感じられる。前ドラマーの脱退という予期せぬ出来事を乗り越え、彼らは心身ともに鍛錬した。だからこそ、今日のShibuya O-EASTでの公演も、緊張することなく挑めたのかもしれない。

ちなみに、アンドがEASTでワンマンをするのは初めて。イベントライヴでは何度も立っているのだが。それだけに、多少のぎこちない動きはご愛嬌と思っていた。だが、彼らは期待以上のものを見せてくれた。SEを効果的に挟み込み、ブロックごとにメリハリを付けるという新しい手法でライヴを展開。それにより、激しい曲とスローな曲のバランスがしっかりと取れ、結果、聴かせたい曲が引き立つ結果となった。得に良かったのが「アネモネ」。ミラーボールが輝く中、降り注ぐ音のシャワーに観客は酔いしれた。そうしたミディアムナンバーとは対照的に、会場限定シングルとなった「上等宣言」からのドラムソロへの流れは、ライヴバンドとしてのプライドが感じられた。

それにしても、よくぞここまで持ち直したものだと感心させられた。加入して3ヶ月でこの舞台に立ったKAJIの苦労は計り知れない。緊張とプレッシャーの中、堂々たる態度でのドラミングは見事なものだった。また、そこに合わせてリズムを刻む、けんの姿も一段と大人になっていた。そんな2人に触発されたか、キリとPECOも、この後の曲で大暴れ。表現力がまるで違うギタリストなだけに、観ていて面白く、どちらからも目が離せない場面がいくつも続いた。

「正直、楽しいだけじゃないこともあったけど、みんなと会えたおかげで辛かったこと全部忘れた！」この言葉こそ、今日のライヴの成功を物語っていたように思う。最後、幕がしまり、新作「BLINDNESS」のPVが会場に流れると、フロアは歓喜の声に包まれた。来年へと繋がる曲、それがここまでの共感を呼んだことは、彼らにとって相当の励みとなったに違いない。

れだけに、先が楽しみになってきたというか。

—となると、新作は、アンドの新たな挑戦と受け取っていいのかな？

キリ：「BLINDNESS」は、今年最後のリリースになるんですけど、2011年への架け渡しっていうんですかね、俺らがこれから見せたいものの序章になっていると思います。ただ、飛び抜けて新しいものにしてやろうっていう意識はなくて。今回、1番大事にしたことは世界観。前作「アネモネ」で出した深さというものを、もっと追求していこうかなと。

—確かに、「BLINDNESS」は「アネモネ」に近い雰囲気があるね。

PECO：今まで、アンドの曲って暴れられるっていうのが大前提になっていたと思うんです。でも、こうしてメッセージ性の強い曲を表現できるようになったというのは嬉しいことでもありますね。

キリ：サウンドの妖しさ、歌詞の深さ、共に意味のあるものになっています。歌詞に関しては、自分が郁磨と話していたことから広げていったんですよ。

—それは、具体的にどういった？

キリ：確か、世の中で最も怖いものは人間だ、というところから始まって。

郁磨：そうそう。でも、それも深い話をしようと思っていたわけではなく、ボソッと出た会話から膨らませていったっていう感じなんですけどね。そこから「BLINDNESS」っていうタイトルが思い付いて。直訳すると、盲目といった意味なんですけど、ここで表したかったのは、何かに没頭しすぎて周りが見えなくなるといった意味で使っているんです。一見、幅広く捉えられる言葉使いかもしれないけど、そこに深みを持たせたかったというか。それだけに、エモーショナルな部分での爆発力や、ストーリー性を想像できる感情の使い方など、歌詞の流れを組み込んで歌っていきました。

—秘めた中での爆発力っていうのが、すごく力強くて。

郁磨：感情を投石するという意味では、こ

ず、作曲したのはKAJIさんだそうで。

KAJI：俺の場合、曲を作るときは、メロディが浮かんだら、すぐさまパソコンに打ち込んでコードを付けていくっていうスタイルを取っているんですけど、この曲は割と自然に出てきたんですよね。中でも、大事にしたことというと、この4つ打ちのリズム。それと、爽やかさを組み込んだことで、今までのアンドにはなかったタイプの曲になりましたね。

キリ：前々から、こういう曲が欲しいなって思っていたんですよ。だから、今回こうしてKAJIが作ってきてくれてすごく良かったなと。

—反対に、ラストの「イノセント」は、今までの延長線上にある曲。

けん：この曲はBタイプのみに収録されるんですけど、飛び道具的な感じの曲にしようと思って作っていったんですね。初めて作詞も手掛けたんですけど、言いたいことを言ってやろうと思って、好きに書いていきました（笑）。なので、そこも注目して聴いてもらいたいです。

—異なる要素を持っている3曲だけれど、人間らしさというのは共通して言えることだよね。

キリ：あぁ、それはありますね。だからこそ、2011年、アンドがどんな音楽性を見せていくのかっていうのを楽しみにしていてもらいたいなと。5月には、ミニアルバムがリリースされることも決定していますので。

—気の早い話だけど、ミニアルバムはどんな感じになりそう？

キリ：自分たちが持つカラーというものを、もっと色濃く出していきたいなって。〝この5人で挑むアンドの原点回帰〟といったところを見せていこうかなと考えています。

—アンドにしか出せないもの、オンリーワンなところが全面に出ている作品を期待しているよ。

キリ：絶賛制作中なので、どういう曲か出揃うかはまだわからないんですけど、今はただ、どんな作品ができあがるか、楽しみでならないです。

29日(水)NEW SINGLE「BLINDNESS」発売決定!

E)」EAR-017A ¥1,890(TAX IN) 収録:CD 1「BLINDNESS」、2「blossom」 DVD:「BLINDNESS」PV CLIP ■「BLINDNESS(B-TYPE)」EAR-017B ¥1,575(TAX IN) 収録:CD 1「BLINDNESS」、2「blossom」、3「イノセント」
Tバトルカード(No,25~30までをCD対1にてランダム ※商品に関するお問い合わせ:ONG DISTRIBUTION (TEL:03-5784-9662)

DNESS」先行配信決定!!

日(水)よりmusic.jpにて「BLINDNESS」着うた先行配信開始!

music.jp

S」インストアイベント>12月29日(水)渋谷O-EAST/「BLINDNESS」発売記念-EAST襲撃大作戦- 2011年 1月8日(土)大阪ZEAL LINK
古屋・HMV栄 1月15日(土)タワーレコード郡山店 1月23日(日)新宿ZEAL LINK 1月30日(日)池袋BRAND X 2月6日(日)渋谷ZEAL LINK

アンド・平成二十三年上半期「激撃」任務発令!!

獄轟」TOUR FINAL 渋谷O-EAST公演 LIVE DVD発売決定!

※アンドオフィシャル通信販売限定販売!
※詳しくはECCENTRIC AGENT本部内「SHOP」をご覧ください。

発売日:平成23年2月22日(火) 12月31日23:59までにご予約頂いたお客様に丸秘特典有!!

都内某所限定任務「AGENT VIP ROOM '2011」開催決定!

※詳細は後日発表

5月NEW MINI ALBUM 発売決定!

※詳細は後日発表

アンド・六大都市単独公演巡業任務決定!!

5月28日(土)郡山#9 5月29日(日)仙台HOOK 6月3日(金)博多 DRUM SON
日)心斎橋 CLUB DROP 6月11日(土)名古屋 ell.FITS ALL 6月25日(土)新宿 BLAZE

行販売期間】10/11/21(日)22:00~11/1/15(土)22:00 ●第一次先行販売にてチケットをご購入の上、ご入場頂いたお客様に丸秘プレゼント有!! ※詳しくはECCENTRIC AGENT本部をご覧ください。

ファンクラブ2011年1月末OPEN!!

ラブが2011年1月末にOPENする事が決定致しました!!
CENTRIC AGENT本部、プレファンクラブメルマガにて発表!!
ル特典として無料プレファンクラブメルマガにキャンペーン期間中
に最新「BLINDNESS」スペシャル待ち受け画像プレゼント!!

メルマガ登録方法
専用QRコードよりアクセスして頂き、空メール送信の上、その後に届くメール本文内のURLにアクセスし、お申込みください。
※ドメイン指定している場合は指定アドレスに@fmb.excite.co.jpを追加してください。

平成23年1月26日(水)発売オムニバスアルバム
「CRUSH!-90's V-Rock best hit cover song-」参加、発売決定!!
※拠点店初回特典として参加アーティストの写真付インタビュー冊子を予定。
アンド「PENICILLIN/ロマンス」収録
品番:UPCH-20221/価格¥3,000tax in)

<ライブスケジュール>

12月29日(水)渋谷O-EAST 12月31日(金)ラフォーレミュージアム六本木&高田馬場AREA
-2011年- 1月19日(水)渋谷 O-EAST 2月7日(月)渋谷O-EAST 3月13日(日)高田馬場 AREA 3月19日(土)横浜サンフォニックスホール
月20日(日)HEAVEN'S ROCKさいたま新都心VJ-3 3月21日(月)柏PALOOZA 4月3日(日)高崎CLUB FLEEZ 4月10日(日)水戸ライトハウス

ECCENTRIC AGENT本部

TOON-FACTORY

3ヶ月連続Release

「Fiction」「Chloris」「2Logi

※詳細各ショップ HP

3TITLE対象EVENT決定

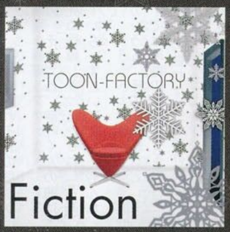
2/26 ライカエジソン東京店　3/6 自主盤倶楽部
3/12 ZEAL LINK 渋谷店　3/19 池袋 Bland X

official fan clib 『Clib a Factory』

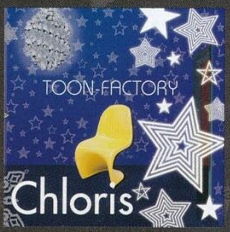
入会特典
・会員 ID 発行
・会報誌発行（年２回）
・チケット優先販売
・会員限定イベントへの参加

◆ご入会方法◆
入会ご希望の方は郵便局備えつけの青い振込用紙にて必要事項を記入し入会金￥ 1000+年会費￥ 2000=￥3000 を下記口座までお振込下さい。

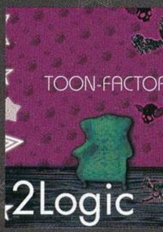
口座番号・00140-6-0456890
加入者名・WHITE SIDE GROUP
通信欄
1，CLIB a Factory
2．氏名（フリガナ）
3．郵便番号、住所
4．電話番号
5．生年月日（西暦でご記入下さい）
6．Eメールアドレス（アンダーバー、ハイフンや数字の０とローマ字Ｏなどの表記にご注意下さい）



2010年12月29日(水)
『Fiction』
CD【2songs】／¥1,260-／TMP-31
収録曲【1.white tears 2.still alive】
※初回生産分：紙ジャケット仕様



2011年1月26日(水)
『Chloris』
CD【2songs】／¥1,260-／TMP-32
収録曲【1.Brand new star 2.signal】
※初回生産分：紙ジャケット仕様



2011年2月23
『2Logic』
CD【2songs】／¥1,260-／
収録曲【1. ストロベリー 2.Tr
※初回生産分：紙ジャケット

発売元：TEMPLE　販売元：WHITE SIDE GROUP　流通：ダイキサウンド株式会社

◆新年 TOON-FACTORY 主催◆

1月17日(月) 高田馬場AREA
【~Brand New Wind~ Chapter 5】OPEN/17:00 START/17:30 前売り ¥3000/ 当日 ¥3.500
◆cast TOON-FACTORY／Blu-BiLLioN／Virgil／ReivieЯ／レクレンズ／他

2月17日(木) 高田馬場AREA
【~Brand New Wind~ Chapter 6】OPEN/17:00 START/17:30 前売り ¥3000/ 当日 ¥3.500
◆cast TOON-FACTORY／Administrator／ダウナー／DragonWAPPPPPPER／D'eiz／他

【EVENT&LIVE SCHEDULE】
■1月31日(月)渋谷 O-Crest
■2月6日(木) 高田馬場 AREA
■2月9日(月) 高田馬場 AREA
■4月2日(土) HEAVEN'S ROCK
■4月3日(日) 高崎 CLUB FLEEZ

OFFICIAL HP http://www.toonfacto

TOTAL INFORMATION 160-0023 東京都新宿区西新宿 8−5−2 フィヨーレ西新宿 102 WHITE SIDE GROUP『TOON-FACTORY』係

ひかる

chemical change

Chloris

TOON-FACTORY3ヶ月連続リリース第2弾は、2011年の初音源となる。今回は、そんなニュー・シングル「Chloris」（1月26日リリース）についてガッツリと語ってもらいました。今作は、雫と夢叶の作曲による楽曲。作詞はもちろん、ひかるだ。過去作以上に、"現在のTOON-FACTORY"を感じる力作。勢いのある2曲は2011年の彼らを物語っているような気がしてならない。

Photography:MASAKAZU KOBAYASH（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:NAZU

TOON-FACTORY

雫：今回の2曲、どっちが俺の曲かわかった？

――わかったよ。資料に書いてあったから。

雫：………あ。

――あははは。いやいや、クレジットを見る前からわかったよ（笑）。雫の曲はメロがマイナー系な事が多いし、夢叶の曲はメロはキャッチーなんだけど、かなり曲構成が複雑で、間奏のギターソロが激しいからね。

雫：うん。俺の曲はシンプル・ザ・ベストをモットーに作ってますからね。たしかに、メロはマイナー系が多いね。

夢叶：俺は最近、いかに難易度の高い、難解なプレイに挑戦出来るかっていうとこにチャレンジしてますから（笑）。でも、メロディーはやっぱりは聞きやすい方がいいんで、そこは意識してるんです。

ひかる：そういう意味では今回の2曲って、すごくそれぞれの個性が出てるね。

レガ：そうだね。夢叶くんの曲は本当に死ぬ程難しかったからね（苦笑）。

ゆーいち：すごい苦労したもんね、2人で。

レガ：うん。その話は後ほど（笑）。

――では雫曲の「Brand new star」から。

雫：この曲はすごく昔からあった曲で、『innocent』（2010年の3月にリリースされたアルバム）を作ってた頃からあったんすよ。てか、むしろ『innocent』を作れたから、ここに繋がったって感じの曲かな。ラップも、そこで初めて挑戦して、〝あ、こういうのいいな〟って思いきって出来るようになったし。ちなみに、その頃付けてた仮タイトルは「パリラ」っす（笑）。イントロが、〝パ～リラ♪ パリラ〟みたいな感じだから、「パリラ」。

ゆーいち：そのまんまじゃん（苦笑）。

雫：仮タイトルとはそんなもんっす。結構インパクトないっすか？ イントロ。

――フレーズというより、クリック音がそのまま使われてることにビックリした。

ひかる：俺も！ 家で、完パケ（すべての作業が終わった完成型の状態）聴いてて、超焦って夢叶くんに、〝ヤバイよ！ イントロの頭の部分、クリック音入ってる！〟って電話しちゃった（笑）。

ゆーいち：俺なんか、俺のせいで入っちゃったのかと思って（ドラムがクリック音を聴くことが多いため）超焦った。

雫：最後の最後まで、入れるか入れないか悩んだんだけど、最終段階でインパクトあるし入れようと思って。こんなにも驚いた人が居たってことで、正解かと。

レガ：メンバーも驚くっていうね（笑）。

――ラップは最初から入れようと思ってたの？

雫：うん。いつもラップ担当はレガくんなんですけど、今回は、レガくんが中心なんだけど、リリックも英語の部分も俺が書いてて、俺もちょっと歌ってるんですよ。

ひかる：結構声が似ててわからないくらいなんですよ。むしろ雫くんの方が強い感じがするんです（笑）。

レガ：今回のラップは自分でリリックを書いてないし、雫くんがラップ部分の抑揚についてすごくこだわりがあったから、自分的にはあんまり自分らしいラップをしてないんですよ。雫くんの個性が全面的に出てるラップになってるというか。そこもこの曲の魅力ですね。

雫：この曲のサビの後半の英語で、うっすらと言ってる英語の部分があるんだけど、そこの意味は秘密です（笑）。

ひかる：わざと解明出来ないように、いろいろとコーラスを重ねてるんで、なんて言ってるか探ってみて下さい（笑）。

――「Brand new star」は、リフがしっかりと立ちつつ、バンド感で攻めていく感じの楽曲だよね。ラップありでヘヴィに全体をすすめつつ、ギターソロでは弾きじゃくるっていう、雫と夢叶の個性が混在してる感じだったけど。

雫：そう。俺の曲は基本あんまりギターソロは入れないんだけど、この曲はガッツリある感じだからね。間奏部分のギターソロは夢叶くんなんだけど、そこは夢叶くんの好きなようにやってもらった。

夢叶：好きにやらせてもらいました！ 100伝えるには200やらないと、伝わらないと思ったから、とことん大袈裟にやりました！ 〝愛してる〟っ

——あんまり大袈裟でもなかったね（笑）。でも、この曲のギターソロはかなり大袈裟で良かったと思うよ。

夢叶：はい！ 弾きまくりました！ なんか、最近吹っ切れたんです。TOON-FACTORYのイメージを崩さないように、あんまり速弾きのフレーズは入れないようにしてたんですけど、そこは自分自身の個性だし、みんなの作って来るTOON-FACTORYの曲の中で、みんなそれぞれの個性がぶつかり合って混ざり合って、良い化学変化を起こせたらなと思ったんです。

ひかる：本当にそう思うんですよね、バンドは化学反応だから。雫くんと夢叶くんのギターはまったくタイプが違うし。同じように弾いたら、ツインギターの意味がないし、短所を補うよりも、長所を伸ばした方が良いと思うから。夢叶くん自身が割り切れたこともあって、今、3作目も制作中なんですけど、どんどん夢叶くんらしいギターが出せてるような気がしますね。この2作目でも、それをすごく感じてもらえると思います。

——なるほどね。リズム隊はどうだった？ そろそろ大変だった話を聞かせてくれる？

ゆーぃち：「Brand new star」のAメロがとにかく大変で。もぉね、何回も何回も練習してやったんですよ。レガくんとのいいグルーブが出せなくて。相当2人で苦労して合わせたんですよ。

レガ：1つの方法を、ゆーぃちくんが生み出してくれたんですよ！ バスドラだけのデータを作って先に俺に渡してくれるんです。それだとすごいフレーズがつけやすくて。クリックで合わせるよりも、すごくいいグルーブが生まれるんですよ。俺、リズムの裏を取るのが結構苦手なんで、すげぇいいジャッジでしたね。

ゆーぃち：今回、試行錯誤して、またひとつ一歩前進出来た気がしましたね。

ひかる：「Brand new star」の歌詞はは、普段とか、バンドやってて思うことを素直に書きましたね。普段辛いなって思うことって、結構あると思うんですよ。でも、そんな辛いところで立ち止まっててもしかたないから、もっともっと頑張って、みんなで一緒に上を目指そうよっていうメッセージを詰め込みました。

——夢叶曲の「Signal」の方は？

みんなにメールで、〝ここ、無理じゃない？ もうちょっと簡単にしちゃダメかな？〟って送ったら、夢叶くんから、〝ダメです。頑張って下さい〟って返信が来て、諦めて必死で練習したっす。

夢叶：ダメですよ、諦めちゃ。上手くならなくちゃなんで、これは、みんなが上手くなるためにわざとテクニカルにしてるんで、妥協はダメです！

——超速弾きだしね（笑）。最近メタル系のバンド以外でここまでの速弾きしてる人、あんまり見たことない。

夢叶：そこなんです！ 狙いはそこです！ この曲もまさにメロディアスながらも、テクニカルってとこを目指して作ったんです！

レガ：ベースも死ぬ程難しい！ このテンポの速さはすごいですよ！ アウトロなんて、夢叶くんは俺を殺す気だと思いましたからね！ 脳みそ腫れましたから。

ゆーぃち：テクニカルな上、テンポが速いからね。詰め込み過ぎでしょ？っていうくらい詰め込んでるからね。死んだ。

ひかる：この曲、なにげに、歌メロも速いんです。あんまり歌自体は速く聞こえないと思うけど、かなり速い（笑）。詰め込まれてる感じなんで、歌うと相当難しいです。歌詞は、「Brand new star」の歌詞と言ってることは同じなんですけど、前向きな内容ではありますね。〝自由に〟っていうのがテーマです。昔から人に言われるままに動くのが嫌いで。小学生の頃から自分の考えを信じて行動してきていたところがあるんです。自分自身を信じる気持ちと、自由に生きようっていう気持ちを、みんなにも伝えたかったって感じですね。自分の正しいと思った道を歩こうっていう歌詞です。応援歌っぽいニュアンスもある歌詞ですね。早くみんなに生で歌って届けたいです。

夢叶：3作目も絶賛制作中なんで、楽しみにしてて下さい！

レガ：はぁ……またスパルタだよ……。

ゆーぃち：頑張ろうねっ！ 頑張ってバスドラデータ作るか！

レガ：お願いします（深々頭を下げる）。もうね、夢叶くんが次どんな曲持ってくるか不安でしょうがないっすもん。

夢叶：次もスパルタです（笑）！ 期待してて下さい！

（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

猟牙：BORNの一部分だけではなく、全てを見せたいという気持ちで臨みました。3ヶ月連続でリリースしたミニ・アルバムを中心としたセットリストでしたけど、BORNはそこに至るまでの歴史も持っているバンドだし、事務所に所属する前から支えてくれているファンにも感謝しているし、その時に育てた曲たちも絶対に外したくなかったんです。だからこそ、ワンマンをやるからには余すことなくBORNを体感させられるライヴを目指しました。

K：今回のワンマンは、ある種〝初ワンマン〟のような感覚がありましたね。〝BORNは、どんなバンドなんだろう？〟と思ってくる人もたくさんいるだろう…というのがあったので。猟牙も言ったように、自分たちの音楽の全てを炸裂させたいという想いが強くありました。

Ray：事務所に所属してからは、ライヴをするたびに新しい反省点が見つかるようになって、それをクリアすることを自分に課すというのを繰り返していました。そういう中から得た全てのものを、11月7日のワンマンで出したいと思って。逆に言うと、背伸びをする必要はなくて現時点でやれるベストのものを提示することしか考えていなかったです。全く緊張することもなかったし、良いライヴが出来たんじゃないかなと思います。

KIFUMI：今回は、ライヴの流れを重要視していました。曲の並べ方だったり、あとは自分のテンションの緩急のつけ方だったり。イベント・ライヴとかだと、もう、ガァーッ！と暴れてナンボ…みたいな感じがあるんですよ。でも、1時間、2時間のライヴになってくると、ずっとそのテンションというのは通用しないので。そのままいったら、絶対に途中で飽きられてしまうじゃないですか。だから、緊張感を保ったまま引くとこは引く、というのをすごく意識していました。

TOMO：渋谷O-WESTのワンマンが決まってからは、もうずっとワンマンを目標にしてやってきたんです。ドラムの練習はもちろん、それ以外の部分も毎日気を張ってやってきました。1週間おき日を迎えたので、あの日のライヴの出来に関しては納得しています。でも、ライヴが終わって振り返ってみると、〝まだ、もっといけただろう〟という気持ちがあるので、そういう部分は今後につなげていきたいですね。

猟牙：今回は、流れに関して今までのライヴの中でもいちばん決め込まれていました。俺としては、その流れの中でどれだけメチャクチャにやれるか…というのが大きな課題としてありましたね。俺は、ライヴの流れをいい意味でブッ壊さないといけないと思ったから。流れを守りつつも、最高のテンションでやることを意識しました。当日はSEが鳴った瞬間からスイッチが入って、1曲目から自己陶酔というか。だからすごく心地好く歌えたし、長いライヴだったのにアッという間に終わってしまって。すごく良いテンションで出来ました。

――久しぶりにワンマンをやって、改めて感じたこともあったでしょうね。

猟牙：BORNは曲調が幅広くて、いろんな見せ方が出来るんだなってことを再確認しましたね。そこはこの先ももっと大きく拡げていきたいなと思っています。ただ、そのためには柔軟性や細かいスキルが必要になってくるので、そこをしっかりとレベルアップさせて、どんなアプローチで攻めても説得力のある形に持っていきたいですね。

TOMO：今回のワンマンでは、BORNのファンの熱さを改めて感じました。後ろにいるファンもすごく暴れてて、会場全体でBORNになっていたんです。そこまで持っていけるのは、BORNの大きな強みだなと思いました。これからの課題は、ライヴ中の〝間〟を良くすることかな。長いライヴであればあるほど、1曲1曲の〝間〟だったりが大事になってくるので、そこをもっと詰めていきたいと思っています。

KIFUMI：これは、反省点でもあり、嬉しい部分でもあるんですけど、セットリストを組むにあたって、盛り上がるゾーンとか、落として聴かせるゾーンとかに分けて組むじゃないですか？　いざライヴをしてみると、落としゾーンでも

OVER THE "BLACK" WORLD

BORNのフィルターを通してさらに強固に！

飛躍の年であった2010年、さらにはそれまでの彼らの活動の歴史を見せつけたワンマン・ライヴを、11月7日・渋谷O-WESTにて行なった
メンバー自身、手応えを感じたと言うように、観る者もBORNの成長の証を体感できた充実の一夜となったのだった。
2011年2月2日にはアルバム『DOGMA』のリリースも決定。
さらに濃密度を増す"黒"の世界、ますますハマっていくこと間違いなしだ。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

だ見くびっていたなと思いましたね。メリハリの面では反省点ですけど、地味に嬉しかったです（笑）。

Ray：俺は、5人が一気にドン！とパワーを出した時の破壊力が増したことを実感しました。それは、今後のBORNの大きな強みになる気がしています。反省点は、TOMOも言った〝間〟ですね。間がもう少し綺麗につながっていれば、もっと世界観を深められたんじゃないかなと思うので。

K：Rayも言ったように破壊力はBORNの大きな武器だと思いますけど、暴れ倒すと、どうしてもプレイが粗くなるんですよね。昔よりは良くなっているけど、ステージングとプレイをもっと両立させる必要があるなと思って。プレイ面を重視してステージングを抑える気はないので、今のスタイルのままプレイの精度を高めていくのが今後の課題です。

――今後も期待しています。振り返ってみると、2010年はBORNにとって飛躍の1年になりましたね。

Ray：そうですね。俺は、意識が大きく変わりました。以前は、自分はバンドの中の5分の1でいい…という感覚だったんですが、マネージャーに、〝常に自分が一番になるくらいの気合いを持て〟と言われたんです。俺はそういうタイプじゃないし…と思っていたんですけど、良い部分を褒められるようになったらもっと欲してる自分がいたんです（笑）。〝もっと褒められたい！〟みたいな（笑）。だから今は、BORNの中でも一番と言われたい。この半年でそこまで意識が変わったのは、本当に大きなことでしたね。

TOMO：俺も精神面や考え方が変わったなと思っています。例えば、以前はライヴの最中は、自分のことしか考えていなかったんです。終わった後も、〝ああ、あの曲をミスった。もっと練習しないと〟みたいな感じでしたけど、最近は自分がミスったことを棚にあげて、真っ先に他のメンバーのミスを指摘したりするんです。そういう風に、よりバンド全体を見られるようになりましたね。

KIFUMI：前は、何をするにしても、この5人が納得すればOKという考え方るのは当たり前で、周りの人たちも巻き込まないといけないし、さらに遠くにいる人までBORNの勢いで巻き込まないといけないな…ということを考え始めました。最近は、いろんな局面で自分が変わったことを感じています。

K：今年は、人としても少しは成長できたかな…というのがあります。事務所に所属して、マネージャーやスタッフと出会って、いろんな話をするようになり、自分はミュージシャンだけど、その前に一人の人間として、しっかりしないと…と思うようになったんです。音楽というのは、作る曲にしても、楽器のプレイにしても、人間性が大きく出るじゃないですか。スタッフとそういう話をするようになってから、カッコいい大人になりたくなったんです。そうなることで、自分の作る音楽やプレイもカッコよくなるだろうし。それに気付かせてくれた周りの人たちに感謝しています。

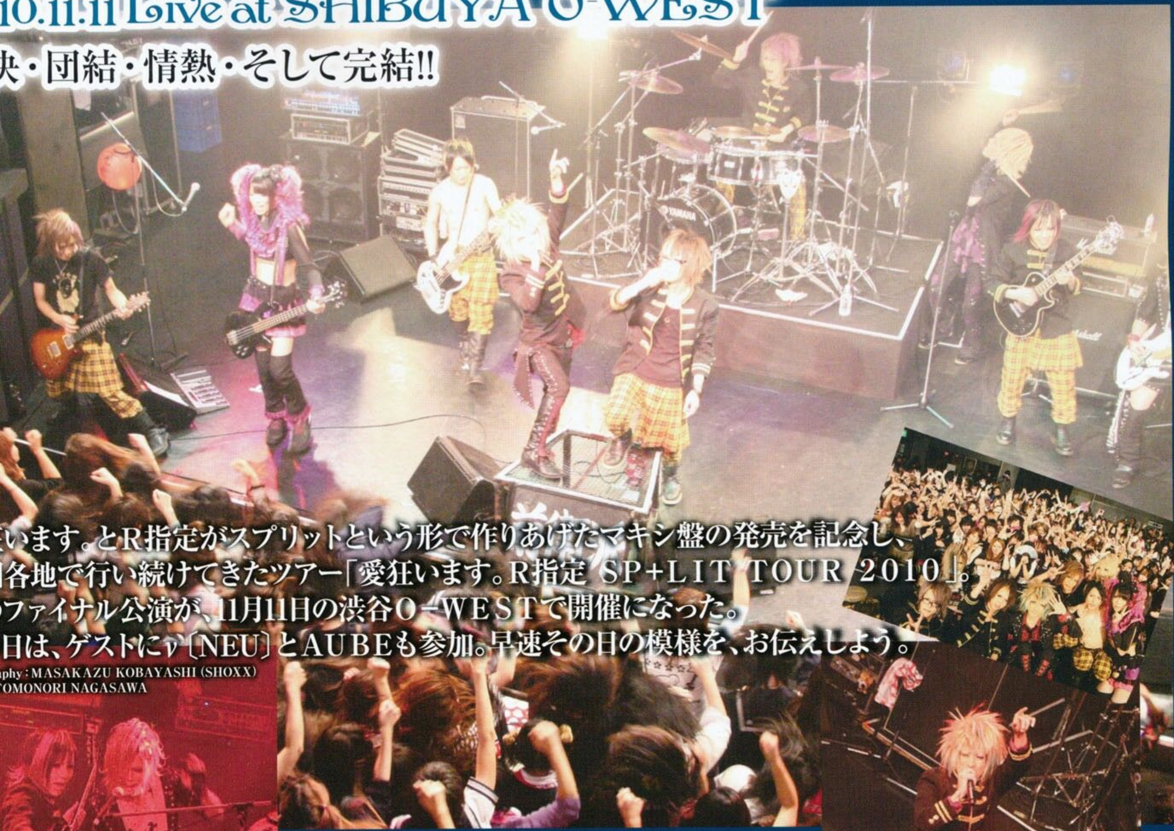
猟牙：俺らは、ずっと自分たちだけで活動してきて、根拠がないとはいえ自信があったからこそ続けてきたんですよね。でも、事務所に所属してからは、鼻っ柱を折られることが多々あって。もうボロカスに言われる時もあるし、良くないライヴをした時には率直にダメだと言われるし。でも、結果を出した時は、ちゃんと評価してくれるんです。そういう風に、今は真剣にBORNを見てくれる人が何人もいて、メンバーも前より意見を言うようになってきましたね。厳しい環境に置かれることで、BORNが確実にレベルアップしたことを感じています。

――同感です。2011年は、どんな1年にしたいと思いますか？

猟牙：まず2月にニュー・アルバム『DOGMA』をリリースするんですけど、2011年のBORNの一発目に相応しい、かなり濃い内容のものになっています。2011年は、今年以上に濃厚な1年にしますよ。2010年を経て、BORNがメジャー感を増して、洗練されたバンドになると思ったら大間違い（笑）。2011年は〝凄まじくブラックなBORN〟が日本中を巻き込んでいくので、覚悟しててください。

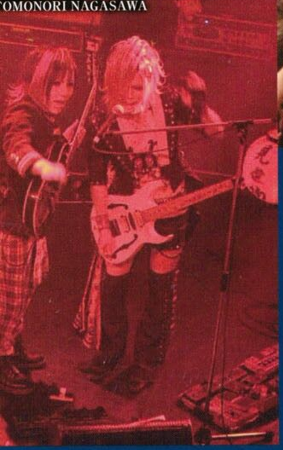
愛狂います。R指定
SP+LIT TOUR 2010 FINAL
10.11.11 Live at SHIBUYA O-WEST

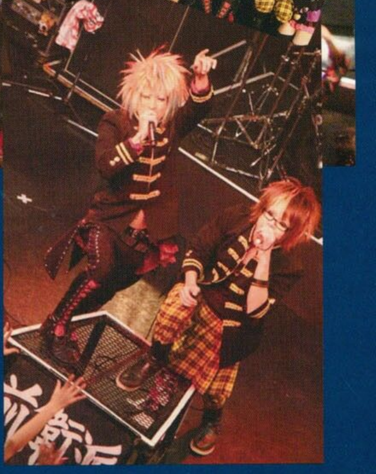
快・団結・情熱・そして完結!!



います。とR指定がスプリットという形で作りあげたマキシ盤の発売を記念し、
国各地で行い続けてきたツアー「愛狂います。R指定 SP+LIT TOUR 2010」。
のファイナル公演が、11月11日の渋谷O-WESTで開催になった。
日は、ゲストにν〔NEU〕とAUBEも参加。早速その日の模様を、お伝えしよう。

aphy : MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
TOMONORI NAGASAWA





終演後のメンバー全員と撮影会の模様

ν〔NEU〕とAUBEが熱狂的な空間を作りあげた場内に現れたのが、愛狂います。だった。いつも彼のステージを見て思うことだが、体感的な興奮はもちろん、彼らの奏でる音空間へ触れていると、頭の中が不思議の国へトリップしたような感覚へ陥ってゆく。この日のライヴは、「チョコサンドビスケットクリーム」からの幕開け。ダークでフリーキーなその演奏をあえて違う表現で例えるなら、たくさんのオモチャを詰め込んだ大きな黒い箱。それをひっくり返したとたん、中からプチ悪魔風なヤンチャ王子の人形たちが現れ、ニヤッとした笑顔浮かべながら大暴れし始めるという雰囲気だ。

そんな、この日の小悪魔ヤンチャ王子たちは、ひと際〝格好いいくらいにオチャメ〟だった。頭の中を指でクルクル掻き回されたような激烈トリップ感が炸裂した「くるくる。と胎児は廻る」や「トウメイニンゲン」では、ヤンチャな4人にみんなの脳味噌もくるくる掻き回され、誰もが思いきりヘドバンし続けていた。

ロマンチック&メランコリックな「星空、堕ちた」を通し、アンニュイなまどろみを覚えつつ、ここからふたたび、4人の小悪魔たちの心に住む〝暴れ虫〟が蠢き出した。いきなりアクセルをベタ踏みしながら、一気に暴走。「眼球ワルツ」を通したフリーキーな興奮。「うさぎ」では、大勢の観客たちをポップ&メルヘンな宇宙まで誘うスペーストリップな空間を演出。ラストの「ケセラ：セラ」では、螺子の壊れた人形のよう、ただただ暴走爆走の嵐を巻き起こしてい[illegible]

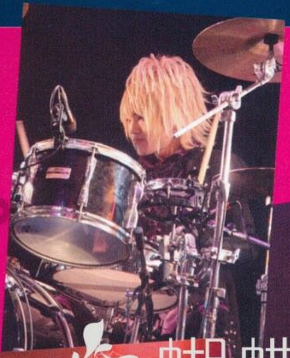
この日彼らがひっくり返[illegible]箱から飛び出した楽しい夢世界は、ちょ[illegible]ぴりダークでフリーキーだ[illegible]

対してR指定は、最初か[illegible]壊れた暴走マシンと化して[illegible]冒頭を飾った、和な要素を持った[illegible]陽」を、ギラギラとした熱[illegible]な演奏として思いきり放熱。[illegible]ではマモが狂ったように叫び[illegible]演奏陣も、血管数本ブチ切れるくら[illegible]の勢いでせまっていった。客席では[illegible]た最前列の観客たちの背中[illegible]波（観客たち）がぶつかって[illegible]

蝴蝶网
hudie.com

愛狂います。

【set list】
M1. チョコサンドビスケットクリーム
M 2. くるくる。と胎児は廻る
M 3. トウメイニンゲン
M 5. 星空、堕ちた
M 6. 眼球ワルツ
M 7. うさぎ
M 8. ケセラ：セラ

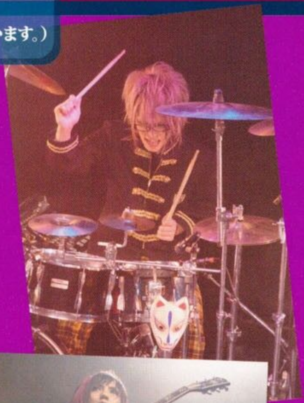
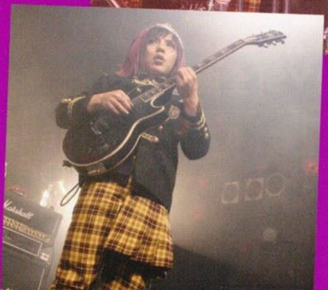


蝴蝶网
hudie.com

――encore――
コラボ・セッション
En1. 玉砕メランコリィ（R指定）
En2. 球形無限連鎖～ミズタマ～（愛狂います。）

R指定

【set list】
M 1. ギラつく太陽
M 2. 盲目ブギー
M 3. サクラチレバ
M 4. 波乱万丈、椿唄
M 5. 嗚呼、性春
M 6. 修羅場
M 7. 國立少年

き出していた。

中盤では、哀愁刹那ムードを漂わせる、むせび泣き系バラード歌「サクラチレバ」を演奏。一転、「嗚呼、性春」では、ダンサブルな演奏が炸裂。「修羅場」では、題名通り、メンバーらの徹底した煽り演奏によって、会場中がモッシュの嵐に包まれていった。まさにその様は、岸壁（最前の客たち）へ向かい何度も何度も高波（観客たち）が押し寄せ、狂熱な絶叫の波飛沫を飛ばし続けていた。もちろん、ラスト「國立少年」でも、観客たちの誰もがタオルを狂ったように振り回しながら、歯止めの効かないオーバーヒート寸前な暴走マシンの導き出した音へ、思いきりライドし続けていた。

アンコールでは、愛狂います。／R指定によるセッション大会を実施。愛狂います。のえみるは、R指定の楓が脱いだ衣装を身につけての登場。

まずは、R指定の歌「玉砕メランコリィ」から大セッション。♪日の丸万歳！♪万歳！万歳！♪という掛け声を合図に、ドラム以外の全員がステージ最前線へ一列に並び、轟音唸るヘヴィな楽曲を大セッション！とくにえみるとマモは、一緒に肩を組み合いながら歌ってゆく姿も見せていた。両ヴォーカル陣や、ルビとZ、楓のギター陣は、いい感じで相性良くハモっていたが。意外に水と油な関係だったのが、ベースのさらんと七星。まぁ、お互いの性格的に交わらないのは、当たり前と言っちゃあ、当たり前か（笑）

続いて、愛狂います。の「球形無限連鎖～ミズタマ～」をセッションしたときには、マモがデス声を担当したりと、上手くパート分けをしていたが。他のR指定のメンバーたちは、楽器を置き、ステージ上で大騒ぎ。ここでも七星は、演奏するさらんにチャチャを入れてゆく姿を披露。そんなさらんも、案外いじられるのを楽しんでいるようだったが（笑）。

そんな大セッションのあと、メンバーらと一緒に写真を撮ることの出来るチケットを手にした子たちが、帰り際、それぞれ自分のケータイで、メンバーらと共に記念撮影を行った。こういう企画も、ファンには嬉しいアイデアだよね。

発売記念単独公演−東京ドミノ−

11.4.2 (SAT) shibuya O-EAST

open 17:00 start 18:00 前売4000円　当日4500円　ドリンクチャージ別途

先行発売:1/16日(日)〜1/23日(日)まで
チケット、チケットぴあ、e+にて発売

一般発売:1/29日(土)からローソンチケット0570-084-003(Lコード76602)、チケットぴあ0570-02-9999(P126-935)、イープラスhttp://eplus.jp/、
ライカエジソン03-3369-3708、ZEAL LINK03-5784-9666　ファンクラブ会員優先:1/8(土)〜1/15(土)までローソンチケットで発売。会員の方には詳細を別途お知らせ致します。
総合問合せ:チッタワークス044-276-8841

愛狂います。ワンマン2DAYS「全曲披露コンサート」

2011年 3月18日(金)　2011年 3月19日(土)
名古屋ell.SIZE
開場:17:00　開演:17:30　前売:3500円　当日:4000円　ドリンクチャージ別途
チケット発売日:FC優先 1/8〜1/15
一般発売　1/16〜　ライカエジソン名古屋店　ローソンチケット、チケットぴあ
(問)ell.SIZE 052-201-5004

大阪
2011年 3月26日(土)　2011年 3月27日(日)
難波ROCKETS
開場:17:00　開演:17:30　前売:3500円　当日:4000円　ドリンクチャージ別途
チケット発売日:FC優先 1/8〜1/15
一般発売　1/16〜　ライカエジソン大阪店、ローソンチケット
(問)ROCKETS 06-6649-3919

愛狂います。四周年記念単独公演「記念日。」

2011.2.22 (TUE) shibuya club asia

17:00　開演:17:30　前売:3500円　当日:4000円 共にドリンクチャージ別途　発売日:FC優先1/8〜1/15　一般発売1/16(日)〜　ローソンチケット　ライカエジソン東京店　(問)club asia 03-5458-2551

LIVE SCHEDULE

日渋谷Milkyway
日渋谷Milkyway
1月9日江坂MUSE
1月10日名古屋ElectricLadyLand
1月13日高田馬場AREA
1月17日新宿RUIDOK4
1月20日新宿HOLIDAY
1月24日池袋BlackHole
1月25日池袋BlackHole
1月29日新宿HOLIDAY

ます。初のライブDVD
國」2010.9.30 shibuya O-WEST
.1.19 RELEASE

■バンズエイド通販先行販売
2010年12月1日〜
http://shop.banz.jp
予約受付開始
2011年1月19日〜
発送開始予定
※バンズエイド通販特典:
2011.01.19LIVEオフショットDVD

■一般販売
発売日:2011年1月19日

●タイトル:浪漫帝國
品番:MBDV-016
価格:¥4.980(税込)
封入物:トールケース、
オールカラー8pブックレット、
ライブ生写真封入
(全10種のうち1枚封入)

収録曲:
1. 春夏秋冬
2. ケセラ:セラ
3. シドロモドロ
4. 文化≠包丁
5. ゴメンなさい
6. Cとソプラノ
7. スターマイン
8. オカルト・キラー
9. ネクロノミコン
10. 心臓
11. うさぎ
12. 僕は魔王
13. 眼球ワルツ
14. あおいろ1号
15. トウメイニンゲン
ボーナストラック:
ツアーオフ秘蔵映像

TOTAL INFOMATION NINE　1-1-11-406 Okubo,Shinjuku-ku Tokyo 169-0072 Japan　TEL 03-5287-3455 FAX 03-5287-3454　http://www.aicle-web.com

蝴蝶网
hudie.com

SPEED DISK PRESENTS
hinrabanshow
DX
AYABIE
SCREW
3月7日(月)
SHIBUYA-AX
Cast:Moran
Guest:AYABIE
ViViD
SCREW
ダウト
Mix Speaker's,Inc.
少女-ロリヰタ-23区
http://xxxrecords.jp/speeddisk

E.L.L&SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow

in MID SID

2月21日(月)名古屋E.L.L
開場17:30/開演18:00
Cast:R指定
Guest:VIDOLL シュン&ギル セッション
己龍/ダウト/DEATHBIE/V【NEU】

蝴蝶网
hudie.com

2月22日(火)名古屋E
開場16:30/開演1
Cast:Ap(
Guest:Administrator/AYABIE/ZUCK/BugLug/xTR

2月23日(水)名古屋E.L.L
開場16:30/開演17:00
Cast:UnsraW
Guest:アンド/-OZ-/SCREW/BORN/Lycaon

2月24日(木)名古屋E
開場16:30/開演1
Guest:AUBE/ケミカルピクチャーズ/spiv sta
Sel'm/DuelJewel/花少年バディ

SPEED DISK PRESENTS～森羅万象
2月25日(金)江坂MUSE
開場16:30/開演17:00
Guest:AUBE/ケミカルピクチャーズ/spiv states
Sel'm/DuelJewel/花少年バディーズ

http://xxxrecords.jp/speeddisk

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

UNDER CODE PRODUCTION 2011 福袋!!

※CD、DVD、GOODS、バッジ、入手不可能音源、無料配布物等 20000 円以上を特製オリジナル紙袋に封入。

¥3,500【UCP-7】

■最新アーティスト写真 A ¥1,500【ULI-6】

■最新アーティスト写真 B ¥1,500【ULI-7】

凛
of corruption world-

■最新アーティスト写真 C ¥1,500【ULI-8】

■オリジナルストラップ ¥1,000【ULI-9】

りポラロイド(メンバー指定可能!!) ¥1,000【ULI-10】

りチェキ(メンバー指定可能!!) ¥500【ULI-11】

ュールは、OFFICIAL HP をチェック!! http://www.under-code.jp/

■オリジナルミラー
¥1,000【ULI-12】

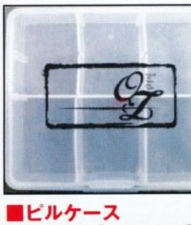
■ポラロイドファイル
¥2,500【ULI-13】

■タオル ¥2,000【LOZ-33】

■シュシュ
¥1,000
【LOZ-34】

■コインケース(黒/紫)
各¥500【LOZ-35】

Natsuki
Aki
Tama
Nao
Zukki



■ピルケース
¥1,000【LOZ-36】

■ストラップ ¥1,500【LOZ-37】

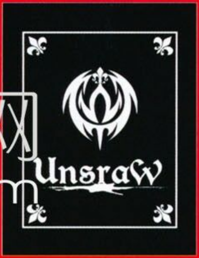
sh【INFORMATION】〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-18-3 目黒第一花谷ビル 602 号室
(有)ループアッシュ -OZ- web saite ⇒ http://www.territory-oz.com/

蝴蝶网

UnsraW

蝴蝶网 hudie.com

リストバンド
¥1,000
【SUN-10】



ミラー ¥1,000【SUN-7】

マフラータオル ¥1,500 【SUN-8】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ(5人)
¥2,000 【SAP-16】

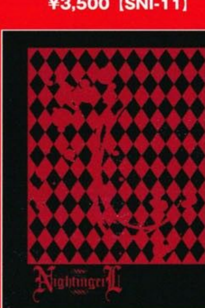
写真 10-A ¥1,000 【SAP-18】

写真 10-B ¥1,000 【SAP-19】

NightingeiL

限定 T シャツ (M サイズ)
¥3,500 【SNI-11】

写真 10-A ¥800 【SNI-13】



コンパクトミラー
¥1,000 【SNI-12】

R 指定

タオル
¥2,000
【SRS-1

写真 11-A ¥1,500 【SRS-14】

写真 11-B ¥1,500 【SRS-15】

Speed-disk

※ 注意事項
※ バックナンバーの受け付けは終了となりました。
※ 今月号のグッズの締めきりは 2011 年 1 月 21 日到着分までとさせていただきます。

● SPEEDDISK のイベント

★ SPEED DISK PRESENTS ～
『森羅万象 New Year Circuit 2011』
2011 年 1 月 7 日 (金) 名古屋 E.L.L
2011 年 1 月 8 日 (土) 江坂 MUSE
Open/Start 16:30/17:00
チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000
Cast:UnsraW/Moran
Guest: ケミカルピクチャーズ /SCREW/DuelJewel/BORN

2011 年 1 月 9 日 (日) 江坂 MUSE
2011 年 1 月 10 日 (月・祝) 名古屋 E.L.L
Open/Start 16:30/17:00
チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000
Cast:R 指定
Guest: 愛狂います。/ アンド /ZUCK/ v 【NEU】/HERO/ 凛 (10 日のみ)

★ E.L.L&SPEED DISK PRESENTS ～
『森羅万象 in MID SIDE』
2011 年 2 月 21 日 (月) ～ 24 日 (木)
Open/Start 16:30/17:00
チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000
※Cast、Guest の詳細は SPEED DISK HP をご覧下さ

★ SPEED DISK PRESENTS ～『森羅万象』
2011 年 2 月 25 日 (金) 江坂 MUSE
Open/Start 16:30/17:00
チケット代 前売 ¥3,500/ 当日 ¥4,000
※Cast、Guest の詳細は SPEED DISK HP をご覧下さ

★ SPEED DISK PRESENTS ～『森羅万象 DX』
2011 年 3 月 7 日 (月) 渋谷 AX
チケット代 前売 ¥4,500/ 当日 ¥5,000
※Cast、Guest の詳細は SPEED DISK HP をご覧下さ

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい
http://www.xxxrecords.jp/spee

■ SP + LIT TOUR 愛狂います。写真セット A
¥1,000【NAI-26】

■ SP + LIT TOUR 愛狂います。写真セット B
¥1,000【NAI-27】

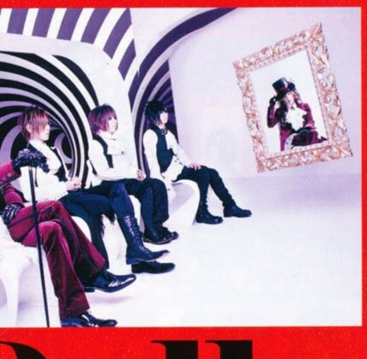
■えみるデザインケロ T シャツ
¥2,500【NAI-28】

愛狂(アイクル)います。aicle

…帝國ツアーチェキ
…ルビ さらん 玲音】(メンバー選択可)
【LAL-21】

■ SP + LIT TOUR マフラータオル ¥2,000【NAI-29】

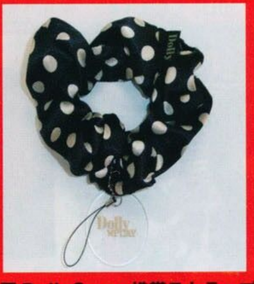
■新年お年玉パック
¥2,000【NAI-30】



Dolly

…i Production inc.
…reative Office

■ Dolly アクセサリースタンド
¥1,500【FDO-3】



■ Dolly3way 携帯ストラップ
¥1,800【FDO-4】

■ Dolly
リボンポーチ
¥2,300【FDO-5】

Dolly 単独公演ツアー
「THE 5COASTER'S CABARET Vol.2」

2011 年
◆ 3/6(sun)
福岡 DRUM SON

◇ 3/9(wed) 大阪 MUSE

◆ 3/11(fri)
名古屋 ell.FITSALL

◇ 3/17(thu)
仙台 JUNK BOX

TOUR FINAL
◆ 4/9(sat)
渋谷 WOMB

公演詳細は
Dolly Official Site を
ご覧ください。
http://www.dolly-web.com/

…PAIRSRAY
…周年記念パンフレット
…00【DR-1】

・62 ページ・10 周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、メンバー個人対談あり。
※会場限定のポストカードはついておりません。※通販は数に限りがございます。

■写真 A ¥1,000[WSG-7]

■写真 B ¥1,000[WSG-8]

TOON-FACTORY

■マフラータオル
2010 限定ピンク ver.
¥1,500 [WSG-6]

…込み方法
…申し込みの…、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価+送料 700 円を下…でお振り込みください。なお、通信欄に下記事項をお間違いないようご記入くだ…
…番号 00180-9-603494
… 定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の…+送料 700 円をご記入ください)
…者名 株式会社 音楽専科社

■通信欄 柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社 音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
Daiwa 銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203 FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

蝴蝶网 hudie.com

現役アーティストの
本格レッスン

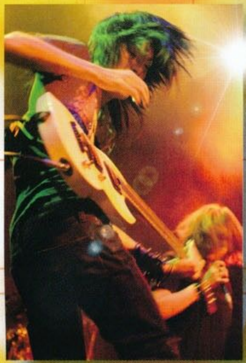
全く新しい
高校生活

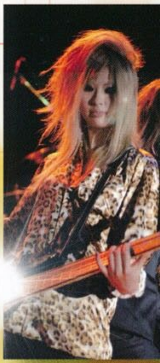
転編入生
随時受付中

高校卒業取得を
確実にサポート

Free Spirit
Music&Talent
High School

フリースピリット
音楽芸能学園





コウコウセイカツヲ
ROCKセヨ!
音楽・芸能+高校卒業

現役プロミュージシャン・アーティスト・タレントなど、メジャーデビュー実績多数。
初心者でも大丈夫、高校卒業をしっかりサポート!

『夢は現実にするもの…』今までに多くの卒業生たちが夢と高校卒業資格を同時に手に入れてきました。フリースピリット音楽芸能学園は、ミュージシャン、タレント、夢を目指す高校生たちを応援するだけではなく、実際に現実とさせるための学びの場です。また現在高校生の方の転編入学についても随時受付をしています。『音楽+高校卒業または、芸能+高校卒業』を日本で初めて形としたまったく新しい学びの場、『フリースピリット音楽芸能学園』まさに今、この瞬間が夢へのスタートです。

無料体験レッスン開催中
現役プロミュージシャンによる本格レッスン開催!

体験入学
1/16(日)・1/30(日)・2/13(日)・2/27(日)・3/13(日)・3/27(日)

学校説明会 カリキュラム:授業内容の説明(ミニ体験レッスン有り)
1/9(日)・1/23(日)・2/6(日)・2/20(日)・3/6(日)・3/20(日)

音楽専攻
ヴォーカル
ギター科
ベース科
ドラム科
キーボード
マルチタレ

芸能専攻
マルチタレ

フリースピリット音楽芸能学園 [旧 東京自由学園]　〒164-0001 東京都中野区中野6-21-1
03-5337-7272
jimu@freespirit.jp

WEB freespirit.jp
音楽 芸能 高校 検索

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

neu

バンド内緊急会議!!
2010年反省会＆2011年を占う!!

蝴蝶网
hudie.com

次のライヴは考えずに今日
ライヴを死ぬ気でやっていこ

アルバム『LIMIT』の発売、渋谷O-WESTでのワンマンと、2010年を全速力で駆け抜けてきたν。そんな彼らに今年一年を振り返っても
実は苦しかった時期もあったという彼らだが、それを乗り越え、今は自信満々の様子。それと共に、メンバーのお酒好きな一面や健康志向など意外な一面も飛び
来年4月3日には渋谷CLUB QUATTROでのワンマンも決定。5人の満面の笑顔は、飛躍の一年になることを約束して

Interview:MIYUKI M

ヒィロ：とにかく早かったです。いいことも悪いこともあって、葛藤を繰り返して、最終的に結束力が深まりました。
みつ：この一年があって、やっと最近、バンド感が出てきたと思います。
華遊：やることひとつひとつに結果がついてきて、とってもよい年でしたね。ものすごく充実してたと思います。
タクミ：成長が自分でもすごいわかるんですよ。技術にしろ気持ちにしろ。この一年で大人?、いや、コトナになれたと思います（笑）。
みつ：何、コトナって?
タクミ：子どもから大人に上がるまでのステップの中間地点みたいな感じ。
Яeー：自分的にはすごい満足いくライヴが出来てたんですけど、バンド全体ではそうじゃないライヴもあって。でも、それが最近なくなってきました。

――非常にいい一年だったようですが、そこであえて反省点と言うと?

ヒィロ：僕らって、ライヴがとにかく安定しなくて。本当に一時期、その波がすごかったんです。
みつ：9月の原宿アストロホールワンマン前にどんどん悪くなって。このメンバーになって初めて、もう無理かもねっていう言葉が出たときがありますね。
ヒィロ：すごい雰囲気が悪くなりましたね。何も喋らなくなったり、ライヴ後も口げんかしたり。
みつ：自信が揺らいだし、迷ってたんだと思います。今だから言えるんですけど。

――そこからどうやって抜け出したんですか。

みつ：ライヴでしたね。原宿アストロホールワンマンの後もライヴが続いたんですけど、そのときに、次のライヴとかは気にせず、死ぬ気で一本一本やろうっていう気持ちになったんです。それからはよくなりましたね。前まではずっとピリピリしてたんですけど、今は一本終わったら打ち上げようって、オンとオフが作れるんで、それがいいんだと思います。前は、24時間ずっとニューのことを考えろって言ってました。無理じゃないですか、そんなん。いやいや、寝てんじゃんって。
一同：（苦笑）
ヒィロ：悩んでた時は負のオーラがすご
かったんですよ
Яeー：あのときはまずかったね（苦笑）。俺はニューのドラムじゃなくていいんじゃないかって、一時本気で思いました。でも、俺がドラムを叩いていたら、ニューのドラムになってくるんだってわかって。今では自信満々です。

――山あり谷ありだったんですね。

ヒィロ：今は、このメンバーになって、一番いい時期です。もっと来年もいろいろ壁があると思うんですけど、その解決法もわかるし、もっともっといいバンドになるんだなって手応えはすごいありますね。
みつ：今は何の心配もないです。

――それぐらい自信が持ててると。

華遊：個人っていうより、バンドに自信があります。個々の力だとかって思ってたんですけど、そうじゃなくてバンドの力なんだなって。そういう風に気持ちが変わってから、すごい楽しくなったんですよね。今は、バンドプラスαみたいなモードに行きたいなって思ってますね。

――そんな今年の中で、大きなハプニングとかは何かありませんでしたか。

みつ：俺が心配してたのは、ちょっとЯeーぽんのお酒が進みすぎてるんじゃないかなって。バンドが落ちてた時期に、結構凡ミスがあったんです。手が震えるとか言うんで、もしかしてって思って。
Яeー：言ってない言ってない。
一同：（笑）
みつ：でもそれは、ただ単にドラムのスタイルを変化させたりしてただけだったんです。
Яeー：アル中とかじゃないですよ（苦笑）。自分のドラムのスタイルに迷ってたんで、ライヴでいろいろ試したいことがあったんです。

――大きな事件じゃなくてよかったです。個人的に大きな変化があった人は?

一同：ん～。
みつ：プライベートもバンド内で飲みに行ったりしてるんで。

――飲みに行った先で何かあったとか。

みつ：それも普段のことなんで。電話ボックスで寝てるとか。
ヒィロ：タクシーで乗車拒否されるとか。
タクミ：ホテルからクレームとか。
みつ：そんぐらいですかね。

――（苦笑）結構飲んでるんですね。

みつ：一本一本のライヴにかけると、アドレナリンが出まくって興奮して寝れないんですよ。だから飲みに行くんです。

――飲んだときの失敗談ならいっぱいありそう（苦笑）。

ヒィロ：記事にならないのが多いですけど。
一同：（苦笑）

――一番お酒が強いのはЯeーさん?

Яeー：今年で、ワイン300本ぐらいは飲みました。毎日1本。

――それだけ強かったら、失敗もあんまりしなさそうですよね。

みつ：違うんですよ。飲めるっていう強さであって、つぶれないっていう強さじゃないんですよ。何か失くしたとか当たり前だよね。
Яeー：ああ。記憶がなくなっちゃうんで。
ヒィロ：ホテルのカードキーとか失くしちゃうんですよ。
みつ：財布4回ぐらい落としたり。タクミはお酒飲めなかったんですけど、Яeーぽんに一番付き合わされて、飲めるようになったよね、いつの間にか。
タクミ：フル出勤なんで、毎回毎回。今もお酒の味は嫌いですけど、雰囲気は任せて下さい。
みつ：お酒好きなバンドみたいになってきちゃったな。

――ツアー先で5人で観光したとか。

ヒィロ：合宿とか行きます。プロデューサーさんの実家のほうに行って、バーベキューしたり、農作業したりとか。
みつ：やったね、いろいろ。よく食べてよく飲むんで健康なんです。今年は健康面も完璧でしたね。
ヒィロ：ちゃんと寝てから、リハ来て。リハも夕方に終わるんです。
みつ：朝からリハやるんです。リーダーのバイオリズムがそうなんですよ。

――ヒィロさんの好みなんですか。

ヒィロ：はい。独断です。
一同：（笑）
ヒィロ：なるべく夜6時までにバンドの用事は終わると。
みつ：スタジオとかでも、あれ体にいいらしいよとか。だって、ポカリスエットに青汁入れて持ってくるんですよ。
一同：（笑）
ヒィロ：リハに入るときは、粉末青汁を持って、ポカリに入れて。

――体にいいんですか。

ヒィロ：いいと思います。
みつ：わかんないよね。でも、リーダーからいろいろ浸透していくんです。ドライヤーいいよとか、肌のスチーマーいいよとか。皆買うんですよ。
ヒィロ：ゲルマニウムローラーとか。
みつ：俺買ってないですけど、4人とも持ってるんで。意味あったの?
Яeー：あったと思う。1年でどんどん若返ってるから。
みつ：タクミと華遊は、肌も心も演奏も若返りましたからね。Яeーぽんもお酒飲んでるわりに、昔より元気になってるよね。
Яeー：メンバーの若いエキスを取り入れてるからかな。
みつ：新しいバンドじゃないけど、新しいバンドとしてスタートして、常に新しいことをやろうとしてるんで、それがあるのかもしれないです。

――なるほど。さて来年は、まず4月3日にクアトロワンマンが控えています。

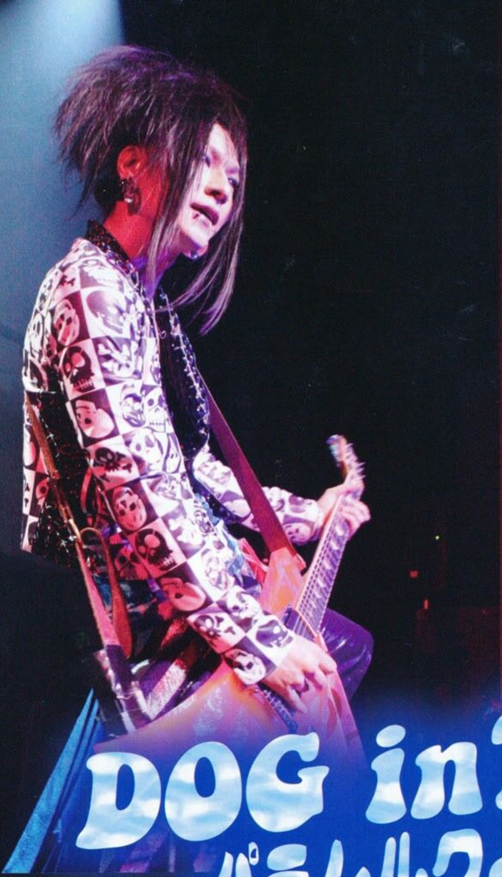
ヒィロ：4月3日までにバンドをもっと固めて、これがニューだっていうのを見せられたらいいなと思います。

――新曲の披露もあったり?

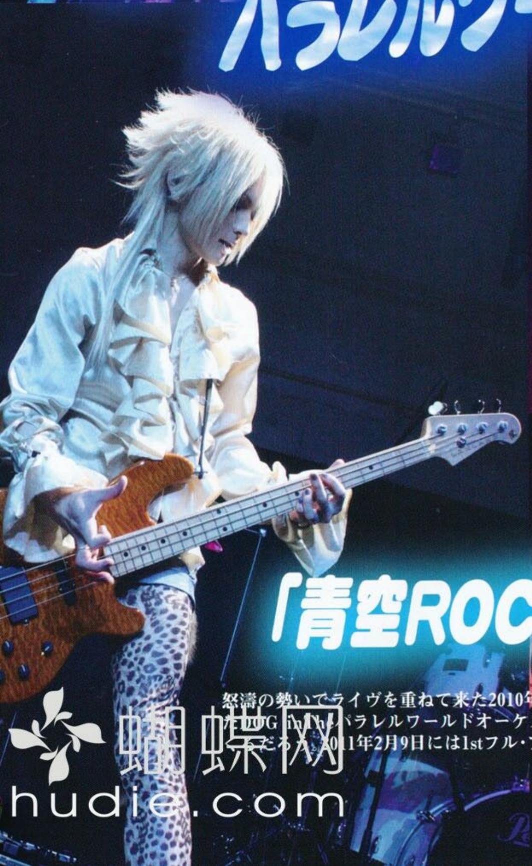
ヒィロ：あります!
みつ：言っちゃっていいの?
ヒィロ：あります。
Яeー：演奏すると思います（笑）。

――期待してます。では最後に、来年はどんな年にしたいですか。

みつ：Яeーぽん、具体的な目標があるでしょ? いつも言ってるじゃん。
Яeー：はい。2011年は、赤坂BLITZ、渋谷AXに立つという目標があるんです。この調子なら近いんじゃないかな。
みつ：今年は迷ったところもあったけど、もう迷わないんで、もっと行けますね。
ヒィロ：来年は攻めるのみです。いい曲を作って、いいライヴをして、突き進むだけですね。



DOG inThe パラレルワールドオーケストラ



「青空ROCKET」

2010.11.27@SHIBUYA WOMB

怒濤の勢いでライヴを重ねて来た2010年を締め括ると言えるワンマン・ライヴを、11月27日・渋谷WOMBにて終えたDOG inTheパラレルワールドオーケストラ。4人の自信溢れる言葉からは、著しく成長を遂げた様子が伝わってくるだろう。2011年2月9日には1stフル・アルバムのリリースも決定!! 彼らの勢いはまだまだ止まらない!!!

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

蝴蝶网
hudie.com

（以下、DOG）。意欲的な1年の集大成とも言えるワンマン・ライヴが、11月27日・渋谷WOMBで行なわれた。
大歓声が沸き起こる中、「青空ハレーション」でライヴをスタートさせた彼らは、アグレッシヴかつ華やかな味わいのナンバーを立て続けにプレイ。メンバー全員が織りなすパワフルなサウンドとアッパーなステージングとの取り合わせは爽快感に満ちていて、場内はライヴを通してホットな盛り上がりを見せていた。
メンバーそれぞれの個性が強まっていながら、それが散漫さにつながることなく、むしろバンド感がアップしていることも印象的だった。この辺りは、彼らがただ単にライヴを重ねたわけではなく、常に目的意識を持って1本1本のライヴに臨んだことの証明と言える。
ライヴバンドとして著しい進化を遂げたことを実感できただけに、今後のDOGのライヴにも大いに期待したい。

――DOGの2010年は、ライヴに重点を置いた1年だったとも言えますね。

春：2010年の始めに、〝今年は年内にきちんとしたワンマン・ライヴが出来るように自分たちを鍛え上げよう〟という目標を掲げたんです。ただ、スタッフも交えてワンマンの話をした時は、これくらいは入るだろうから、これくらいのキャパの会場にしよう…ということではなくて、〝みんなでここを目指そう〟というハコを選ぶことにしました。そういう意味では、DOGが初めて一本の線を引いて活動して、設定したゴールに辿りつくというスタンスを採った1年でしたね。

準々：僕は、音楽作業の中で、ライヴがいちばん好きなので、ライヴが多いのは嬉しかったですね。たくさんのライヴを経て、何よりも身に染みて実感したのは、ギタリストとしてとか、ライヴ・パフォーマーとして…といったことではなく、肉体的にマッスルになったことがいちばん嬉しかったです（笑）。

――ハハハ!! そこなんだ（笑）。

準々：うん。僕の家の前には坂があるんですけど、後は、余裕で登れるようになったんです（笑）。

メイ：ライヴをいっぱいやることは大賛成でした。ライヴをたくさんすることで自分たちの納得いくものが見えてきたり、これがDOGのライヴだというものが出来てくると思っていたので。だから、いっぱいライヴをして、2010年の早い時期に〝これだ！〟と思えるものを見つけようということは、全員に共通した意識としてあったと思います。個人的には、〝プレイ面でもステージング面でもアピールできるベーシストを目指す〟というテーマを掲げて、常に課題を持って1本1本のライヴに臨みました。ただ、

す。それは今も変わらないので、今後も試行錯誤していくことになると思います。

ミズキ：俺は、ライヴ強化月間に入る前は、自分のスタイルが全然見えていなかったんです。だから、この期間に自分のスタイルを見つけようと思っていました。一言で言うと、カッコいいギタリストになりたかったというか（笑）。でも、どうしたらカッコよくなれるかが全く分かっていない状況だったので、ライヴごとにいろいろ試して、いいものを拾うことを繰り返していったんです。それは、ライヴをたくさんやらないと出来ないことだから、ライヴ強化月間はいい勉強の場になりました。

2011年は、良い時期のスタートだったと言える1年に

10デイズ、大阪10デイズ、仙台10デイズ、東京20デイズというのが理想だったんですけど。それは、不可能だと言われてしまって（笑）。

――当たり前だ!!（笑）

春：だったら、出来る限りいっぱいやりたいと。それがライヴ強化月間を生んだんです（笑）。僕としては、自分を育てたいということと、バンドとしてもっと繋がりたい…というのがあったんですよ。良いバンドというのは、みんな一人前でステージに立っているだけではない特別なものを持っているじゃないですか。それがDOGにとっていちばん必要なものなのは分かっていたし、それは実際にライヴを

そういう意識の元に、自分に〝ファニー〟というキャッチフレーズをつけてライヴに臨みました。キテレツでもなく、サイコでもなく、カッコいいでもない…という。ファニーという言葉には、いろんな意味があるじゃないですか。そこに惹かれて、自分はファニーになろうと決めました。周りにしてみれば、カッコよくあってほしいとか、カワイコぶってほしいとか、いろんな想いがあると思うんですけど、僕は全部の要素が欲しかったので、絶賛修行中です。だから今は、〝ファニー青二才〟くらい（笑）。

――今後も楽しみです。今年の多くのライヴの中で、特に印象に残っていることを挙げるとしたら？

準々：いちばん覚えているのは、『EXTRA-TERRITORIAL』の大阪で、春くんとライヴ中に自然とハイタッチしたことです。ライヴ中のハイタッチなんて、なかなかタイミングが合うものじゃないのに〝バシッ！〟と決まって。それも、曲中のすごくいいポイントだったし。こういうこともあるんだなと思って。あれは、今までのライヴ中に偶然起こったことの中でもいちばんの快挙じゃないかなと思っています（笑）。

春：僕と準々の波長が今までていちばん合ったんでしょうね。あのライヴからメンバー全員のシンクロ率が高くなった気はします。『EXTRA-TERRITORIAL』の初日の後に、メンバー4人ですごく話し合ったんです。〝よそいきのライヴ〟をしてしまったことが悔しくて仕方なくて、明日は絶対に違うライヴをするんだって臨んだ大阪で、バンドとして一つ階段を上がれた感覚がありますね。『EXTRA-TERRITORIAL』と『狂犬病』ツアーが同時期にあって、自分たちだけで廻るライヴと、そこで得たものを先輩たちがいる環境で見せる場面が同時にあったのもよかったし。

ミズキ：俺も『EXTRA-TERRITORIAL』が、いちばん印象に残っています。大きなイベントだったし、先輩たちと同じライヴに出ることもなかなかないから、すごく緊張してたんですよね。でもラスト

蝴蝶网 hudie.com

の渋谷AXは先輩方のアドバイスもあってか、あまり緊張せずにステージに立てて。3本だけのイベントだったのに大きく成長させてもらえて感謝しています。

メイ：僕が印象に残っているのは、ライヴ強化月間が終わって、サポート・ドラムが輝喜さん（アンティック-珈琲店-）に替わった時のライヴかな。一緒にプレイする人が替わる時は、いろんな想いが交錯して。あの時も嬉しさと淋しさが入り混じったような不思議な心模様でした。〝ああ、DOGは生きてるバンドで、どんどん先に進んでいるんだな〟とも思ったし。それが強く心に残っています。

春：あとは、僕はメイのベースを4～5回と、ミズキのギターを3回くらい間違えて倒した記憶があります…（苦笑）。

ミズキ：えっ、マジすか⁉

メイ：本当に？

春：……（目を伏せている）。

メイ：こっち見ないし！　倒しても怒らないから申告しよう？（笑）

春：……（黙）。

ミズキ：気にしなくていいよ。俺のギターは、元々キズだらけだから。

春：そうそう。だから、少し増えても構わないんです。

一同：オマエが言うなっっ！（笑）

――今後は、気をつけてくださいね（笑）。11月27日には渋谷WOMBで、2010年の集大成とも言えるワンマン・ライヴ『青空ROCKET』を行ないました。

春：今回のワンマンは、この1年の全部を見せることをテーマにして取り組みました。27日にあの形だったのは、よかったと思います。今はもう、目指すところはすでに違うんですけどね（笑）。

準々：ワンマンに関しては、そこまで気負いみたいなものはありませんでした。ここに至るまでに得てきたものがあるから、あとはそれを全部出すだけだ…みたいな感じで。何をいちばんイメージ・トレーニングしたかというと、MCです（笑）。MCのイメトレは、かなりしました（笑）。どういうテーマで話そうかなと考えたし、前日にキメ台詞も閃いて。

サポート・ドラマー、輝喜!!

蝴蝶网
hudie.com

ミズキ：今まで学んできたものを、全て出し尽くそう…という想いで臨みました。〝ボロボロになってやろう〟くらいの意気込みで挑んで、ライヴが終わった時は、もうヘトヘトになって。でも、すごく楽しくて、気持ちよくて。完全燃焼できたライヴになりました。俺の中には昔から、〝熱い男がカッコいい〟というのがあって、今年はそういう方向にシフトしていったんですね。でも、ワンマンに至るまでにやってきたものだけでは、あの日みたいなライヴは出来なかったと思います。渋谷WOMBの空気が、そうさせたというか。結果的に、いちばん良いところで新しい自分を見せることが出来てよかったです。

メイ：ライヴが始まる前は自信たっぷりでした。やれば出来るだろう、成功するだろうということは、もう分かっていたので。だけど、終わってみると爪跡を残せなかったな…という悔いが残っています。今までの自分の中では、100点満点のライヴだったかもしれない。でも、おとなしいというか、優等生だったなと思って。次のライヴからは、〝爪跡〟を残せる存在を目指します。ライヴそのものはすごく楽しかったです。

――2011年のDOGもますます楽しみになりますね。

春：2011年は2月9日に1stアルバム『ONE』が出るので、まずはそれを楽しみにしてください。ただ、アルバムがみんなの元に届く頃には、きっと僕らはもう次のことを始めていると思います。そうやって、どんどん転がしていきたいので。ここから先は、今の状態がずっと続くように努力して、20年後30年後に振り返った時に、2011年はいちばん良い時期のスタートだったと言える1年にしたいですね。その始まりが、今日のこの取材だったと言えるようにしたいと思っています（笑）。

-RouNd
ディ
[119]
ber:Style-
NDER
ディ
ET

ARENA37°C 2011年1月号増刊

ARENA INDEX 2011

ARENA37°C 2011年1月号増刊

ARENA INDEX 2011

UVERworld AAA GACKT the GazettE

2010年を豪華にキメる『ARENA37°C』イヤーブック、登場!
刺激的なアーティストの震える感動がよみがえる!

定価1,890円(税込) A4ワイ
オールカラー164ペー
URL:http://www.ongakusenkasha.c

毎年大好評の
"イヤーブック
2011年度版
ついに登場!

the GazettE

GACKT 42P

UVERworld

AAA

12月
発売

ARENA37°C

2011年1月号
絶賛発売中!!
特別定価930円(税込)

表紙巻頭大特集
唯一無二の壮大なラブ・バラード
「PLEDGE」徹底取材!
五感を刺激する最新特写&ロングインタビュー!

豪華特別2大付録
① the GazettE両面ポスター
② ViViDポスター

the GazettE 24P

<その他の登場アーティスト>
シド ナイトメア 虎(Alice Nine) THE KIDDIE
SuG ViViD GLAY GACKT ピコ ゴールデンボンバー etc

制作/発行・(株) 音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックスビル5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3574

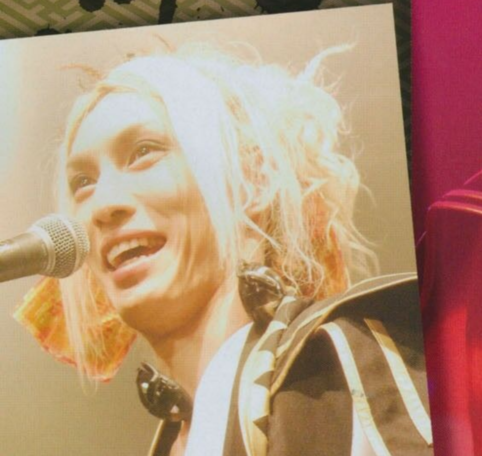
蝴蝶网 hudie.com

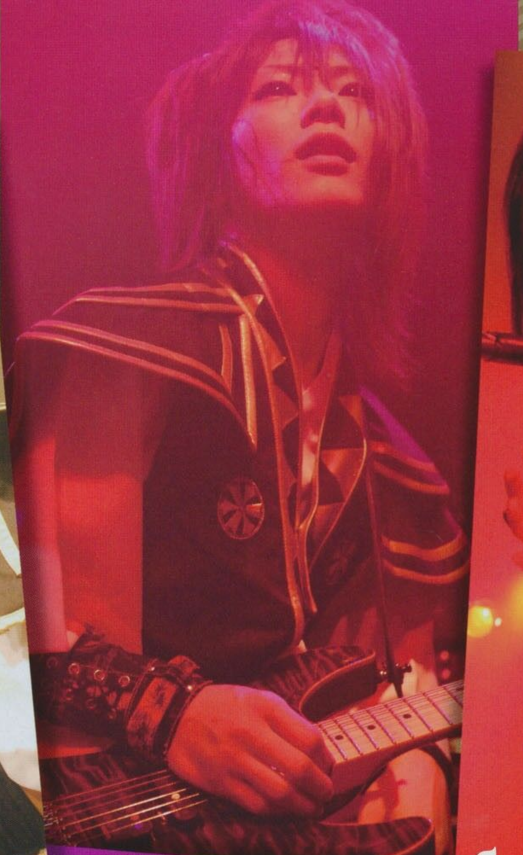
蝴蝶网
hudie.com

Brother

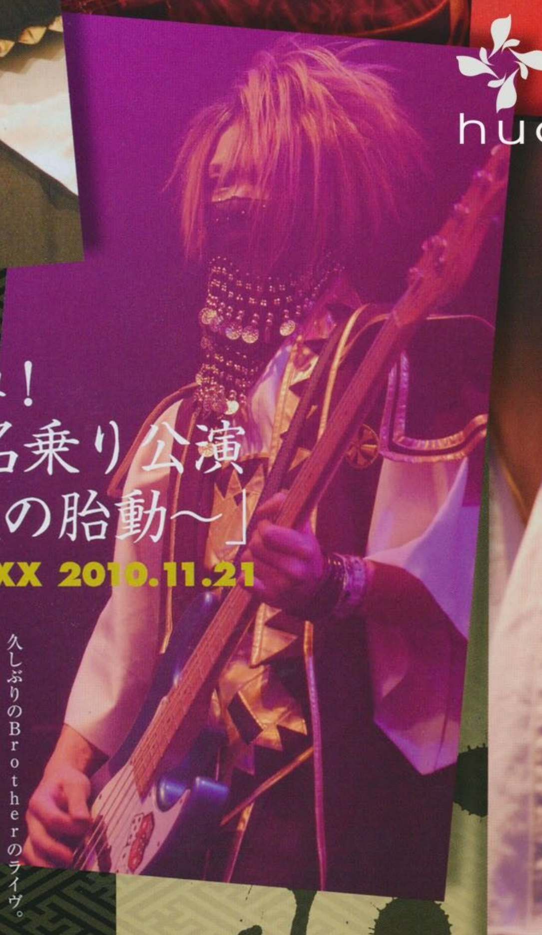
2008年の9月11日に初ライヴをし、この世に産声を上げたBrotherが、新たな仲間を迎え入れ、帰ってきた!
その姿は実に勇ましく、実に硬派なモノだった。Brotherの音が、いままで以上にヘヴィな音に変化したのは、
新メンバーとなったギターの大祀のルーツにある。
メタル&ハードロック要素の強くなったBrotherの音に感動したSHIBUYA-BOXXのライヴをレポートするとしよう。

Photography:MIWA OHYA　Report:NAOKO TAKEICHI





蝴蝶网
hudie.com



Brother出陣！ 新メンバー初名乗り公演「Valhalla～光の胎動～」

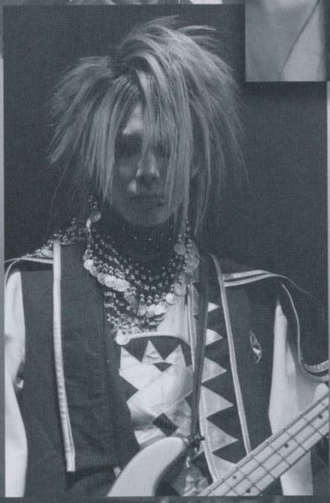
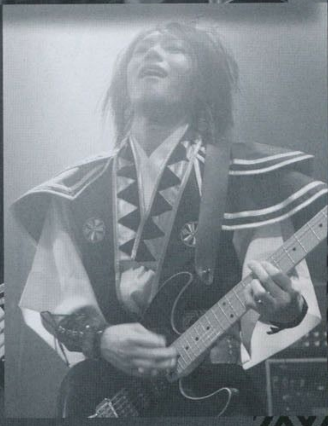
Live at shibuya-BOXX 2010.11.21

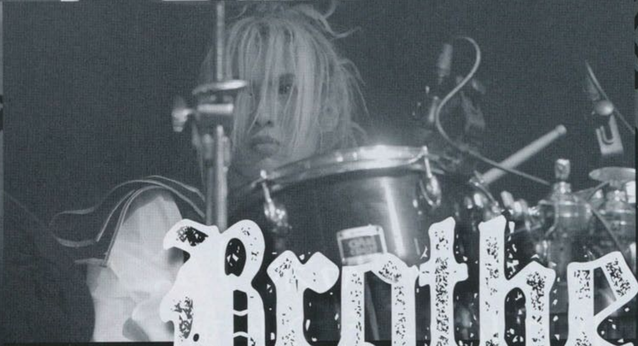
久しぶりのＢｒｏｔｈｅｒのライヴ。“Ｂｒｏｔｈｅｒ出陣！　新メンバー初名乗り公演”とのうたい文句を掲げ、いつの間にかこしらえたミニ・アルバム『Valhalla』を引っさげ、２０１０年11月21日、ＳＨＩＢＵＹＡ-ＢＯＸＸで『Valhalla～光の胎動～』と題されたライヴを行なったのである。

上手ギターが脱退し、ここ最近目立った活動のなかったＢｒｏｔｈｅｒ。もともと、年に1度か2度しかライヴをしないバンドとあって、半永久的にライヴが見れなくなってしまうのではないかと、内心とても残念に思っていた。

そんなところに舞い込んできた、ライヴの知らせ。仕事とは関係なく、ライヴ

蝴蝶网
hudie.com



Brother

が純粋に楽しみでならなかった。数少ないライヴ回数故、〝本気でやっているバンドなのか？〟と思われるだろうが、これまた相当楽曲も良く、ステージ上では、見事な輝きを放つバンドなのである。本当に、1年に1度か2度という積極的ではない活動が、まことに残念なバンドなのだ。

しかし、〝上手ギターは誰が？〟ふと、基本的な疑問が浮かんだ。なんでも、2007年の1月に活動を休止した天照のギタリスト大祀だという。〝なるほど〟の人選。和を基調とするBrother故、天照の大祀とは、願ってもないほどの適役と言っていいだろう。ヴォーカルは声が楽器とあり、そこが変われば、バンドはまるまる違ったモノになってしまうが、楽器隊も声と同じほどの個性が音に現れるため、リードギターの交代は、バンドの音を大きく変えることとなるであろう。

ライヴを見る前からいろいろと想いを巡らせていたのだが、とにかく、なんせ、楽しみでならなかった。

7分押しでライヴはスタートした。始まりの曲は「Own Count Down」。さっそくニュー・ミニアルバム『Valhalla』の2曲目に収録されている新曲からのスタートだ。いや、すごい！　想像を越えていた。心の中で、〝あれ？　Brotherってこんなに激しいバンドだったっけ？〟と思い返してしまったほど、ハードでヘヴィなサウンドで体当たりされたのである。正直面食らった。こうも変わるか？　変わったBrotherを見ることになるとは予測していたが、ここまで変わるとは。大祀がアレンジしなおしたというすべての楽曲は、勇輔のベースと　由羅様のドラムのプレイをも変えていたのである。激しくタイトになった由羅様のドラムと、激しさを増したドラムとギターの間を、細かい動きで紡ぐように泳ぐ勇輔のベースは、最強のコンビネーションを生み出していたのだった。

しかしながら、1曲目でここまで惹き付けられることは早々ないが、もはや釘付けである。2曲目はお馴染みの「皐月

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
SE「valhalla」 1. Own Count Down 2.皐月の雨
3.D.I.D 4.セルロイド 5.花鳥風月 6.Metamorphose
7.Blue Flowers 8.真夜中の水中花 9.哀～ア・モーレ～
10.ラビリンス 11.Rising Sun 12.蝶来来 13.籠の中のrule 14.夢篝
EN1.ラビリンス EN2.皐月の雨

み込むと、そこからは【ザッツ・最鋭輝ソング】と呼ぼう、古くさい、あ、失礼、味のある哀愁漂うレトロな楽曲「セルロイド」、演歌的な日本独特のメロを軸とした「花鳥風月」へと流れていった。なんと！　ここでは最鋭輝が、生まれて初めて挑戦したというギターソロを担当。なるほど。これね！　開演前から、心臓が口から出そうなほど緊張していた謎が、ここで解けた。しかし、大祀とはまったく違う色を持つ彼の味のあるギターが、哀愁感をより高めていたように思う。

そんなレトロな、昭和歌謡的な旋律もBrotherというバンドの魅力。中盤戦は、またもや【ザッツ・最鋭輝ソング】の哀愁漂うシャンソン・ロック「Blue Flowers」から、「真夜中の水中花」、「哀～ア・モーレ～」と間髪入れずに届けられた。激しいサウンドにも動じることなく、より毒々しくなったヴォーカルを見せてくれた真実。真実は、最鋭輝の切なげなコーラスが加わる「Blue Flowers」や、中盤で最鋭輝がリード・ヴォーカルを取る「哀～ア・モーレ～」では、声の個性を上手く使った奥行きを持たす演出で、実に上手く楽曲を操っていたのだった。

約1時間に渡って届けられたBrotherの世界。彼らは戦いの後、余韻を残さずステージを後にした。

しかし。鳴り止まないアンコールの声。彼らは再びステージに姿を現したのだった。が、そこからは、1部で見たカッコイイステージをしていた人とは別人か？　と疑ってしまうほどの変わりよう。

〝1時間をもって、カッコ付けタイムは終わりです！　みんな、ウチらのこと見て、カッコイイって思ってたでしょ？　そう思われてるって自分たちでもわかるんですよ（笑）！　それ緊張するんですよ（笑）。1時間が限界なんで〟（由羅様）と、ここからはメンバー1人1人をステージに呼び込み、正式に大祀を紹介し、とことんラフなトークでオーディエンスを楽しませてくれたのだった。

そして、ラスト。彼らは「ラビリンス」と「皐月の雨」をもう一度届け、ステージを下りたのだった。

(問)http://www.brother.bz/

蝴蝶网
hudie.com

NEO VOLTAGE

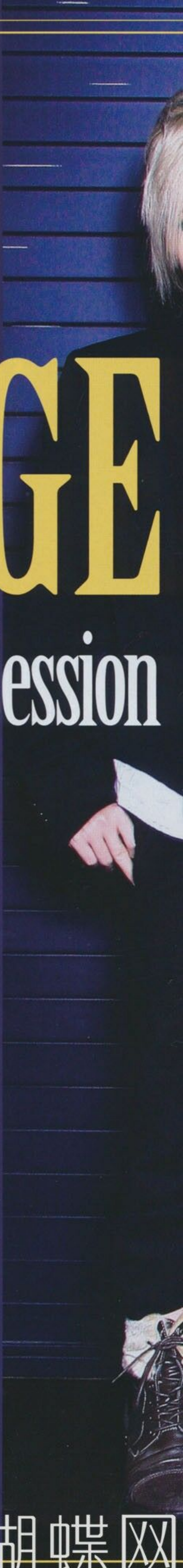
『NEO VOLTAGE』Special Photo Session

今一番熱い5人の饗宴。閃光の前哨戦!!

今年を締めくくるかのように、12月29日、渋谷O-EASTで行われるイベント『NEO VOLTAGE　～東京VOLTAGE Vol.2～』。出演バンドの中から、意外とも思われる組み合わせの5人のヴォーカリストが集合して、いきなり対談を敢行。最初は遠かったお互いの距離も、最後にはぐっと近づいた？　イベント当日には各々のバンドの魅力を堪能して、一緒に大盛り上がりしよう。皆さん、MCにも期待してますよ(笑)。

Photography : MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Interview : MIYUKI MURAYAMA
Styling :KAYO YAMASAKI(PEACE NOW)

衣装協力：BPN BLACK PEACE NOW FOR MEN



蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

みつ（ν[NEU]）×総史（少女-ロリヰタ-23区）

RIKU（凜）×郁磨（アンド）

郁磨（アンド）×みつ（ν[NEU]）

――お互いの第一印象から話していきましょうか。

総史：そんなに会話してないんですけど。

一同：（苦笑）

――いや、まず総史君の第一印象を。

尽：男前だなって。

RIKU：いい顔してんなって。

総史：やめて下さい（照笑）。

――郁磨君は？

尽：男前だなって。

RIKU：いい顔してんなって。

一同：（笑）

みつ：ライヴのキレてる動きとか好きですね。

RIKU：衣装のセンスとかいいなって。

郁磨：ありがとうございます（照笑）。

――尽君については？

尽：男前だなって。

――尽君には聞いてません。

一同：（笑）

RIKU：尽君はよく喋って、いい感じですよね。俺あんまりしゃべらないんで、うらやましいです。

郁磨：対バンしてると、自分のバンドの名前が出たりして、ちょっと幸せな気持ちになります。

――RIKUさんは？

尽：前のバンドのときからよく知ってるんで、一番親近感があります。

総史：オーラがありますよね。

みつ：初めて対バンなったときに、ちょっとしたことなんですけど、扉を開けてもらうか何かして、自分の持ってたイメージとのギャップにやられました。

郁磨：俺、RIKUさんとの間にはちょっと事件があって。RIKUさんのお立ち台をぶっ壊したんですよ。そのときは、やべ、殺されるぐらいに思って（苦笑）。そんなことをきっかけに話させてもらって。丁寧な方だなって思いました。

RIKU：それ許すから友達になって下さいって言ったんです。

――みつ君については？

尽：アー写がめちゃめちゃ好きなんですよね。これは売れると思いました。

郁磨：皆さんの衣装が印象的ですよね。

総史：僕も雑誌で見てそう思いました。

みつ：これ、誉められてるはずなんですけど、居場所を失っていきますね（苦笑）。

一同：（笑）

――皆さんヴォーカルということで、お互いに聞いてみたいことがあったらこの機会にどうぞ。

RIKU：僕はMCがすごい嫌いなんですよ。大事なところで噛んだりするし、

郁磨：わかります。

RIKU：それをどうやったら上手く言えるようになるのか、これ聞けるのはひとりですけど（笑）、教えてほしいなと。

尽：ノープランです。そこに命を賭けてます。

――皆さん、MCは苦手なんですか。

郁磨：嫌いです。

みつ：嫌いです。

総史：僕、好きっすよ。ネタを仕込んだり、ありもしないことをたまに言います。

尽：僕、ありもしないことしか言わないんで。

一同：（笑）

尽：だから考えなくていいんですよ、嘘をつけばいいんです。

RIKU：参考になりました（苦笑）。

――ヴォーカルだから大変なことって、どういうことですか。

尽：もっと喋ってたいんですけど、ノドを気にして喋れないとか。

みつ：結構打ち上げとか行きたいタイプなんですけど、ライヴが連チャンになると、打ち上げ行っても飲めませんとか。

尽：そう。だから最近飲み始めた（苦笑）。昨日も飲んだ。歌えるって思ったら、本当に歌えるんですよ。

郁磨：俺はお酒が嫌いなんで、全く飲まないですね。

RIKU：俺も嫌いです。

尽：人生損してますよ。

RIKU：でも、打ち上げの場とかは好きなんですよ。俺はコーラでワーッとなれるんです。

尽：俺は常に週6ぐらいで飲んでます。

みつ：飲めないと、打ち上げとか厳しいですね。

郁磨：打ち上げは基本ないです。ライヴ終わって、お客さんを前にありがとうとか言ってるときが打ち上げみたいな感覚がありますね。

――総史君はお酒は？

総史：僕、お酒飲まないんで。でも、打ち上げの場は好きですね。

尽：僕、打ち上げは嫌いなんです。一人

NEO VOLTAGE

『NEO VOLTAGE』Special Photo Session

火花を散らすんじゃなくて
お祭りにしたいですね!!

蝴蝶网
hudie.com

尽(HERO)×総史(少女-ロリヰタ-23区)

RIKU(凜)×尽(HERO)

か他の友達と飲みたいんです。

――他の方は、同じバンドのメンバーさんと飲んだり、遊んだりします?

みつ：うちはお酒好きなんで、案外オフも一緒に飲みに行ったりしますね。

郁磨：うちはもう家族みたいな感じなんで、どっか行こうとかはないんですけど、遊びに行きたいとは思いますね。だから、プランは練ってます。ここで電車乗って、ここで5000円ぐらい使うかなとか。

みつ：可愛らしいな。

郁磨：ここでご飯食べて、それから泊まる?、どうする?って。でも、達成されたことはないです(苦笑)。

――総史君は?

総史：ギターの龍兎とよく一緒にバス釣りに行ってます。

――そういう趣味のある人っています?

尽：酒!

一同：(笑)

郁磨：去年初めてバス釣りに行って、一日やったんですけど、一匹も連れなかったのにめちゃめちゃ楽しくて。

総史：それはバス釣りに向いてますよ。今度行けちゃう感じですね。

――アウトドアって意外ですけど。

RIKU：完璧インドア派ですよ。

みつ：自分もです。

――何するんですか。

RIKU：ひたすら引きこもります。何もしなくていいんです。家で丸まってるだけで、あ～、オフだって思うんです。

みつ：わかります。漫画大好きで、家に何100冊もあるんです。普段バタバタしてるんで、オフの日はゆっくりしたくて。

――さて、12月29日のイベントに向けて、ライヴについて何かお互いに聞いてみたいことはありませんか。

みつ：ライヴ前って何かしてますか。固くなって、気持ちはすごいきてんのに、体は案外動かないみたいなこととかあるんですけど。

総史：ああ、ありますね。やけに小っちゃいことが気になることとか。

RIKU：MCどうしようばっかり考えてますよ(苦笑)。

――相当MCが気になってるんですね。

みつ：気持ちわかります。

――MCが終わると安心するんですか。

みつ：します、します。

RIKU：歌詞がぽんぽん出てきます。僕、歌詞も忘れがちなんで、MC前は何やったかなってなるんで。

みつ：自分もMCあると歌詞が飛びます。

総史：歌詞が飛んだときってどうやってます?

尽：俺は歌詞忘れた、って。

RIKU：1番を忘れたら、2番をしれっと歌います。

一同：(笑)

総史：ファンメで、この歌詞のフレーズが好きなんですって言われた、その歌詞を間違えたんですよ。それを思い出しちゃって、ライヴ中に、ごめんって顔をしたらそれがファンに伝わって、あのとき残念がってくれてありがとうって言われて。本当はよくないと思うんですけどね。

RIKU：最近は同期でハモりを入れてるんで、間違えたら絶対ばれるんですよ。だから、間違えるともうすみませんって。

郁磨：俺は、結構ゴリ押しですね。どや顔で。こうだから、みたいな。そこはキャラ任せです。お前らが間違ってんだよばりの。それか、タイミングが合えば、ファンに歌わせる(笑)。

みつ：ありですよね。

郁磨：ここで?　みたいなところもあったりするんですけど(苦笑)。

――ライヴですからいろいろありますが、最後に12月29日への意気込みを。

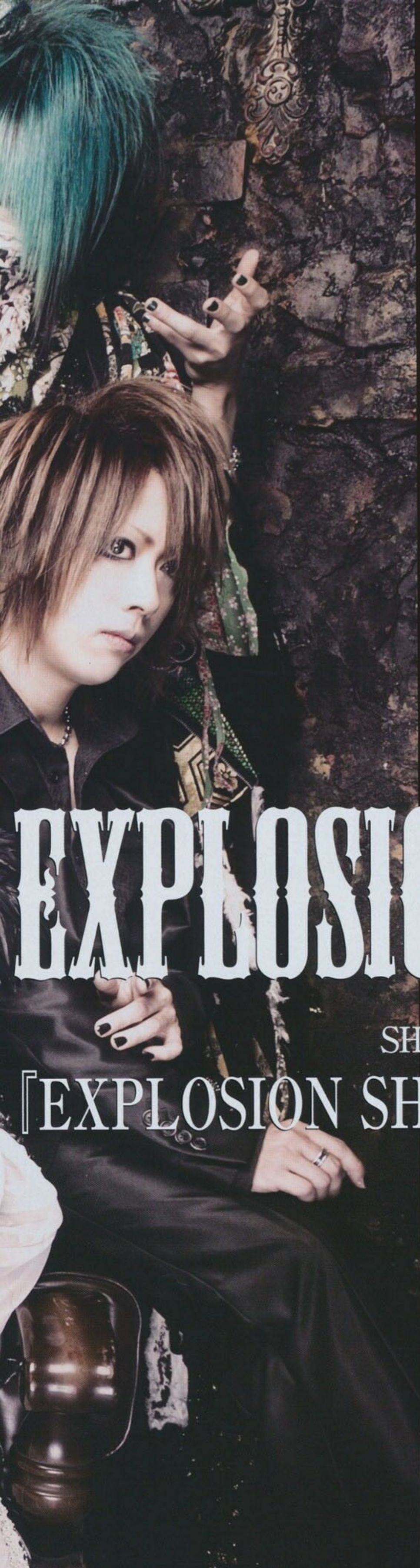
尽：むちゃくちゃ楽しませます。それのみですね。とにかく何でもいいんですけど、楽しめます。

RIKU：いろいろうちの社長も仕掛けを持ってるんで、それを発揮して楽しませれたらなと思います。尽君にならって、余裕のMCをします(笑)。

みつ：イベントごとが好きなんですよ。いろんなバンドさんが出るんで、これをきっかけに仲良くなって、その日を楽しめたらいいかなと思います。

総史：いつもと変わらず、お客さんとの一体感のあるライヴを楽しんでもらえればと思います。

郁磨：普段は他のバンドからお客さん取るぞって火花が散ってると思うんですけど、その日は、バンドさんもお客さんも全てひっくるめて楽しめるような、お祭りみたいな一日にしたいと思います。



EXPLOSION SHOWCASE

SHOXX誌上限定オムニバス・アルバムリリース記念
『EXPLOSION SHOWCASE』Special Session

2011年の台風の目を先取り！
スペシャルコラボここに実現！！

2011年のシーンを予感させるような、強力なラインナップを網羅したオムニバスアルバム『Explosion showcase』が本誌誌上限定で発売される。今回は、参加バンドから個性的な7人が集合。収録曲からライヴの魅力までおおいに語り合ってもらったが、発売記念ツアーでは波乱が起こりそうな予感？ CDで、そしてライヴで、次代を担う注目株をしっかりチェックしておきたい。

Photography:AKIO YOKOYAMA
Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
nudie.com

蝴蝶网
hudie.com

九条武政（己龍）　KISAKI（凜）　翠（Megaromania）　yo-ka（DIAURA）　悠希（Lycaon）

——まずは収録曲を紹介してもらいましょうか。

九条武政：かしこまりました。己龍は、「朔宵」っていう曲を収録します。己龍の新しい一面をより多くのお客さんに見ていただけたらと思ってセレクトしました。マイナー進行なんですけど、ポップで楽しげな感じの曲です。コメントが上手くまとまって申し訳ないです（笑）。

KISAKI：凜は未発表の新曲「GASP FOR BREATH」を持ってきました。儚くて聴きやすいんだけど、寂しげな雰囲気も入れつつ、抑揚のある失恋ソングです。凜は活動が始まったばかりで、この中でも一番新しい、あ、もっと新しいバンドいるか。

yo-ka：（苦笑）

KISAKI：始まったばっかりなんですが、凜の中でも一番聴きやすい曲になってます。

——お互いの曲は聴いてるんですか。

九条武政：そうですね。

KISAKI：いや、興味ないから。

一同：（笑）

九条武政：僕、KISAKIさんの曲、めちゃくちゃ興味ありありですよ。

KISAKI：そうなの？　まぁ、俺も本当は気になってますけど。

——メガロマニアは？

翠：「AURORA-destinies of world-」という曲を収録しました。今のメガロマニアの代表曲で、メガロマニアらしさと、キャッチーなメロディーがふんだんに盛り込まれた曲です。

悠希：リカオンは、「EROS」っていう曲を収録します。タイトルのとおりエロティックな曲です。

——yo-ka君は、新しくバンドをスタートさせるんですね。

yo-ka：前のバンドのヴァルナが終了しまして、一緒にやってたギターの佳衣の2人で、ディオーラを結成しました。このオムニバスがディオーラが世間に触れる初めての音源になるので、メロディーを重視して、ライヴでも中心になる「VIRGIN MARY」を収録しました。

erina：セブンスセンスは、新曲「Be Sacrificed」を入れます。ドストレートな感じのスピードメタルです。トリプルギターのテクニックが売りなので、すごいなって思える曲になってます。

リウキ：ベルベットは、「E【R】iott」という曲を録り直して収録します。僕らが一番最初に生み出した曲なんで、今のベルベットのスタイルと混ぜた形で届けたいです。

——発売記念ツアーもあるんで、ライヴもぜひ見てもらいたいですね。

KISAKI：己龍はツアー出ないの？

九条武政：ちょっとハブられちゃったんです…。

一同：（笑）

九条武政：でも、「朔宵」はライヴの定番曲です。

翠：どんな曲っすか？

九条武政：扇子を使ってる曲です。YouTubeに振り付け動画も上がってるんで、ライヴで間違いなく楽しめます。ついでに物販で1500円出して、扇子を買っていただけたら完璧です。

——他の方のライヴはどんな感じ？

yo-ka：まだライヴやってないんで。

一同：（笑）

——どんなライヴにしたいです？

yo-ka：ツアーはデモンストレーション期間として、他のバンドさんを見て勉強する感覚で挑みたいと思います。

翠：ツアーの前に東京で特別編成で、僕らとディオーラさんとアートキューブさんの3マンがあって。濃い面子なんで、しっかりやりたいですね。ディオーラさんの派手さが気になってしょうがないんで、見た目的にもライバルですね。

yo-ka：僕でよければ。

——セブンスセンスとメガロマニアは、演奏面でいいライバルじゃないですか。

翠：いえいえ、すごすぎるので。

erina：俺らもライバル視してますよ。速弾きやってんなぁって。

翠：さらにすごいですからね。

erina：最近そういうバンドも多いので負けられないなって。僕らはほとんど東京でしかライヴやってないので、ツアーが楽しみですね。

——リカオンのライヴはやっぱりエロスな感じ？

悠希：露出してるんで、エロティックなパフォーマンスだったり、歌とか煽り方とかMCもそんな感じですね。

——そういうキャラなんですね。

蝴蝶网
hudie.com

華凛（Ba）

EXPLOSION SHOWCASE

ツアー中に喧嘩とかしてくれると面いんですけどね(笑)。

erina（Ⅶ-Sense）　リウキ（ベルベット）

悠希：ライヴだと気分が上がって、いろいろやっちゃうんです。

――この濃いメンバーの中でも特に濃いキャラの方っています？

KISAKI：ここに集まってる人は皆キャラ立ちしてると思いますよ。特に武政君とかって、ぶっ飛んでてイカれてると思います。

九条武政：わ、ほんとですか？

KISAKI：良くも悪くも。

一同：（笑）

九条武政：僕もやっぱり悠希先生と同じようにエロスを意識して、誰からどう見てもエロスって言われるように。

KISAKI：エロいだけでしょ。

一同：（笑）

――で、凛はどんなライヴを？

KISAKI：激しさの中にも美しさを残しつつ、メリハリをしっかりつけたステージを心がけています。初ツアーも行いライブバンドとして確立してきたんじゃないかと思います。

――ベルベットはいかがです？

リウキ：自分達のバンドのスタイルとして出せるギリギリまでのエンターテインメントを出したくて。見た目がいかついときもあるんですけど、振りがあったり、ステージでふざけたり。見に来てくれた人達との一体感を大事にしてます。

――ツアーも個性が詰まった楽しいものになりそうですね。

KISAKI：今日集まったバンド以外にもたくさんいるし、CDには40バンド近く収録されますからね。この中から2011年に誰が残っていくか。

一同：（苦笑）

――急にシビアな話になりましたが。

KISAKI：たぶん半分ぐらいはなくなってると思うんですよ。

九条武政：めちゃめちゃ怖いこと言いますね。

一同：（苦笑）

――そこは真剣勝負ですね。

KISAKI：ツアーで喧嘩することもあるでしょうね。僕はもうしないですけど（苦笑）。前はSHOXX編集部でも乱闘して大迷惑をかけた事もありました…。

一同：お～（驚）。

KISAKI：バンドなんて感情のぶつけ合いだから、そういう緊張感が逆にいいんですよ。ツアー中に喧嘩とかしてくれると面白いんですけどね（笑）。

翠：じゃあ、うちがどっかで。

一同：（笑）

KISAKI：喧嘩して仲良くなることって多いから。

リウキ：うちはたぶんそうですね。

――ぶつかりそうな人がいる？

リウキ：それはないと思うんですけど。

九条武政：九条武政にムカついたことは一回もないですか。

リウキ：何回もあります。

一同：（笑）

KISAKI：君にムカついたことない人を探す方が難しいんじゃないかな（笑）。

九条武政：あの、ごめんなさい。

KISAKI：ベルベットは、一番喧嘩上等キャラでしょ？

リウキ：違いますよ（苦笑）。実際、ライヴが始まる5分前ぐらいに揉めたことはありますけどね。でもライヴよりも、ホテルのほうが揉めますけどね。

翠：どういうこと？

リウキ：相部屋だと、お風呂の使い方とかバスタオルが散乱してたりとかで。

九条武政：ああ、わかる。機材車とかもすごい散らかす奴とかね。

――急に生活感が溢れてきましたが。

一同：（笑）

リウキ：ツアーだと、見たくない部分も見えてくるんです。

悠希：やっぱりツアー回ってると、いろいろありますよね。ステージで使う鞭でけじめつけたりしてます。

KISAKI：また古典的なやり方だね（笑）。顔出せや！的な感じ？。

悠希：四つんばいになって鞭でお尻を叩くんです。メチャメチャ痛いですよ。

九条武政：オフのときまでエロスにする必要ないんじゃないです？

一同：（笑）

――仲良くツアーを回ってきて下さいね。ここから2011年を代表するようなバンドが出るように期待してます。

九条武政：僕はKISAKIさんと共に駆け上がっていきます。

リウキ：僕もKISAKIさんと共に。

翠：僕は背中の影からちょっと顔を出してます。

KISAKI：あんたは同じレーベルなんだから、もっと頑張れよ。

一同：（笑）

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

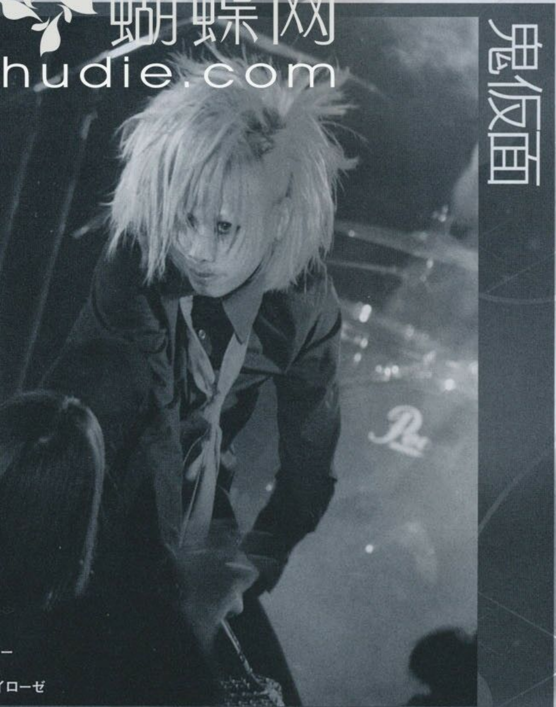
SHOCK WAVE アポロ Vol.44

Live at 高田馬場AREA 2010.11.18

毎月"18日"に高田馬場AREAで開催しているイベント『SHOCK WAVEアポロ』。11月18日のライヴを彩ったのは、鬼仮面・PIECElang・シンディケイト・Blu-BiLLiON・LOST ASH・BugLug・カル・ヴァリの計7バンド。豪華な面々集まったこの日の模様、さっそくプレイバックしていこう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:TOMONORI NAGASAWA

鬼仮面



ー
イローゼ

PIECElang

1.濱ナイト☆CITYBOY
2.ジョージで待ち合わせしましょ
3.ボクサー
4.フィッシュファイト!!

1.ワンスター
2.ボスラッチョ
3.キズボーンダイアリー
4.TOKO"夏"FANTASY
5.エール

始まりは荒々しく。一瞬、ゆったりとした表情を見せつつ、サビではメロディックに迫る。正直、ありがちなパターンの曲構成だ。でも鬼仮面の場合、その構成自体へ極端な輪郭を与えていく。曲の組み立て方は個々に違うが、どの楽曲でも、1曲の中へ際立った変化の輪郭を形作ってゆく。それが、没個性的な存在へ陥らずにいる面だ。演奏面ではまだまだ粗が目立つが。曲目が進むごとに熱狂の輪を大きく広げ続けたように、ノリを描き出す手腕も十分持っている。あとは、どれだけ自分らだけの個性を見極め表現してゆくかが、勝敗の分かれ目だろう。

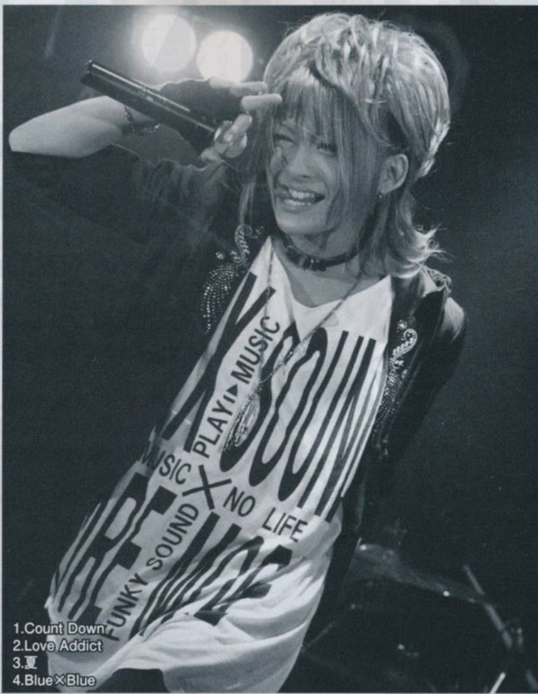
さすがPIECElang、一発目を飾った「ワンスター」の時点で、ハーラップ系の煽りを取り入れた、ハード&ダンサブルな楽曲を炸裂。会場中を上げ上げのギャルパニックな世界へ塗り替えてゆく。だけど、以前にも増してハードなバンド・サウンドを描き出しているのも、事実。「ボスラッチョ」を通した体感的な衝動は新鮮だった。生の躍動性活かしたライヴの場とはいえ、激烈な衝動は嬉しい驚きだった。後半「TOKO"夏"FANTASY」以降は、いつもの陽気なパーティムードが炸裂。カラフル・ポップ・ディスコなSHOWを描いてくれた。

シンディケイトも、ロックな躍動性を持ちながらもダンサブルに弾けたノリを魅力としている、華激なパーティ系バンドだ。演奏へ触れたとたん、無条件に気持ち上がっていくのは、もちろん。彼らの面白さの一つが、あらかじめ録音した"心の声"に合わせ、舞台上でその姿を再現してゆく、コミカルな演劇要素取り入れたステージだ。MCでも爆笑炸裂。「ボクサー」を通し、コミカル／シニカルな二面性を表現。最後の「フィッシュファイト!!」では、観客たちを魚に見立てて、釣り竿で釣り上げてゆくパフォーマンスも。満面の笑顔になれるバンドだ。

新人とはいえ、経験重ねたメンバーを軸にしているだけに、まずは安心感を持って接していける印象をBlu-BiLLiONに覚え

LOST ASH

1.innerCORE
2.Burst My Emotion
3.superNOVA
4.Bright



1.Count Down
2.Love Addict
3.夏
4.Blue×Blue

カル・ヴァリ

1.ストレンジフルーツバスケット
2.暗闇ノイローゼ
3.Magic tap
4.1億3千万分の1
5.Powazonic

BugLug

1.-7-
2.新曲
3.メイドインマイン
4.Mr.アリゲイター

歌声を際立たせた質の高い楽曲を つねに構築しているからだ。[illegible]とした開放性満載な常夏ソング「夏」。晴れやかさ抱いた「Blue×blue」など、その音楽性はメジャーな[illegible]がとても似合いそう。

LOST ASHも、と[illegible]メジャー感を持ったバンドだ。楽曲自体がワイルド&タフなロッ[illegible]ル・スタイルであり、"歌心を[illegible]た感情的なポップロック風"という面も、華やかさ抱く要素の一つだが。それ以上に、メンバー4人の[illegible]ジ上から放つ派手やかな[illegible]感に[illegible]惚れてしまう。「Burst My Emotion」を通した、艶気放つしなやかな野獣性。エッジ鋭くもタフな演奏が炸裂した「overHORIZON」。つかみの強い「superNOVA」など、演奏面のレベルも含め、表現している音楽性はメジャー級。J-ROCK界の新しい旋風と言いたくなる存在だ。

感情を高く高く、どこまでも高いところまで上げてゆく。「-7-」の演奏が始まったとたん、放熱した感情全開な音の弾丸が、観客たちの"騒ぎたい"ハートをガンガン撃ち抜いてゆく。BugLug、イカすよね。エスニックな要素香る「新曲」でも、そのハイテンション・ハイエナジー性爆発した歌や演奏に触れているだけで、無条件に身体が思いきり縦揺れしていく。ステージ上から発してゆく存在感とビッグバン化した濃密なエネルギーに、終始笑顔で興奮しっぱなし。彼らの演奏に触れていた間ズッと、誰もが無邪気な子供の心に戻っていた。

胸をキュンと疼かせる、そんなトキメキにも似た感情を届けてたのが、カル・ヴァリだ。「Kirameki☆レインボー」を通した、気持ちくすぐる興奮。病んだ奈落へ一気に落とし込んだ、ヘドバン曲「暗闇ノイローゼ」での狂った一体化。相応の場数を重ねたバンドだからこそ見せゆく、受け手の感情を興奮の世界へ導いていく卓越した表現手腕。艶かしい歌声と演奏に心揺れた「Magic tap」。会場中の人たちを乱れた熱狂の渦へ巻き込んだ「Powazonic」など、観客たちを自分たちの懐へしっかり飲み込んでいったステージだった。

hudie.com

宇宙戦隊NOIZ

SHOXX VOICE!!

ネット配信という形式で楽曲をリスナーに届けることは、昨今ではもう珍しいことではない。けれども、アルバム収録曲をまるまる無料で配信するとなると、話は別だろう。そんな無謀とも言える試みをしたのが、宇宙戦隊NOIZだ。アルバム『GENOM EMOTION』が、オフィシャルサイトにて現在絶賛配信中。彼らに興味のある人もない人も、とにかく今すぐダウンロードしてみよう。タダより高いものはないと言うけれど、これは超お得、間違いなしだ。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网 hudie.com

地球人すべてに贈るプレゼント！

―アルバム全曲を無料配信するというのは、かなり挑戦的な試みですね。

ANGEL-TAKA（以下ANGEL）：だいぶ挑戦です。

―でも、今回は敢えてそうしようと。

ANGEL：1年以上待たせている隊員たちに感謝の気持ちを伝えたかったし、音楽で地球の平和を守るっていうテーマでやってるんだったら、まず音を世界に届けようと思って。そのためには配信でしょうと。さらに、貧しい国とかにも届けるんだったら、無料にしようということで、今回は隊員たちとまだ見ぬ隊員たちに、アルバムをプレゼントにしたんです。

―この5人の編成になってからは初のアルバムですが、呼太郎くんとYAMATOくんの曲も収録されてますね。アルバムに向けて、どういう意識で曲作りには臨んだのですか。

呼太郎：最初に曲出しをしてた時は、単純に自分の好きな感じの曲調が多かったりしたんですけど、やっぱりライヴとかを意識して作りましたね。

―呼太郎くんの曲が「-SHINE-」ですね。

呼太郎：好き勝手にギターを弾きまくって、やりたいように作ったっていう感じなんですね。他の曲のギター・ソロでも自分のやりたいようなプレイが盛り込めて、すごいよかったなと思います。

―YAMATOくんの曲は「アンドロメダパレード」と「BACK BONE」で、ポップな印象が強いですね。

YAMATO：やっぱり宇宙戦隊NOIZと言ったら、元気が出たり勇気を与えたり、前に進む力を与える曲だろうと思って。自分は一直線なものが好きなんで、それをそのまんまガーンと出した曲が出来ました。

―アルバムの最初と最後を飾る曲なので、すごく重要ですよね。

YAMATO：俺に始まり、俺に終わる、と。

一同：（笑）

叫：YAMATOエモーション（笑）。

MASATO：YAMATOがいなかったら、成り立たなかったかもしれないね。

YAMATO：はい、俺サマサマです。…すみませんっ（苦笑）。

レクションで録ったんですけど、YAMATOのディレクションのほうが気持ちいいテイクを録ってくれんなって。

YAMATO：不安はありましたけど。毎日、マーボー（MASATO）に電話しながら、手探りでやりました。

――呼太郎くんとYAMATOくんの曲が入ったり、YAMATOくんがディレクションをすることで、今までと違いはありましたか。

叫：俺のベース録りはラクでしたね。けど、最初に二人でOKラインをどこにするかは悩みました。とりあえず勢いにする？ ノリを重視にする？って。いろいろ試しながら、楽しんで録れました。曲についても、こんなことするんやって思ったとこはありましたね。やっぱりマーボーが作ってくる曲の流れとかが頭の中にあるから、こう来るんかなと思ったら来なかったりして、新しい発見で面白かったです。

MASATO：二人とも段階を踏んでこの収録された曲を持ってきてるんですよ。加入してすぐ曲を持ってきてくれてから、ツアーが終わるごとに曲を持ってきてくれて。そのたびに、どんどん自分が予想する宇宙戦隊のライヴのイメージになってきて。今回も、〝今のライヴ〟に欲しい楽曲を提示してくれたのが刺激的でしたね。

――ANGELさんは歌っていて、何か違いを感じるところはありましたか。

ANGEL：新鮮だったけど、やっぱり僕が歌う姿をイメージして作ってくれてるから、違和感はなかったですね。歌詞を書く時も、どういう歌詞にしようかっていろいろ話し合ったので、結構詰められたかなと思います。

――お二人の曲に、ANGELさんが書いた歌詞は、やっぱり熱い前向きなメッセージのものになってますね。

ANGEL：そうですね。それしかないから、僕は。YAMATOの場合は、僕のキャラクターを前に出したキラッと光るもののある平和をイメージしていて、呼太郎の場合は強く抱きしめるイメージだと聞いてたんで。だから、どっちもピースフルな感じになりました。

――「アンドロメダパレード」の歌詞が

MASATO：いきなり世界が見えてくる感じがしますよね。

――MASATOさんの曲で歌詞をANGELさんが書いている「Happy tied」については？

MASATO：これはデモを聴かせた途端、ANGELが歌詞書くって言って。

ANGEL：メロディにやられちゃって、ラヴソングが書きたいって思ったんです。

――ストレートなラヴソングですが、サウンドもシンプルですよね。

MASATO：バンド・サウンド以外入ってないんですよ。僕はデジタルな物を好むんで、今までもすごく打ち込みを使ってるんですけど、ヒューマンなもので力があって、飾りのない曲が1曲欲しいって思ってたんです。最初からそんなに他の音は入ってはいなかったんですけど、ANGELの歌詞を聞いたら、何をやっても音が嘘くさく下世話に感じたんですよね。だったらそんな嘘はいらないかなって。それでバンドの音だけになったんですけど、違う意味で力のある曲になりました。

――あとの曲は、MASATOさんの作詞作曲ですね。

MASATO：え？ そんな書いてる？

叫：頑張ったね（笑）。

MASATO：「3DAYS BOAT」と「QUEST」は前からあった曲だけど…そんなに？ あぁ意外。

――書けてしまった、という感じ？

MASATO：書きたかった、という感じですね。今回、全部前向きな曲なんですよ。今までは、手法を逆に取ってることが多かったんですけど、今回は全部言い切ってるんです。僕が〝こうありたい〟っていうのがすごく強くあったのかもしれない。〝情けない〟っていうのも含めてですけど。

――自分の中から素直に前向きな言葉が出てきたと。

MASATO：この5人になってから、何度も何度もメンバーに助けられた瞬間があったんですよ。何度もANGELと電話で喧嘩したし。それで自分を掘り下げて見つめ直して、やりたいことを消化して言葉にして、その自分の言葉を歌う

MASATO：だから前向きな曲を全部書いたんです。「3DAYS BOAT」は、少しでも前向きであろうとして、〝後ろ向きでお前は前に進んで行くんだ〟って書いたけど、そういう不安定な時期から、最後に書いたのが「RIZE」なんで、全然同じ人が書いた歌詞とは思えないですよね。

――「RIZE」の歌詞は、MASATOさんのこれまでの歌詞と違って、ストレートな前向きさが溢れてますもんね。

MASATO：ブチ壊したいなと思ったんです。

――バンドとしての経験がきちんと形になった作品なんですね。

ANGEL：すごくいい作品になったと思います。

MASATO：なのに無料。誰でも聴ける。

――今まで聴いたことのなかった人からも反応が返ってきてるんじゃないです？

ANGEL：それは実感してますね。いい意味でも悪い意味でも、いろんな人から連絡があるんです。無料配信なんかされたら困るとか言う人もいたりね。FCの新規入会も増えてますしね。12月末までに入会した人には、『GENOM EMOTION』の製品盤をプレゼントしてるんです。それに、隊員が優しいなって改めて思いましたね。〝無料配信して大丈夫なんですか？〟〝お金取って下さい〟って言われたりね。ごっつ貧乏人扱いか！って（苦笑）。

YAMATO：普通そんなこと言われないよね（笑）。

――せっかくなので、とにかく多くの人にダウンロードしてもらいたいですね。

ANGEL：タダですからね。YouTubeにもニコニコ動画にも上がってるので、そちらでもいいし。

――そして、アルバムを引っ提げてのツアーももう始まってますね。

ANGEL：2011年の3～4月ぐらいまではツアーを続けようと思ってます。それに、春ぐらいにまたアルバムを出そうかなと。『GENOM EMOTION』はテーマに沿った感じになったんで、そこに入らなかった曲がいっぱいあるんです。

叫：今度はお金、取りまっせ（笑）。

ANGEL：また来年もブッ飛んだことをしたいです。

hudie.com

――最近のPIECElang、徐々にロックな方向性も打ち出し始めてません!?
hkr°：12月31日に僕らの3rdマキシ・シングル『PIECEmaker.』を出すんですが、その発売に当たって、このバンド

ド寄りなスタイルを組み込んだりもしているんです。
――デジタル中心だったスタイルから、再びバンド寄りへシフトした理由には、何かしらのキッカケがあってのこと?

あるんですけど。その上で、〝俺らはバンド・サウンドでも、ここまでのものを見せられるんだ〟っていう姿を、ライヴや作品を通して見せたかったんですよね。
――ライヴでは、DJ担当のぴんぴんさ

(笑)。その一面を、ライヴでは披露していこうかなと思って。そんな、挑戦の一貫です。
――最新曲の「PIECEmaker.」には、バンド感を描き出したとのことですが、

ギターを前面に。ここはDJプレイを強く押し出して〟というように、全部にバンド感を押し出すというよりは、全体のバランスでバンド感が反映されるようにはしています。特に、音源として初めて

蝴蝶网 hudie.com

PIECElang

バンドの進化を込めた『PIECEmaker.』

12月31日に、PIECElangが3rdマキシ・シングル『PIECEmaker.』をリリースする。それに先駆けての12月28日に、彼らは新宿MARZにてワンマン・ライヴ“STAY=GOLD”を開催する。この日のステージを持って、ギターのANDoが脱退ということもあり、とてもメモリアルな日になりそうだ。そんな5人が、今、語りたい想いを存分に話してくれた。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

た？

ANDo：「PIECEmaker.」は、PIECElangとして初めて作った曲であり、これまでもずっとライヴでやり続けてきた歌なんですけど、今回のレコーディングで〝進化したPIECElangの姿で、この「PIECEmaker.」を形にしよう〟という話になったことから、アキさんと一緒に、フレーズ面でも全部1から作り直しました。

アキ：特にギターの絡みなんかは、この1年間、「PIECEmaker.」をやり続けてきた中で得たものを、しっかり昇華した形として出せましたね。

Kana：前作『TOKO〝夏〟FANTASY』では、完全打ち込みユーロビートという形で出したんですけど、そこで得たものをプラスへ活かしつつ、生のバンド・サウンドとミックスしたのが、この「PIECEmaker.」なんです。元々僕ら、こういうスタイルでやっていこうっていう想いもあって、最初に「PIECEmaker.」を作った背景があったんですけど、ようやく僕らの理想としていた形に、音源としても昇華できたのかな？という気がしています。

hkr：僕たちがPIECElangに求めた理想的なスタイルに、活動から1年経ってようやく辿り着いたって感じです。でもこれだって、まだまだ進化の過程の一つでしかないし、PIECElangの音楽性は、もっともっと変わっていくと思いますから。

——もっともっと変わると言いつつ、現状での「PIECEmaker.」を聴く限りでも、かなり多彩な要素を詰め込んだ、カラフルな楽曲として仕上がっています。しかも、いろんな音楽的な遊び心を加えているし、楽曲の展開自体が思いきり起伏が激しいから、聴けば聴くほどいろんな発見が見えてくるんですよね。

hkr：「PIECEmaker.」は、何度も何度も聴き込むほどに、いろんな味が滲み出てくる楽曲なんです。言われたように、いろんな声ネタや音ネタも入れてるし。だからこそ、聴けば聴くほど楽しめ

すね。

hkr：2011年は、新しいPIECElangとして駆け出していく年になります。すでに知ってる方も多いかと思いますが、ANDoの年内での脱退が決まり、今年いっぱいで5人としてのPIECElangは幕を閉じてしまいます。だからこそ、俺たちが結成の頃から温め続けてきた楽曲を〝求めた形〟として出すことで、今年のPIECElangとしての活動を締めくくりたかったんです。

——脱退は、いつ頃から決めていたこと

作には入ろうとしていた時期でもあったし、自分の脱退が少なからず作品に影響を与えた面はあったかと思います。

hkr：〝12月中にシングルを出そうか〟という話をしている中で、ANDoの脱退話が出てきました。ANDoは、PIECElangがバンド・サウンドを描くに当たってのメイン・コンポーザー。だからこそ彼との…この5人での歩みを、是が日でも年内中に形にしたかったんです。だから、この5人で求め続けてきたPIECElangとしての理想や想いを、ここには詰め込みました。

ンというのも、僕自身どうしても挑戦したいスタイルの一つでした。僕らの初音源曲であり、旅立つANDoにエールを送る意味でも「YeeeeeeeLL」を、ANDoのアコギをバックに、2人で演奏したわけなんです。

ANDo：「YeeeeeeeLL」のアコースティック・ヴァージョンは、自分の演奏とhkrの歌のみなので、お互いの感情が音源を通して伝わったら…嬉しいなと思っています。

——話は前後しますが、2曲目には、攻めに徹した「ONEstar」を収録！

ぴんぴんのアイディアから、音の遊びは輝くほど満載になっています。

ぴんぴん：「PIECEmaker.」での声ネタは、全部hkrの声を使ってサンプリングしたんですが、「ONEstar」に関しては、敢えてhkr以外の人の声を使って加工やスクラッチをしてみたり。その辺もぜひ細かく聴いてください。

Kana：「PIECEmaker.」が、噛めば噛むほど味の出る楽曲なら、「ONEstar」はインパクト勝負で攻めまくった曲に仕上がりましたね。

——そしてこの作品を、12月28日に新宿MARZで開催するワンマン・パーティ〝STAY=GOLD〟で先行発売します。この日は、来場者全員に未発表音源をプレゼントされる上に、1枚のチケットで2名まで入場可能なペアチケット・スタイル。さらに、ペアで来場した方にはメモリアルDVD（秘蔵映像満載）をプレゼントと、太っ腹な企画が満載です。

hkr：この5人のPIECElangとして最後のステージ。しかも、今年の僕らの締めくくりとなるライヴであり、音源先行発売も兼ねているから、思いきり盛大にやろうと。もちろんライヴでは、これまでの全てを出しきろうという気持ちでやっていきたいと思ってます。そこで一つの区切りをつけた上で、また来年から新しいPIECElangを始めようと思っていますから。

アキ：今、確実に一つ断言できるのが、絶対にみんなの心に残るライヴを見せられるということ。

ANDo：僕は、この日をもって最後になりますが、その日は一切考えることなく、むしろこの5人でつかんできた成果を一気にぶつけながら、今後ますます進化していくPIECElangの姿に期待を持たせてやりたい意識でいます。

hkr：僕らは絶対的な自信を持って活動を続けている。そんな僕らの人間性や音楽性を今度のワンマンで感じてもらって、もっともっとPIECElangのことを好きになってほしい。とにかく、一緒に年末のパーティを楽しもう！

hudie.com

SEX-ANDROID

アルバムの予告編。ってことにしましょう！

SHOXX VOICE!!

“セクアン、今かなり盛り上がってる！”ということで(?)、SEX-ANDROIDが久々にSHOXXに登場だ!! 来春リリースのフル・アルバムに先駆けて、シングル『嫌ってよ、モナムール』を1月5日にリリースする。哀愁感とライヴ感、セクアンの持つ魅力を端的に伝えてくれる作品に仕上がっている今作。“セクアン史上、最高傑作”だと言い切るアルバムの予告と合わせて、約2年ぶりのインタビューでセクアンに迫る!!

Interview:RIE MAKINO

――2010年3月には赤坂ブリッツでの単独公演も行なうなど、〝セクアンが今かなり盛り上がってきてる〟という噂はちらほら聞いていたんですよ。

TO-RU：前にSHOXXに出させてもらった時（約2年前）に比べればだいぶ盛り上がっているかなと（笑）。

YU-DAI：盛り上がって一段落した感はありますけど（笑）、赤坂ブリッツをピークに。いや、大丈夫です、盛り上がってます！（笑）

――バンドのスタンスや音楽性などで変わったところはありますか？

YU-DAI：いや、別に変わってないですね。白塗りメイクで白衣を着て〝医者ロック〟と名乗り、今年で13年ですか。

――もう13年ですか！

JUNRO：はい。音楽的には、TO-RUが作ってくる曲のレベルが上がってますよね。ちゃんと気をつけないと演奏できないようなものも増えてて、ライヴでも丁寧に演奏するようになりました。

TO-RU：単純に、長くやってれば曲も似通ってきますし、そこで〝もっと振り幅を広げて〟とやっていくうちにいろんなものを取り入れていってる感じですかね。ただ、メロディをいちばん大事にするっていうところはずっと変わってないです。そこら辺が最近やっと評価されつつあるかなっていう手応えは感じてますね。

――今作のシングル「嫌ってよ、モナムール」もそうですが、曲の良さと見た目とのギャップが激しいですよね（笑）。

YU-DAI：そう言われ続けて早20年ですね。

――20年!? セクアン歴より長いです[illegible]ド（笑）。そのギャップを自分たちも楽しんでいるところがあるんですか？

YU-DAI：いや、そこはあんまり考えたことがないっていうか。白い状態で歌詞は書いてないので（笑）。

TO-RU：だからPVとかを観た時に実感するんですよ。〝あ、俺ら見た目こうだったんだ！〟って（全員爆笑）

YU-DAI：〝世の中が嫌悪感を抱くのはこういうところか！〟と（全員爆笑）。

hudie.com

――2011年発売予定の3rdアルバムに先駆けてのリリースになりますね。

TO-RU：元々、今回のシングル用に作ったわけではなくて、アルバムを作っている中からシングルカットした2曲なんですよ。アルバムの曲を作り始めて、最初に出来た2曲です。

YU-DAI：だからアルバムの予告編ですね。ってことにしましょう！（笑）

TO-RU：シングルとしてこの2曲の組み合わせはすごくいいと思います。

――そうですね、哀愁感あるミディアム・ナンバーの「嫌ってよ、モナムール」と、ライヴ感ある「ハイクオリティ&ロープライド」という。

YU-DAI：「ハイクオリティ～」は盛り上がるテイで作ったんですけど、「モナムール」は今のところ、ライヴでどんな感じなんだろう？って思って。たぶん鈴木雅之みたいな感じになるかなって（笑）。

――まずその「嫌ってよ、モナムール」ですが、哀愁感漂う歌謡ロック調で、途中3拍子になるアレンジも面白いですね。

TO-RU：元々イントロのギター・ソロがパーツとしてずっと昔から作ってあったんですよ。そっから広げていった感じですね。サビでちょっと広がりを持たせて、3拍子になるところはボサノバをゴリ押ししてますね。

JUNRO：聴いた時に、大人っぽい曲がきたなと思いました。

YU-DAI：何だよ、〃大人っぽい〃って。オマエ、おじさんだろ？（笑）

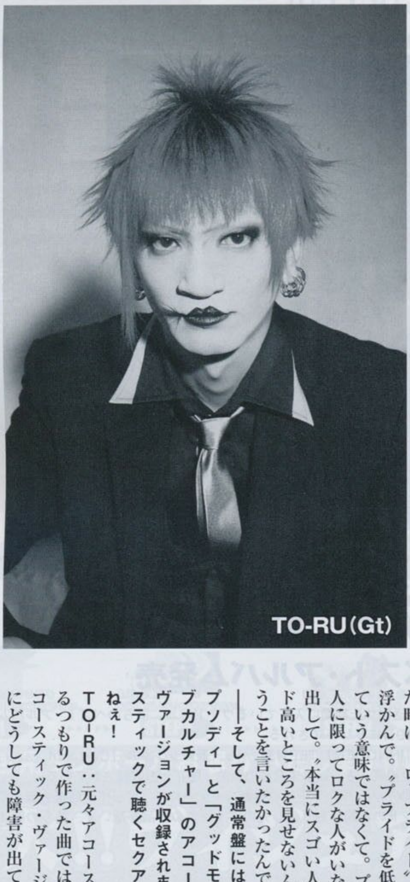
JUNRO：まあね（笑）。

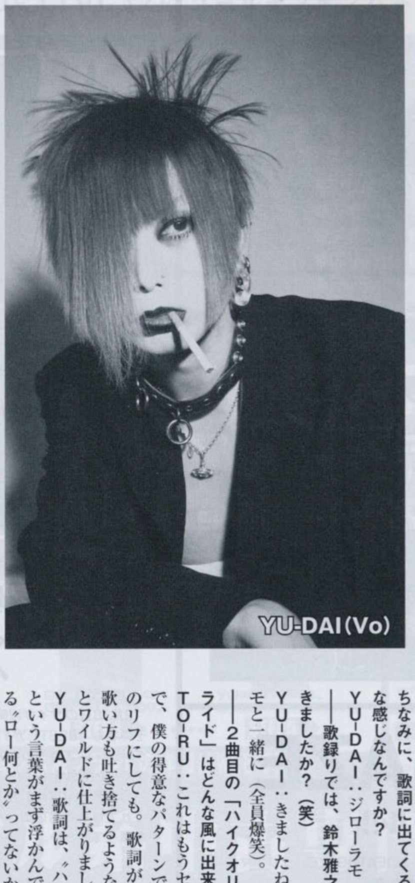
――YU-DAIさん、歌詞はどのようにできました？

YU-DAI：リーダー（TO-RU）が弾いてるギターを聴いた時に、僕の耳には〃リバプール〃以外、聴こえなかったです。そこからツラツラ書き出した後で、〃ところで、リバプールって一体何だ？〃ってなって調べてみたら、外国だと。

――かなり漠然としてますねぇ（笑）。

YU-DAI：で、リバプールに似た言葉は何かないかな？と思った時に、〃モナムール〃だと。そこで僕の得意な不倫


TO-RU(Gt)


YU-DAI(Vo)

JUNR

場〃はイタリアの市場を想像して書いたんですよ。僕、日本から一歩も出たことないんですけど（笑）。たまには世界に出るのもいいんじゃないかなって思って。

――不倫の世界は得意な分野だと？

YU-DAI：そういう歌が好きで。こういう哀愁感あるメロディがくると、つい書きたくなるんですよね。

――実体験ではないんですね？（笑）

YU-DAI：実体験ではないです。市場も行かないですからねぇ。

JUNRO：酉の市とか行くじゃん。

――酉の市は市場ではないですね（笑）。ちなみに、歌詞に出てくる浮気男はどんな感じなんですか？

YU-DAI：ジローラモ（全員爆笑）。

――歌録りでは、鈴木雅之さんが降りてきましたか？（笑）

YU-DAI：きましたねぇ、ジローラモと一緒に（全員爆笑）。

――2曲目の「ハイクオリティ&ロープライド」はどんな風に出来ました？

TO-RU：これはもうセクアンの王道で、僕の得意なパターンですね。ギターのリフにしても。歌詞が結構攻撃的で、歌い方も吐き捨てるような感じで、わりとワイルドに仕上がりましたね。

YU-DAI：歌詞は、〃ハイクオリティ〃という言葉がまず浮かんで。それに対する〃ロー何とか〃ってないかな？って思った時に、〃ロープライド〃という言葉が浮かんで。〃プライドを低く持って〃っていう意味ではなくて。プライドが高い人に限ってロクな人がいないなって考え出して。〃本当にスゴい人って、プライド高いところを見せないんだよ〃っていうことを言いたかったんです。

――そして、通常盤には「無気力とラプソディ」と「グッドモーニング・サブカルチャー」のアコースティック・ヴァージョンが収録されますが、アコースティックで聴くセクアンもいいですねぇ！

TO-RU：元々アコースティックでやるつもりで作った曲ではないので、アコースティック・ヴァージョンにする時にどうしても障害が出てくるんですね。

YU-DAI：ヴァイオリンがまたいいんだよねぇ！ 黒色すみれのsachiさんがスゴいの入れちゃったから。

TO-RU：特に「サブカルチャー」のほうは、歌とヴァイオリンのギャップが面白いですよね。チンピラとお嬢様みたいなギャップがあって（笑）。でも見事にマッチしてるなと思います。

JUNRO：セクアン初の試みで、歌とヴァイオリン以外、〃いっせいのーせ〃で録ったんですよ。それも、クリックなしでやって。よりグルーヴが出せたんじゃないかなって。僕、「無気力とラプソディ」に限っては初めて一発OKでした。

YU-DAI：本当かよっ⁉ 歌もほぼ一発でした。アコースティックだからっていうのはなく、いつも通りに歌いましたね。ただ、「無気力」のいちばんキーが高いところだけちょっとメロを変えて、あまりガナらないようにしましたけど。

――今回のシングルを聴いて3月発売予定のアルバムも楽しみになりましたが、どんな作品になりそうですか？

TO-RU：いろんな曲調が揃ってます。今回のシングルを聴きながら、〃他にどんな曲があるんだろう？〃って想像して楽しんでもらいたいですね。たぶんセクアン史上、最高傑作だと思います。

YU-DAI：最高傑作だね、あれはね！

――来年1月には全国ツアー、2月に横名阪、そして3月27日には渋谷O-EASTにて単独公演が決定しましたね！

JUNRO：前回のツアーでは、タイトだったんでみんな体調管理に気をつけたんですけど。その甲斐あって、自分的には毎回いい体調で臨めて。体調いい時のライヴって楽しいんだなっていう。

YU-DAI：ベース歴23年目ぐらいにしてやっと気づいたんだ⁉（笑）

TO-RU：最近、やり甲斐とか手応えみたいなものを感じながらやれてて、すごく楽しいですね。

YU-DAI：たぶん2月のワンマンショーからニュー・アルバムの曲を全部やっちゃってるんじゃないですかね？（笑）

蝴蝶閣
hudie.com

OXX
O!!

Administrator

ワンマンライヴ&リリース情報

tratorから、1stワンマン・ライヴ&最新リリース情報が届きました。

NEMAN LIVE決定！
011年5月6日（金）高田馬場エリア
pen 18:30 / start 19:00
¥3,000（D別）/ ¥3,500（D別）
1～HP先行・1/8～会場先行販売・2/5～一般発売（ローソンチケット・エリア店頭）

ース情報
2月　配信限定シングル決定
4月　New Maxi Single 発売決定

AL HP　http://administrator-web.com

電脳オヴラアト

マキシ・シングル発売!!

年に復活を遂げ、独自のジャンルの中で活動を続けている電脳オヴラアトが、1年新作となるマキシ・シングル『あきすとぜねこ』を12月1日にリリースした。“頑固古”の如く、こだわりと情熱を注いだ歌と楽曲を提供している彼らが、心切ない昏期にお届けする全4色の短編狂音楽集だ。
て、単独東名阪公演も敢行中。残すは12月26日・東京高円寺HIGHのみ!!　まだ見ぬ是非…

ebisukikaku.com/

DEATHGAZE

最新スケジュール!!

日にニュー・アルバム『BLISS OUT』をリリースしたDEATHGAZE。クリスマスに、地元名古屋にてスペシャル・ワンマン・ライヴが行われる!!
CIAL ONEMAN「THE DEATH NIGHT」≫
25日(土)名古屋ハートランド
16：45、開演17：30

2011年からは全国ワンマン・ツアーも敢行。
日・新潟ブラックピグ、16日・仙台HOOK、23日・金沢AZ、28日・OSAKA MUSE、・広島並木ジャンクション、6日・福岡DRUM SON、12日・本八幡ルート14、20日・フト、27日・高松DIME、3月12～13日・名古屋ell.FITS ALL。

1日発売のSHOXXにて、DEATHGAZEのインタビューを掲載予定。お楽しみに!!

www.deathgaze.jp/

Kagrra,

最後のアルバム、リリース決定

2010年に結成10周年を迎えたKagrra,から届いた、衝撃的なニュースをすでに耳にしている方も多いことだろう。それは、Kagrra,としての活動を『終焉』するということ――。
Kagrra,最後のアルバムとなる『百鬼絢爛』が、2月2日にリリースされる。収録は全9曲。初回限定盤には貴重なオフショットも収めたDVD付きの仕様とのこと。
このアルバムを引っ提げてのツアー『行脚 百鬼夜行～陽～』も決定。スケジュールは次の通り。
2月13日（日）仙台darwin、15日（火）札幌クラップスホール、21日（月）梅田Shangri-La、23日（水）博多DRUM Be-1、
25日（金）名古屋E.L.L.
ファイナル公演『終焉～桜舞い散るあの丘で～』は、3月3日（木）渋谷C.C.Lemonホール。
Kagrra,が時を止めるその時まで、SHOXXも彼らを追い続けます!!

ヴィドール

ベスト・アルバム発売

9月18日のライヴ以降、活動休止期間に入っているヴィドール。彼らのベスト・アルバム、その名も『BEST』が1月19日にリリースされる。
インディーズ時代の名曲「INNOCENT TEENS」から、最新シングル「Crescent gazer」までの代表曲全14曲を完全網羅、さらには未発表の新曲「闇花」も収録されている。
今月号“ARTIST'S BOX”内、ヴィドールの連載コーナーにて、ジュイが回復を伝えてくれてはいるものの、バンドの再開はもう少し先のよう。この作品を聴いて、彼らの復活を願っていたい。

nudie.com

○ DVD グッズ 買取大募集中

期間限定買取査定額大幅アップ 1.1-1.3

キャンペーン 20%UP 対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

KYOKUTOU GIRL FRIEND ギルガメッシュ Versailles アヲイ 人格ラヂオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lynch.

貴重盤超高価買取中!!
更に詳しい買取表はウェブで!!

- 葉原少年団☆電脳ロメオ HYSALIS CD+DVD ¥2,000
- ViD Take-off CD ¥3,000
- ゼット 鬼畜教師(32才独身)の悩殺講座 CD ¥7,500
- rugamesh-ギルガメッシュ- GO [激アツ盤] 2CD+DVD ¥3,000
- ールデンボンバー ザ・ゴールデンベスト～Brassiere～ [初回限定盤A] CD+DVD ¥2,400
- ールデンボンバー STYLISH WEAPON'10～春のそよ風～(初回2枚組) 2DVD ¥6,000
- ゴールデンボンバー 初 恐怖の全国ワンマンツアー-ワンマンこわい-追加公演 DVD ¥2,400

- ●SHULA(シドVo.マオ在籍) ～What's up～ CD ¥5,000
- ●人格ラヂオ 一秒 CD ¥1,800
- ●ダウト 御礼参り EXPO'10 2DVD ¥3,000
- ●Dir en grey BLITZ 5 DAYS 5DVD ¥7,000
- ●Plastic Tree ALL TIME THE BEST [通常盤] 2CD ¥1,800
- ●Moi dix Mois Invite to Immorality(限定盤) 2DVD ¥4,500

アーティストグッズ買取大強化中!!

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等
ガゼット・シド・PlasticTree・ナイトメア・DIR EN GREY・Gackt・雅等大歓迎!!

価買取一覧表はHPでご確認いただけます!! 毎月2万点以上のヴィジュアル系の商品買

宅配買取

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

宅配買取用段ボールご用意致します
宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします。

STEP1 売りいただける品を ンボール等に梱包下さい。 ▸▸▸▸▸ STEP2 佐川急便で 送料着払いでお送り下さい。 ▸▸▸▸▸ STEP3 査定担当者が1点1点 お見積もりを致します。 ▸▸▸▸▸ STEP4 査定額をメール、もしくは 電話にてご連絡致します。 ▸▸▸▸▸ STEP5 了解いただけましたら、 指定口座へご入金となります。

梱包用ダンボールお届けいたします!!買取/対象ブランドの詳細はWEBで!!

ご不要なCD/DVD/アーティストグッズ/お洋服等お買取

買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番
支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵
※宅配買取システムの詳細は弊社HPを必ず参照下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先
160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12YSビル1F
クローゼットチャイルド TEL 03-3365-6316 webtakuhai@closet-child.com

最大!!ヴィジュアル系中古専門ウェブショ

アイテム8000点以上
本一の取り扱い量!

クローゼットチャイルドのCD/レア盤
グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

http://www.closetchild-cd.jp

ックロリータブランド古着オンラインショップ

O / Moi-meme-Moitie / alice auaa / BPN / ALGONQUINS / Angelic Pretty
HE STARS SHINE BRIGHT / Emily Temple cute / MILK
ク・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!入手困難な予約完売品/今期物
を随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

p://closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテ
のリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中
ヴィヴィアンマニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina

closet child

新宿店

◆closet child 新宿店 ＜OPEN :11:00~20:00＞
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F
(TEL 03-3365-6316)

原宿店

◆closet child 原宿店 ＜OPEN :11:00~20:00＞
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-7-6 COXY176ビル101
(TEL 03-3403-4108)

池袋店

◆closet child 池袋店 ＜OPEN :12:00~21:00＞
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-5七福久ビル3F
(TEL 03-3983-5322)

横浜店

closet child横浜店 220-0005 <OPEN:12:00-21:00>
横浜市西区南幸2-16-11二幸ビル302
(TEL 045-316-2166)

■年末年始の営業時間	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日
ライカエジソン東京店 / ライカエジソン名古屋店	11:00 ~19:00	定休日	12:00 ~19:00	通常営業 (11:00~20:00)
ライカエジソン大阪店 / ライカエジソンドットコム ラフォーレ原宿店	11:00 ~18:00	通常営業 (11:00~20:00)		

ke an Edison 2011 HAPPY NEW YEAR MESSAGE DVD

他にも企画をご用意しております！店頭または携帯サイトでご確認ください。

ーティストに参加していただきました！その数合計75バンド！その収録バンドを一挙ご紹介します！DVDはもちろん数量限定となりますので、ご希望の方はお早めにご来店ください！たくさんのご来店お待ちしています！

※収録アーティストは予告無く変更する可能性がございます。最新情報は店頭、ライカエジソン携帯サイト、ライカエジソンPCサイトをご覧下さい。

スト(50音順)：Arc / R指定 / 愛狂います。/ 葵 from 彩冷える / ADAPTER。/ Administrator / Annie's Black / AYABIE / アヲイ / UnsraW / イロクイ。/ Versailles / Ap(r)il / A / AUBE
我ゎが魔々団×[PaRADEiS] / カッコー / Kannivalism / Kaya / 己龍 / ギルガメッシュ / ギルド / ケミカルピクチャーズ / ゴールデンボンバー / ZUCK / Sadie / 人格ラヂオ / Synside / シンディケイト
/ SEX-ANDROID / 0801弐209336 / SOMATIC GUARDIAN / ゾロ / Dacco / Dali / DIAURA / D / DaizyStripper / D'ESPAIRSRAY / D'eiz / DuelJewel / TOON-FACTORY
パラレルワールドオーケストラ / DragonWAPPPPPPER / Dolly / ドレミ團 / NightingeiL / ν[NEU] / NoGoD / Virgil / heidi. / BAELSCOPE / BugLug / 花少年バディーズ / PIECE /HERO
QUEUR / PlasticTree / Blu-BiLLioN / 摩天楼オペラ / マモノ / メガマソ / Megaromania / MoNoLith / Moran / rice / Lycaon / Ricky / Re:dis / リバティーン / 凛 / LOST ASH / ワン★スター

日(金)AM12:00よりライカエジソン東京店、名古屋店、大阪店、ライカエジソンドットコム ラフォーレ原宿店(ラフォーレ原宿店のみ1/1 AM11:00より営業、配布開始)にて5000円お買い上げ毎にライカエジソン『2011年 HAPPY MESSAGE DVD』をプレゼント！対象商品：店内にあるCD、VT、DVD、MT、書籍、グッズ(チケット、予約の前金は対象外になります) ※各店舗無くなり次第終了となりますのでご了承ください。
舗同様1/2 PM12:00からご注文先着にて「Like an Edison 2011年 HAPPY NEW YEAR MESSAGE DVD」を配布いたします。なお新年はお申し込みが殺到するためお電話が繋がりにくくなる可能性がございますのでご了
携帯サイト、Webサイトでのご注文は対象外になります。「Like an Edison 2011年 HAPPY NEW YEAR MESSAGE DVD」をご希望のお客様はお電話でご注文ください。

★NAGOYA VISUAL ROCK BAND CATALOG CD「Rebels」が5年振りに復活！ 1月2日発売 ¥2,011
NAGOYA INDIES VISUAL ROCK CATALOG「Rebels -2011-」ライカエジソン限定発売！
r Bullet『獄中オーケストラ』/ EAT YOU ALIVE『Missing you』/ DecoLa Hopping『SWEETS PARADISE!(new ver)』
SCOPE『liar』/ Re:dis『Rock your spirit.』/ ワン☆スター『MARACLE MUSIC SHOWTIME』 ※50音順
(土) 参加アーティストによるCD発売記念新春お客様感謝イベント開催決定！ / 発売記念スペシャルイベントあり！
エジソン名古屋店 新春SPECIAL コラボグッズ
on×ライカエジソン 2011年卓上カレンダー 限定発売！ 未発表アーティスト写真やLycaonファンにはお馴染みのコスプレ写真を使用したスペシャルカレンダー ¥1,500

E'm~grief~ — 12/22 Best Album grief ¥3,150

EAT YOU ALIVE — Maxi Single 12/22 THE REASON ¥1,2 — イベントあり — ★オリジナル特典：フォト5枚組

NO IMAGE — 260 のアンセム/NUDE

Kaya — イベントあり — Maxi Single 12/22 マダムローザの娼館 -蔚香- ¥1,575／-媚薬- ¥1,050 — ★オリジナル特典：生写真(別柄)

摩天楼オペラ — Mini Album 12/22 Abyss メーカー主催イベントあり 初回限定盤 ¥4,500 通常盤 ¥2,500 — ★オリジナル特典：アーティストフォト6枚組

Iam. — イベントあり — Maxi Single ¥1,260 12/22 光と闇が交差する夜に — ★オリジナル特典：生写真

STEALTH — イベントあり — Full Album 12/24 -アストロメリア- ¥3,1

's Black — arture ¥3,150

TOON-FACTORY — 3ヶ月連続 シングルリリース 12/29 Fiction ¥1,260 / 1/26 Chloris ¥1,260 / 2/23 2Logic ¥1,260

PIECElang — Maxi Single ¥1,575 12/31 PIECEmaker.

SEX-ANDROID — イベントあり 詳細は店頭まで — Maxi Single 1/5 嫌ってよ、モナムール 初回限定盤 ¥1,500／通常盤 ¥1,260

0801弐20933 — Mini Album 1/5 (0120) ¥2,625

Stripper — 500 H or LIVE? — ジナル特典あり

D'eiz — Maxi Single 1/5 Providence ¥800

ゴールデンボンバー — イベントあり — Mini Album 1/6 ゴールデン・アワー~下半期ベスト2010~ 初回限定盤A・B ¥2,500／通常盤 ¥1,980 — ★オリジナル特典：(初回盤A・B)コメントCD (通常盤)ポストカード

Cu[be] — Maxi Single ¥1,575 1/12 Pandemic CORE

D — Full Album 1/12 VAMPIRE SAG — TYPE A ¥3,990／TYPE B ¥3,800／TYPE C ¥3 — ★封入特典：ジャケットサイズステッカー

Life — イベントあり — ¥3,800／通常盤 ¥2,800

n'DooL — Full Album ¥3,150 1/12 奇天烈☆大百科~ビビデバビデBest~

愛狂います。 — LIVE DVD 1/19 東京浪漫帝國 ¥4,980

葵 from 彩冷える — Full Album 1/19 ONE 初回限定盤A・B ¥3,500 通常盤 ¥3,000

ヴィドール — Full Album 1/19 BEST 初回限定盤 ¥4,5 通常盤 ¥3

MP ¥1,260

LOST ASH — イベントあり — Maxi Single ¥1,500 1/19 overHORIZON — ★オリジナル特典：お年玉(当たりはメンバーサイン入りチェキ)

girugamesh — Full Album 1/26 GO 激アツ盤 ¥5,555 通常盤 ¥3,150

DIR EN GREY — NO IMAGE — Maxi Single 1/26 LOTUS 初回限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260

呀修羅 — Maxi Single 1/27 贖い ¥1,26

ra, — 絢爛 初回限定盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,150 — 入特典：トレカ

マイドラゴン — Maxi Single 2/2 二次元コンプレックス TYPE A ¥1,890／TYPE B・C ¥1,575

DOG in the パラレルワールドオーケストラ — イベントあり — Full Album 2/9 ONE 初回限定盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,150 — ★オリジナル特典：アーティストフォトフォト5枚組(別柄・名古屋・大阪店のみ直筆サイン入り) さらに初回限定盤のみオリジナルDVD／メーカー特典：ポスター(別柄)

SAT — イベントあり — Maxi Single ¥1,500 2/14 BEST FRIEND

葵&涼平 incl.アヤビエメガ — NO IM — Maxi Single 2/16 モノクローム — 徳間ジャパン盤：初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1 / エイベックス盤：初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1

on.com ラフォーレ原宿店イベント情報

- ワールドオーケストラ — ト撮影会
- ゴールデンボンバー 1/6 PM6:00~ トーク&握手会
- ree — 手紙交換会
- STEALTH 1/29 PM6:00~ トーク&握手会
- SH
- DOG in the パラレルワールドオーケストラ 2/19 PM2:00~ トーク&サイン&5ショット撮影会

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！ さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！
PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル 0120-624-999 お問合せはお電話で！ 全国一律 送料400円！！
も ライカエ 東京店(03-3369-3119)まで！ ※代金引換の場合は手数料が別途300円です。
通信販売をご利用で、名古 阪のイベント 加 の 様へ
通信販売でもイベント参加可 (但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望 お客 の 書 の み となります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-37

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビ
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディン
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿
☎03-3746-6002

nudie.com

nudie.com

Like an Edison Release Information

ライカエジソンのブログ オープンしました！
どちらも見所 満載★ぜひご覧ください！

★東京店、原宿店、名古屋店、大阪店の日常や情報が満載の「スタッフブログ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-b
★全スタッフより音源の聴き所などをお伝えする「ヴィジュアル・ソムリエ」▶ http://ameblo.jp/like-an-edison-s

ライカエジソン 大プッシュアイテム！

※価格はす

HERO

イベントあり

1/12 Full Album **Life**

初回限定盤 ¥3,800／通常盤 ¥2,800

DEATHGAZE

★旧譜フェア開催中！

イベントあり

Full Album

12/22 **BLISS OUT**

豪華盤 ¥4,410／通常盤 ¥3,150

★オリジナル特典：缶バッチ

ゴールデンボンバ

イベントあり

Mini Album ★イベントチケット発

1/6 **ゴールデン・アワー～下半期ベスト**

初回限定盤A・B ¥2,500／通常盤 ¥

★オリジナル特典
（初回盤A・B）コメントCD（通常盤）ポスト

ライカエジソンディストリビューション 今月のおすすめ

EAT YOU ALIVE

イベントあり

Maxi Single ¥1,200

12/22 **THE REASON**

★オリジナル特典：フォト5枚組

LOST ASH

イベントあり

Maxi Single ¥1,500

1/19 **overHORIZON**

★オリジナル特典：お年玉（当たりはメンバーサイン入りチェキ）

SEX-ANDRO

イベ あ
詳細は店

Maxi Single

1/5 **嫌ってよ、モナムー**

初回限定盤 ¥1,500／通常盤 ¥1

Iam.

イベントあり

Maxi Single ¥1,260

12/22 **光と闇が交差する夜に**

★オリジナル特典：生写真

PIECElang

Maxi Single ¥1,575

12/31 **PIECEmaker.**

0801弐209336

Mini Album

1/5 **(0120)** ¥2,625

D'eiz

Maxi Single ¥800

1/5 **Providence**

マモノ

Maxi Single

1/19 **JUMP** ¥1

★東京店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

ya	12/23(木)	PM4:00～ トーク&握手&サイン会
G intheパラレルワールドオーケストラ	12/24(金)	PM6:00～ 2ショット撮影会(メンバー直筆クリスマスカード プレゼント！)
揺オヴラアト	12/25(土)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
UBE	12/26(日)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
定	12/28(火)	PM4:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
die	12/28(火)	PM6:00～ 握手会(サインプレゼントあり)
ールデンボンバー	1/ 7(金)	PM6:00～ トーク&握手会
n.	1/16(日)	PM4:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
T YOU ALIVE	1/19(水)	PM6:00～ 握手&サイン会
ST ASH	1/19(水)	PM7:00～ 1時間店員(5ショット撮影&握手会)
ckman	1/20(木)	PM6:00～ 1時間店員(握手&サイン会)
ky	1/22(土)	PM6:00～ トーク&サイン会
イ	1/28(金)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
RO	1/30(木)	【1部】PM3:00～【2部】PM5:30～ トーク&5ショット撮影会
G intheパラレルワールドオーケストラ	2/19(土)	PM6:00～ トーク&5ショット撮影会♣
T	2/20(日)	PM6:00～ アコースティックライブ&トーク&握手&サイン会
龍	3/27(日)	PM2:00～ 九条武政プレゼンツ トーク&握手&サイン会

★名古屋店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

Sadie	12/24(金)	PM6:00～ トーク&握手会(サインプレゼントあり)
アヲイ	12/25(土)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
EAT YOU ALIVE	12/26(日)	PM12:30～ 握手&サイン会
DEATHGAZE	12/26(日)	PM2:00～ ミニアコースティックライブ&握手&サイン会
Lycaon	1/ 6(木)	PM3:00～『Lycaon特製お雑煮を食す会』&握手会
ゴールデンボンバー	1/ 8(土)	AM11:30～ トーク&握手会
ワン★スター & Re:dis	1/ 8(土)	PM3:00～ 握手&サイン会
Amber Bullet & DecoLa Hopping	1/8(土)	PM4:00～ 握手&サイン会
EAT YOU ALIVE & BAELSCOPE	1/8(土)	PM5:00～ 握手&サイン会
Ricky	1/14(金)	PM6:00～ トーク&サイン会
HERO	1/15(土)	【1部】PM3:00～【2部】PM5:30～ トーク&5ショット撮影会
Jackman	1/19(水)	PM3:00～ 1時間店員(握手&サイン会)
STEALTH	1/22(土)	PM6:00～ トーク&握手会
LOST ASH	1/29(金)	PM6:00～『私物争奪！?じゃんけん大会～名古屋編～』トーク&握手&5ショット撮影会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	1/30(土)	PM3:00～ トーク&5ショット撮影会♣
己龍	3/20(日)	PM2:00～ 一色日和プレゼンツ トーク&握手&サイン会
人格ラヂオ	日程未定	時間未定 トーク&握手会

★大阪店イベント情報（♣：カメラタイム有り）

Sadie	12/23(木)	PM3:00～ トーク&握手会(サインプレゼン
EAT YOU ALIVE	1/ 7(日)	時間未定 握手&サイン会
ゴールデンボンバー	1/ 8(月)	PM6:30～ トーク&握手会(会場：大阪市立
Ricky	1/15(土)	PM6:00～ トーク&サイン会
HERO	1/16(日)	【1部】PM3:00～【2部】PM5:30～ トーク&
Jackman	1/18(火)	PM6:00～ 1時間店員(握手&サイン会)
STEALTH	1/23(日)	PM6:00～ トーク&握手会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	1/29(土)	PM2:00～ トーク&5シ
Kaya	1/29(土)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
LOST ASH	1/30(日)	PM5:00～『私物争奪！?じゃんけん大会～大阪編～』トーク&
己龍	3/18(金)	PM6:00～ 黒崎眞弥プレゼンツ トーク&握
人格ラヂオ	日程未定	時間未定 トーク&握手会

スカーレット

FEST VAINQUEUR

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

A

ーレット

ハヤト (Vo) 志紋 (Gt) 真咲 (Gt) だいち (Ba) 毅 (Dr)
007年、ハヤト、志紋、真咲を中心に結成。
広島を中心に全国的に活動中

17日 1st Maxi Album『極形謳歌』(入手可)
月30日 会場限定シングル『ロストカルチャー慕情の日、私と嘘』(入手可)
月11日 会場限定シングル『雨の交差点』(入手可)
】
1 広島県広島市八丁堀12−2日経ビル2F
ウンドシーン TEL082−212−0810

FEST VAINQUEUR(フェストバンクール)

【メンバー】HAL (Vo) TOMO (Gt) HIRO (Ba) KAZI (Dr)
【結成日】2010年10月10日 前バンド「SINCREA」からバンド名を「FEST VAINQUEUR」と改め活動を再開。
【主な活動】関西を中心に活動中。2010.12.5 OSAKA MUSEにてワンマンライブを行う。2011.1.10には、SHIBUYA BOXXにて東京でのワンマンライブを行う。
【アイテム】
2010.12.8 FIRST MINI ALBUM「FEST VAINQUEUR」発売
【問い合わせ】
http://www.festvainqueur.com/

ース)

Nimo (Vo) Mucho Gracias (Gt) Rookie Fiddler (Violin) Toshi (Ba)
010年4月18日、六本木ミュージアムにて産声を上げる。
東京中心に活動中

月27日 会場限定ミニアルバム『BLACK ALBUM』(入手可)
月22日 1st SINGLE『夜明けのアンセム/NUDE』
】
v.a-rock.jp/

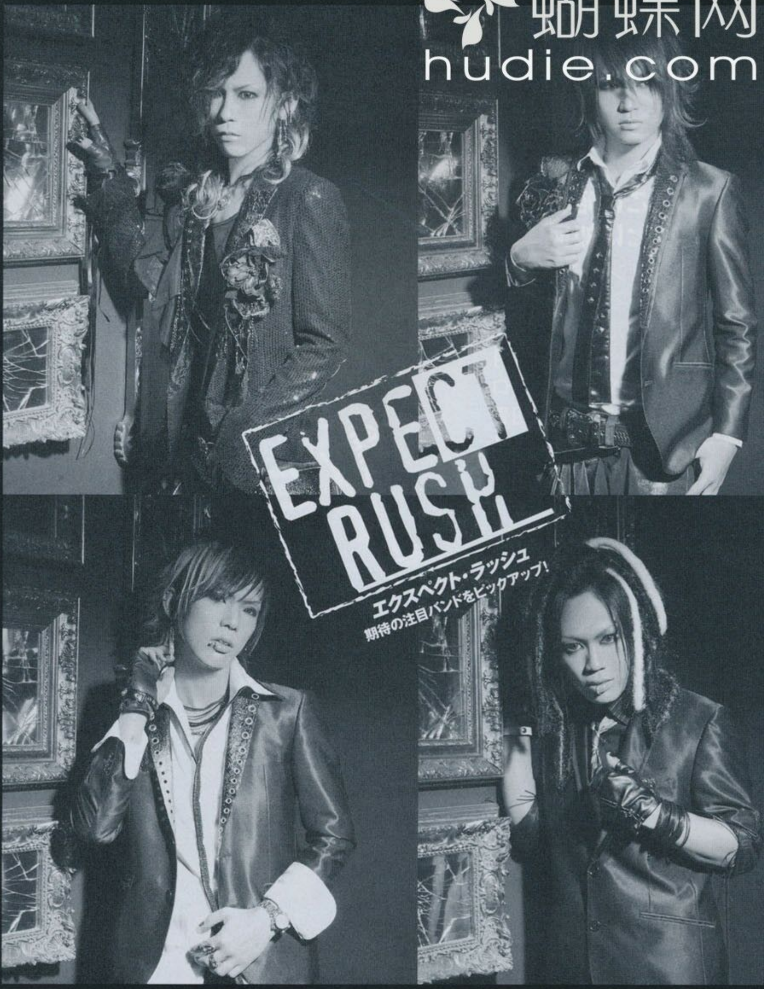
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

FEST VAINQUEUR

リアルな体験 本物の感覚。

05年に産声をあげたSINCREA。リリースしたシングルは、オリコンインディーズチャートで上位に食い込むという好成績。しかし、今年の春に活動休止。その後、メンバーはそれぞれに活動を。そんな中、ふとしたことから4人は再び集まることとなった。新たな決意を持って誕生したFEST VAINQUEUR。12月8日には初のミニアルバムが発売。彼らが起こす奇跡を感じ取れ！



Interview:ERI MIZUTANI

ンドを組むことになるんですけどね。

——そして、2005年にSINCREAというバンド名で活動開始。しかし、残念なことに、今年4月に活動を休止してしまいますね。

TOMO：その後は、それぞれで活動をしていたんです。僕とHALはユニットを組んで、他のアーティストさんとライヴをしたりして。

KAZI：僕も、活動休止してからは、自分のことを見つめ直したりしていて。

TOMO：きっと、各自が自分なりの答えを出そうと必死だったと思います。

——そうした中、再会したわけだ。

TOMO：はい。ユニットのサポートメンバーとして、HIROとKAZIが参加してくれたのが直接のきっかけでした。そこで、改めて音を出したとき、すごく楽しかったんですね。言葉で言うのは難しいけど、しっくりきたというか。ただ、情だけでバンドを再開するのだけは嫌だったんです。長い付き合いだからこそ、そうした馴れ合いだけは避けたくて。でも、自分のやりたいことが見つかった今、もう1度この4人でバンドをやってみたら面白くなるんじゃないかなって。

HAL：僕は、4人でステージに立ったとき、安心感があったんですね。それで、その気持ちをTOMOくんに話したら、同じだったみたいで。

KAZI：もちろん、僕とHIROも同じ気持ちでした。

HIRO：とにかく、ライヴをやったのが決定打でした。もう、そこで満場一致だったんですよね。

KAZI：でも、それって、1度離れたから気付けたことなのかも。

——なるほど。そして、再始動にあたり、バンド名が変更されましたけど。

TOMO：自分たちのことを見つめ直した以上、スタイルが変わっていくのは当然のことだと思うんです。でも、そこで前のバンド名を使うのは、何か違うなと。けじめを付けるためにも、1からやってみようと思ったんです。

HAL：そこで、FEST VAINQUEURというバンド名を付けました。こ

EUR、その2つを組み合わせることで、強気なところを見せていこうかなと。

TOMO：あと、音楽性に関して言うと、ハードな面を押し出したいなと思っているんです。

——そこは、ファーストミニアルバムから充分に伝わってきました。また、「FEST VAINQUEUR」という作品タイトルにも、かなりの意気込みが感じられます。それにしても、この作品、かっこいいですよ。歌を引き立たせながらも、90年代を彷彿とさせる骨太なサウンドがアツくて。

HAL：歌唱面で言うと、自分たちの中での葛藤というのをさらけ出したかったんですね。なので、全曲に対して、そういった思いが吐き出されています。

——ここでは、楽器陣も得意なところが出せたのでは？

KAZI：得意としている面が出せたのは「CORE BURST」ですね。ストレート、かつ手数が多い楽曲なんですけど、こうしたスピード感が好きなので。

HIRO：ベースは、前バンドとの違いを出そうっていうのをテーマに置いて弾いていったんです。低音って潰れがちなので、いかに抜けさせるかということを考えましたね。この作品では、「RAVE」でそこがうまく出せたかなと思います。ベースらしいベースっていうんですかね、FEST VAINQUEURらしい音が出せたと思うので気に入っています。

TOMO：ギタープレイ的には「UNLIMITED」が1曲通して良くできたなと。ソロも含め。

——この他に、「APOCALYPSE」と「TRAGIC THE MAIDEN」という楽曲が収録されます。こちらも聴き応えがありましたよ。

TOMO：名刺代わりの作品になったと思います。今は、初のワンマンを控えているので、楽しみで楽しみで（笑）。

KAZI：見せたいものがたくさんありすぎて困ってるんです（笑）。

——この記事が出る頃には、大阪公演は終了。残すは、東京公演ですね。

HAL：とりあえずは、今持っているものを全部出していこうかなと思ってます。

蝴蝶网
hudie.com

スカーレット

れけばそこに昭和が。
半ロック」とは如何に!?

・広島では、ワンマンやると
もの動員を誇るスカーレッ
1月に、会場限定でシングル
の交差点』をリリース。来年1月
には、ミニ・アルバム『現代的ロ
集』の発売も控えている。「四畳
ク」をテーマに活動しているス
ット。その魅力を、軽く紐解い

Interview:TOMONORI NAGASAWA

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

――スカーレットの音楽へ触れたとき何に心が反応したって、昭和世代の歌謡メロディーや詞世界。そして現代的なロック・スタイルを軸にしながらも、その中へ往年の歌謡曲風なエッセンスをあれこれ散りばめているところなんだ。

志紋：僕とハヤト、真咲の3人でやっていたScarlett（英語表記）時代は、今のような歌謡曲寄りのスタイルを意識していたわけじゃなかったんです。むしろ、まわりの人たちがやたらそう言うので、現在のメンバーになって、スカーレットと表記を変えてからは、〝四畳半ロック〟というコンセプトのもと、〝歌謡曲の魅力〟という長所を活かした音楽性を積極的に心がけるようになりました。

ハヤト：僕は、80年代の歌謡曲が持つ切ない世界観には影響を受けています。

――歌詞の世界観は、まさに「心の内側の悲恋を綴った昭和歌謡の世界」だもんなぁ。ミニ・アルバム『現代的ロマン歌集』へ収録した『赤い逃避行』など、まさしく昭和歌謡浪漫活きた歌じゃない？

ハヤト：完全に意識していました。まぁ、どの曲にも歌謡曲の匂いを詰め込んでるんですけど。そんなレトロと今を融合した音楽性だからこそ、〝四畳半ロック〟と名付けたわけなんです。

真咲：〝THE昭和〟と言っても間違いないバンドだからね、うちらは。

――ハヤトさん自身、普段からドロドロとした恋の日常を過ごしてきたんですか？

ハヤト：あくまでも〝影を持った世界観〟や〝どこか暗さを持った心模様〟に惹かれてるというだけで、けっして歌のような性格ではないです。普段から〝話しかけにくい〟、〝怖そう〟とか言われるけど、本当に普通の人ですから、俺は。

――歌詞へは、女性視点でも書いています。そこも特徴の一つと思いました。

ハヤト：正直、女性の気持ちはわかんないですけど自分なりに想像を膨らませて書きました。また、『現代的ロマン歌集』に入れた「媚薬」では、初めて〝俺〟という一人称を用い、より昭和な雰囲気を歌詞に漂わせたりもしています。

――後から加入した、だいちさんや毅さんは、このバンドにどんなイメージを抱いてます？

だいち：地元広島では、激しいバンドが多い中、すごく〝歌を活かしてる〟のがスカーレットでした。その歌心を大事にしているところへ共感したし、今もそこを心がけながらプレイしています。

毅：僕も、「歌を大事にしているバンドだなぁ」という印象です。アルバムを聴いてもらえれば、その中にも、いろんな曲調があるのをわかってもらえるはず。

――11月に、シングル『雨の交差点』を会場限定で発売。1月には、ミニ・アルバム『現代的ロマン歌集』と、一気にリリース面でも攻めてきました。2枚とも、根底には〝歌謡曲な香り〟が詰まっていますが。でも、それぞれ表情の異なる作品集にもなっていません？

ハヤト：シングルのタイトルにもなった、中でハーモニカも吹いてる「雨の交差点」は、まさに〝スカーレットが表現したい音楽はこれなんだ〟という姿を描き出した、今現在の代表曲になっています。2曲目に収録した「売国 紳士」は、ライヴでの盛り上がりに欠かせない割と激しめの曲。3曲目の「over」は、明るい表情を持った完全ポップ寄りな歌として作り上げました。そしてミニ・アルバム「現代的ロマン歌集」へは、このバンドの持ち味である〝影を持った歌謡曲／浪漫さ漂う曲〟たちを詰め込み、全体的な統一性を出しています。中には「DOOR」みたいに、かなり明るくポップな曲も入れてますけど。

志紋：『現代的ロマン歌集』は、全体的に歌謡寄りにしようと思いながら。最後に収録した「DOOR」では、（作曲者である）俺が完全に暴走（笑）。

真咲：その結果として、〝今のスカーレットの色〟と同時に、〝これからのスカーレットの方向性〟も見える1枚になったから良かったんじゃない？

毅：うちら、ポップな曲は、これからも多くやっていきたいなと思ってるんで。

だいち：『現代的ロマン歌集』の発売後にはツアーも演るし、2月5日には地元広島でワンマンも決まっているから、地元の盛り上がりはもちろん。来年は、より全国区での活動をしていくつもりです。

ハヤト：まずは「四畳半ロック＝スカーレット」と言われるくらい、一つのジャンルを確立させようと思ってる。俺らにしか出来ない唯一無二なスタイルを…。

A

トランプで最強のカードを意味する〝A〟。その名に相応しいバンドが誕生した。今年4月、イベントライヴのオープニングアクトとして彼らはベールを脱いだ。その姿に、オーディエンスは驚かされた。なぜなら、ロックという激しさあふれる音楽に、繊細なバイオリンの音色が融合していたから。それがどんなものなのかは、ぜひ、12月22日にリリースされる初のシングルで確かめてもらいたい。

蝴蝶网
hudie.com

掟(ルール)なき世界。これがV系の新しいカタチ!?

Interview:ERI MIZUTANI

さつは?

Nimo：僕が中心となって各メンバーに声をかけたんです。新しいサウンドを作り出したいっていう想いが強かったんですね。それで、ロックな音楽にバイオリンの音色を混ぜたバンドをやろうって。

――とは言え、ロックとの融合って難しいですよね。バイオリンってクラシックな音楽に適している楽器なだけに。

Nimo：確かに。って、バイオリン担当として、それはどうなのよ?

Rookie Fiddler（以下：Rookie）：そこはバランスだね（笑）。僕、バイオリンは昔から弾いているのでクラシックは大好きなんですけど、同時にロックも大好きで。だから、Nimoから、「ロックとバイオリンを組み合わせた音楽でバンドをやりたい」って言われたとき、単純に、それは面白いって思ったんです。

――いいですね～、その柔軟さ。

Nimo：だって、彼が心配したことって言ったら、「どうやったら、頭振りながらバイオリンって弾けるかな」ってことだったんですよ。そこかよ!っていう。

Rookie：すいません、異端児で（笑）。けど、ヴォーカルをメインに置きつつ、他の楽器も引き立たせていく、っていうのが自分の目標なので、アレンジ面はかなり重要視しています。

――あと、大事になってくるのは、ギターとベースをどう絡ませていくか、というところですよね。

Mucho Gracias（以下：Mucho）：そこは、キャラの濃さでカバーします。

一同：そこ!?（笑）。

――では、ライヴでは、かなり目立ったパフォーマンスを?

Mucho：うちのバンドって立ち位置が変わっていて、上手にバイオリン、下手前にベース、下手奥がギターってなっているんです。僕は支える位置にいるせいか、Aの守護神的存在かなと。

Toshi：（笑）。その点でいったら、ベースもそうですね。普通だったらギターとベースって離れているじゃないですか。

ガッチリと固めてくれているおかげで、僕も安心して歌えています。

――いいですね、それぞれに個性が引き立っていて（笑）。そして、ここまでの活動を振り返ってみると、積極的にライヴをやりつつ、会場限定としてCDもリリースされたということですが。

Nimo：4月から6ヶ月連続で会場限定コンセプトデモCDをリリースしたんです。10月にはそれを1枚にまとめた「BLACK ALBUM」を、同じく会場限定として出しました。そして、12月22日には初のシングル「夜明けのアンセム／NUDE」をリリースします。

――これは、両A面シングルと捉えていいのでしょうか?

Rookie：もちろんです!「NUDE」という楽曲は、Aが結成された頃からやっているものなんですけど、初期衝動といいますか、激しさとテクニカルさの融合を感じ取ってもらいたいですね。

Mucho：これを聴くと気持ちが引き締まります。みんなの見せ場が多いだけに、バランスの良い1曲になっているんじゃないかなって。

Toshi：ベーシストとして心がけたことは、テクニカルなバイオリンとギターの音にうもれることなく、主張していくことができるかってことだったんですね。それを意識したからこそ、自分の色が出せたと思います。

――もう片方の「夜明けのアンセム」は、バグパイプの音が入っていることもあって、華やかという言葉がピッタリの曲に仕上っていますね。

Rookie：これは、ライヴでの一体感というのを求めて作った曲でもあるんです。それだけに、「NUDE」同様、代表曲になったら嬉しいですね。

Nimo：ライヴバンドならではの発想を味わってもらえたらなと。基本的に、Aは、〝冒険をしていこう〟というコンセプトの下に動いているので、来年は更に積極的に活動していこうと思っています。

Rookie：これからも、貪欲に規格外のことをやっていこうと思っていますので、期待していて下さい!

http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x

LOST ASH
「overHORIZON」
1/19発売 M-CDs ¥1,500
オリジナル特典：「ミッドナイトLA～新春マル秘ビンゴトーク～」(ラジオ風CD)
インストアイベント開催！
1月23日(日)PM7:00～

DIR EN GREY
「LOTUS」
待望の新作！1/26発売!!
初回盤CD+VD¥1,890
通常盤CD¥1,260
オリジナル特典付！

EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX
大好評発売中!! DVD¥4,410 大ベストセラーDVD！
本気で闘いあったロックイベントツアーDVDとして発売！
◆スペシャルオリジナル予約特典
・テリトークDVD！（LIVE会場物販特典として付けていたDVD）
・出演アーティストコンプリートアーティストカードセット7枚組

Kaya「マダムローザの娼館」
・12/22発売「-麝香-」M-CDs+DVD¥1,575
◆オリ特：コメント収録DVD！
・12/22発売「-媚薬-」M-CDs¥1,050
◆オリ特：アーティストカード
※2種同時購入者には、コメント入り直筆サイン色紙付
イベント2011年1月15日開催決定！

...ack
...eparture】
...¥3,150
...約特典決定！
...等はwebにて！

マイドラゴン
2/2発売【二次元コンプレックス】
・[TypeA]¥1,890・[TypeB]¥1,575
・[TypeC]¥1,575
オリジナル予約特典の詳細はwebで

Kagrra,
百鬼絢爛（ヒャッキケンラン）
2/2[初回盤]
CD+VD¥3,990
2/2[通常盤]CD¥3,150
※オリジナル特典等、詳細はWebにて！

V-last.
2011/1/26発売【NEW SINGLE】
・[初回盤]¥1,890・[通常盤]¥1,575
オリジナル予約特典など
詳細はwebにて！

我羈道
待望のNewシングルリリース！
2/16発売「happymaker」¥2,100
オリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！
詳細はWeb siteにて！

TOON-FACTORY
3か月連続リリース！
2010/12/29発売[Fiction]¥1,260
2011/1/26発売[Chloris]¥1,260
2011/2/23発売[2Logic]¥1,260
◆インストアイベント企画等考案中

...ショータイム】
...CDs+DVD¥1,890
...CDs¥1,260
...詳細はwebにて！

ViViD 夢～ムゲンノカナタ～
☆1/19発売M-CDs+DVD「初回限定盤A」¥1,890
☆1/19発売M-CDs+DVD「初回限定盤B」¥1,890
☆1/19発売M-CDs「通常盤」¥1,260
オリジナル予約特典等、詳細はWeb Siteにて！

DaizyStripper
【BIRTH or LIVE?】
★1/5発売CD¥2,500
オリジナル予約特典交渉中！
期待のライブアルバム！

A[エース]
【夜明けのアンセム/NUDE】
★12/22発売¥1,260
オリジナル予約特典交渉中
期待のNEWバンド！

Moi dix Mois
▼発売中「D＋SECT」
13songs CD¥3,360
3年ぶりとなるアルバムが発売！

...pper
...を震撼させる
...に登場！
...BOX ¥4,500
...al Archive～)

花少年バディーズ
「ブランコ」
待望のNEWアイテムリリース決定！
☆1/19発売M-CDs+DVD[限定盤]¥1,890
☆1/19発売M-CDs[通常盤]¥1,260
※インストアイベント開催決定！
※スペシャル特典考案中！

Sadie
「Juggernaut」
▼発売中 CD+DVD[限定盤]¥1,800
▼発売中 CD[通常盤]¥1,200
3タイトル連続リリース第3弾♪

THE KIDDIE
「BRAVE NEW WORLD」
▼発売中 CD+VD[限定盤]¥3,200
▼発売中 CD[通常盤]¥3,000
待望のメジャー1stアルバム！
◆オリジナル予約特典付！

愛狂います。
東京浪漫帝國
[初回限定生産]
▼2011/1/19発売 DVD¥4,98...
◆オリジナル予約特典交渉...

...n 彩冷える
...アルバムリリース！
...N SALE【ONE】
...A]CD+DVD ¥3,500
...B]CD+DVD ¥3,500
...]CD ¥3,000
...典等、詳細はwebにて！

the GazettE
待望のNEWアイテム発売！
NOW ON SALE
PLEDGE(限定盤：A)CD+DVD¥1,785
PLEDGE(限定盤：B)CD+DVD¥1,785
PLEDGE(通常盤)CD¥1,260
※オリジナル予約特典カレンダー残少！

BORN
★2/2発売[DOGUMA]
[初回限定盤]
CD+VD¥2,835
★[通常盤]CD¥2,835
※オリ特等はwebにて！

SuG
待望の新作
発売！
詳細は
websiteに...

D
▼待望のNEWアルバム！
「VAMPIRE SAGA」
★初回盤A CD+CD ¥3,990
★初回盤B CD+DVD ¥3,800
★通常盤C CD ¥3,000
オリ特付！

▼インストアイベント開催決定！）
※参加方法やオリジナル予約特典の詳細はweb siteにて！

...料改定のお知らせ◆◆
...一律500円⇒400円
...せて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、...

◆◆2011年 HAPPY NEW YEAR SALE開催！！
◆◆2011年お正月だよ！Brand Xへ全員集合！
◆2011年お正月だよ！Brand Xへ全員集合！
・元旦より、3,000円以上ご購入の方へお年玉DVDプレゼント！
・配布期間：2011年1月1日～1月10日まで！
・収録アーティストなど、仕様は当店web siteをご覧ください！
・通信販売でもご利用になる事が出来ます。
・皆様のご来店をお待ちしております。

Brand X

摩天楼オペラ
メジャーデビューミニアルバム...

蝴蝶网 hudie.com

※受付期間は10/24...
オリジナル予約特典...
こちらの詳細もWebSiteに...

HAPPY NEW YEAR SALE開催！！
お正月だよ！Brand Xへ全員集合！
...円以上ご購入の方へお年玉DVDプレゼント！
...1月1日～1月10日まで！
...など、仕様は当店web siteをご覧ください！
...ご利用になる事が出来ます。

◆年末年始の営業時間のお知らせ◆
・年末年始は下記の様に店舗営業時間を変更致します。
・12/31～1/3迄。AM11:30～PM6:00
※web shopは24時間ご利用になれます。

★2011/1/12 on sale『Life』
★「初回限定盤」CD+DVD¥3,800
★「通常盤」CD¥2,800
◆各タイプにオリジナル予約特典付！

HERO
◆インストアイベント開催決定！
・2011年2月6日（日）
・第1部PM5:00～・第2部PM7:00～（各部とも人数制限あり）
※詳細は当店Web siteにて！

...BE
...EST GATE
...常盤」¥1,260
...盤」：レアDVD付！
...8日開催決定！

DOG inThePWO
[ONE]
2/9 ON SALE!!
[初回盤]CD+DVD¥3,990
[通常盤]CD¥3,150
◆各アイテムにオリ特付！
◆インストアイベント開催決定！
2月20日PM6:00 START!!

少女ロリヰタ23区
▼WHITE BLADE.[初回盤A]
12/22発売 ¥1,680
▼WHITE BLADE.[通常盤B]
12/22発売 ¥1,470
▼WHITE BLADE.[通常盤C]
12/22発売 ¥1,470
※オリジナル予約特典や、イベント日程はwebにて！

アンド
【ニューシングル2種の同時発売が早くも決定♪】
▼BLINDNESS[A-TYPE]
12/29発売 ¥1,890
▼BLINDNESS[B-TYPE]
12/29発売 ¥1,575
※オリジナル予約特典等、考案中！

葵＆涼平 incl. アヤビエメガマソ
【モノクローム】
avex version/徳間version有り。
★2/16発売[初回限定盤]¥1,890
★2/16発売[通常盤]¥1,260
※各タイプにオリジナル予約特典付！
※Specialインストアイベント開催決定！
2011年2月23日（水）
豊島区民センター・イーストステージ
夕刻開催予定！

己龍
【夢幻鳳影】
★[初回限定盤]CD+DVD¥3,675
★[通常盤]CD¥3,150
◆各対応にオリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
・2011年3月5日(土)開催！
※詳細はWeb siteにて！

PICK UP ITEM
...y/R☆MUSTER
...初回限定盤]CD+DVD¥3,850
...売中[通常盤]CD¥2,800
...ストアイベント開催決定！
...2011年1月16日（日）
...ickyの楽しいトーク(質問有)＆握手会！
...ickyの事、どれだけ知ってるんだ!?ゲーム
...(景品有)＆握手会！

※自主盤制作の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！

Brand X webshop

通信販売をご希望の方へ

通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換(着払い)と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。

①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！！
TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。(FAX/ハガキの場合は第2希望までお知らせ下さい。)※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。
▼
商品到着時に商品代金＋送料(全国どこでも¥700)を配達員にお支払い下さい。商品の到着は、ご注文から1日～2日です。※予約の場合は当店に入荷してから1日～2日でお届け致します。

②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！
TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。
▼
現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料(¥400)をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。

郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料(¥400)を下記の口座にお振り込み下さい。
※予約の場合も同じです。
口座名：(株)ブランドエックス
口座番号：00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となりますのでご了承下さい。

銀行振込(webshopご利用の方のみ)
当方から送信される受注確認メールをご確認の上、下記口座に振込みを振り込み下さい。
銀行名：イーバンク銀行 タンゴ支店
口座種別：普通
口座番号：7009021
口座名：(株)ブランドエックス
※振込手数料は、お客様のご負担となりますのでご了承下さい。
▼
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。

...ンドエックス
...//www.brand-x.jp

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休

通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下...

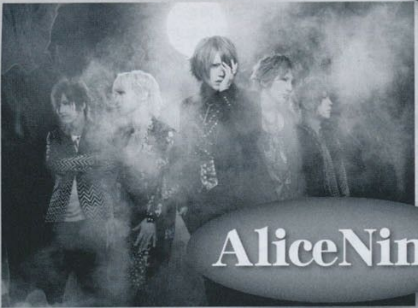
http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand...

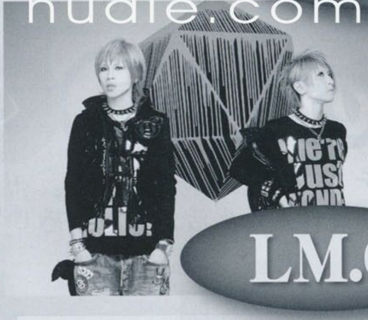
SHOXX INDEXX 2011

**2010年に『SHOXX』に掲載
記事から､オイシイとこ取りをした
SHOXXアーカイブスが今年も
大好きなアーティストの
あの記事を見逃しちゃったあ
最近気になり出したアーティ
記事を読みたいあなた。
一気にまとめて楽しみたいあ
ぜひ手に取ってくださいませ**

theGazettE

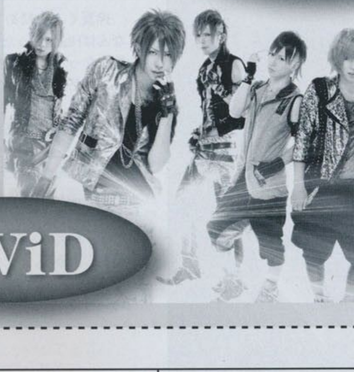
hudie.com


AliceNine


LM.C

1月25日（火）、全国書店にて一斉発売!!

SuG


ViViD

CUT THIS LINE PLEASE!!

雑誌注文書(コピー可)

書店(番線)印　雑誌扱い	受注　　月　　日	部数:　　部	担当者：
	書名:SHOXX 3月号増刊『SHOXX INDEXX 2011』(ショックス インデックス) 定価1890円(税込) 1月25日		
	あなたのお名前	あなたのご住所： TEL	
	出版社名:(株)音楽専科社　東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F　TEL:03(3574)0201 FAX:03(3574)8548		

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

from 彩冷えるの ヒナタごっこ

第57回

OVER」

れば別れがある。そうして人は

年だったと思う2010年。
]との別離。大切な仲間の他界。
の移籍。新しい音楽との出逢い。
カリゼーションにおける不甲斐
新しい自分の歌との出逢い。
再会と再び奏でる音楽。

想像できるはずもないことばか
。歳を重ねれば重ねるほど、今
もなかった問題がたくさん降り
す。家族の問題もそう。自分が
分、親も歳を重ね、いずれは親
ないといけない。いつまでも夢
けないのかもしれない。そんな
にはここ数年、何度も遭遇して
。だけど、どうしても歌を捨て
なくて。自分の人生に輝きを与
は、間違いなく歌であり、何よ
きを与えてくれたのは、僕の音
れるみんなのおかげなんだと思

う。

小さい頃、スポーツ選手になりたいって思ってた。学生時代身体を壊しスポーツへの夢を失った時に出逢った音楽という夢。でも、音楽という不安定な夢に自分の未来を描けず、高校卒業してからアメリカに行って料理を勉強しても、自分には合わず帰国しいくつかの企業に就職してもどれもしっくりとせず。いつからか心のどこかに常に潜んで息吹いていたのは音楽という夢だったんだと思うようになる。それに気付いてからがむしゃらに歌い続けてきた日々。

だけど、その音楽も辞めようか本気で迷ったのが今年でした。もうダメかも知れない、と本気で思った瞬間がありました。でも、僕の心を呼び戻してくれたのは、やっぱり応援してくれたみんなの声でした。求めてくれる限り歌おうと思いました。音楽を続けるためにたくさん犠牲にしてきたもの。それらに意義を持たせるには今の僕の頑張りでは足りな過ぎるんです。

今年、みんなを悲しませてしまった分だけ来年は笑顔を届けたい。今年全然ライヴできなかったから、来年は死ぬほどステージで歌いたい。もう来年突っ走れる準備は整いました。そして心の区切りも12/24のライヴでするつもりです。新しい1歩を踏み出すには、区切りをつけないといけない。何事もそうだと思います。12/24で今の僕の全てを提示できるんじゃないかって思います。魅せるよ。僕が生きて来たこの人生を。今はもう誰にも負ける気がしないから。
そんな想いを赤裸々に曲にした作品が集った『ONE』というアルバムが完成しました。これが僕の第1歩目なんだと思います。来年は気持ち新たに1から歩み出そうと思っています。

来年の今頃は何を思い、何を歌っているんでしょう？　何が起こるかわからないから面白い人生ですが、来年はどうぞお手柔らかに(笑)。

最後に今年も1年ありがとうございました。僕の音楽を愛して下さった皆さん、関係者の皆さん、そしてSHOXX編集部の皆さん。志田嬢、いつも原稿提出遅い上に長文でごめんなさい。今年も連載続けられて嬉しかったです。
来年もストップがかかるまではオブラートしない僕の声をコラムに綴っていこうと思います。素敵な年末年始を。そして来年も宜しくね

のぐるぐる大回転

第33回

ティストがつなぐ、リレー連載☆

ie)『日々の生活で喜びを感じる瞬間、出来事』➡ 葉月 (lynch.)

玲夏くんと初めて、ちゃんと話したのは、なんばHatchだったかな。飲みに行こうって話になって。なかなかタイミングが合わなくて、まだ行けてない。来年こそは必ず。

申し遅れましたSadieのBa.亜季です。

玲夏くんからのテーマは「日常生活の中で幸せを感じる瞬間」。自分で言うのも変だけど、俺、ささやかな幸せを感じる力が欠落してる。例えば、美味しいものを食べた時やお風呂に入る時、ベッドに入った時とか…一般的に普通の人が「幸せ」と感じる時も、俺は「別に」って思う。やすらぎや癒しといったモノも求めたりしない。常に張りつめた空気の中で、毎日を過ごせたら、俺にとってはベストなのかもしれない。
同じ様に不幸も感じない。自分が不幸だなんて落ち込まない。小さい事を気にしなくて済む性格。
俺にとって今は今でしかないから。どれだけ現実が、自分の理想とかけ離れていても、それは自分の責任だと思う。より良い今を望むなら、努力すれば良い。現状に対して「幸せ」か「不幸」かなんてモノサシはなくて、届いているか、届いていないか。その結果の今が全て。
そんな風に思えている今こそが、そんな現状の今がある事が、ささやかな幸せなのかもしれない。

次のバトンは、機会さえあれば一緒に飲んだり、遊んだりするlynch.のVo.葉月にまわしたいと思う。lynch.は本当にライヴを観ていて気持ち良くて。個人的には音源で聴くのも良いけど、ライヴ会場で音に包まれたいバンド。
lynch.にとって、葉月にとって…「ライヴをする事」はどういう事か聞かせて欲しい。オカタイのが嫌なら、「好きな女のタイプ」についてでも書いてくれ。

蝴蝶网
hudie.com

THE KIDDIE 佑聖

絶頂モンスターハイゲイン

第19回

どうも冬の佑聖です（·。·）

冬でもどうしても厚着がしたくない!! そんな俺とおんなじスタンスのそこのキミ!!

我慢という言葉を知っているかい？ 漢字は難しいけどやり方は簡単だ。耐えるのみ!! ただひたすら耐えるのじゃ。

何故厚着が嫌いかって？

そうなんだよねー衣装にしろなんにしろ動きづらいのが嫌いなんだ。

だからどうしてもどんどん無駄な物は取っ払っていって気づいたら薄着になってるみたいなね。

そのくせ手足が意外と冷え性だったりする、それが佑聖（·。·）

ただ俺でもその我慢が出来ないくらい寒い日があったんだ。

この前アルバム完成打ち上げということで、プロデューサーであるジュディマリの恩田さんや、THE KIDDIEのメンバー達とバーベキューをしたんだ。

天気は快晴!! 一帯は芝生のカーペット!!ポカポカしていて思わず寝転んで自然のありがたさを全身で感じていたんだ。もちろんバーベキューは盛り上がりあっという間にあたりは真っ暗に。

そこで初めて俺は薄着に後悔したんだ。

昼間じゃ想像できないくらい冷え込みやがって、一生懸命暖をとるために薪を拾
死だった。

一年の思い出じゃなく、一生の思い
くらい最高な一日だったけど、こ
もう薄着はしないって決めたね。

みんなもバーベキューするならダ
ケットの購入を進めるよ。

まっ!! この時期バーベキューする
うロックなやつはいないだろうけど

そんな感じで先月の答え。
空に必ずいる虫は…ハエです!!
ほらウカンムリの中に「ハエ」が

今月の問題!!
道で拾うことはできても落とすこと
いのは？

蝴蝶网 hudie.com

少女―ロリキター23区

THEコラム

最近 急激に寒くなってきて、早くも冬到来という感じなのですが、2010年最後のコラムという事で、今年を軽く振り返ってみたいと思います。

まーなんといっても一番はヴォーカル総史の加入！

去年 前ヴォーカルが脱退し、なかなか合う人が見つからず、苦戦を強いられてたんだけど、ちょうどイイタイミングで出会う事ができ、一緒にやることになりました。

彼が加入してからは、本当に怒涛のスケジュール！

ライヴ、レコーディング、ラジオ、取材、打ち合わせ、etc…

毎日仕事で何気にバンド史上一番忙しかったんじゃないかな？

因みに、このコラムを書いてる次の日は、コンピレーションアルバムのレコーディングで、曲はLUNA SEAの「STORM」をやらさせて頂く事になりました。

正直、個人的にLUNA SEAに憧れてバンドを始めたから決まった時は凄い嬉しかっな(笑)。

本当に学生時代は毎日聴いてコピーしてました。

オリジナルに負けないように敬意をもってレコーディングに取り組みたいと思います！

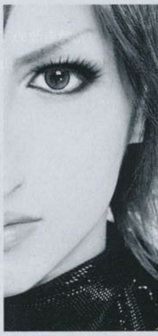
12月はまだまだスケジュールがあるので来年に繋げれるように頑張っていきたいと思う！

因みに12月22日には「WHITE BLADE」というシングルをリリースするので、是非チェックしてみてね！

それと個人的には最近、犬にはまっていて、そのうちいつか飼ってみたい…。

(友達ん家の犬なんだけど可愛いて
ちゃった・笑)

それでは良いお年を！



TOON-FACTORY

しず

雫の××まにあ半島～一人旅

第5回

メリークリスマス!!!!!

…はまだかな??

あにょはせよ!!!!

…は韓国語だぬ(ΦшΦ´)

いやぁなんか12月は腹痛が…。

流行りのノロウイルス?!

素敵に下痢だよ!!!!!!

ゲーリークッパ(ΦшΦ´)（笑）。

賞味期限切れた牛乳なんて飲んでませんよ(ΦшΦ´)

だがしかし、周りにそんなノロウイルスというバイオハザードみたいなやつはいない…。

むふ(ΦшΦ´)汗

さて、もうすぐ年越しますね(ΦшΦ´)
みなさん今年一年どうでしたか？

去年と比べるのもいいと思うよ。

自分は誕生日とかで一年を振り返ったりするタイプじゃないから、本当大晦日とか年明けはいろいろと考えるのよね。

…成長したんかな？

みんなも思うでしょ？
「自分は一年前に比べて成長したんかな？」

とかさ。

中には成長してないわぁ

とか

ダメダメな一年とか思う人たくさんいると思うんだ。

オレは一言さ

言いたいよね

"そうゆう風に考えるだけでもいい事なんだよ"と。

そう考える事によって、目標とか夢ができて、また新たに頑張ってみようとか思うわけで。

ちょっと綺麗事かもしれないけど
人は夢とか目標がないとダメになっていくと思うんだ。

その夢とか目標はなんだっていいんだ

例え小さな事でもさ。

恋愛とかでもいいと思うし、仕事面で
と思うしさ(ΦшΦ´)
叶わなくともその頑張ってしたことや
た事などが絶対に自分を強くさせたり
スになってるはずだから。

そんな感じで自分を真ん中において生
けばいいと思うかな。

↑自己中な発言だ（笑）。

三ヶ月連続リリースで毎日レコーディ
明け暮れてるけど、頑張ってる分本当
「物」が生まれてきてるんだ。

それでは、
ホワイトクリスマスになることを願い
FC限定ワンマン、年越しLIVEに向け
たいていくとするよ(ΦшΦ´)

みんなよいおとしを!!!!!

メリークリスマスっ!!!!

A HAPPY NEW YEAR!!!!

ばいちゃこきーん(ΦшΦ´)ノ
インフルエンザに気をつけて年越した
う雫より。

D'espairsRay
[マ]ニアの覗き穴

第100ブレイク TSUKASA 編

司です。
アの覗き穴は100回記念らしい
見合った内容をかけるかどうか
、とりあえずペンを走らせよ

無事に終わってあとは年内は12
ブリッツのみとなりました。
に月日の流れが早すぎて、こな
TERS』出したばかりだよね？
たり、99ライヴ今年２回くらい
　なんて錯覚したり、スタッフ
づいた事もあって、８月からず
やってるから楽しい事づくめで
早く感じるんじゃない？　なん
時に正直疲労も溜まったりした
ージに立った瞬間、マニアの顔
、そんなのはすぐに吹き飛んで

旅行に行った時も改めて感じた
とマニアの子達から沢山エネル
て生きているんだなぁというこ

　ファンのみんなからよく、"いつもいっぱい元気をもらってます"とか、"いきがいです"とか言われると、あぁなんか自分がやってることがこんなに力になってくれているんだなぁと、嬉しいのと同時にありがたい気持ちでいっぱいで、だからこそもっともっと強くなんなきゃとか、みんなを引っ張っていこうという気持ちがエネルギーとなってバンドも力強く存在してこれました。
　しかしこのたび、D'espairsRayは来年から無期限の活動休止に入ります。
現状のまま無理に進むよりも、未来を見据えてしっかり回復してから続けていくというための前向きな決断だという理由は、マニアのみんなは知ってるよね。
　とにかく待っていてください。
その間、メンバーそれぞれD'espairsRayを見据えつつ、なにかやるかも知れないし、と言っても自分なにも予定ありませんが…。でも考えてる事はあります。
もしもなにかしら動きとかあった際には温かい目でそれぞれを応援してあげてね。

まず、12月30日の横浜ブリッツをどこまでスパークして楽しめるか!!
俺は今年最後の感極まる瞬間をそこに懸けて行こうと思う。
よっしゃ！　メンバー丸くなって！
気愛入れていくぞ〜!!!!
し〜ん……
って、やっぱりなるのかな？（笑）。

やっぱりね、寅年、最後まで吠えてかかっていくよ。
んだれば！　会場で待ってる!!

[Roc]k Speaker's, Inc. seekの凡人水族園

第百五[回]

　環境の変化に伴い、此処数年、人と出会い、喋る機会が増えた。別段自分を作り上げている訳ではないが人前に居るときの自分というものは素の自分とは少し違う気がする。昔の自分が素の自分に近いとするならば、少年期より他人にどう思われているのかばかりを気にしていた様に思う。傷つくのが怖く誰にでも良い顔をしていた。そんな自分が嫌だった。強くなりたかった。山積みになったコンプレックスに囲まれて自分の存在理由なんて事を冗談ではなく真剣に考える子供だった。本を読み、映画を貪る様に観てはずっと自分だけと会話していた。それが其のまま十代の淡く青い時代を経て、気が付けば二十代を飛び越えて三十代に突入した。世間的には立派な大人だ。おっさんだ。白髪も混じっている。おとんに似て禿げなくて良かった[illegible]とホッとしている。年金も払っている。図体ばかりは成人男子そのものだ。自分自身三十代が精神的にこんな不安定なものだとは思ってもみなかった。この時間を浪費だとは思っていないが、随分と長いモラトリアムもあったもんだ。すなわち人と喋っている状態が大人で、一人ポツねんと向き合っている時が子供なのだ。環境の変化が大人状態を引き起こしているのである。どちらの状態も僕に変わりは無いのだけれど、そんな大人になる事を先延ばししていた子供が人と会話する中である事に気付いた。人と話す中で自分というものが何を考えているのか解ることがあるのだ。不思議なもので向き合わなければ見つけられないと思っていた自分が会話の中に転がっていたりする。向き合い過ぎてぼやけていた自分と[illegible]輪郭が人と話す中で離れた距離で焦点があったのかもしれない。輪郭がハッキリした自分は昔より少し強くなれた気がする。僕にとっては強くなる事が大人になるという意味合いを含んでいるのだ。人と出会う中で沢山の経験をして強くなっていくというのなら大人になるのも悪くない。
　打ち合わせ中。先方が不意に顔を顰める。背ける。等といった行為をしばしば見受ける。それが僕の口臭によるものだと気付くのに二年掛かった。会話する者として致命的欠落。大人への道程は長い。
　今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

蝴蝶网
hudie.com

ギルガメッシュ

CRAZY-CHAIN

第7回 ■愁■

2010年が終わる。
そして、2011年へ突入。
この文章を皆さんが見てる頃は既に2011年かもしれませんね。
皆さんは2010年、いかがでしたか？
今からさかのぼること11年前の1999年12月末。
僕は15歳で、中学二年生。
ちまたでは『ミレニアム』とゆう言葉が飛び交い、同時に『ノストラダムスの預言』（地球滅亡）の話も学校やテレビで話題になっていた。
その頃僕は完全にノストラダムスの預言を信じきり、どうせ滅亡するからと適当に楽しく過ごしていました。
彼女を作ったこともなく焦ってた時期でもあります。
そして1999年12月31日。
いつも集まる友達の家で作戦会議が始まった。

『何しようか？』

『どうせ滅亡するしなー』
『彼女ほしくね？』
『今から無理だし！』

『酒でも飲んでみとく？』
『興味あるけど、ちょっとねー。。。』

とゆうクダらない流れの作戦会議。

『とりあえず外へ出るべ！』
『どこ行く？』

『大晦日といったら…』

『初日の出暴走だべ！』

って事でバイクに乗れるわけもなく自転車3台で二人乗りをし、6人体制で夜23時あたりから近くの海沿いの大通りへ。

寒い中テレビ内の警察24時系のマネゴトをし3台で道路を蛇行し、自転車にはパフパフと音が鳴るものを装着したり自転車を改造してケタケタ笑いながら走ってました。

そして24時の元旦になりそうな頃、ドキドキしながら待っていると除夜の鐘が。

『何か起こるのか!?』

不安と期待で待っていたが、何も起こらず拍子抜け。

『やっぱなんもないね～』
って話していると蛇行してきた道の遥か後ろから明るい光とけたたましい音が。

『あかーん！　ホンモンやー！』

本気の人達が後ろから迫ってきて焦って逃げました。

たいしたオチもありませんが年が
うのは何故かドキドキしますよね

2010年どうでしたか？
2011年はどうしたいですか？

ギルガメッシュ 愁

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第82回 良いお年を！ の巻

絶賛ツアー中。北海道のホテルでこの原稿を打っています。

２年ぶりに訪れた北海道は思ったより雪も降ってないし、思ったよりあったかい。

天気で思い出したが、今年になって、公演当日、雨にふられることはほとんどないのです。

特にこのツアーは前日まで降ってても当日には晴天になっていたりする。

いつやったか、ウチは雨バンドってこの連載で書いたけど完全に汚名返上やね！

まあ、全てはユウが加入してからやから彼の晴天っぷりが凄いってことで（笑）。

それにしてもこれが出る頃には、今年もあと10日ほど。ほんま早いな。

ツアーもひと段落し、残すは年明けの「東京姫始メ６」をのこすのみ。

毎年恒例になってるこの年明けワンマン、来年はこのロングツアーのグランドファイナル的な意味合いもあり、ユウが加入して１周年だったり、ファンクラブが出来て５周年でもあり、そんでもちろんバンド結成９周年でもある、まさにおめでたいづくしの公演なのです。

それにしても毎年恒例というのならタイトルは６ではなく９では？って感じですが、最初の２年と活動を少しおやすみしてた時があって回数的には今回で６回目なのです。

どうやら世間的にはその日成人式のところもあるようです。なので、参加される方、着物での参加大歓迎です。うん、いいねそれ！でも動き辛いかな？

とにかく、我々と一緒に素敵な1年をスタートさせましょう！

今年は沢山ツアーができたし、いいアルバムもできた。そして、たくさんの笑顔に会えました。

2011年もたくさんの素敵な出会いがあるといいな。

ほな、良いお年を！

ちなみに今回でこのコラム、丸７年！　…だったような気がする…。
これからもよろしくお願いします♪

---

heidi.『ハイジのアルプス日記』

第20回：桐

どうもドラムの桐です！
早いもので今回は2010年最後のコラムですね。

2010年はメジャーデビューが出来たり、「heidi.のそれは出来ないよ！」というテレビのレギュラーコーナーをやらせて頂いたりと…。

活動の幅も広がりつつ、おかげさまでとても充実した一年を送ることが出来ました！

2011年もさらに最高の一年にしたいですね。

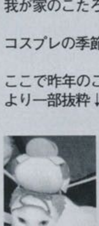
話は戻って年末年始といえば、クリスマスがあったり大晦日があったりお正月があったり…。

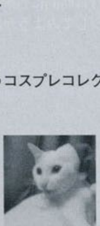
この時期は…

我が家のこたろうの…

コスプレの季節！

ここで昨年のこたろうコスプレコレクションより一部抜粋↓





こたろう白いから何でも似合っちゃう！

今年も何か良い新作かぶりモノがあったら買ってこよう。

ところでheidi.ですが…

2011年の2月2日にはニューシングル

「月光ショータイム」

のリリースが決定しました！

こちらの曲は映画「前橋ヴィジュアル系」の主題歌にもなっていますので映画共々楽しみに待っていて下さいませ。

そんなわけで2011年のheidi.もよ

ドラムの桐でした！

蝴蝶网
hudie.com

Moran Hitomiの

「瞳孔反射」 第33回 『酒は飲んでも飲まれるな』

蓮街では必ずといっていいほど、
各上で寝てしまっている人々を見
大事そうに抱えながら体を丸め
アン、自分の吐瀉物に顔を突っ込
学生、パンツ全開の体勢で顔を
た若い女の子。それでも人は懲
再来週も酒を飲み続けるのだろ
アンもその例に漏れず、酒好きは
なんでここまで皆が皆まで酒好
議に思うほどだ。俺が今まで酒を
てきたバンドマン達の多くは行き
量というものを持っており、朝を
昼までぶっ続けで飲み続けたりす

る。飯も頼まずひたすら酒だけを胃に流し込み、本当に好きなのだなぁとしみじみ感心するものだ。（おかげで俺は周りに気を使って飯を頼めずに困るのだが）しかし中には、破滅的に酒癖が悪かったりする人もいる。今話題の ○○蔵さんも今回の暴行事件を切っ掛けに酒癖の悪さが露見してしまったわけだが、俺の知人にもタチの悪い酔い方をする奴が何人かいる。

まず、絡む人。ひたすら絡む。普段はどっちかっていうと大人しく物腰も柔らかい方なのに、酒が入ると先輩の肩に腕回したりしちゃう。しかも上から目線。誰もが絶対敬語でしか話せないような相手に、「おい○○ちゃん、お酒足りてないんじゃないの〜？」とか言っちゃう。それどころか街中で絶対に絡んではいけない風貌の相手にも絡んだりする。その瞬間周りが凍りつくのは言うまでもない。みんなで宥めようが怒ろうが、アルコールに支配されたそいつには1のダメージすら与えることはできない。他には、酔うと周囲にネタを提供しようとするサービス精神からなのかなんなのか、別卓にいるおばちゃん、挙句の果てにはその辺の通行人（中学生）まで口説きにかかる奴。リアルに不審者を見るような怯えた表情をして走って逃げていく中学生たちの姿を見た時は、真面目に通報されるのではないかと心配したものだ。そういう奴と飲むと楽しいのだが、本当に寿命が縮む。

ちなみに俺はというと、そんなに酒が強い方でもないが、酒癖は悪くないと自負している。摂取量が一定を超えると、壊れるよりも眠くなってしまうのだ。もう10年ぐらい前の話だが、都内で飲んだ後始発で帰っていたときのこと。摂取量がとうに限界を超えていた俺は、とにかく眠くて眠くて仕方がなかった。朝方の下り電車なので車内は人気もなくガラガラ。睡魔は理性を凌駕し、失礼して電車のイスにごろんと横にならせていただいた。（今はそんなことしません）いつのまにか爆睡してしまっていた。ふっと脳が覚醒しうっすらと目を開けると、頭上には、人、人、人。しかも高校生ばかり。混んでいるなんてもんじゃない。そりゃもうギュウギュウのパンパン。俺が占領している座席6つぶんくらいだけが異空間。パニック状態の頭の中、必死に耳を澄ますと「次は○○〜次は○○〜」とアナウンスする声が聴こえる。どうやらとっくに千葉県を通り過ぎ、茨城の方まで来てしまったようなのだ。つまり今この電車は、水戸方面に向かう通学ラッシュ電車へと変貌を遂げていたのである。目を閉じていても、高校生たちのまるで汚物でも見るような視線が全身に突き刺さるのを感じる。ここで目を開けたら負けだ！　そう思った俺は更に小一時間たぬき寝入りをして人出が減るのをやり過ごした。その後も乗り継ぎの度に何度も寝過ごし、地元の我孫子に辿り着いたのは10時を回っていた。通常一時間で帰れるところを、4時間かけて帰ったことになる。今は笑って話せるけれど、その時は本当に恥ずかしかったし、心から酒を恨んだよ。というか酒に飲まれた自分を恨んだ。

こんなふうに誰もが皆ひとつふたつくらいは酒による失敗談を持っているのではなかろうか。多少のハメ外しであれば、「無礼講」の一言で済むのも酒の席の魅力なんだけどね。

でもひとつだけ言っておきたい。これを読んでいる女子！　男子は自己責任でいいとしても、女子は路上で酔い潰れるまで飲むのは絶対にやめていただきたい。冒頭でも述べたように、女子があられもない姿で酔い潰れているのには非常に興醒めするし、それより何より危ない。路上で潰れている子を見つけると、必ずと言っていいほど変な男共が群がっているのだ。一緒に飲んでいた同級生や同僚の男性ならともかく、そこらへんの通行人が足を止め介抱するフリをして、あわよくば持ち帰ろうと躍起になっている。女子の口から吐瀉物の臭いがしたって無問題！　奴等は女だったらきっと何でもいいのである。最低〜と声が聞こえてきそうだが、男も勿論だがそんな状態になるまで酒を飲む女子も女子だ。場の空気を壊すのが嫌だからといって、言われるがままに呑んではいけない。女の子に生まれてきたんだから、最低限自分の身を自分で守れるように適切なアルコール摂取を心がけてほしい。これから忘年会・新年会シーズンだけど、くれぐれも気をつけましょう。

ドールの doll?

第八十七体目 ジュイ の巻

みんな元気かい？

オレは手術も無事終わり、毎日リハビリしながら曲作りをしてるよ。

リハビリって言ってももうだいぶ歌える様になったんだけどね。
最近ようやく失いかけてた自信も取り戻して来た。
今までを後悔してるわけじゃないけど、何でもっと早く切らなかったんだろうと思うくらい手術して良かったって思ってる。

新木場の時にね、最後にオレが言った言葉を憶えてる？

「オレの歌はこんなもんじゃないから待ってて」

あんな喉の状態でも沢山の人が集まってくれて凄く嬉しかったし、凄くライヴも楽しかったから、その分もっと出来る自分を想像したらメッチャ悔しかった。涙もやっぱり流れた。
みんなにこれからしばらく逢えなくなる気持ちと悔しさとか不安とか、色々入り交じった涙。
応援してくれるみんなにこれだけ支えてもらったんだから、だからきっと時が来たら、あの時言った言葉を、必ずみんなの感動に変えるからね。オレ人に借りを作るのちょっと苦手だからさ、そうさせて。

話飛ぶけどね、最近はほぼ自分のペースで何事も進められるから、時間も自分で調整出来るし、何か久々に自由を味わってる。
その中でハマってるものも見つけた。料理と顔文字。

料理に関しては、卵焼きを作ろうと思ったら目玉焼きが出来てしまうくらい、目玉焼きを作ろうと思ったらスクランブルエッグが出来てしまうくらい今まで全く出来なかったんだけどね。今は時間にも余裕あるし、ちょっとチャレンジしてみようかなと。

生活のリズム的にはだいたい8時9時くらいに起きて、作曲する時はパソコンの前で、歌う時は昼くらいにふらっとスタジオに行って、両方ともだいたい6時くらいまで作業してるのかな。そんで料理作る時はスーパーに買い物行って、マックの新作が発売したらマック寄って、今日作るのしんどいなって思ったらコンビニ行って。

料理もね、最初は凄く時間かかるしマズイし、全然だめじゃんって思ってたけど、最近は一時間あれば三品くらいは作れるんじゃないかっていうくらいスピードもスキルもアップしてきた、

気がする…（；´・｀）ってゆーか作るのが楽しくなってきた。

そして顔文字は、ブログの他に最近ツイッターも始めて、そこでテロが変な顔文字を沢山使ってるの見て和んだからそれ見てパクりながら笑、色んな顔文字を自分なりに編み出しては文章の最後にちょこっと添えてる。

そんぐらいかな。

いやしかしもう今年も終わりかあ。12月は時間が勢いよく駆け抜けるからな。
年明け正月仙台帰ろうかな。ばあちゃんの顔も見たいしな。

ハッピーニューイヤーって言ったら、メッチャ頑張りたい。
2011年はそんな年にしたいな。

うしろの正面
—ただしづら—

第138回
by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆さまこんちくわ。気が付けばもう12月…2010年も間もなく終了ですな。僕的には作品づくりやライヴとか、人との出会いや別れとか、何かと印象深い経験の多い一年でした。という事で…今月は個人的な思い出ベスト3の発表です！(笑) まずその一つ目は…「テント②」を始めとした今年のライヴ全てになってしまいますが…今までやった事のないアプローチなども交えて臨んだ結果、新しい発見や手応えを得る機会が多くて実に魅力的なライヴばかりでした。作品を造り上げる喜びとはまた違って、その時・その場所でしか表現出来ないライヴ…という存在は自分にとって不可欠だとあらためて実感しました。二つ目は本当に個人的な事ですが…引っ越し！(笑) それほど遠くへ行った訳でもなければ、大きく環境が変わった訳でもないのですが、やはり住み処が変わるというのは精神的な刺激をもたらしてくれます。ちなみにマリモーランドは相変わらずですが(笑)。そして三つ目は…愛器「白雪さん」との出合い(笑)。やはりベーシストとしては自分のスタイルを表現出来る楽器を手に入れる事もすごく大切だと思っていて、その意味でこの「白雪さん」は自分がベースという楽器に求める要素の集大成的な部分があって愛着もひとしおなので、これからも長く付き合えたら…と思ってます。という事で、正直いい事ばかりではなくて悩んだり凹んだりした事もありましたが、それも前進するためには必要だったんだろうなあ、と今は考えてます。皆さんにとってはどんな一年でしたか？ともあれ新しい年を迎えるにあたって、きっと今年以上に楽しい事が待ってる！と、お互い前向きな気持ちで行きましょう!! …それでは今年もお世話になりました…来年もよろしくです！ あっ、「みらいいろ」も聴いて下さいね(笑)。それではよいお年を…さよーなりー!!

「おすまし白雪さん」

麺は固め!

第151回 by 竹入隆

今年最後の麺！
毎年、一般的に1年あっという間とよく聞くが、自分は
わない…なんてよく書いていたのやけれど、めずらしく
という間やったかも…。
今年は昨年、サードアルバム『男のブギー』でメジャー
して頂き、とにかくライヴをやりたくてライヴ三昧の1
100弱位やったかも（数えてませんが）…（笑）
昔と違って、地方は「土日じゃないと…」ってとこが
平日は東京、週末は地方！という感じでした。それが
じで…。なので、とてつもなく移動が多くて1回に1
動なんてざらで、今年はなんと車で40000キロ移動しま
電車、飛行機での移動もあったので実際はどれ位移動
当もつかないです…。
おかげ様で少しずつお客様も増えてきました。努力をし
れない事も多いのに、結果が伴っている事を実感出来る
まに幸せな事やと思っています…。沢山の仲間、友達も
横の繋がりでまた仲間が出来、そして良いライヴ、イベ
そして新しいお客様の素敵な笑顔を見せて頂ける。
最高です…。
感謝、感謝の1年でした…。
12月22日にタケバン3rd DVD『感謝』を発売させて頂き
男のブギーのレコーディング風景から、ツアー中のオ
プロモーションビデオや新曲2曲のライヴ映像を、1
りました。
今までと、改めて1年の感謝を、
1年かけて…。

感謝を込めて…。

今年1年、本当にありがとうございました。

ほんまに心より感謝しています。

押忍！

蝴蝶网
nudie.com

SHOCK WAVE アポロ Vol.

2011年1月18日(火)高田馬場ARE

★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★

D'eiz/VURNY/Brother/the Dopes./
『ダーリン。』/EAT YOU ALIVE/the fool

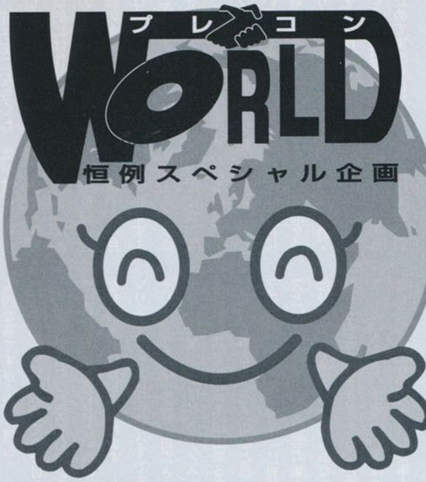
毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！ 1月のアポロもお見逃し無く

チケットは絶賛発売中♪詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3

蝴蝶网 hudie.com



★どもども。ぺろちゃんです。12月です。2010年ももう終わりです。今年も早かったなぁ〜。…なんて、毎年言っているような、てへっ(笑)。さて、SHOXX編集部、遅ればせながら"つぶやき"始めました♪　アカウントは【SHOXX_official】です」！　取材の裏話や最新情報等、ひっそりとつぶやいていますので、フォローしていただけたら、編集部一同しっぽを振って喜びます★(笑)。と、言う事で、今月の画伯さんは…ダウトの幸樹くんです！

1 ViViD

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

2 YOMI(ナイトメア)

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

3 沙我(Alice Nine)

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

G

リフォトを*名様に(どっちが欲しいか書いてネ)
はサインが入ります。

りフォトを1名様に
はサインが入ります。

⑩ NEO VOLTAGE

生写真を3名様に

hudie.com

⑧ Brother

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

⑥ TOON-FACTORY

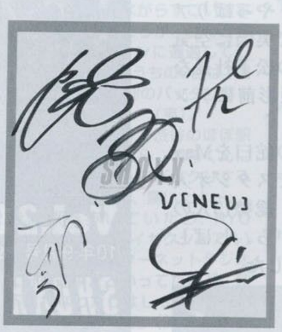
サイン入りフォトを５名様に（誰のが欲しいか
※現物にはサインが入ります。

⑪ ダウト

サイン入りうちわを3名様に

⑨ v [NEU]

サイン入り色紙を3名様に



⑦ DOG inTheパラレルワールドオ

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

イラスト:幸樹(ダウト)

プレコンWORLDアンケート用紙　VOL.216

住所	〒	TEL　（　　）			
氏名	フリガナ		年齢		男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に３つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
(　　　　)(　　　　)(　　　　)

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
(　　　　)(　　　　)(　　　　)

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P140〜141）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピ
●宛先は〒104-8228　銀座６－２－３　Ｄａｉｗａ銀座アネック
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2011年1月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①ViViD　②YOMI(ナイトメア)　③沙我(Alice Nine)　④Plastic Tree　⑤LM.C
⑧ギルガメッシュ　⑨D'espairsRay　⑩陰陽座　⑪摩天楼オペラ　⑫AYA
Speaker's,Inc.　⑭タイゾ&たつひ(ゾロ)　⑮DaizyStripper　⑯HERO　⑰アント
FACTORY　⑲BORN　⑳愛狂います。×R指定　㉑v[NEU]　㉒DOG inTheパラ
オーケストラ　㉓Brother　㉔EXPLOSION SHOWCASE　㉕NEO VOLTAGE
WAVEアポロ　㉗宇宙戦隊NOIZ　㉘PIECElang　㉙SEX-ANDROID　㉚Waive
㉜東京ミカエル。　㉝ダウト　㉞FEST VAINQUEUR　㉟スカーレット　㊱A　㊲アー
㊳Mission in ぼっくん　㊴ロックンロール日記

Vol.217予告

（の主張：お金では買えない価値があるの巻）

21日全国一斉発売！

る日。沙我くんのパーソナル特集の撮影準備で右往左往部のM子。沙我からのリクエストは“水に浸かって撮影!!”だそうで、空気を入れて膨らませる簡易プールを必M子。真冬のこの時期に、ある程度の大きさのプールをのは至難の業。で、M子が何とか見つけたプールがウンる舶来の高級品。M子「もう、これしかないので買っちゃっすかー編集長～」。今月もViViDの撮影でヴィンテージのインを借りるのに大分予算使っちゃったしなー、と一応バンを弾いたのですが、“えっえーい！　今年最後の撮影カーンとイっちゃおー”という事で、ハンコ押しちゃい買っちゃった。

集部に届いたプール。“で、で、デカイっ”。やっぱりアの作るものはスケールがちがう。スタジオで実際に空気みる。子供なら６～８人。高田馬場エリアの松下社長なぐらいは入りそうな巨大プール。なぜだか撮影前にテン上がってくる。

で大きな誤算。巨大にプールが故に、水道の蛇口をMax一向に水が貯まってくれません。準備万端でスタジオ入れた沙我くんでしたが、プールの貯水待ち。総勢15人のはホースからテロテロ流れる水を見つめながら、しばし局、水を張るのに３時間もかかってしまいました。

ら、それから。水位OK！ートッ!!　インクで真紅に染面で、踊るように演じる沙我メラマンの宮脇巨匠のテン昇天寸前！　沙我くんとス最高のチームワークで良い撮た!!　こんなステキな撮影がだから、プールは高くなかっ

これが海を渡ってやって来た高級プールだ!!

&巻頭特集は
Vol.217

ce Nine

この5人からスタートです。お楽しみに!!

ンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝￥140、2冊＝￥220、3冊以上は全て￥450）を加えて、為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3　Ｄａｉｗａ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理ックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターもあります。ご了承ください）。
店でVol.217（1月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.209
10年７月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×怜我（ViViD）■seek

Vol.204
10年２月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムク■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陽座■THE KIDD■メガマソ■人格ラオ■宇宙戦隊NOIZKISAKI

Vol.210
10年８月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■TRIBAL ARIVALL Vol.100レポート■Kagrra,■Kra■Lc5■THE KIDDIE■SuG■長谷川正×コースケ■Over the Edge@OSAKA■12012■boogieman■Mix Speakear's,Inc.■マコト×ユウ■ViViD

Vol.205
10年３月号 ¥980

■カラス巻頭&表20ページ特集YOMI(ナイトメア)The LEGENDASIX NINE■彩冷え■アンティック-珈琲■ミヤ（ムック）Plastic Tree■LM■Alice Nine■ドール■12012■ルガメッシュ■SuVersailles■D'espairsRay

Vol.211
10年９月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ特集■YOMI×RUKA（ナイトメア）対談■シン（ViViD）■Plastic Tree■ムック■LM.C■Kra■D■Versailles■マコト（ドレミ團）■Sadie■ゾロ■ギルガメッシュ■DELUHI■Fatima■BugLug

Vol.206
10年４月号 ¥980

■Alice Nine巻表紙12ページ特LM.C■TLEGENDARYNINE■ナイトメシド■彩冷える■ヴィドール■120■SuG■メガマソレミ團■ギルガシュ■Sadie■TKIDDIE■ViViDロ■DuelJeweHERO■boogiem

Vol.212
10年10月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙14ページ特集■the GazettE■シド■柩&咲人（ナイトメア）■Kagrra,■Lc5■葵 from 彩冷える■LM.C■ヴィドール■SuG■THE KIDDIE■ViViD■ギルガメッシュ■少女-ロリヰタ-23区■heidi.

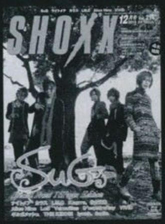
Vol.207
10年５月号 ¥980

■ナイトメア巻頭紙20ページ特The LEGENDASIX NINE■EXTTERRITORIAL■カノン（アンティ珈琲店-）■PlasTree■ムック■D'espairsRaVersailles■Kag■MIX SpeakeInc.■ドレミ團■ガメッシュ

215
¥1200

■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ViViD 8ページBook in Book封入!!■シド■Over The Edgeスペシャルセッション■ナイトメア■ムック■Plastic Tree■Alice Nine■AYABIE■THE KIDDIE■Lc5

Vol.214
10年12月号 ¥980



■SuG巻頭&表紙16ページ特集■LM.C8ページ Book in Book封入!!■ナイトメア■Alice Nine■イガグリ千葉（仙台貨物）■Kagrra,■Lc5■THE KIDDIE■ヴィドール■Sadie■ViViD■Kanon×Kanon■BREAKERZ■jealkb■D'espairsRay

Vol.213
10年11月号 ¥1250

■創刊20周年特別号■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ムック8ページブックinブック封入■シド■ナイトメア■Alice Nine■Plastic Tree■Kagrra,■Versailles■LM.C■SuG■ViViD■heidi.■ギルガメッシュ■THE KIDDIE

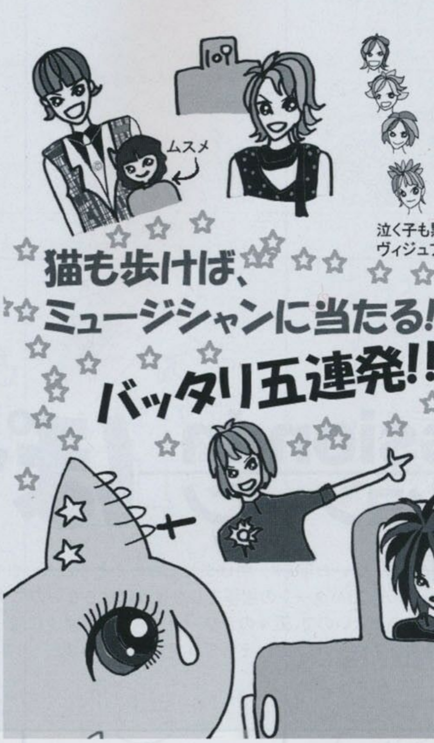
Vol.208
10年６月号 ¥980

■西川貴教×Y(ナイトメア)巻頭紙18ページ特the GazettE竜太朗■heidSadie■TKIDDIE■(Kagrra,)■Kヴィドール■ギメッシュ■ゾSCREW■ドレミViViD■TOCFACTORY■boman■人格ラヂオ

蝴蝶网 hudie.com

大島暁美のロックンロール日記

イラスト：AKEMI O



×月×日

Viju☆Love☆Night#003

今回も、楽しかったよ～！　遊びに来てくれたみなさま、ありがとう!!　回を追うごとに盛り上がってきて、とても嬉しい。#003のラブリーなDJラインナップは、以下の通り。

☆オーロラ三人娘/本誌編集長ポックンが命名してくれた世界初のヴィジュアル系DJユニット（2人組なのになぜ3人？　男子なのになぜ娘？　という質問は、ポックンへ）。早くもこのイベントには、なくてはならぬ存在になりつつある彼ら。自分たちの出番だけではなく、気が向くとドンドン飛び入りして、イベント全体を盛り上げてくれてた。絵になるV☆L☆Nの看板息子たち、どうぞよろしくね！

☆摩天楼シモテーズ（彩雨+燿）/名前の通り、摩天楼オペラの下手に立つ二人のDJユニット。燿くんは前回もDJをやってくれて、楽しさに味をしめたのか（笑）、連続参加。サンタ帽をかぶった彩雨くん、トナカイの角をつけた燿くんと、普段はなかなか見られないキュートな姿で、二人の大好きなヴィジュアル系ナンバーをたくさんかけてくれた。

☆夕霧（DaizyStripper）/終わった後のメールで、「なんだかんだで、いちばん楽しんだ自信があります」といってくれた夕霧くん。なんと会場入りも、忘れ物をして遅れたわたしよりも早く……（笑）。選曲は夕霧くんのルーツがわかる曲ばかりで、まるでライヴみたいに盛り上げてくれた。さらに、摩天楼シモテーズの時にも飛び入り！　熱い男夕霧が、フロアをとびきり熱くしてくれたよ～！

☆宮脇進（Photographer）/1回目に続き、登場してくれた"巨匠"。前回も曲が絞り切れないといって2パートやってくれたんだけど、今回もイベントが始まってからもまだ選曲を続行中。ギリギリになってようやく決まったら、持ち時間を15分以上もオーバーしてた（笑）。その中には、仕事でタイに旅立ったAijiくんが巨匠のためにリミックスしてくれた「CRAZY A GO GO」スペシャル・ヴァージョンも！　Aijiくん、カッコよすぎる～。

☆ヴィジュアル系オヤジ/「俺、何やればいいの？　好きな曲をかけてれば、いいんだよね？」といってたオヤジさん。楽屋に入ってきた途端、打ち合わせもそこそこにミュージシャンとビールを飲み始め、早くもいいテンションになってる。DJの順番がわたしの後だったんだけど、ラストの曲が終わってもあらわれる気配がない。仕方なくマイクで「オヤジさん、出番ですよ～！」とアナウンスしたら、やっと出て来てくれた。予想通り、楽屋で飲んでて、出番を忘れてたらしい。さすが、ドン（笑）。

楽屋には、いろんなミュージシャンが遊びに来てくれてた。マオくん、柩くん、悠くん（摩天楼オペラ）、リョヲ丞くん（少女-ロリヰタ-23区）、マモくん（R指定）、Daikii&Show&Saiくん（LOST ASH）。中でも、いちばんオーラを放っていたのが、髪を立てて登場した恩ちゃんこと恩田快人氏（ジュディアンドマリー～ジャクスン・ジョーカー～プレゼンス）。最近、THE KIDDIEのプロデュースなどもやってるし、ある意味元祖ヴィジュアル系の一人でもあるから、「DJをやってくれないかな？」と思って電話したんだ。そしたら「どんな風にやればいいのか、一度見に行くよ」と、遊びに来てくれたの。実は、前の日は鹿鳴館で自分のライヴだったという恩ちゃん、朝4時まで打ち上げをやってて、起きたらもう3時過ぎだったのであわてて髪を立てたまま駆けつけてくれたんだって。「5時スタートだけど、11時までやってるからもっとゆっくりでもよかったのに」といったら、「いやいや、せっかく誘ってもらったんだから、ちゃんと時間通りに行かなくちゃと思って」と、超ウルトラ生真面目なとこを見せてくれてた。楽屋では、ジュディマリが大好きだというマオくんとずーっと話しこんでたよ。マオくん、恩ちゃんに会うのは3回目だけど、1回目は居酒屋でバッタリ会っただけ、2回目も挨拶しただけだったので、「こんなにたくさん話ができて、とっても嬉しかったです」と目をキラキラさせてた。

Viju☆Love☆Night#004は、2011年1月23日（日）。渋谷SECOにて。今までは第一日曜日だったけど、次回は違うので間違えないようにね～！　詳しくは、http://ameblo.jp/vijulovexをチェック！

☆今月のバッタリくん5連発！

昔、某雑誌の連載ページに、「今月のバッタリくん」というコーナーを持ってた。それは、街でバッタリ出会ったミュージシャンの話を書くというヘンテコなコーナーだったんだけど、その連載が終わるまで約2年間も続いてたの。つまり、毎月一回は道でミュージシャンに遭遇していたというわけで、我ながらすごい確率だなと思っていた。ところが、なんと今月は5回もミュージシャンに遭遇してしまった！　しかも、そのうちの3回は1週間以内に集中と、前代未聞のバッタリ率！　東京の街って、狭いのね～（笑）。

その1.ライヴを見終わって渋谷のほぼ駅前の雑貨屋さんに入ったら、明希くんに声をかけられた。ホントにビックリするくらいフツーに立ってて、驚いたよー。

その2.秋葉原を歩いていたら、RYO（test.No～ZIGZO～バイセクシュアル）くんにバッタリ。インターネットラジオの収録に行く途中だといってたけど、秋葉原が不慣れなわたしはしっかりRYOくんに駅までの道を教えてもらちゃった（笑）。

その3.AXのすぐ近くで、hideki（jealkb）くんにバッタリ。前回のライヴでステージデビューを果たした娘さんも一緒だった。その日はお休みだったので家族孝行してたんだって。

その4.HOT WAVEの公開収録とライヴの間の時間に、メーカーさんとお茶を飲みにカフェに行ったら、入口を入ってすぐのところにDuelJewel御一行様が。さらに、よく見たら、景夕くんと結良くんもいる！　近くのライヴハウスでライヴがあって、空き時間に来てたのらしいのだが、すごすぎる集団だった（笑）。

その5.Viju☆Love☆Night#004の日、ゴロゴロと大荷物を引っ張ってうちの前の道を歩いていたら、走ってきた白い車の窓が開いて「旅行でも行くんですか？」との声。なんとそれは、Manaさまだった。このバッタリには、超ビックリしたよ。だって、前の晩、DJ用の選曲をしようとMoi dix MoisやMALICE MIZERを聞き始めたら止まらなくなって、twitterに呟いてたんだもん。「今日、DJイベントをやるんだけど、Moi dix MoisやMALICE MIZERの曲もかけるよ」といったら、「新譜ですか？」と聞くの。そういえば、Moi dix Moisは12月15日にフル・アルバムをリリースすることになっているんだよね。「昔の曲だよ」と答えたら、「そろそろアルバムのサンプル盤が届くと思うので、次は新しい曲もかけてくださいね～」といって、風のように走り去っていった。Manaさま、相変わらず麗しかったよ～。

×月×日

Alice Nineの武道館用パンフレットの取材で、撮影スタジオへ。すごいセットを組んで、武道館のライヴ衣装を着ての撮影だ。みんな、カッコいい～！　武道館のライヴが、ますます楽しみになってきたわ。

最近、インタビューのバックアップ用にiPadを持ち歩いてることは先月も書いたけど、この日の楽屋のiPad率は高かった。メンバーは虎くん以外持ってるそうだし、スタッフも持ってる人が多い。しかも、みんな黒い純正のカバーをつけてるので、気をつけないと他の人のを持って帰っちゃいそう（笑）。

インタビューは個人ショットの合間に楽屋でやったんだけど、場所が衝立で区切ってあるだけだったのね。つまり、みんなの話し声がまる聞こえで
が録音されるとテープ起こしが大変になって
Naoくんのインタビューの時、衝立の向こう
んがスタッフと騒いでて、何回、「取材中だ
ホなこといってると、全部録音されちゃうよ～
ても、聞こえないみたいなの（涙）。そした
くんが防音するように録音機材の周りに、iP
立てくれた。「壁を作れば、少しはいいんじ
なと思って」というNaoNao、優しす～。

×月×日

知り合いの方に誘われて、プロレス「ゼロ
試合を見に行く。「きっとプロレス、好きな
いかな」と思って、Versaillesの体育系（
くんをお誘いしたら、予想通り、プロレス好
でも、試合を生で見るのは初めてなんだって
サイドの席だったので、場外乱闘になるたび
持って避難しなくちゃならなかったけど、意
しかったよ～。YUKIくんは、前半戦の最後
た「マサト」というベテランっぽいレスラーか
てたみたい。自分の1.5倍はある若いレスラー
ていく姿は、なんか胸に来るものがあった
プロレス初心者のわたしは、「それ以上戦わ
いよ、それ以上やったら死んじゃうよ」なん
たのだが、試合終了約20分後、転換の時に
出たら、「マサト」が笑顔でグッズを売って
撃的だった。席に戻ってそれをYUKIくんに
ビックリして、「マサトの売ってるTシャツか
～」なんていってる。残念ながら、試合が全
た後、ロビーにマサトの姿はなかったので、
も買わなかったんだけどね。初プロレス、楽
らえたみたいで、よかったよかった。

×月×日

2日続けて、摩天楼オペラの取材。1日目
ナ37℃、2日目はHOT WAVEの公開収録。
デビュー・アルバムのプロモーション期間だ
材攻めだったみたい。
公開収録の打ち合わせの時、「僕たち、あま
いと思います」といってたのに、本番になっ
かのトークセンスを炸裂させ、時間切れにな
なったのは笑ったよ。次の取材が、楽しみだ

hudie.com

…ssion in ぽっくん

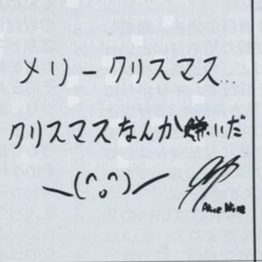
蝴蝶网
hudie.com

…ャ！　よいお年を!!　明けましておめでとうございます!!!　12月21日発売のこの…いっぺんに3パターンの挨拶をしなければならないのです。とはいえ、いっぺんに3つ…にはいかないので、近々のメリークリスマスのネタに絞って、ミュージシャンにクリ…を書いてもらいました。それでは早速いってみよーっ!!

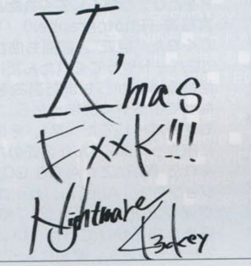
…藤ケンケン
(…stic Tree)

長谷川正
(Plastic Tree)

有村竜太朗
(Plastic Tree)



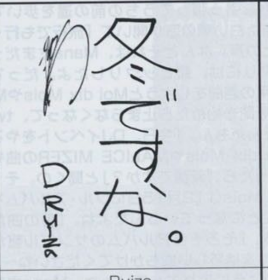
沙我
(Alice Nine)



YOMI
(ナイトメア)

…sunehito
(D)

HIDE-ZOU
(D)

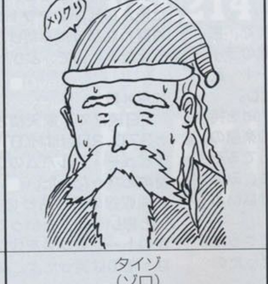


Ruiza
(D)

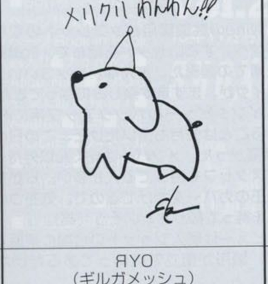
ASAGI
(D)

ナカヤマアキラ
(Plastic Tree)

たつひ
(ゾロ)

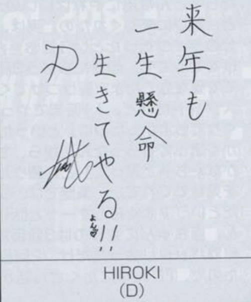


タイゾ
(ゾロ)



ЯYO
(ギルガメッシュ)

愁
(ギルガメッシュ)

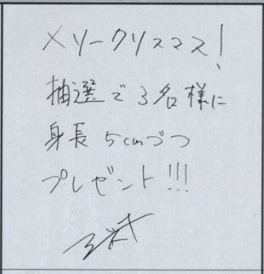


HIROKI
(D)

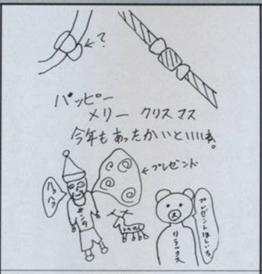
hudie.com

ANGEL-TAKA
(宇宙戦隊NOIZ)

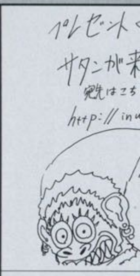
メイ
(DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)



ミズキ
(DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)



準々
(DOG inTheパラレルワールドオーケストラ)



春
(DOG inTheパラレルワ

幸樹
(ダウト)

YAMATO
(宇宙戦隊NOIZ)

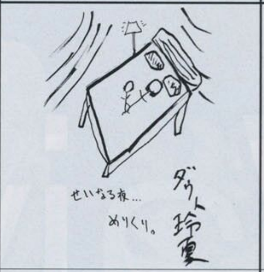
叫
(宇宙戦隊NOIZ)

MASATO
(宇宙戦隊NOIZ)

呼太
(宇宙戦隊

郁磨
(アンド)

ミナセ
(ダウト)

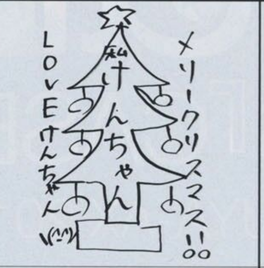


玲夏
(ダウト)

ひかる
(ダウト)

威吹
(ダウ

KAJI
(アンド)



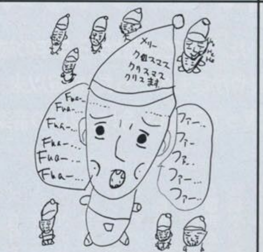
けん
(アンド)

PECO
(アンド)

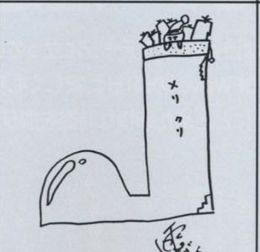
キリ
(アン

ゆーいち
(TOON-FACTORY)

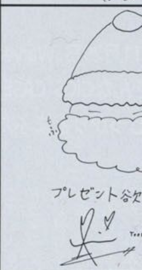
レガ
(TOON-FACTORY)



夢叶
(TOON-FACTORY)



雫
(TOON-FACTORY)



ひかる
(TOON-FAC

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま～す。欲しい人は143ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あな の住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F音楽専 「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2011年1月21日（当日消印有効）です。

破壊・完結・それから...
最後のパフォーマンスをレポート。

Waive

蝴蝶网
hudie.com

Waive GIGS『CASE OF Waive』
Live at SHIBUYA-AX 2010年11月29日

もう一度巡り会う奇跡を信じて。

11月29日、Waiveは渋谷AXのステージに立っていた。そこで、解散から５年の歳月を経て行われた再演、再々演が完結したのだ。そんなGIGS『CASE OF Waive』の最後は、寂しくも爽やかなものだった。結成以来、彼らが作り出し続けてきた珠玉の楽曲を味わい、しっかりとまぶたにとどめた幸福な時間を振り返ってみたい。今は、彼らの音楽を聴き続けながら、もう一度巡り会う奇跡を信じている。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

ここ数年、復活ブームと言われるほど、たくさんのバンドが復活を果たした。一度きりの復活ライヴもあれば、活動を再開したバンドもある。Ｗａｉｖｅは思いがけなく再演を果たし、さらに思いがけなく再々演を行い、そして今日、その姿を私たちの目の前から消そうとしている。

そんな感傷に浸っているうちに、オープニングＳＥが流れ、メンバーがステージにそろった。一瞬の沈黙。杉本のギターがライヴのスタートを告げ、「バニラ」が始まった。いきなり銀テープがはじけ飛び、会場全体に光があふれ、まばゆく輝く。４人の姿は、その光のせいだけでなく、清々しいほどに輝いていた。固くなることもぎこちなくなることもなく、彼らはいたって自然に最後のステージを迎えていた。

最初のＭＣで、リミッターをはずそうと行った田澤の言葉が合図だったかのように、「Lost in MUSIC.」から一気にはじけ出すオーディエンス。サウンドの勢いも増す。思わず一緒に口ずさんでしまうような曲が次から次へと続き、ひとつひとつじっくりと耳を傾けた。ステージには丁寧なプレイが、フロアには精いっぱいのノリが見られ、会場全体に楽曲を愛おしく思う気持ちが溢れていたような気がする。それは、Ｗａｉｖｅというバンドが生み出した幸せな光景だ。

優しく切なく、こぼれんばかりの想いが感じられた「春色」。その懐かしさは全く色褪せない「TRUE×××」。伸びやかな明るさに幸福感が相まった「Message~小さな手紙~」。どれだけ素晴らしい楽曲の数々を彼らは残してくれたのだろう。一曲一曲、一瞬一瞬がもったいないほどに大切なものに思えた。そこへ、ちょっと得意気な表情で貳方が「君と微笑おう」を始め、そして次に、高井が「ASIAN「noir」GENERATION」を始め、会場は妖しく真っ赤に燃える世界に包まれる。「ドミソファイター」の、「ドー、ミー、ソー」とひたすら叫ぶサビは、何度聴いても個性的で、小さな笑いを誘ってくれた。

けれども「spanner」が始まると、心が穏やかでいられなくなるように感じた。ひとりの心に届いていく。この切なさだけは、ずっとずっと忘れられないでほしい。そう心から願った。

杉本がいつもの調子でＭＣを始め、自由気ままな話が続く。そんな笑いの中にも、「いいツアーが回れた」という言葉が聞けたのは素直によかった。５年前のあの日にはもう戻れないのだから、せめて少しでも笑って、今日を終えてほしい。そのための再々演である。そして、そのときは近づいていた。

気合いを入れ直して、「あの花が咲く頃に」から始まった後半戦。楽しみ尽くそうと言わんばかりのノビノビとした空気が広がる。その空気は暖まり、熱くなり、熱気で満たされる。「ネガポジ」が始まる頃には、４人が同じ方向を向いて、このステージに立っているような気がした。５年前一度バラバラになった彼らなのだから、それは希望的観測なのかもしれないけれど、ステージに在ったのは、自分たちの楽曲に真摯に向き合う４人の姿だった。コール＆レスポンスが続く「ガーリッシュマインド」の途中、杉本がフロアへダイヴする。ステージもフロアも、頂点を求めてどこまでも熱くなっていく。これがもう最後なのだから。

最後は、煌々と照らされる光の下、「いつか」が始まった。たくさんの手と大きな歌声がステージへと届けられた。４人は穏やかな笑みを浮かべ、この瞬間を噛みしめる。４人は同じように、各々が全力を出し切って、ステージを後にした。

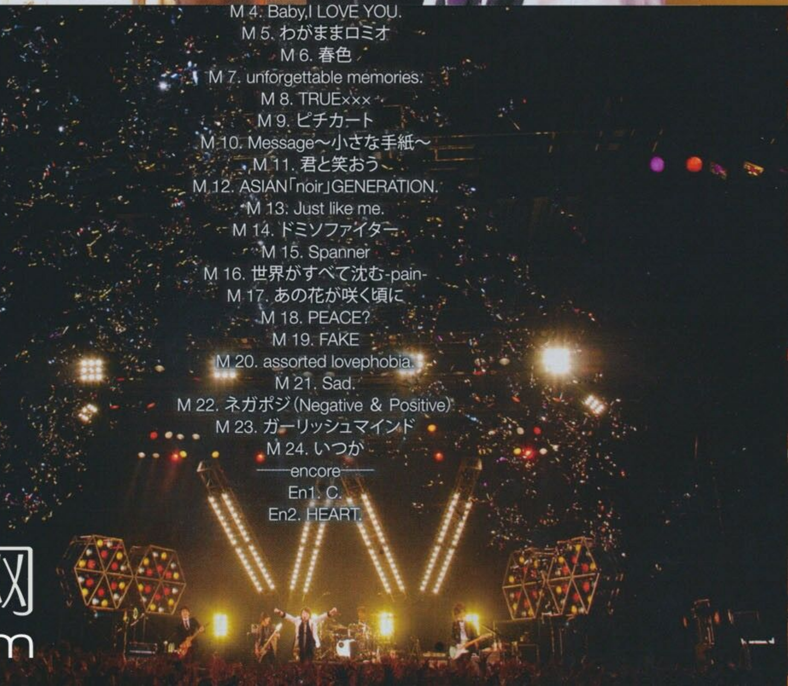
アンコールで再び現れた４人が、ひとりずつ今の気持ちを口にする。杉本は、「どう解釈してもらってもいい、またこの面子で会いましょう」と言った。そして始まったのは、「HEART.」。もう一度巡り会う奇跡を信じたいという歌詞のとおり、奇跡を信じてもいいのではないか、ステージの４人を見ながら、そう思った。

全てが終わり、田澤と杉本が残る。ここで二人が握手をするような、安っぽいドラマみたいな展開はなく、微妙な距離間が感じられたことこそ、心地よい真実の姿だろう。

誰もいなくなったステージに向けて、「いつか」の大合唱が響く中、Ｗａｉｖｅの

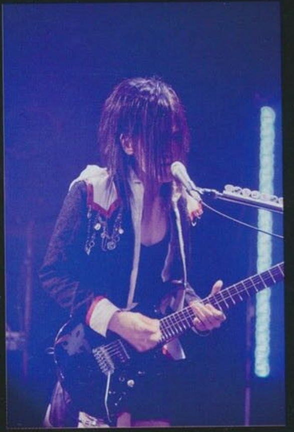
Waive GIGS『CASE OF Waive』

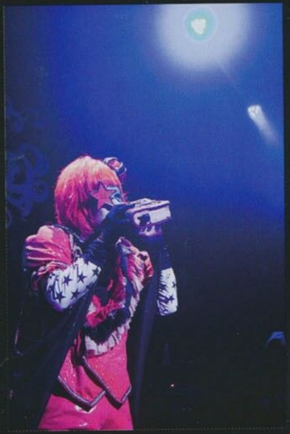
ive at SHIBUYA-AX 2010年11月29日



【SET LIST】
M1. バニラ
M 2. will
M 3. Lost in MUSIC.
M 4. Baby,I LOVE YOU.
M 5. わがままロミオ
M 6. 春色
M 7. unforgettable memories.
M 8. TRUE×××
M 9. ピチカート
M 10. Message～小さな手紙～
M 11. 君と笑おう
M 12. ASIAN「noir」GENERATION.
M 13. Just like me.
M 14. ドミソファイター
M 15. Spanner
M 16. 世界がすべて沈む-pain-
M 17. あの花が咲く頃に
M 18. PEACE?
M 19. FAKE
M 20. assorted lovephobia.
M 21. Sad.
M 22. ネガポジ(Negative & Positive)
M 23. ガーリッシュマインド
M 24. いつか
——encore——
En1. C.
En2. HEART.

蝴蝶网
hudie.com





NoGoD

ONE MAN TOUR~2010~【欠片】FINAL 【結晶】

蝴蝶网 hudie.com

2010.11.13　東京キネマ倶楽部

進化／深化を遂げた、"結晶"という名の集大成

8月4日にリリースされたメジャー 1stアルバムと同タイトルを冠したワンマン・ツアー『欠片』が、11月13&14日・東京キネマ倶楽部2days公演にて終了した。これまでのNoGoDの集大成的なメニューを組んでいたという初日、新曲も交えた未来のNoGoD像を見せた2日目と、彼らの成長を存分に伝えるファイナル公演となった。ここでは、初日【結晶】の模様をお伝えする。

Photography:HIDEMI OHTSUKA
Report:RIE MAKINO

…せと君に捧ぐ涙
…サァカス
12. 最高の世界
13. 慰みの空
14. 敬虔
15. カクセイ
<encore Ⅰ>
16. 地獄蝶
17. 激烈叫喚乱痴気教
18. 君に贈るいつまでも消えない詩
19. アイ
<encore Ⅱ>
20. NoGoD

蝴蝶网
hudie.com

団長(Vo)

Kyrie(Gt)

Shinno(Gt)

華凛(Ba)

れる中、メンバーの登場に歓声が上がる。〝さぁ、行くぞー!! トーキョー!!〟という団長の第一声で、ヘヴィなロックチューン「心臓」からスタート。〝もっと来いよ!〟と煽り立てる団長に、気合いの入った喚声とヘドバンで応える信者たち。続いて「緋キ日ノ誓イ」と、アルバム『欠片』の世界観をそのまま再現しながら、加速度を上げて飛ばしていく。ここでまず、これまでの彼らとの違いを感じたのが、〝音〟で信者たちを引っ張っているところ。制作時点でのNoGoDのすべてを詰め込んだ『欠片』を完成させ、9月4日・渋谷クラブクアトロから始まった全国ツアーを通し、より強靭なバンド・サウンドを手に入れたようだ。そんな圧倒的な音圧とメンバーの勢いに触発され、信者たちは一心不乱に身体を激しく揺らした。

〝本日はメジャー初ワンマン・ツアー【欠片】初日、ようこそご参拝くださいました!! 私たちがこのツアーで何を得たのか、そして何を失ったのか(笑)、その答えが今日明らかになるイエーイ!!〟というMCを挟み、『欠片』収録の「果実は嗤う」「蝋翼」からミディアム・ナンバーの数々を披露。歌を口ずさみながら楽しそうにタイトなリズムを刻むK。ニコニコ笑顔とは対照的に、野太いベースラインを奏でる華凛。バッキングギターをメインに楽曲に彩りを添えるShinno。速弾きなどの高度なテクニックを散りばめながら7弦ギターを巧みに操るKyrie。そして、衣装を洗濯してご機嫌な団長は、低音ヴォイスから高音シャウトまでいつにも増して伸びやかなヴォーカルを聴かせた。中でもKのドラムから始まった「紫班」では、華凛→Kyrie→Shinnoと、それぞれの観せ場がさり気なく作られていて、団長の美しいハイトーンヴォイスも場内に冴え渡った。実はこの日、団長曰く〝東洋の錬金術センター、ドン・キホーテ〟でKyrieが購入、プレゼントしてくれたという『魅惑の美声』を飲んだのだとか(笑)。

〝今日は心の底から楽しんでくれ! 最後まで祈れますか?〟と問うと、信者たちは力強く拳を振り上げて応えた。そして、ヘドバン必至の「懐疑」を激しく歌い上げた団長は、ふらふらした足取りでステージを降りていった。真っ暗となっると各メンバーにスポットライトが当たり、Shinnoと華凛も加わり、壮大なインストゥルメンタル曲「君がくれた幸せと君に捧ぐ涙」がドラマティックに演奏された。雰囲気は一転、サーカス小屋の賑やかなSEが流れると、東京キネマ倶楽部ならではの、メイン脇の小高い小ステージから団長が突如現れ、「万黒深層大サァカス」で後半戦スタート。NoGoD節炸裂、王道の「最高の世界」、クリーントーンのアルペジオギターと低音のゆったりした歌声が印象的な「慰みの空」と続いた。そして、〝お前たち、暴れる準備はいいか? トーキョー!! 飛ばして行こうぜ!!〟という言葉通り、重低音の効いた迫力あるサウンドに乗せて、本編ラスト「カクセイ」までたたみ掛けるようにNoGoDの〝教え〟を説いていった。

「地獄蝶」から始まったアンコールは、本編を凌ぐメタル魂炸裂のアグレッシヴなパフォーマンスで、信者たちもココロとカラダを解放していった。そして、〝このツアーでね、私たちはかけがえのないものを手に入れましたし、大切なの1つの曲を温めてきました。俺たちのすべてが詰まったこの曲を聴いてもらいたいと思います〟と神妙な面持ちで語った団長。〝本当にやるの?〟というKyrieの問いかけをスルーし、演奏されたのは、「抱きしめてトゥナイト」というオリジナル(?)曲。どこかで聴いたことのあるフレーズが散りばめられ、団長が声高らかに〝Kyrie!! Kyrie!!〟と連呼する歌に、信者たちも大爆笑だった。アンコールラストを飾ったのはやはりこの曲、「NoGoD」。〝お前らの信仰心、確かにもらったぜ! 俺たち、そしてお前たちがNoGoDだー。最高の空間をありがとう!!〟と言い、『欠片』ツアー・ファイナル1日目【結晶】は幕を閉じた。こうして明らかに進化/深化を遂げた、〝結晶〟という名の集大成をまざまざと観せつけたのだった。2011年2月12日には渋谷O-WESTにて、〝NoGoD PREMIUM SHOWCASE LIVE'11～EAST&WEST～【NOGOD BLESS YOU ★EAST ACTION★】〟と題した単独公演が決定し、新たな局面を迎えるであろうNoGoDにさらなる期待をしたい。

東京ミカエル。

求めてきたものの答えとは——アルバム『LOVE.』完成

東京ミカエル。待望の2ndフル・アルバム『LOVE.』がついに完成。今作は、彼らがずっと追い求めてきた“人間らしさ”がギュッと詰め込まれている。それだけに、全曲聴き終わった後、優しさが身体を包みこむはずだ。今回のインタビューでは、曲に対する想いを中心に話を進めた。また、先日行なわれたワンマン公演で発表された重大発表についても訊くことに。彼らの今の率直な気持ちとは——。

Interview:ERI MIZUTANI

蝴蝶网
hudie.com

やりたいことをやった結果、“東京ミカエル。”を表現できた

——2ndフル・アルバムが完成しました。

真田一航（以下、一航）：1stフル・アルバム『35・6℃』を作った時、すごく良いアルバムが出来たなと思ったんです。それなので、『LOVE.』を制作する

たんです。

——作品全体から人間らしさが滲み出ていると感じました。

雛形ゆえ（以下、ゆえ）：やっぱり、自然と出したものって、いちばん自分っぽ

やっちゃいけないんじゃないかとか、いろいろと考えたりもしたんですよ。けど、そんなこと関係ないって思ったら、必要なことが見えてきたというか。それで、納得の出来るギターが弾けたんだと思い

よ。初めてアルバムを作った時は教わることだらけだったけれど、ここでは、そういった反省点を活かすことが出来たので。そう考えると、レコーディングに対する姿勢はかなり変わってきたなって。

——それでも、今まで以上に良いノリが出ていますが。

カナタ：緩菜くんがどう攻めてくるかっていうのが、言わなくても分かるようになってきたんですよね。

蝴蝶网
hudie.com

ない音が頭の中を流れるんですよね。それをしっかりと形付けていくっていうのが僕の作業でした。

――こうして、それぞれに見えたことを形にした結果、『LOVE.』が出来上がったと。では、せっかくですので、1曲目から紹介していただきましょう。

一航：昔、『体温』という作品を出した時に、「カルマの翼」という曲があったんですけど、それのアンサーソングとして作ったのが、この「Over」でして。物語は、空を自由に飛んでいた鳥（＝主人公）が出てくるところから始まります。ある日、彼は、道を歩いていた女の人に恋をして。「私も空が飛びたい」と言われ、片方の羽を差し出すんです。けれども、そのことが、自分と女の人を苦しめら、羽を全部あげて、向こうから会いにきてもらおうと彼は考えた。しかし、羽を手にいれたことで、彼女は自分の元から羽ばたいていってしまうんですね。そのツラさを乗り越える…という意味で、今回の続きを描いたんですけど、壮大な曲調とうまくマッチしたなと思います。

――2曲目は「ハピネス」。これは既存曲ですね。

ゆえ：この曲は、自分たちにとって新しい挑戦でもあった曲なので、アルバムにも入れてみようということになりました。改めて聴くと、ずいぶんと馴染んできたなと思いますね。最初は、ライヴでもどう表現していこうか迷ったんですけど、今では、これがないとダメだ!って言えるぐらいの曲に成長しましたから。

雛形ゆえ Gt　眞田一航 Vo
一ノ瀬緩菜 Dr　南条カナタ Ba

カナタ：今まで、東京ミカエル。が出す曲って、縦ノリのものが少なかったように思うんです。なので、そこを一航くんにリクエストして。

ゆえ：それで、リフで押し通す曲になったんですよ。ギターとベースのユニゾンも聴きどころになっているので、注意して聴いてもらえると嬉しいですね。

――「溶解液」は、曲はもちろんのこと、タイトルのセンスにやられました。

一航：落ち込みすぎて何もやる気がせず、ベッドに横たわったまま溶けていくっていうイメージで付けたんですよね。ちなみにこれ、アルバムの中でいちばん古くに出来ていた曲なんです。

緩菜：今までのシングルの選曲会の時、必ずといっていいほど出てた曲なんです

LAST ONEMAN TOUR『ロストキャンバス』
2月11日（金）HOLIDAY NAGOYA、19日（土）静岡サナッシュ、20日（日）HOLIDAY OSAKA
LAST ONEMAN LIVE『僕から君に贈る唄』
2月28日（月）渋谷O-WEST
東京ミカエル。主催イベント『パレット』
1月8日（土）HOLIDAY SHINJUKU、15日（土）HOLIDAY NAGOYA、1月16日（日）HOLIDAY OSAKA

カッコいいと思いませんか？

緩菜：けど、深すぎてシングルだと伝わりきらないかなって。だから、これはアルバムだからこそ映える曲かな。

一航：それ、ゆえくんも言ってくれた。その瞬間、震えましたね（笑）。

ゆえ：それを言ったら、「飛べない鳥」も。これ、確か結構前に出来た曲だよね。

――出してこなかった理由としては？

ゆえ：当時の自分たちには表現しきれなかったというのが大きかったかな。そういう引っ掛かりが取れた今、入れることになって。

カナタ：ここでは、奇跡的なベースを弾くことが出来ました。

一航：僕、アルバムの中で「飛べない鳥」のアレンジがいちばん好きです。

――続いての「カレイドスコープ」は、どこまでも爽快な曲。これ、個人的にとても気に入っています。何だか、「ハピネス」と似たような空気感を持っているんですよね。

ゆえ：そこは意識したところでもありますね。

一航：次にシングルを出すなら、これかなって言っていたぐらいですから。

――そうでしたか。

ゆえ：それもあって、アルバムの前半をシメる位置に入れたんですよね。

――面白いのは、次の「ヤッホー」で、遊び心をふんだんに盛り込んでいるところです。

ゆえ：普通、シングル候補だった曲の後にこんな曲入れないですよね（笑）。

――『35・6℃』に収録されていた「ぐるまき」を思い出します（笑）。

一航：悪ノリっていうんですかね、そういうの大好きなんで（笑）。

――だからこそ、「拒絶本能」が引き立つというものです。

一航：ライヴでこそ引き立つ曲ってこういうものなのかなって。それは、「死ぬこと」と「雪唄」にも言えることですけど。この2つは、簡単に言ってしまえば、歌モノなんですけど、すごく良いんじゃないかな。

ゆえ：これらの曲は、第一印象で、良いい浮かびません。

一航：ありがとうございます、時間がない中、頑張った甲斐がありました（笑）。

――さらに、ラストの「ドキドキ」は、名曲だと思います。この瑞々しさに泣きました。

緩菜：同じく。歌取りの時なんかヤバかったです。

カナタ：俺も！ 俺も！

ゆえ：実は僕も、この曲を聴いて1人で泣いてしまいました。

一航：自分で言うのもなんですけど、これがアルバムの最後に入った時、これは最高の音楽だって、言葉を失いました。

ゆえ：ここに向かってアルバムを作っていったっていうのもあったので、みんなのお気に入りの1曲です。

一航：自分たちらしさが存分に出ていると思います。こうして全曲聴いてみると、良いアルバムが出来たなって。

――聴き終えた後、爽やかな余韻が身体の中を駆け巡りました。それだけに、解散を決めたことが悔やまれます……。このことは、先日行なわれたワンマン公演で発表されましたが、今の率直な気持ちを聞かせてもらえますか。

ゆえ：解散に踏み切ったのは、メンバーの脱退により。それを分かった上で、このアルバムを作ったんですね。だから、後悔したくないっていう想いがあったし、それを込めて、やりたいことは全部やってやろうって思ったんです。

――この10年間、みんなはずっと〝東京ミカエル。とは？〟ということを追い求めながら活動してきました。その答えが、この『LOVE.』に詰まっているのではないかと思うんです。

ゆえ：まさにそう。これでしか表現できなかった。

一航：…答えを出せたかどうかはまだ判らないけど、自分たちのやりたいことをやった結果、〝東京ミカエル。とは、こういうバンドです〟っていうのが表せたかなと。解散に関しては、その日が来るまで実感が沸かないんだろうけど、最後まで全力でやっていこうと思います。

蝴蝶网
hudie.com

ダウト

者修行47都道府県ツアー”、49本完遂!!

のライヴツアー、ダウト武者修行47都道府県ツアー「LIVE BAND TOUR '10」。前号では、メンバーそれぞれに前半
返ってもらったが、今回も引き続きツアーの裏話に迫ります。後半戦では一体、どのようなことが起こったのか。
ろ2011年1月5日・赤坂ブリッツでのワンマンのみ、さらに嬉しいサプライズ報告も含め、メンバーに全員に訊い
す!

Interview:ERI MIZUTANI

―ツアー後半戦が終わりましたね。

幸樹：個人的には、アーティストとしての表現の仕方を目標に、ツアーを廻っていたんです。1つでも多くの技を増やせたらいいなと思ってやっていったんですけど、試行錯誤した甲斐あって、自分の中で何か見えた気がします。

―幸樹さんが後半戦で印象に残っている土地というと？

幸樹：地元の神戸ですかね。その日のライヴ、何と、おばあちゃんが来てくれていたんです。しかも、ちょうど自分の目線と同じ位置で座っていて。これはもう、緊張しないはずがないっていう（笑）。

―確かに（笑）。

幸樹：でも、喜んでくれていましたね。1曲目からハンカチで目頭を押えてましたから。それも含め、このツアー、本当にやって良かったです。数とかじゃなく、自分たちが得たものも多かったし。そう思うと、大成功でした。

―良い思い出になりましたね。玲夏さんはいかがですか？

玲夏：後半戦は、ファンの子たちとの一体感がより出ていたと思います。アーティストが頻繁に来ない地域では、ファンがどうやってノレばいいか分からないんじゃないかと思って、自ら率先して盛り上げていきました。どうしたら手を挙げてくれるか、声を出してくれるか…ってことを第一に考えながらライヴに挑んで。

―それは良い心掛けです。

玲夏：中には、初めて観るアーティストがダウトっていう子もいたかもしれない。だからこそ、自分たちが楽しまなければ、観ている人も楽しめないだろうという気持ちでやりましたね。

ひヵる：だから、僕は立ち方ひとつにしても気をつけていましたね。細かいかもしれないんですけど、ステージングは一瞬一瞬が大事になってくるので。

幸樹：じゃあ、最後に編み出されたアレは何なの？

玲夏：あぁ、〝ほほほーい〟？

―何ですか、それ？

玲夏：いや、何か、ひヵるがそういうステップを踏んでたんですよ（笑）。

幸樹：まぁ、出来ないのか、しないのかっていう…（笑）。

―確実に後者な気が…（笑）。話は戻りますが、ひヵるさんは、このツアーを通して、自分なりのスタイルが築けたと感じているようですね。

ひヵる：もっと詰めていかないといけない部分はあるんですけど、だいぶ見えてはきました。あと、今回のツアーは、他のバンドさんから受けた刺激も大きいと思うんです。それで、自分のスタイルを見つめ直したって感じですね。

―聞くところによると、リハの段階から他のバンドもステージをチェックしていたとか。

幸樹：実際、すごく近い距離で観られていましたね。そうすると、こっちも触発されるんですよ。すごいところを見せないと！って。

玲夏：やっぱり、絶対に負けたくないっていう気持ちでいかないとダメだと思うんですよね。

幸樹：そうそう。仲がいいだけじゃ、向上はしないと思うんで。だから楽屋でも、〝今日は絶対に負けないからね〟って実際に言ったりして（笑）。

―ライバルがいると、普段持っている以上の力が発揮できますからね。

玲夏：そういった面では、イベント・ツアーで良かったなって思います。

威吹：そのせいか、後半戦は前半戦よりも早く過ぎた感じがします。ツアーの流れが掴めてきた分、1日の流れがスムーズだったし、濃密な時間を過ごせましたね。あと、地方の最終日に、対バン相手と打ち上げをしたんですけど、〝そっちのバンドはみんなまとまっているね〟って言われたんですよ。

―それ、最高の褒め言葉ですよ。

威吹：嬉しかったです。でも、それは俺も相手に対して思っていたことだったので、その時改めて、お互いに良い刺激を受けていたんだなと感じましたね。

幸樹：そう思うと、やっぱりイベント・ツアーにして良かったな。

ミナセ：意外とタフに廻ることが出来たしね。威吹も言ったけど、とにかく、時間が過ぎるのがあっという間で。スケ

て。感覚が鈍ることなくライヴが出来ましたからね。でも、最後に近付くにつれ、だんだんと寂しくなってくるんですよね。地方を廻るのもこれで終わりかって思ったら、何だか…ねぇ。

——充実していたからこそ、そう思えるんだと思います。ミナセさんは、後半戦でどこが印象に残っていますか?

ミナセ：京都ですね。地元っていうのもあるんですけど、多くの人が集まってくれて嬉しかったです。あと印象的だったのは、ライヴハウスに入るまで誰一人若者を見かけなかった地域。本番になって、

1105@OSAKA

1103@NARA

1102@SHIGA

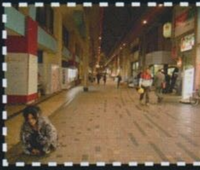
1110@TOKUSHIMA

1109@HYOGO

1107@WAKAYAMA

1106@KYOTO

1113@KOUCHI


1112@KAGAWA

1116@OITA

1114@EHIME

1119@MIYAZAKI

蝴蝶网
hudie.com

1117@FUKUOKA

長く続いたツアーで、何かが見えた

ジュールを見てみると、全くと言っていいほどオフがありませんね。

ミナセ：ライヴ後に移動して一晩明けたらライヴハウスって感じでしたからね。

ひかる：けど、ご当地のグルメは意外と満喫できたんですよ。

——やはり、健康に食は欠かせませんか。

ひかる：健康第一が目標でしたから。なので、一生懸命頑張りました（笑）。

——そうそう、前回のインタビューで、ツアーの合間をぬって新曲を作っているとおっしゃっていましたよね。

幸樹：俺、2曲出来ました。

——それは素晴らしい!

幸樹：でも、それをメンバーが超良いって思ってくれるかは、また別の話で（笑）。

——これからのダウトが楽しみですよ。これだけ多くのライヴを重ねたのだから、成長していることは確実でしょうし。

幸樹：3月4日には活動4周年を迎えるので、もっと成長したダウトを見せたいなって。

——しかし、新作に取り掛かっているということは、引き続き、お休みはナシと。

分の感覚が鈍ってしまいそうで怖いんです。良い意味での危機感っていうんですかね、そういうのもあるし。何か、今ここで遊んでいたら、あとで跳ね返ってくるんじゃないかとか考えてしまうんですよね。

——『アリとキリギリス』を思い出しました。

幸樹：だから、常にバンドのことは考えています。所ジョージさんも言ってましたよ。"仕事がうまくいく人は、オフも充実してる"って。

ひかる：どっちかだけじゃダメなんだ?

玲夏：本気で遊べる人は、仕事に対しても本気だってことじゃない?

——ということは、幸樹さんはその言葉を胸に刻んでバンド活動を頑張っていると（笑）。

幸樹：もちろん、そうですよ（笑）。でも、俺の場合はバンドが娯楽でもあるんで、そこら辺はうまいことバランスが取れているかなって。

玲夏：コラッ! 遊びでやるなっ!!

幸樹：怒られたし。

一同：あははは（笑）。

玲夏：でも、このツアーを経て気付いたことは、みんな頑張っているなぁって。ライヴを重ねる度に、ダメだったところが1つずつクリア出来ているんですよ。

ミナセ：それにより、強くなってきたと思います。ホント、意識は高くなっているんじゃないかな。

威吹：バンドもそうだけど、個人的にも野心がさらに芽生えましたね。今までよりも自分を見せていきたいって思えるようになったんです。

ひかる：僕も同じ気持ちですね。だからこそ、あれもしてこれもしてみたいな中途半端にせず、1つのことを突き詰めていきたいなって思うようになったんです。そうすることで、次のステップへと行ける気がして。なので、今は目の前にあることを確実に極めていきたいですね。

——それにはまず、来年1月5日に行なわれる赤坂ブリッツのワンマンを成功させないといけません。

幸樹：これは、長く続いたツアーの千秋楽でもありますからね。

玲夏：意気込みは充分なので、当日は、ツアーで得た成果をお見せしたいと思います。

幸樹：そして、ここまでが49本目。で、何かキリが悪いなぁと思ったので、この後すぐに50本目のライヴをやろうかなぁ…なんて。

——おぉ、まさかのサプライズ! 併せて楽しみにしております。

幸樹：ぜひ。これからも、良い意味で、どんどん驚かせていきますよ。

1124@SAGA

1123@NAGASAKI

1121@KUMAMOTO

1120@KAGOSH

1128@OKAYAMA

1127@HIROSHIMA

1126@YAMAGU

1201@TOTTORI

1130@SHIMAN

SHOXX 誌上限定オムニバスアルバム
2011年次世代シーンを担うバンドが一堂に会し、強固なシーンを形成していくであろう注目オムニバス
「Explosion showcase」
価格3,360円(税込) 二枚組仕様 未発表曲、入手不可能音源等全31バンド収録
2011年2月上旬発送開始!!
MAIN DISC
-Paradoxical Alliance-
凛
Unsraw
己龍
Megaromania
VII
Lycaon
ALSDEAD
SATSUKI
BONUS DISC
-expect meeting-
Iam.
Tu[ism]-トゥイズム-
我羯道
Swallowtail-スワロウテイル-
MoNoLith
RED universe
SCAPEGOAT
dolore
Secilia Luna
Pan-d-ra
Zig+Zag
Vallquar-ヴァルキューレ-
M
Re:dis
Rubik
Amber Bullet
蝴蝶网
hudie.com

9.お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】 10.ALSDEAD 11.DIAURA 12.シンディケイト 13.ArtCube
14.Para:noir 15.砂月

9.Secilia Luna 10.Pan-d-ra 11.Zig+Zag 12.Vallquar-ワルキューレ-
13.M 14.Re:dis 15.Rubik 16.Amber Bullet

通信販売二大特典

1 2011年1月15日までに申し込みの方に希望のバンドのチェキをプレゼント!!
(MAIN DISC収録バンド限定/メンバーの指定は出来ません。)

2 CD封入の特典カードと2010.1.21～2.27までの発売記念ライブの半券をあわせてお送り頂いた方全員にプレゼント有り!!。
(受付締め切り3月15日)

お申し込み方法

お近くの郵便局で、備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、定価3,360円(×個数)に送料600円(×個数)を加えた金額3,960円(×個数)をお振込下さい。

口座番号	00120−2−395900
加入者名	株式会社 音楽専科社
通信欄	「Explosion showcase」と希望数を記入下さい。
振込人住所 氏名	あなたの住所(アパート、マンション名、部屋番号を正確に)氏名・電話番号をはっきりと忘れずにご記入下さい。

お問い合わせ先 :株式会社 音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
tel.03(3574)0203 fax.03(3574)8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

●1点購入お申込記入例

払込取扱票
00
0 0 1 2 0 − 2 − 3 9 5 9 0 0 金額 3 9 6 0
(株)音楽専科社
「Explosion showcase」
1個
あなたの住所、氏名、電話番号

発売記念TOUR2011 #1「Explosion showcase～Paradoxial Alliance-～」

1.21(金) 目黒鹿鳴館
出演 凛(GUEST)/ALSDEAD/VII-Sense/Hi:BRiD NightingeiL/ギャロ

1.28(金) 名古屋BOTTOM LINE
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/VII-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

1.29(土) OSAKA MUSE
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/VII-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

1.31(月) 博多DRUM Be-1
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/VII-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.05(土) 仙台JUNK BOX
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/VII-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.07(月) 渋谷O-WEST
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/VII-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.27(日) 横浜SUNPHONIX HALL(特別夜)
出演 凛(GUEST)/DIAURA/Megaromania/BugLug/Sel'm/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】 カル・ヴァリ/SOMATIC GUARDIAN/SwallowtaiL-スワロウテイル-/THE SOUND BEE HD

発売記念TOUR2011 #2「Explosion showcase～expect meeting～」

1.22(土) 新宿RUIDO-K4(特別夜)
【出演】Megaromania/DIAURA/ArtCube ※スリーマン大セッション&プレゼント有り!!

1.23(日) 新宿RUIDO-K4
【出演】RED universe/Dali/シンディケイト/SWEET MADONNA 針塊-ハリエンジュ-/gaudie./えんそく/dolore パニックちゃんねる

2.06(日) 新宿RUIDO-K4
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Tu[ism]-トゥイズム- 我羇道

2.12(土) 名古屋HEART LAND
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Amber Bullet/我羇道

2.13(日) ESAKA MUSE
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Vallquar-ワルキューレ- 我羇道

UNDER CODE PRODUCTION COUNT DOWN EVENT関西制圧2010～20

2010.12.31(金)～2011.1.01(土)

大阪amHALL

開場/13:00 開演/14:00 終演/3:00予定 前売/5,800円(drink代別途)
【問】梅田アムホール(tel.06-6362-2001)

カウントダウン大セッション&飛び入り有り!!
当日限定セッションバンドの出演有り!!

出演 妃&地下線オールスターズ(カウントダウン)
メンバーは近日UNDER CODE PRODUCTION HPで発表。
凛/PERESTROIKA/Megaromania/Dali/Arc/Anjyu'(一日復活)/ClearVeil(一日復活)/Synside/シンディケ
Cu[be]/Lycaon/Royz/アイギス/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】/Vallquar-ワルキューレ-
追加決定 平成維新/ネガ

チケット
先行発売 UNDER CODE PRODUCTION Mobile Siteにて。受付期間10.16(土)19:00～10.30(土)23:59
一般発売 2010年11月06日(土)よりローソンチケット(tel.0570-084-005・Lコード:51536) ライカエジソン大阪店(tel.06-6252-6262・発売日初日は電話予約のみ)にて発売。BAND

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

[little HE]ARTS. ON LINE STORE !!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

[NI]GHTMARE

OFFICIAL CALENDAR

[1]2/20(月)
／表紙も含めて全13枚(最新撮りおろし写真)
価格:¥3,000

little HEARTS.2011 New Year ArtistMessage DVD!!

参加アーティスト
決定次第、随時追加中★

配布期間：1月2日(日)~1月10日(月)
¥4,000 以上（チケットは除く）お買上のお客様に先着でプレゼント致します。（配布対象：店頭、通信販売）

葵 from 彩冷える／ADAPTER。／Administrator／AYABIE／Annie's Black／Arpege／アヲイ／アンド／amber gris／イロクイ。／Virgil／Ap(r)il／exist†trace／M／AUBE／kannivalism／Kaya／Calmand Qual／THE KIDDIE／己龍／ギルガメッシュ／ギャロ／ケミカルピクチャーズ／ゴールデンボンバー／THE SOUND BEE HD／Sadie／XIBALBA／C4／Jin-Machine／SUICIDE ALI／杉本善徳／SCAPEGOAT／Secilia Luna／SOMATIC GUARDIAN／0801弐209336／SEX-ANDROID／ゾロ／ダウナー／Dacco／D'eiz／DaizyStripper／test-NO.／D／DuelJewel／Tu[ism]／TOON-FACTORY／DragonWAPPPPPPER／Dolly／xTRiPx／9GOATS BLACK OUT／NoGoD／花少年バディー[ズ]／Varbarossa／お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】／PIECE／HERO／FEST VAINQUEUR／V-la[st]／ベルベット／マイナス人生オーケストラ／マモノ／Mix Speaker's,Inc.／メガマソ／Moran／rice／Lycaon／Ricky／Re:dis／lynch.／LIX.／Rubik／LuLu／ワン★スター／・・・他

詳しくは little HEARTS.H P をご覧下さい。収録アーティストは、予告無く変更になる場合がございま[す]

[little H]EARTS.
[...]AL 企画
[...]3【日曜日】
[...]倍 Day
[...]スタンプのところ
[...]スタンプ！！

[...]ARTS.

2011/1/12 RELEASE Full Album『Life』

HERO

INSTORE EVENT

2011.02.20.Sun
一部13:00~/二部15:00~
トーク&撮影会

HERO LIVE TOUR 2011
Sendai HooK

日時:2011/2/19(土)
時間:OPEN 17:00/START 17:30
会場:仙台HooK
価格:前売り¥3,675-(D代別)
発売日:2011/1/10~(月・祝)

THE KIDDIE

OFFICIAL CALENDAR

THE KIDDIE 2011
OFFICIAL CALENDAR

発売日:12/11(土)
A2サイズ／全7枚／箱付
(写真は全て撮りおろし)

【購入者特典】
THE KIDDIE メンバー
インタビュー収録DVD
価格:¥3,150

INSTORE EVENT

NEW ALBUM
「BRAVE NEW WORLD」

握手会

日時:2010年12月22日(水)
時間:LIVE終了後　START
開催場所:仙台darwin
<参加方法> little HEARTS.にて下記対象商品をお買い上げのお客様に先着で握手会参加券を配布させて頂きます。
〈対象商品〉11/24発売THE KIDDIE1stフルアルバム「BRAVE NEW WORLD」初回限定盤、通常盤のどちらかをお買い上げのお客様に参加券をプレゼント!

教えて!! [...]ギャルちゃん事情

直撃!! 今回はメンズ!! お客様にインタビューしちゃいます (^o^)/

お名前　りゅういちクン

今日買っちゃったCD
・∀NTI FEMINISM
『危険思想「共犯・差別・非日常的」』
・妃阿甦
『飼育妄想』

[...]た出来事・・・
山形へ団体 16 人ツーリング

[...ウ]ォークマンで何聴いてる!?
[...]蜜羅『灰色の空』、HIZAKI grace project『Mizerable』

[...]近の暇つぶしスポット
ディズニーストア

[...]おすすめ 3 バンド
[...]aRt・Dali・LAREINE

りゅういちクン
ありがとうございました♪
来月号はあなたかもー「o」

INSTORE EVENT REPORT

DragonWAPPPPPPER

11/17 18:00よりDragonWAPPPPPPERトーク&6ショット撮影会を開催しました!!
前日のliveの勢いもさることながら、盛り沢山なインストアイベントとなりました★
メンバー登場後、早速トーク開始です!!
まずはイベントの対象にもなった「ACT」についてお話をお伺いしました。
お話を聞いて、また違った一面の魅力などを発見出来たのではないでしょうか?
続いて、お客様からの質問コーナーではなんと!、NagisAさんの司会進行で行われました。
「宮城はどんなイメージ?」「デートに行くならどこに連れてってくれる?」「好みの胸の大きさは?」など★赤裸々に・・語っていただきました。それにしてもデート編でのトークでは・・fumiyoshi さん、起床時間からのプランの熱弁や、koUMEさんの『お互い両想いでのデートの設定!!??』等々(笑)、すかさずPさんから『小学生かよっ笑』とツッコミも入りましたね・・笑
皆さん一つ一つの質問に真剣にお話いただきました。
ちなみに宮城のイメージは『宮城!漢字がカッコイイby.vivi☆さん』でした!
和気藹々と、お客様も一緒にご参加されるトークとなりました★
6ショット撮影会も、終始和やかな雰囲気のなかで進んでいきました。
そんなDWPの皆さん、1/17日に渋谷o-crestにてワンマンliveがございます。
皆様、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか★

INSTORE EVENT REPORT

11/11 18:00より己龍プレゼンツ~コスプレパラダイスin仙台~&握手&撮影会を開催しました!!翌日にライブを控えていたこともあり、沢山のお客様にお越し頂きました!!
今回のイベントはコスプレということで、メンバーの皆さんサンタさんのコスプレで[...]です!!おおっと・・お客様から黄色い声が沸き上がりました・・!
早速のトークでは、「屡流」について苦労した点などをお聞きしたところ、参輝さんがPV撮影時に滝から落っこちそうになったそうで、ガチの危機一髪だった[...]おっしゃっていました!!そんな命がけのPVです・・、ぜひ皆様ご覧下さいね。
お客様からの質問コーナーでは、「ポッキーゲームをするなら誰?」「仙台で起こった[...]ニングはありますか?」などなど。ハプニングは、准司さんが昨日ホテルでSEX MACINEGUNSさんと遭遇されて、めちゃめちゃテンションが上がったらしいで[す]
お客様もかなり『どえぇーっ』と、驚かれていました。
その後の握手&撮影会も終わり、己龍の皆さんと一足お先に、クリスマス気分を堪[能]たのではないでしょうか。
またまたlittle HERATS.でインストアイベントもございます!皆様お楽しみに★

[INS]TORE EVENT

14:30【DEATHGAZE】トーク&握手&サイン会
17:00【ゴールデンボンバー】トーク&握手会
13:00【HERO】トーク&撮影会
15:00【HERO】トーク&撮影会
18:00【己龍】トーク&握手&撮影会

little HEARTS.

インストアイベントは、決定次第 HP にて告知致します。

little HEARTS. 携帯サイトでもインストアイベント情報やSTAFF ブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩[...]

little HEARTS.
ビジュアルミュージック＆ファッション
http://littlehearts.jp
〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休
/22 Kaya
NGLE
『マダムローザの娼館』
薄香 -¥1,575
媚薬 -¥1,050
Kaya Remix vol.1 "K "』
,200
1/6 ゴールデンボンバー
ALBUM
『ゴールデン・アワー～下半期ベスト 2010～』
初回盤 A¥2,500／初回盤 B¥2,500／通常盤 ¥1,980
初回 A、B 共通：コメント DVD
通常盤：アーティストフォト集合
イベント
1/12 SuG
SINGLE
『Crazy Bunny Coaster』
初回盤 A¥1,850／初回盤 B¥1,850
通常盤 ¥1,550
22 Calmando Qual
SINGLE
『Deadman's Party』
¥1,890
12/22 Luzmelt
SINGLE
『oracion』¥1,050
12/22 摩天楼オペラ
ALBUM『Abyss』
初回盤 ¥4,500／通常盤 ¥2,500
12/22 Art Cube
BEST ALBUM
『Art Cube』¥2,940
12/22 E'm
BEST ALBUM
『grief』¥3,150
22 WHITEBLACK
DVD
ITEBLACK
stage・・・
elody to ring
ally・2010.7.22
村立文化芸術会館』¥6,300
12/22 Mr.Davinci 空想学園
SINGLE
『流星メリーゴーランド』¥1,890
12/22 少女-ロリヰタ-23区
SINGLE『WHITE BLADE』初回限定 A¥1,680
通常 B¥1,470／通常 C¥1,470
12/22 エルム
SINGLE
『赤い乗車券』
¥1,680
コメント DVD+アーティストフォト
12/22 DE
SINGLE
『Margaret』¥1,05
22 Rubik
GLE コメント DVD+アーティストフォト
メドレー』¥1,575
12/22 ドクターモルモット
SINGLE
『トワイライト』
¥1,260
12/29 TOON-FACTORY
SINGLE『Fiction』¥1,260
コメント DVD
直筆サイン入りアーティストフォト集合
12/29 Annie's Black
FULL ALBUM
『-departure-』¥3,150
12/29
SINGLE
『BLINDNESS』
A-TYPE¥1,890／B-TYP
29 LucaRia
GLE アーティストフォト集合
ost World』¥1,260
1/5 0801 弐209336
MINI ALBUM『(0120)』¥2,625
コメント DVD+アーティストフォト
1/5 D'eiz
12ヶ月連続リリース第二弾 SINGLE
『Providence』¥800
コメント DVD+アーティストフォト
1/12 HERO
FULL ALBUM『Life』
初回盤 ¥3,800／通常盤 ¥2,800
イベント
1/12
ALBUM『VAMPIRE SAC
TYPE-A¥3,990
TYPE-B¥3,800
TYPE-C¥3,000
A：コメント DVD
B：アーティストフォト個人
C：アーティストフォト集合
2 Cu[be]
SINGLE『Pandemic CORE』
ティストフォト集合 ¥1,575
1/19 愛狂います。
LIVE DVD
『東京浪漫帝國』¥4,980
1/19 ヴィドール
BEST ALBUM
『BEST』
初回盤 ¥4,500／通常盤 ¥3150
1/19 葵 from 彩冷える
ALBUM
『ONE』
初回盤 A¥3,500
初回盤 B¥3,500
通常盤 ¥3,000
1/19 Jac
SINGLE
『19%』¥1,575
26 V.A.
UP SONIC』¥3,150
マイナス人生オーケストラ 3.Schwein
ria 5. バラッド 6.Ru:natic 7.Digerir
テクス -Vertex- 9.69 10. ドメスティック
KY 12. パノラマ虚構ゼノン
ana 14. セツナ神姫。
1/26 IceOAGe
ALBUM
『FATE』¥2,500
2/2 マイドラゴン
SINGLE『二次元コンプレックス』
TYPE-A¥1,890／TYPE-B¥1,575
TYPE-C¥1,575
2/2 BORN
MINI ALBUM『DOGMA』
初回盤 ¥2,835／通常盤 ¥2,835
2/9 Do
パラレルワー
ALBUM「ONE」
初回盤 ¥3,990／通
初回盤：オリジナルDVD+アーティ
通常盤：アーティストフォト5枚組

リース&主催決定!!
hudie.com
the Riotts.
The riot of the rebellion and the truth
s kept secret in an our chest.
Steaak Records × Beautiful:madnesS PRESENTS
aRest of the STAR ～らいおらいお～祭
/16(水) Shibuya O-WEST
PEN17:30/START18:30 前売 ¥3,000 当日 ¥3,300(税込) Drink 代別 ¥500
よりローソンチケット (L コード :75371)/ ライカエジソン新宿店 /O－WEST 店頭にて全国一斉発売開始 Info.O-WEST 03-5458-46
the Riotts. セッション / その他
その他詳細近日発表 !!
明記の上お送り下さい。また、その他お問合せはメールにてお願いします。 mail : info@riotts.com
www.riotts.com

the Riotts. 待望の
Full Album
「RIOT STAR」
2011.1.26 Drop!!
RIOT STAR
the Riotts.
【初回限定盤】
】収録曲　10曲
来／2.SUPER☆DRIVER／3. チェックメイト(Re:vox ver.)／4.Little Planet／
クイエム(Re:vox ver.)／6. 星屑と月と灰色の街／7.METEOLITE(Re:vox ver.)／
】(Re:vox ver.)／9. アリア／10. 星の砂
D】収録曲　MUSIC CLIP 集　5曲+α
来／2. アリア／3. スターゲイザー／4. スターゲイザー（another ver.）／
winkle Star（超絶シャシャレハイテンション過ぎなイカ!? ver.)
R-0106／¥3,675(tax-in)
回限定 :3,000 枚
／販売元 :Steaak Records
【通常盤】
【CD】収録曲
1. 未来／2.SUPER☆DRIVER／3. チェックメイト(Re:vox ver.)／4.c
5.Little Planet/6. レクイエム(Re:vox ver.)／7. 星屑と
8.METEOLITE(Re:vox ver.)／9.【　　　　】(Re:vox ver.)
11.Twinkle Star（シャシャレハイテンション ver.)
STKR-0107／¥3,
発売元／販売元 :
D通販方法〜通販オリジナル特典スペシャル!コメントCD〜
対象】・・・1.26発売「RIOT STAR」をお申し込みの方にスペシャルコメントCDを差し上げます。
込方法】郵便局に備付の青い振込用紙にてお申込み下さい。通信欄:①the Riotts.「Riotts.」②希望枚数③住所、名前、電話番号を明記の上、商品合計金額
OT STAR」初回限定盤¥3,675×○枚、「RIOT STAR」通常盤¥3,150×○枚)+ 送料(詳細は下記参照)を下記口座にお振込み下さい。
いのないようお振込み下さい。
号:00130-0-338162/ 加入者名:Steaak Records
詳細】本州¥600/ 北海道・四国・九州¥700/ 沖縄・離島¥800　通販特典は数に限りがございますので先着順となります。
り次第終了となりますのでご了承ください。
he Riotts.最初で最後?!インストアイベント決定!!
谷ZEAL LINK　■イベント日時：2011年02月05日(土)　info:03-5784-9666
方法：対象商品【初回限定盤】か【通常版】を渋谷ZEAL LINKにてご購入のお客様にイベント参加券をプレゼントします。
aak Records.通販とは特典が異なります。弊社で通販をお申し込みされてもイベントに参加できませんのでご注意下さい。
ント中カメラ、テープレコーダー、ビデオカメラ、携帯電話の撮影・録音録画機能の使用は禁止させていただきます。使用を見つけた場合は、即退場していただき、イベントが中止になる場合もございます。
ストアイベントの詳細に関しては、渋谷ZEAL LINK(03-5784-9666)へお問い合わせ下さい。
2月21日、完売御礼楽曲「アリア」「星の砂」
曲をdwango.jpにて、独占配信開始！
ウンロード特典として、オリジナル待受けプレゼント！
さらに、2011年にも
the Riotts.×dwango.jp
マル秘企画あり☆
星の章三部作、
1st mini album
STARI
初回特典版
完売御礼
1st Maxi Single
スターゲイザー
【初回限定盤】
完売御礼
完売御礼
Steaak Records
【TOTAL INFORMATION】Steaak Records　〒163-8696　日本郵便　新宿支店留　「the Riotts.」

d MINI ALBUM「現代的ロマン歌集」2011.1.19 ON SALE!!

価格：¥2,100(税込) / ¥2,000(税抜)　SCAR-099　発売元 :Scarlett　販売元 :SECOND SCENE

「緋連組御一行様冬のぶらり全国どさ回りの旅～浪漫飛行編～」

1月20日　高田馬場 AREA
1月22日　池袋サイバー
1月27日　周南 LIVE rise
1月28日　岡山 IMAGE
2月01日　大阪 FAN J twice
2月05日　広島ナミキジャンクション（単独公演）

オフィシャルサイト：http://www.scarlett-njr.com

蝴蝶网 hudie.com

OG inThePNO
パラレルワールドオーケストラ
蝴蝶网
hudie.com
の 1st ALBUM
ONE』
2011年2月9日発売！
【初回盤】CD+DVD RSCD-030/031 ¥3,990 (tax in) 13 曲収録 (初回盤のみ電脳花壇収録)＋新曲 Mus
封入特典：着せ替えジャケット 1 種ランダム封入（全 4 種）
【通常盤】CD のみ RSCD-032 ¥3,150 (tax in) 13 曲収録 (通常盤のみの収録曲あり)
OGがサンタ？1st ALBUM 発売記念クリスマス予約会』
イベント当日までに下記店舗にて『ONE』（初回盤・通常盤）いずれか 1 枚をご予約して頂いた方に整理券を差し上げます。
きなメンバーと 2 ショット撮影！メンバー直筆クリスマスカードをプレゼント !!
金) ブランドエックス / 12:00 START
金) ライカエジソン東京店 / 18:00 START
12 月 25 日 (土) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 / 13:00 START
12 月 25 日 (土) 自主盤倶楽部 / 17:00 START
E』購入者対象インストアイベント
OG とコスプレ犬交パーティー』
※イベント内容・参加方法は、OFFICIAL WEB SITE をご確認ください。
ONE』購入者対象インストアイベント
(土) ライカエジソン大阪店 / 14:00 START
(日) ライカエジソン名古屋店 / 15:00 START
2 月 19 日 (土) Like an Edison.com ラフォーレ原宿 / 14:00 START
2 月 19 日 (土) ライカエジソン東京店 / 18:00 START
2 月 20 日 (日) 自主盤倶楽部 / 14:00 START
2 月 20 日 (日) ブランドエックス / 18:00 START
OFFICIAL SITE
http://www.inu-para.com/

蝴蝶网
hudie.com

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT FINAL

HISTØRICAL

~The highest NIGHTMARE~ in Makuhari Messe

2010.12.25(sat)

幕張メッセ国際展示場ホール

OPEN 16:00 START 17:00 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

【チケット料金】スタンディング：¥6,300(tax in) ブロック指定・整理番号付き ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】11月13日

10th anniversary album

Historical

~The highest NIGHTMARE~

IN STORES NOW

【CD2枚組】VPCC-84168 ¥3,500-(tax in)

【収録曲】
全24曲収録

DISC1
01.-Believe- * 02.茜 * 03.HATE * 04.Over * 05.Varuna *
06.東京傷年 * 07.シアン * 08.時分ノ花 * 09.Яaven Loud speeeaker *
10.livEVIL * 11.極東乱心天国 * 12.Fly me to the Zenith *

DISC2
13.the WORLD 14.アルミナ 15.レゾンデートル 16.このは 17.DIRTY 18.White
19.Lost in Blue 20.NAKED LOVE 21.MELODY(original ver.) 22.the LAST SHO
23.Can you do it? 24.D 線上のトラジェディ（未発表新曲） ※「*」は新録曲

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/] http://www.vap.co.jp/

rinted in Japan
誌04537-02

特別定価 1,200円
本体1,143円

株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社

蝴蝶网
hudie.com